ANNUAL REPORT

OF

THE OSAKA METEOROLOGICAL OBSERVATORY

FOR

THE YEAR 1912.

LIBRARY
WEATHER BUREAU
No. 34

PART I.

METEOROLOGICAL OBSERVATIONS IN OSAKA, 1912.

QC
990
.J3
A56
1912

PUBLISHED BY THE METEOROLOGICAL OBSERVATORY,

OSAKA.

1913.

LIBRARY
MAR 2000
National Oceanic & Atmospheric Administration
U.S. Dept. of Commerce

National Oceanic and Atmospheric Administration

Environmental Data Rescue Program

ERRATA NOTICE

One or more conditions of the original document may affect the quality of the image, such as:

Discolored pages
Faded or light ink
Binding intrudes into the text

This document has been imaged through the NOAA Environmental Data Rescue Program. To view the original document, please contact the NOAA Central Library in Silver Spring, MD at (301) 713-2607 x124 or www.reference@nodc.noaa.gov.

Information Manufacturing Corporation
Imaging Subcontractor
Rocket Center, West Virginia
September 14, 1999

大正二年六月五日印刷
仝　年六月十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

印刷所　大阪市西區靭北通三丁目九十七番屋敷
岩井活版印刷所
（電話土佐堀二四二三番）

N. Shimono.

Director of the Osaka Meteorological Observatory.

降水量の深さ（粍）及水量（升を單位とす）對照表

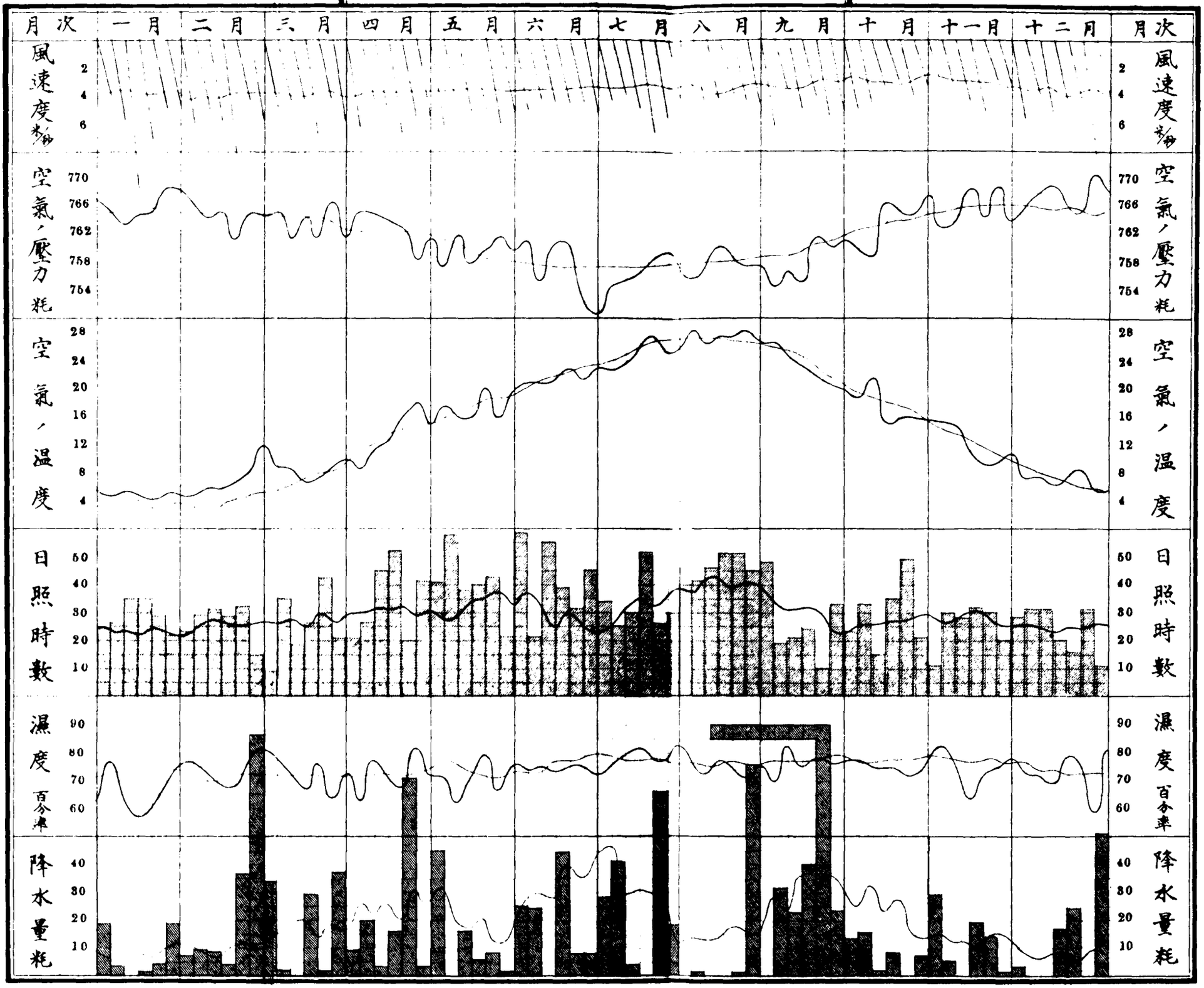
攝氏	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
華氏	一四・〇	一二・二	一〇・四	八・六	六・八	五・〇	三・二	一・四	〇・四	二・二
降水量	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
一坪面の水量	一・八	三・七	五・五	七・三	九・二	一一・〇	一二・八	一四・七	一六・五	一八・三
降水量	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
一坪面の水量	二〇・一	二二・〇	二三・八	二五・六	二七・五	二九・三	三一・一	三三・〇	三四・八	三六・六
降水量	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	
一坪面の水量	三八・五	四〇・三	四二・一	四四・〇	四五・八	四七・六	四九・五	五一・三	五五・〇	
降水量	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇
一坪面の水量	五六・八	五八・六	六〇・五	六二・三	六四・一	六五・九	六七・八	六九・六	七一・四	七三・三
降水量	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇
一坪面の水量	七五・一	七六・九	七八・八	八〇・六	八二・四	八四・三	八六・一	八七・九	八九・八	九一・六
降水量	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇
一坪面の水量	九三・四	九五・三	九七・一	九八・九	一〇〇・八	一〇二・六	一〇四・四	一〇六・三	一〇八・一	一〇九・九
降水量	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇
一坪面の水量	一一一・七	一一三・六	一一五・四	一一七・二	一一九・一	一二〇・九	一二二・七	一二四・六	一二六・四	一二八・二

地方天氣豫報及暴風警報信號標所在地

地名	國郡市町村	緯度	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市西區南堀江	百三十五度三十一分	三十四度四十二分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡敷津村	百三十五度二十九分	三十四度三十八分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十二分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市西區天保町	百三十五度三十一分	三十四度四十二分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡傳法町	百三十五度三十一分	三十四度四十二分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豊能郡東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豊能郡東郷村役場

降水量	一坪面の水量	降水量	一坪面の水量	降水量	一坪面の水量
七一	一三〇、一	七二	一三二、九	七三	一三三、七
七四	一三五、六	七五	一三七、四	七六	一三九、二
七七	一四一、一	七八	一四二、九	七九	一四四、七
八〇	一四六、六	八一	一四八、四	八二	一五〇、二
八三	一五二、一	八四	一五三、九	八五	一五五、七
八六	一五七、五	八七	一五九、四	八八	一六一、二
八九	一六三、〇	九〇	一六四、九	九一	一六六、七
九二	一六八、五	九三	一七〇、四	九四	一七二、二
九五	一七四、〇	九六	一七五、九	九七	一七七、七
九八	一七九、五	九九	一八一、四	一〇〇	一八三、二

大阪氣象一年中ノ變化



本圖ハ半旬期平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、ハ本年——平年——日照時數ハ本年▒平年——降水量ハ本年▒平年——

緒言

一本所は緯度百三十五度二十六分北緯三十四度三十九分にして平均海面上一米五なり而して晴雨計汞槽の高さは平均海面上三米零の所にあり又寒暖計は「ステヴエンソン」形百葉箱内地上一米四の所に置き雨量計は地上零米三の高さに埋置す風力計は地上十六米四風信器は十六米八の高さにあり

一氣壓は「フオルチン」形水銀晴雨計を以て觀測し其水銀柱の高さは粍（曲尺三厘三毛）を以て示す但し表中記する所の氣壓は單に温度の更正を施したるものにして重力（減〇、七〇）及高さ（加〇、三〇）の更正は施さず

一氣温は攝氏寒暖計の度を以て示す若し華氏寒暖計の度を知らんと欲せは卷末に附する攝氏華氏の對照表を見るへし

但零下の度には（一）を附して區別す

一水蒸氣張力は空氣中に含有する水蒸氣の重量即ち壓力にして氣壓と同しく晴雨計水銀柱の高（粍）を以て示す

一濕度は空氣中に水蒸氣を飽和したるものを百とし現存せる所の水蒸氣の多寡を其割合を以て示す

一飽差は空氣中に水蒸氣を飽和したるものと現存せる水蒸氣との差にして一立方米中に於ける「瓦」の數を記す

一風速度は一秒時間の「米」數を記す

一雲量は天際雲なきを零とし滿天雲に蔽はるゝを十とし其割合を記す

一降水量は降水の深さを粍を以て示す若し一坪面に降下せる水量を知らんと欲せは卷末の降水量及一坪面の水量對照表を見るへし

一天氣日數中快晴は平均雲量二以下曇天は同八以上にして其中間にあるものは晴天と見て可なり又雨天日數は降水量一粍の十分の一以上ありたる日を算す但雪、霰、雹等は其量の多寡に拘らず日數に算入せり、暴風日數は強烈、颶風の日數合計にして一秒時間の風速度十米以上を強風同十五米以上を烈風同二十九米以上を颶風とす

大阪氣象概況

明治四十五年中の氣象を概記するに氣壓の平均は平年と大差なきも最高は當所創設以來三十年間の高極に等しく最低は未曾有の低度に降り風も亦た未曾有の最大速度に達したり而して氣温の平均は年平より稍々高きも最高は低くして最低は高く即ち冬季は温暖に過き夏季は比較的冷氣なりしに因る又降水量は概して平年より少く日照時數は多し而して雷雪は平年より少し

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

空氣の壓力　年平均は七百六十一粍八六にして平年に比すれは零粍一〇低く年中の最高は十二月二十六日にありて七百七十九粍一を示し絶對（本所創設以來三十年間の極度を云ふ以下之れに倣ふ）最高は（明治三十一年十一月二十九日の七百七十九粍一）に等しく最低は九月二十三日にありて七百十五粍三にして之れを當所創設以來の最低とす其最高低の較差は六十三粍八なり

空氣の温度　年平均は十五度〇七にして平年に比すれは零度二三高く年中の最高は八月十九・二十三の両日にありて三十四度三を示し絶對最高（明治四十二年八月四日の三十七度六）に比すれは三度三低く既往三十年間に於て高き方より第二十七位に居り最低は一月十七日にありて零下二度五を示し絶對最低（明治二十四年一月二十五日の零下七度一）に比すれは四度六高く既往三十年間に於て低き方より第三十位に居れり而して最高低の較差は三十六度八なり之れを要するに本年の氣温は平年に比すれは最高は低くして最低は高く特に一月より三月中頃までは高温に過きたれども爾後順に復せり（氣象圖參照）又晝夜寒暖の差は年平均八度二四にして平年に比すれは零度九五少く最大は十六度九にして絶對最大（明治二十二年四月十日の十八度四）に比すれは一度五少し而して最高氣温の三十度以上に昇りたる日數は四十四日にして平年に比すれは十三日少く最低氣温の零下に降りたる日數は十三日にして平年に比すれは二日少し

水蒸氣壓力　年平均は十粍四九にして平年に比すれは零粍〇五低く年中の最高は八月二日にありて二十四粍四を示し絶對最高（明治二十五年七月十三日の二十九粍二）に比すれは四粍八低く最低は一月十五日にありて二粍〇を示し絶對最低（明治三十八年二月九日の一粍〇）に比すれは一粍〇高く其最高低の較差は二十二粍四なり

濕　度　年平均は七十三％五にして平年に比すれは零％七少く年中の最少は三月二十三日の二十七％にして絶對最小（明治三十八年二月九日の十六％）に比すれは十一％多し

降　水　量　總量は千三百二十二粍九にして平年に比すれは五十三粍五少く絶對最多（明治三十六年の千八百七十九粍一）に比すれは五十六粍一少きも絶對最少（明治二十七年の九百四十粍八）に比すれは三百八十二粍一多く既往三十年間に於て本年は多き方より第十七位に居れり又月量の最多は九月の二百五十五粍〇にして既往三十年間に於ける九月の平均量に比すれは七十三粍八多く全上最多（明治三十二年九月の三百五十七粍二）に比すれは百〇二粍二少し日量の最多は九月二十二日の九十九粍二にして絶對最多（明治二十九年八月三十日の百七十四粍七に比すれは七十五粍五少く一時間の最多量は八月二十四日の二十三粍四にして絶對最多（明治二十九年八月三十日の六十一粍八）に比すれは三十八粍四少し

日照時數　年中の總時數は二千三百〇八時九（平均一日に六時間餘日照を受くる割合にして可照時間に對する百分率は五十二なり）にして平年に比すれは百八十八時〇多く絶對最多（明治三十三年の二千四百六十時一）に比すれは百五十一時二少きも絶對最少（明治二十五年の千七百五十七時八）に比すれは五百五十一時一多く日照計觀測創始以來二十三年間に於て多き方より第四位に居れり又月中の最多は八月の三百〇時四（可照時間に對する百分率は七十二なり）にして二十三年間に於ける八月の平均時數に比すれは二十五時二多く全月の絶對最多（明治三十六年八月の三百十八時八）に比すれは十一時四少く最少は九月にありて百三十七時六（可照時間に對する百分率は三十七なり）にして二十三年間に於ける九月の平均時數に比すれは二十七時九少く絶對最

少（明治二十四年一月の九十八時八）に比すれは三十八時八多し一日中に於て日照時間の最も多かりしは六月一日の十三時一にして絶對最多（明治三十五年六月二十五日の十三時六）に比すれは零時五少し

風　速度の年平均は毎秒五米〇一米にして年中の最大速度は九月二十三日の毎秒三十七米〇の西南西風なり之れを當所創設以來の最大速度とす而して強風以上の吹きたる日數は百四十五日にして內颶風の吹きたるは一日烈風は二十九日強風は百十五日なり

最低地温　年平均は七度九七にして平年に比すれは零度五五高く年中の最低は一月十七日、二月十三日の零下七度二にして絶對最低（明治二十八年二月二十二日の零下十二度六）に比すれは五度四高く而して零下に降りたる日數は九十四日にして平年に比すれは十三日少し

天氣日數　雨天日數は百三十四日にして平年に比すれは四日少く快晴は五十六日にして平年に比すれは十日多く曇天は百四日にして平年に比すれは十三日少く雷雨のありたるは十二日にして平年に比すれは一日多く濃霧のありたるは三日にして平年に比すれは二日多し

雜　夏季最高氣温の三十度以上に昇りたる初日は六月二十九日にして平年に比すれは八日早くして其終日は九月三日にして平年に比すれは十二日早く其日數は四十四日にして平年に比すれは十三日少し又冬季最低氣温の零下に降りたる初日は十二月十八日（前年）にして平年に比すれは六日遲く前冬季以來最低氣温の零下に降りたる終日は二月二十一日（本年）にして平年に比すれは二日遲く其日數は十四日にして平年に比すれは三十六日少し又最低地温の零下に降りたる初日は十一月三十日（前年）にして平年に比すれは二十三日遲く其終日は四月五日（本年）にして平年に比すれは八日早く其日數は九十日にして平年に比すれは十七日少し又結霜の初日は十一月三十日（前年）にして平年に比すれは二十一日遲く其終日は四月二日（本年）にして平年に比すれは七日早く其日數は六十一日にして平年に比すれは十五日少し降雪の初日は一月三日にして平年に比すれ

は二十三日遅く其終日は二月十九日にして平年に比すれは三十四日早く其日數は八日にして平年に比すれは七日少し

之れを要するに本年夏季最高氣温の三十度以上に昇りたる日數は平年より少く初日より終日に至る期間は平年より短し又前冬季以來最低氣温の零下に降りたる日數は平年より少く其期間も又平年より短し最低地温の零下に降りたる日數及霜雪の日數も平年より少く其期間も亦た平年より短し

氣象概表の一

事項	空氣の壓力			空氣の温度																				
	平均	平年に比し	極高	日	極低	日	平均	平年に比し	最高	最低	較差	較差の平年に比し	最高日	最低日	較差	平年に比し	最高	日	最低	日	較差	平年に比し	最高日	最低日	較差
一月	七六〇・九	〇・八	七七五・〇	三	七五六・九	二	四・四	〇・四	八・二	一・〇	七・二	一・一	六（一）	二・五	一七・〇	一・五	一四・〇	一	一・五	一	一二・五	一・四	一	一	一一・〇
二月	七六四・〇	〇・九	七七一・七	一	七五二・〇	三	七・一	三・一	一〇・九	三・四	七・六	一・三	二八（一）	二・三	一九・八	一・七	一三・五	二六	一・七	二八（一）	一二・三	一・〇	一	一	一〇・〇
三月	七六〇・三	〇・九	七七一・二	三	七五四・一	一八	八・三	〇・七	一二・七	四・一	八・六	一・四	一八・一	二・二	一八・〇	一・〇	一四・〇	二二	一・〇	一八	一三・〇	一・〇	一	一	一二・〇
四月	七五八・一	〇・五	七六八・九	一〇	七四七・一	一九	一三・三	〇・二	一七・八	九・六	八・二	一・六	二三・九	八	一三・九	一・〇	一三・〇	二九	〇・九	三	一三・〇	一・〇	一	一	一二・〇
五月	七五八・四	〇・四	七六八・九	一〇	七四七・一	四	一七・三	〇・七	二二・〇	一三・〇	九・〇	一・七	二三・九	一〇	一三・〇	一・三	一三・〇	二九	一・六	二	一二・〇	一・〇	一	一	一一・〇
六月	七五五・三	〇・一	七六一・八	二	七四九・三	一七	二一・四	〇・五	二五・九	一七・〇	八・五	一・四	三〇・六	一二・九	一七・七	一・九	一三・九	二九	一・一	一七	一二・八	一・〇	一	一	一一・〇
七月	七五六・三	一・〇	七六一・二	三	七四七・四	二	二五・一	〇・六	二八・五	二二・四	六・一	一・〇	三一・六	一八・七	一二・九	一・八	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
八月	七五七・九	〇・三	七六二・六	九	七四九・八	三一	二七・二	〇・三	三二・八	二二・四	八・四	一・〇	三一・六	一九・二	一二・四	一・八	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
九月	七五九・〇	〇・七	七六九・三	二八	七四五・三	二二	二二・一	一・一	二五・〇	一七・七	七・三	一・四	三〇・六	一二・九	一七・七	一・九	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
十月	七五三・〇	〇・六	七六〇・三	二七	七四二・三	二一	一六・九	一・五	二二・四	一一・四	一一・〇	一・三	二八・三	一〇・四	一八・〇	一・九	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
十一月	七五五・五	〇・四	七六一・〇	一七	七四九・七	一四	一〇・六	〇・四	一五・三	六・七	八・六	一・三	二八・三	一〇・四	一八・〇	一・九	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
十二月	七五七・〇	二・五	七六二・一	二六	七五三・四	一五	六・七	〇・五	一二・五	二・六	九・九	一・三	二八・三	一〇・四	一八・〇	一・九	一三・九	二九	一・七	一七	一二・二	一・〇	一	一	一一・〇
全年	七六二・八六	〇・一	七七九・一	十二月二六日	七一五・三	一九日	一五・〇七	〇・二	一九・三八	一一・二四	八・二三	一・六	十一月一八日	一七	一八・六	一・三	三四・三	八月一九日（一）	二一・一	一月一七日	三六・八	一・九	一	一	一一・〇

氣象概表の二

事項 / 月次	水蒸氣張力			濕度			降水量			日照時數雲量		
	平均	平年に比し	極大日	平均	平年に比し	極小日	合計	平年に比し	最多	合計	平年に比し	平均
一月	四・二〇	〇・三	六	三・〇	一・五	一五	六七・三	少 〇・五	一五	四・九	多 〇・七	四・九
二月	五・七〇	一・三	二八	二・八	一・六	一二	七三・四	多 二・四	三九	一一・九	多 一・一	五・二
三月	五・八四	〇・二	二八	三・〇	一・二	一二	七三・〇	多 〇・五	二七	一〇・一四	少 〇・一	六・三
四月	八・四九	〇・二	三〇	三・四	一・一	一三	七一・八	少 〇・九	三四	一〇・一四	少 〇・一	六・三
五月	一〇・五五	全じ	一九	五・七	一・一	八	七一・二	少 一・二	三四	一〇・一四	少 〇・一	六・三
六月	一三・八四	〇・九	一七・二六	七・八	一・一	一	七三・五	多 二・九	三三	一〇・一四	少 〇・一	六・三
七月	一九・〇一	〇・二	三一	七・〇	一・一	三〇	七九・八	多 二・七	四七	一〇・一四	少 〇・一	六・三
八月	一九・六一	全じ	二四	七・九	一・一	二	七四・二	少 〇・七	四四	一〇・一四	少 〇・一	六・三
九月	一五・二九	一・〇	一〇	一〇・〇	一・一	一九	七七・一	少 〇・二	四三	一〇・一四	少 〇・一	六・三
十月	一〇・八五	一・〇	三	一一・一	一・一	一六	七二・七	少 一・一	三八	一〇・一四	少 〇・一	六・三
十一月	七・〇四	〇・五	三・九	一一・七	一・一	一五	七二・九	少 二・九	三三	一〇・一四	少 〇・一	六・三
十二月	五・四一	〇・二	二・二	一一・一	一・一	二四	七三・四	多 一・〇	四一	一〇・一四	少 〇・一	六・三
全年	一〇・四九	全じ	八月二日	二・〇	一・二	一月一五日	七三・五	少 〇・七	二七	一〇・一四	少 〇・一	六・三

事項 / 月次	風					最低地温		蒸發量		
	速度			平均風向	風向回數	平均最低日		總量	平年に比し	最大日
	平均	最大	方向							
一月	五・三	一九・九	西	北六東四西	三一	三三(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
二月	六・一九	二二・四	西	北六東四西	二二	三〇(一)	七・三	一三	六五・四	二・三	多 〇・四	四・〇
三月	五・一一	二二・三	西	北六東四西	三	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
四月	四・九	一九・九	西	北六東四西	三・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
五月	四・一	二二・四	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
六月	三・九	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
七月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
八月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
九月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
十月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
十一月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
十二月	三・八	二二・三	西	北六東四西	二・二	二八(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七
全年	四・一	二四・四	八月二日	北二西四西	一・六	三〇(一)	七・二	一七	六四・〇	二・一	多 〇・五	三・七

氣象概表の二

氣象概表の四

事項 / 年次	氣溫 最高		氣溫 最低		地溫 最高		地溫 最低		最低地溫	
	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日
本年	三四、二	八月二十九日	(一)二、五	一月十七日	四四、一	八月十七日	(一)一、五	一月十七日	(一)七、二	一月十七日
四十四年	三四、五	八月十日	(一)三、五	一月三日	四六、六	七月十四日	(一)一、四	一月四日	(一)七、三	一月十三日
四十三年	三四、九	七月二十三日	(一)三、八	二月十一日	六九、四	七月廿五日	(一)三、五	二月十日	(一)六、九	二月十一日
四十二年	三七、六	八月四日	(一)三、五	二月二十二日	六九、九	八月十一日	(一)三、九	十二月廿六日	(一)六、九	二月十四日
四十一年	三六、二	八月四日	(一)三、一	一月二十八日	六四、〇	八月四日	(一)一、五	一月十一日	(一)六、四	一月十日
四十年	三五、二	八月四日	(一)三、三	(一二月十三日)一月十七日	六五、四	八月四日	(一)三、三	一月廿日	(一)七、二	一月十一日
三十九年	三五、八	八月廿三日	(一)三、四	二月四日	六四、二	八月三十日	(一)三、二	一月廿日	(一)七、〇	一月廿日
三十八年	三六、三	八月二十三日	(一)三、二	一月二十六日	六六、四	八月十四日	(一)二、九	一月廿六日	九度	一月廿三日
三十七年	三六、三	八月二十三日	(一)三、二	一月二十六日	六六、四	八月十四日	(一)二、九	一月廿六日	九度	一月廿三日
三十六年	三六、六	八月十四日	(一)三、二	十二月二十二日	七〇、八	八月十四日	(一)二、二	一月廿二日	十度	十二月廿三日

氣象概表の五

降水

事項 / 年次	日量最多	月日	時量最多	月日	最大速度	方向	月日
本年	九九、二	九月廿三日	三三、四	八月廿四日	三七、〇	南南西	九月廿三日
四十四年	八二、〇	六月十五日	二九、六	六月十九日	三〇、一	南南西	六月十九日
四十三年	六〇、七	九月八日	一七、五	八月十日	二四、六	西	十一月十七日
四十二年	五九、四	六月五日	二〇、五	九月一日	一八、五	西	十一月廿九日
四十一年	七七、〇	十月十五日	二三、四	十二月廿二日	二一、〇	西	十一月廿六日
四十年	六八、八	八月廿五日	三一、〇	七月十四日	二三、二	西北西	十二月廿一日
三十九年	五八、四	七月十四日	三〇、五	七月十五日	二〇、五	南南西	三月六日
三十八年	一一五、三	六月十四日	三四、九	八月十七日	一九、七	南南西	六月十四日
三十七年	六九、五	八月廿一日	二〇、六	九月六日	二四、四	北東	七月十日
三十六年	一三〇、四	七月八日	三〇、三	七月九日	一九、一	西	一月七日
三十五年	一三二、一	五月五日	二七、二	五月五日	一九、五	西	一月八日
觀測創始以來	一七四、七	廿九年八月廿日	六一、八	廿九年八月廿日	三七、〇	南南西	大正元年九月廿三日

類別日數の一

事項 / 月次	雨雪霰雹	雪
一月	八	六
二月	一〇	三
三月	一四	一
四月	一六	〇
五月	一二	〇
六月	一二	〇
七月	一四	〇
八月	四	〇
九月	一八	〇
十月	一〇	〇
十一月	九	〇
十二月	九	三
年	一三四	一二

摘要

類別日數の二

月次 / 事項	最低氣溫零度以下	最低氣溫攝氏以上	平均氣溫零度以下	平均氣溫攝氏以上	最高氣溫零度以下	最高氣溫攝氏以上	最高氣溫卅度以上	最低地溫零度以下	積雪
一月	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	〇
二月	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一九	〇
三月	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一五	〇
四月	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇
五月	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇
六月	〇	〇	〇	〇	〇	二一	一	八	〇
七月	〇	〇	〇	一八	〇	二八	一〇	〇	〇
八月	〇	〇	〇	三一	〇	二一	三〇	一	〇
九月	〇	〇	〇	七	〇	一八	三	〇	〇
十月	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	〇	〇
十一月	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇
十二月	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二二	二
年	一三	一〇	〇	五六	〇	一〇七	四四	九四	二

月次 / 事項	霰	雹	電雷	霧	快晴	曇天	暴風	霜	雹
一月	一四	一	〇	〇	四	三	二〇	三一	一
二月	一	〇	一	〇	三	七	一九	二二	〇
三月	〇	〇	〇	一	三	二三	二三	九	〇
四月	九	〇	四	一	三	二一	一六	一一	〇
五月	〇	〇	〇	〇	七	九	一四	〇	一
六月	〇	〇	二	〇	四	九	七	〇	〇
七月	〇	〇	一	〇	三	一七	九	〇	二
八月	〇	〇	四	〇	六	一	九	〇	〇
九月	〇	〇	〇	〇	二	一七	五	〇	一
十月	〇	〇	〇	〇	九	六	七	〇	一
十一月	一	〇	〇	〇	六	七	八	六	〇
十二月	〇	〇	〇	〇	六	五	一八	一七	〇
年	七	一二	三	五六	五六	一〇四	一四五	六六	五

事項	日數	初日	終日	初終日數	本年初日
最低氣溫零度以下	一二	十二月十八日	二月廿一日	六六	十二月廿五日
最低氣溫廿度以上	二〇	七月十七日	八月廿三日	三八	
平均氣溫零度以下	〇				
氣溫平均廿度以上	一八	七月十日	九月十日	六三	
最高氣溫零度以下	〇				
最高氣溫卅度以上	一				

事項	日數	初日	終日	初終日數	本年初日
最低氣溫の引續き零度以下にありし最多日數	一	一月卅日	二月一日	三	
平均氣溫の引續き零度以下にありし最多日數	一				
平均氣溫の引續き廿度以上にありし最多日數	七二	七月廿六日	九月三日	四〇	
最高氣溫の引續き廿度以上にありし最多日數	七	七月四日	九月四日	四三	

事項	日數	初日	終日	初終日數	本年初日
最高氣溫廿五度以上	一〇七	五月十八日	十月六日	一四二	一
最高氣溫卅度以上	四四	六月廿九日	九日三日	六七	一
最低地溫零度以下	九四	十一月廿日	四月五日	一二八	十一月十一日
霜	八三	十一月廿日	四月二日	一二五	十一月十一日
雪	一一	一月三日	二月十九日	四八	十二月廿四日

事項	日數	初日	終日	日數	本年初日
最高氣溫の引續き三十度以上にありし最多日數	三〇	八月五日	九月三日	三〇	
最低地溫の引續き零度以下にありし最多日數	二七	一月七日	二月二日	二七	
降雪の引續きてありし最多日數	六	十二月九日	十二月十四日	六	
降雪の引續きてありし最多日數	二	十二月廿八日	十二月廿九日	二	

大阪毎時氣象觀測成績

空氣の壓力

氣壓一日中の變化を年平均に就て看るに二回の最高と最低とを現せり即ち第一の最高は午前九時にありて七百六十二粍五八第二の最高は午後十時にありて七百六十二粍一七を示し第一の最低は午前四時にありて七百六十一粍七二第二の最低は午後四時にありて七百六十一粍〇五を示せり、而して其主なる最高低の較差は一粍五三なり又夏季は冬季に比すれは最高は約一時間早く現はるれども主なる最低は四季を通じて概ね午後三時前後に現はる又一年中の變化を看るに寒候に高くして暑候に低く春秋二季は其中間にあり又毎月の平均に就て云へは最高は十二月にありて

七日六時十七秒九〇六。六時間後潮水下降し六月十五日午後一時七分に至る。最高に達せる其最高の日と最低の日との較差は十二糎六分なり

八少く〳〵上昇を始め二月に至る。最高に達せる其最低七百五十五糎三四を示し八月七日午後一時に至る。最低の日と

時	後九時	十時	十一時	夜半	午前一時	明治四十四年	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	平年
一月	七六二・一三	七六二・一九	七六二・一七	七六二・一四	七六二・一六	七六一・八八	七六二・一四	七六二・〇六	七六二・〇六	七六一・九一	七六一・九一	七六二・〇四	七六二・一四	七六二・一三	七六二・一三	七六一・九一
二月	七六二・〇六	七六二・一九	七六二・一七	七六二・一四	七六二・一六	七六二・一四	七六二・〇六	七六一・九四	七六一・九四	七六一・八六	七六一・八六	七六二・〇六	七六二・一四	七六二・一四	七六二・一三	七六一・九一
三月	七六二・〇四	七六二・一七	七六二・一五	七六二・一二	七六二・一四	七六二・〇四	七六一・九四	七六一・八六	七六一・八六	七六一・八六	七六一・八六	七六二・〇四	七六二・一二	七六二・一二	七六二・一二	七六一・九一
四月	七六一・九八	七六二・一五	七六二・一三	七六二・一〇	七六二・一二	七六二・〇二	七六一・九二	七六一・八四	七六一・八四	七六一・八六	七六一・八六	七六二・〇二	七六二・一〇	七六二・一〇	七六二・一〇	七六一・九一
五月	七六二・〇二	七六二・一三	七六二・一一	七六二・〇八	七六二・一〇	七六二・〇〇	七六一・九二	七六一・八四	七六一・八四	七六一・八六	七六一・八六	七六二・〇〇	七六二・〇八	七六二・〇八	七六二・〇八	七六一・九一
六月	七六一・九六	七六二・一一	七六二・〇九	七六二・〇六	七六二・〇八	七六一・九八	七六一・九〇	七六一・八二	七六一・八二	七六一・八四	七六一・八四	七六一・九八	七六二・〇六	七六二・〇六	七六二・〇六	七六一・九一
七月	七六一・九二	七六二・〇九	七六二・〇七	七六二・〇四	七六二・〇六	七六一・九六	七六一・八八	七六一・八〇	七六一・八〇	七六一・八二	七六一・八二	七六一・九六	七六二・〇四	七六二・〇四	七六二・〇四	七六一・九一
八月	七六一・九二	七六二・〇九	七六二・〇七	七六二・〇四	七六二・〇六	七六一・九六	七六一・八八	七六一・八〇	七六一・八〇	七六一・八二	七六一・八二	七六一・九六	七六二・〇四	七六二・〇四	七六二・〇四	七六一・九一
九月	七六一・九四	七六二・一一	七六二・〇九	七六二・〇六	七六二・〇八	七六一・九八	七六一・九〇	七六一・八二	七六一・八二	七六一・八四	七六一・八四	七六一・九八	七六二・〇六	七六二・〇六	七六二・〇六	七六一・九一
十月	七六二・〇一	七六二・一四	七六二・一二	七六二・〇九	七六二・一一	七六二・〇一	七六一・九三	七六一・八五	七六一・八五	七六一・八七	七六一・八七	七六二・〇一	七六二・〇九	七六二・〇九	七六二・〇九	七六二・〇一
十一月	七六二・〇八	七六二・一九	七六二・一七	七六二・一四	七六二・一六	七六二・〇六	七六一・九八	七六一・九〇	七六一・九〇	七六一・九二	七六一・九二	七六二・〇六	七六二・一四	七六二・一四	七六二・一三	七六二・〇一
十二月	七六二・一〇	七六二・二一	七六二・一九	七六二・一六	七六二・一八	七六二・一〇	七六二・〇二	七六一・九四	七六一・九四	七六一・九六	七六一・九六	七六二・一〇	七六二・一八	七六二・一八	七六二・一七	七六二・〇五

空氣の溫度

氣溫一日中の變化は一回の最高と最低とを現せり之れを年平均に就て看るに最高は午後二時にありて十八度四一最低は午前五時にありて十二度二四を示し其較差は六度一七なり又最高は四季を通じて概ね午後二時頃に生すれども最低は冬季にありては午前七時頃夏季にありては午前五時頃に現る晝夜寒暖の差は冬季は五度六八春季は六度七四夏季は六度二八秋季は六度五〇にして春季最も多く夏秋の二季は中間にありて冬季は最も少し又一年中の變化を每月の平均に就て看るに最低は一月にありて四度四六を示し二月は稍々高く三月より急昇して八月に至り最高二十七

度二二に達し爾後漸次下降し十二月は六度七六を示せり而して最暖なる月と最寒なる月との較差は二十二度七六なり即ち次表に示すか如し

月次＼時	午前一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	午後一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時
一月	三,〇一	[illegible]	[illegible]	二,四一	[illegible]	[illegible]	二,一六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	七,二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	五,四八	四,九〇	[illegible]
二月	九,五〇	[illegible]	五,〇二	四,九七	四,七九	[illegible]	四,[illegible]〇	[illegible]	六,六四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月	六,二四	五,九四	五,八三	五,六四	五,四九	五,二四	五,七一	六,九[illegible]	[illegible]	九,[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八,九[illegible]	八,[illegible]
四月	一一,一八	一〇,七九	一〇,七〇	一〇,三四	[illegible],一三	[illegible]	一一,〇〇	一二,四五	[illegible]	一四,九六	[illegible]	[illegible]	[illegible],七四	一六,八[illegible]	[illegible]	一六,一[illegible]	[illegible]	[illegible]	一三,九八	[illegible]
五月	一四,八三	一四,五〇	一四,一一	一三,八九	一三,六七	一三,九八	一五,五三	一七,[illegible]九	一八,四〇	一九,五[illegible]	[illegible]	二[illegible],七	[illegible],七五	[illegible],〇一	[illegible],七六	[illegible],四一	[illegible]	一八,七五	一七,六八	一七,一四
六月	一八,九九	一八,六一	一八,三五	一八,〇五	一七,九〇	一八,三九	一九,八四	[illegible]	[illegible],四五	[illegible],一	[illegible]	二四,四八	[illegible],七一	二四,八[illegible]	二四,六五	[illegible]	[illegible]	[illegible],九二	[illegible]	[illegible]
七月	二[illegible],五五	[illegible],四五	二三,二八	二三,一〇	二二,九六	[illegible],一七	[illegible],八七	[illegible],九四	[illegible],四九	[illegible]	二六,八七	二七,一[illegible]	[illegible]	[illegible],五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible],四[illegible]	[illegible],九[illegible]
八月	二四,八〇	二四,四七	二四,二五	二三,九九	二三,八三	二三,九六	[illegible]	二六,八七	[illegible]	二九,[illegible]〇	二九,六七	三〇,四五	[illegible],九九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二七,[illegible]四	[illegible]
九月	二一,四八	二〇,三三	二〇,〇八	一九,九二	一九,八一	一九,七六	二〇,四五	[illegible],五〇	[illegible]	[illegible],六〇	[illegible]	二四,六八	[illegible],〇五	[illegible],〇六	[illegible]	[illegible],六四	[illegible]	[illegible]	[illegible],〇六	二[illegible],九九
十月	一四,六[illegible]	一四,三六	一四,二〇	一四,〇三	一三,八九	一三,八〇	[illegible]	一五,五[illegible]	一七,三五	一八,八八	一九,八一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月	八,七三	八,四八	八,三〇	八,〇二	七,八八	七,八一	七,八四	九,〇[illegible]	[illegible],八五	[illegible],四〇	[illegible],四八	[illegible]	[illegible],五二	[illegible],九八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月	五,〇一	四,八九	四,七八	四,四三	四,二四	四,二一	四,〇七	四,六[illegible]	五,八八	七,四三	八,六六	九,四五	九,九〇	[illegible]	[illegible]	九,四[illegible]	八,六[illegible]	八,〇九	七,五[illegible]	七,〇九
年	一三,〇八	一二,八一	一二,六三	一二,四〇	一二,二四	一二,二八	一二,八六	一三,九九	一五,[illegible]二	一六,五四	一七,三七	一七,九一	一八,二九	一八,四一	一八,三一	一七,八[illegible]	一七,〇[illegible]	一六,[illegible]	一五,四[illegible]	一四,九四

時	後九	十時	十一時	夜半	午前	明治四十四年	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	平年
	四二七	三九一	三六六	三四六	四四六	四二四	四〇	三三八	四七	五二七	三一四	五八四	三二〇	五四三	三三一	四四四
	七〇五	六六九	六三二	六一〇	七一七	五三二	四一八	三三八	四〇七	二八〇	四一二	七七	五二九	四八七	三八六	七三九
	七六〇	七一六	六六五	六三三	八一三	八一五	六九九	五九七	七三六	六九六	七六六	七四二	七三八	九七九	九一一	七三九
	一三〇四	一二七五	一二三二	一一八七	一三三七	一二七六	一三六八	一二三六	一三三六	一三三五	一三〇一	一二三三	一四五七	一四四〇	一三二八	一三一四
	一六七二	一五九一	一五三九	一五三八	一七一八	一六八八	一七九六	一七三五	一七三五	一七三四	一七六一	一七七九	一七一八	一六五九	一七三三	一七四三
	二〇八七	一九一〇	一九一三	二一四五	二一一五〇	二一一五〇九	二一一三六	二一一三五	二一一三一	二〇六四	二〇八五	二一四九	二一一二九	二一三七	二一七二	二一七六
	二四六三	二四一七	二四一二七	二三一九	二三一八	二三一七	二三一六	二三一四	二三一九	二三一八	二三一八	二三一六	二三一九	二三一八	二三一七	二三一七
	二五一九	二五八四	二五一八	二五一九	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一	二五一一
	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四	二五一四
	一五八二	一五四九	一五一六	一四八六	一四九五	一四八四	一四七九	一四六九	一四六六	一四六六	一四六六	一四六六	一四六六	一四六六	一四六六	一四六六
	九八一	九四二	九一二	八八二	八五九	八四二	八二九	八〇九	七九一	七七四	七五一	七三二	七一〇	六八八	六六四	六四一
	六五四	六三〇	六一〇	五九一	五七一	五五一	五三一	五一一	四九一	四七一	四五一	四三一	四一一	三九一	三七一	三五一
	一四四七	一四二三	一四一二	一三九八	一三八四	一三七〇	一三五六	一三四二	一三二八	一三一四	一三〇〇	一二八六	一二七二	一二五八	一二四四	一二三〇

地中溫度

地皮温度　年平均は十六度五四にして平年に比すれば零度二五低く年中の最高は八月十七日の四十四度一最低は一月十七日の零下一度五にして其較差は四十五度六に及べり而して一日中の變化を看るに氣温に寒暑等しく一回の最高最低とを呈すれども其時刻は最高は氣温より稍々早く最低は略ほ同時刻に生せり年平均に就て之れを看るに最高は午後一時にありて二十三度二六最低は午前五時にありて十二度七九を示し其較差は十度四二なり尚ほ四季に就て看るに最高　概ね午後一時頃に現るれども最低は冬季にありては午前七時頃夏季にありては午前五時頃に現る又

一年中の變化を月平均に就て看るに最低は一月にありて四度二六を示し爾後漸次上昇し八月に至り最高二十九度八六に達し後漸次下降せり其最高の月と最低の月との較差は二十五度六〇なり又晝夜寒暖の差は冬季は八度〇八春季は十三度四九夏季は十三度一六秋季は七度五六にして春夏の二季は多くして冬秋二季は少し又地皮溫度の零下に降りたる日數は七日にして平年に比すれば二十五日少く四十度以上に昇りし日數は二十四日にして平年に比すれば三十一日少し

今地皮より地中六十糎に至る各層の最高最低溫度幷に其起りたる時刻及較差を記すれば左の如し

但し地中十、二十、三十糎は曲管式四十、五十、六十糎は鐵管式地中寒暖計の觀測にして孰れも年平均に依る

地中の深	最高	全上時刻	最低	全上時刻	較差
地皮	二三・三六	午後一時	一二・七九	午前五時	一〇・四七
十糎	一七・六二	午後五時	一五・〇九	午前八時	二・五三
二十糎	一五・九二	午後九時	一五・九二	午前十時	〇・九九
三十糎	一六・二二	午前一時	一六・四二	午後三時	〇・三〇
四十糎	一六・四七	午後一時	一六・二二	午後一時	〇・二四
五十糎	午前一時より六時まで	午前一二時	午前一一時より一二時まで	午前九時より午後七時まで	〇・八
六十糎	午後一時より四時まで				〇・〇二

以上記す所を綜合し地中に熱の傳導する模樣を看るに地中に降るに從ひ漸く遲緩となり即ち最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後五時全二十糎にありては午後八時全三十糎にありては午前一時に生せり又最低は地皮にありては午前五時地中十糎にありては午前八時全二十糎にありては午前十時全三十糎にありては午後二時に生せり而して地中四十糎以下にありては一日中の變化を認め難し地中溫度一年中の變化を日平均に就て看るに地

皮にありては一月十七日に最低を呈し爾後遞昇し八月二日に至り最高に達したれども地中に降るに從ひ漸遲延し地中二百糎の深さにありては最低は二月九日に最高は九月二十四日に生し五百糎の深さにありては最低は六月十五日に最高は十二月四日乃至二十二日に生し更に地中七百糎の深さにありては最低は八月四日に最高は二月二十三日に生し地皮とは高低相反せり之れに依て看る時は地中七百糎即ち二丈三尺の深さにありては冬に於て高温を呈し夏に至り低温となるも其高低の差は僅に一度の十分八に過ぎす

今地皮より地中七百糎に至る各層の最高低温度幷に其起りたる月日及較差を表記すれは左の如し

地中の深最高月日最低月日較差

地皮	二、六七	八月二日	一月十七日	二九、四九
三十糎	二、九四〇	八月二十三日	二月一日	二三、八六
四十糎	二八、五〇	八月廿三日	二月一日	二二、六八
五十糎	二七、七七	八月廿三日	二月一日	二一、三三
六十糎	二六、八七	八月廿四日	二月二日	一九、六二
百二十糎	二四、四〇	九月〔一、三、四、七、八日〕	二月十二日	一四、六〇
二百糎	二二、二七	九月二十四日	二月九日	九、〇五
三百糎	一八、六五	〔十月二十四、二十五、三十一日、十一月一日〕	〔四月三十日、五月二日〕	四、二五
五百糎	一七、四九	十二月〔四、十二、二十二日〕	六月十五日	一、八五
七百糎	一六、八〇	二月廿三日	八月四日	〇、八〇

上表に依り各深さに於ける温度の最高及最低の生する日子を看るに最低は地皮にありては一月十七日に地中二百糎にありては二月九日に生し地皮より遲延する事約二ヶ月地中五百糎にありては六月十五日に生し地皮より遲延することと約五ヶ月、地中七百糎にありては八月四日に生し地皮より遲延することと約七ヶ月に及へり又最高は地皮にあり

ては八月二日に生ずれども地中二百糎にありては九月二十四日に生し地皮より遲延すること約二ヶ月地中五百糎にありては十二月中に生し地皮より遲延すること約四ヶ月地中七百糎にありては翌年二月二十三日に生し地皮より遲延すること約六ヶ月に及へり而して最高低の較差も亦地中に降るに從ひ減少し即ち地皮にありては二十九度四九なるも地中二百糎にありては九度五六にして地皮の約三分一に減し全五百糎にありては一度八五にして地皮の約十五分一、全七百糎にあては零度八〇にして地皮の約三十七分一に減少せり、之れに由りて一年中始と温度の變ぜさる所即ち不易層の深さを推算するに約十米なり

今地皮より地中七百糎に至る各層の毎月平均温度を記すれは左の如し

地中の深	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
地皮		四、二六	七、四一	九、四五	一五、六五	二〇、八四	二四、五五	二七、六九	二九、八六	二三、三六	一七、七二	一一、二二	六、四三	一六、九四
三十糎		六、一九	七、五二	九、六四	一三、九八	一八、八二	二三、四七	二五、六七	二八、三六	二四、三〇	一九、一七	一三、七五	八、九七	一六、五六
四十糎		六、五〇	七、四八	九、五四	一三、五九	一八、三四	二二、八八	二五、〇〇	二七、五〇	二四、〇六	一九、一四	一三、九六	九、二三	一六、三五
五十糎		七、二五	七、七二	九、七一	一三、三〇	一八、〇二	二二、四八	二四、四四	二六、九四	二四、二九	一九、七三	一四、八一	一〇、一三	一六、四八
六十糎		八、一一	八、一四	九、九四	一二、九七	一七、四九	二〇、七六	二三、六四	二六、一一	二四、三〇	二〇、〇八	一五、六〇	一一、〇七	一六、五二
百二十糎		一一、一四	九、九四	一〇、八三	一二、二八	一五、七二	一八、四九	二一、二二	二三、七〇	二一、〇〇	一七、七四	一三、九七	一〇、七三	一六、六三
二百糎		一四、四六	一二、七八	一二、三八	一二、九四	一四、〇〇	一五、八〇	一七、七四	一九、六〇	一八、三九	一七、九〇	一五、五一	一四、〇五	一六、四〇
三百糎		一六、八九	一五、八二	一四、九八	一四、五四	一四、五六	一五、〇九	一五、九〇	一六、三九	一七、九〇	一八、五〇	一八、五二	一七、九四	一六、四三
五百糎		一七、一一	一六、八六	一六、四七	一六、〇九	一五、八〇	一五、六八	一五、七六	一六、〇九	一六、四四	一六、八八	一七、三九	一七、一九	一六、四八
七百糎		一六、六六	一六、七三	一六、六四	一六、五〇	一六、三六	一六、二五	一六、二三	一六、二〇	一六、二九	一六、四三	一六、八四	一六、七四	一六、五一

今地皮より地中三十糎に至る平均を舉くれは左の如し

地皮温度

時/月次	午前											正午	午後										夜半
	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
一月	二二〇	二〇四	一九四	一八四	一七五	一七二	一六五	一六二	一五九	一五八	一五七	一五七	一五八	一五九	一六二	一六五	一七二	一七五	一八四	一九四	二〇四	二一〇	二一四
二月	四九三	四七三	四七四	四六三	四五四	四四二	四三九	四三九	四四二	四五四	四六三	四七四	四九三	五一〇	五三三	五六一	五九三	六三三	六八三	七四三	七九三	八四三	八八三
三月	六五五	六三三	六二六	五九九	五八八	五七三	五六一	五五八	五五八	五六一	五七三	五八八	五九九	六二六	六三三	六五五	六七三	六八八	七〇一	七一三	七二三	七三〇	七三六
四月	八二四	八一三	八〇六	八〇六	八〇八	八一四	八二二	八三一	八四二	八五四	八六六	八七九	八九二	九〇四	九一四	九二二	九三〇	九三六	九四〇	九四二	九四二	九四〇	九三六
五月	一〇二六	一〇一四	一〇〇八	一〇〇八	一〇一四	一〇二六	一〇四二	一〇五九	一〇七八	一〇九八	一一一八	一一三七	一一五五	一一七一	一一八四	一一九四	一二〇〇	一二〇八	一二一三	一二一六	一二一七	一二一六	一二一三
六月	一二〇九	一一九五	一一八六	一一七九	一一七三	一一六九	一一六六	一一六五	一一六六	一一六九	一一七三	一一七九	一一八六	一一九五	一二〇九	一二二四	一二三九	一二五六	一二七三	一二八九	一三〇五	一三一九	一三三二
七月	一二四二	一二三一	一二二六	一二二〇	一二一六	一二一三	一二一二	一二一二	一二一三	一二一六	一二二〇	一二二六	一二三一	一二四二	一二五四	一二六六	一二七八	一二八九	一二九九	一三〇八	一三一六	一三二二	一三二六
八月	一二三九	一二三六	一二三四	一二三二	一二三一	一二三一	一二三一	一二三二	一二三四	一二三六	一二三九	一二四二	一二四六	一二五〇	一二五四	一二五八	一二六二	一二六五	一二六八	一二七一	一二七三	一二七五	一二七六
九月	一二一四	一二一三	一二一二	一二一一	一二一一	一二一一	一二一一	一二一二	一二一三	一二一四	一二一六	一二一八	一二二〇	一二二二	一二二四	一二二六	一二二八	一二三〇	一二三二	一二三四	一二三五	一二三六	一二三七
十月	一一五四七	一一五二八	一一五一九	一一五〇一	一一四九二	一一四八八	一一四八五	一一四八五	一一四八八	一一四九二	一一五〇一	一一五一九	一一五二八	一一五四七	一一五六九	一一五九五	一一六二五	一一六五八	一一六九二	一一七二八	一一七六五	一一八〇一	一一八三五
十一月	九四〇	九二九	九一五	九〇一	八八八	八七五	八六八	八六五	八六八	八七五	八八八	九〇一	九一五	九二九	九四〇	九四九	九五七	九六二	九六五	九六五	九六二	九五七	九四九
十二月	四七三	四五七	四三四	四一九	四〇五	三九五	三九〇	三八九	三九〇	三九五	四〇五	四一九	四三四	四五七	四八二	五一一	五四五	五八四	六二八	六七二	七一五	七五八	八〇一
年	一三四八	一三二七	一三一四	一二九四	一二七九	一二六四	一二五一	一二四一	一二三四	一二三〇	一二二八	一二二七	一二二八	一二三〇	一二三四	一二四一	一二五一	一二六四	一二七九	一二九四	一三一四	一三三二	一三五〇

地中十糎の温度

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
明治四十四年 平均	四、二六	七、四一	九、四五	一五、六五	二〇、八四	二三、五五	二七、六九	二九、八六	二三、三六	一七、七二	一一、二二	六、四一	一六、五四
全四十三年	四、二〇	五、八五	七、七二	一四、〇八	一八、四八	二三、九五	二七、八二	二九、八三	二三、一三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全四十二年	四、二九	三、四二	八、一五	一五、一二	二一、一三	二四、五四	三一、六二	三〇、七四	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全四十一年	四、七	四、四九	九、一八	一五、六〇	二一、〇〇	二五、八一	三一、四一	三〇、六七	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全四十年	四、四三	三、三〇	八、九五	一五、〇六	二一、〇〇	二五、七九	三〇、九〇五	三〇、五九	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全三十九年	三、七三	四、四七	八、九四	一五、一一	二〇、九四	二四、四八	三〇、九〇三	三〇、五九	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全三十八年	五、二六	四、四七	八、九四	一五、一一	二一、一〇	二四、五八	三〇、九〇三	三〇、五九	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全三十七年	三、二一	五、九五	九、五一	一七、三五	二一、九八	二五、九〇	三一、七五	三〇、七四	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全三十六年	四、二一	五、九三	一一、六六	一七、〇三	二一、九八	二五、八一	三一、七五	三〇、七四	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四
全三十五年 平年	二、八〇	四、五三	一一、〇七	一七、〇三	二一、九八	二五、八一	三一、七五	三〇、七四	二九、六三	一七、〇三	一一、六八	五、八八	一六、四四

月次	時	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時
一月	午前	五、〇二	四、九〇	四、七七	四、六八	四、五八	四、四九	四、三九	四、三〇
二月		七、〇三	六、九四	六、八四	六、七三	六、六三	六、五四	六、四一	六、三三
三月		九、二八	九、一二	八、九八	八、七八	八、六八	八、五八	八、四八	八、三九
四月		一四、〇三	一三、七八	一三、五八	一三、三四	一三、一六	一二、九八	一二、八四	一二、七九
五月		一八、七六	一八、五一	一八、二七	一八、〇二	一七、七八	一七、六〇	一七、四五	一七、三九
六月		二二、六二	二二、三八	二二、一〇	二一、八二	二一、六二	二一、四二	二一、二五	二一、一六
七月		二六、一一	二五、九〇	二五、七〇	二五、五〇	二五、三〇	二五、一〇	二四、九二	二四、七三
八月		二八、一一	二七、九二	二七、七二	二七、五二	二七、三二	二七、一三	二六、九三	二六、七六
九月		二三、五四	二三、三四	二三、一四	二二、九四	二二、七四	二二、五四	二二、三五	二二、一六
十月		一七、九七	一七、八〇	一七、六五	一七、五二	一七、四三	一七、三五	一七、二九	一七、二二
十一月		一二、一二	一二、〇五	一一、九八	一一、九二	一一、八六	一一、八〇	一一、七四	一一、六九
十二月		七、四九	七、三七	七、二六	七、一六	七、〇五	六、九四	六、八二	六、七一
年		一六、〇五	一五、八七	一五、七一	一五、五四	一五、四〇	一五、二七	一五、一三	一五、〇九

	前九時	前十時	前十一時	正午	後一時	後二時	後三時	後四時	後五時	後六時	後七時	後八時	後九時	後十時	後十一時	夜半	平均
明治四十四年	四三、三五	四四、〇九	四四、四九	四四、八四	四五、一五	四五、四四	四五、六九	四五、八九	四五、九八	四五、九九	四五、九六	四五、八九	四五、七四	四五、五三	四五、二二	四四、八五	四五、〇四
全四十三年	六、三〇	六、三四	六、四八	六、六四	六、七八	六、八五	六、九一	六、九二	六、九〇	六、八五	六、七八	六、六九	六、五八	六、四五	六、三二	六、一八	六、四四
全四十二年	八、三〇	八、三四	八、四八	八、六四	八、七八	八、八五	八、九一	八、九二	八、九〇	八、八五	八、七八	八、六九	八、五八	八、四五	八、三二	八、一八	八、四四
全四十一年	一一、九四	一一、九三	一一、九三	一一、九三	一一、九四	一一、九五	一一、九六	一一、九六	一一、九五	一一、九四	一一、九三	一一、九二	一一、九一	一一、九〇	一一、八九	一一、八八	一一、九一
全四十年	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二	一三、七二
全三十九年	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三	一五、四三
全三十八年	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八	一七、一八
全三十七年	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二	一八、九二

地中二十糎の溫度

月次＼時	午前一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	午後一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	平年
一月	五,七七	五,七一	五,六五	五,六〇	五,五二	五,四七	五,四八	五,三五	五,二九	五,二六	五,二四	五,二四	五,二七	五,三五	五,四八	五,六〇	五,七一	五,七九	五,八五	五,八九	四,七一
二月	七,四一	七,三八	七,三一	七,二四	七,一八	七,一二	七,〇四	六,九七	六,九四	六,九〇	六,九一	六,九一	六,九九	七,〇九	七,二七	七,四〇	七,五六	七,六六	七,七五	七,八〇	五,三六
三月	九,七二	九,六四	九,五六	九,四五	九,三五	九,二七	九,一六	九,〇八	九,〇一	八,九六	八,九五	九,〇一	九,一一	九,二三	九,三八	九,五五	九,七一	九,八一	九,九一	九,九三	九,〇二
四月	一四,三四	一四,二四	一四,一三	一四,〇一	一三,八八	一三,七六	一三,六五	一三,五四	一三,五〇	一三,四七	一三,五一	一三,六二	一三,七九	一三,九七	一四,二六	一四,四九	一四,六九	一四,八二	一四,九一	一四,九五	一五,〇九
五月	一九,三三	一九,一七	一九,〇二	一八,八七	一八,七四	一八,六〇	一八,五〇	一八,四一	一八,三四	一八,三三	一八,四〇	一八,五三	一八,七一	一八,九一	一九,一九	一九,四五	一九,六三	一九,八三	一九,八四	一九,八七	一九,八一
六月	二三,〇六	二二,九三	二二,八二	二二,六四	二二,五三	二二,四一	二二,二八	二二,二〇	二二,一二	二二,一二	二二,一九	二二,三二	二二,五〇	二二,六九	二二,九五	二三,一七	二三,三六	二三,五一	二三,五六	二三,五八	二三,七〇
七月	二六,三一	二六,二〇	二六,一〇	二六,〇〇	二五,九二	二五,八四	二五,七四	二五,六八	二五,六二	二五,六二	二五,六六	二五,七六	二五,八九	二六,〇三	二六,二三	二六,四一	二六,五六	二六,六四	二六,七三	二六,七四	二七,六七
八月	二八,八二	二八,七一	二八,六〇	二八,四八	二八,三九	二八,二七	二八,一四	二七,九八	二七,九五	二七,九八	二八,〇五	二八,一五	二八,三一	二八,四八	二八,七〇	二八,九二	二九,〇七	二九,一六	二九,二三	二九,二三	三〇,〇三
九月	二四,二八	二四,一九	二四,一〇	二四,〇二	二三,九六	二三,八九	二三,七九	二三,七二	二三,六八	二三,六六	二三,六七	二三,七一	二三,七九	二三,八八	二四,〇〇	二四,一三	二四,二二	二四,二七	二四,三一	二四,三一	二五,三六
十月	一八,八九	一八,七九	一八,七二	一八,六四	一八,五五	一八,四八	一八,三九	一八,三二	一八,二六	一八,二五	一八,二五	一八,二七	一八,三六	一八,四七	一八,六四	一八,七六	一八,八八	一八,九六	一九,〇一	一九,〇三	一八,五七
十一月	一三,二一	一三,一五	一三,〇七	一三,〇〇	一二,九四	一二,八六	一二,七七	一二,七〇	一二,六三	一二,六一	一二,五九	一二,六〇	一二,六七	一二,七三	一二,八九	一二,九九	一三,〇九	一三,一五	一三,一八	一三,一八	一一,七〇
十二月	八,三六	八,三三	八,二五	八,二〇	八,一五	八,一〇	八,〇三	七,九五	七,九二	七,八七	七,八六	七,八八	七,九三	八,〇二	八,一〇	八,二〇	八,二一	八,三一	八,三八	八,四四	六,五五
年	一六,六六	一六,五四	一六,四四	一六,三五	一六,二六	一六,一七	一六,〇七	一五,九九	一五,九四	一五,九二	一五,九四	一六,〇〇	一六,一二	一六,二四	一六,四二	一六,五九	一六,七三	一六,八三	一六,八九	一六,九一	一六,四一

地中三十糎の溫度

月次	午一時	午二時	午三時	午四時	午五時	午六時
一月	六、三二	六、三〇	六、三〇	六、三九	六、三五	
二月	七、一四	七、〇六	七、〇五	七、〇三	七、〇二	七、〇〇
三月	九、八一	九、八一	九、八〇	九、七八	九、七七	九、七一
四月	一四、一二	一四、〇九	一四、〇八	一四、〇三	一四、〇一	一三、九七
五月	一八、九九	一八、九八	一八、九四	一八、九一	一八、八八	一八、八三
六月	二二、六〇	二二、六〇	二二、五八	二二、五五	二二、五二	二二、四八
七月	二五、八〇	二五、七八	二五、七六	二五、七四	二五、七〇	二五、六七
八月	二八、四二	二八、四〇	二八、三九	二八、三七	二八、三三	二八、二九
九月	二四、五二	二四、四九	二四、四八	二四、四五	二四、四三	二四、三九
十月	一九、三三	一九、三二	一九、二九	一九、二七	一九、二五	一九、二三
十一月	一三、九六	一三、九四	一三、九二	一三、八九	一三、八六	一三、八三
十二月	九、〇九	九、〇八	九、〇八	九、〇七	九、〇五	九、〇二
年	一六、七一	一六、七〇	一六、六八	一六、六六	一六、六四	一六、六〇

月次	後九時	後十時	後十一時	夜半	平均	明治四十四年	仝四十三年	仝四十二年	仝四十一年	仝四十年	仝三十九年	仝三十八年	仝三十七年 平
一月	五、八八	五、八六	五、八三	五、七九	五、七七	四、七四	六、三二	四、七六	四、九三	五、〇二	三、四四	五、六四	四、八八
二月	七、七八	七、七七	七、七二	七、六八	七、五三	五、九三	四、一二	五、一三	四、六三	三、七九	四、三六	四、八八	四、五二
三月	九、九四	九、九三	九、八四	九、七九	九、七二	七、〇一	七、四〇	七、六八	八、六〇	八、四九	八、二九	八、七八	八、〇〇
四月	一四、九二	一四、八七	一四、七八	一四、六八	一四、三〇	一三、二八	一四、〇三	一四、〇七	一四、六五	一五、一六	一四、五三	一四、三五	一四、七九
五月	一九、八六	一九、七八	一九、六五	一九、五五	一九、一〇	一七、三九	一九、九〇	一九、〇〇	一九、三二	二〇、一六	一九、六二	一九、六九	一九、四九
六月	二三、三六	二三、三三	二三、二七	二三、一八	二二、七六	二一、六六	二三、六八	二四、一九	二三、一六	二三、二六	二三、三七	二三、〇五	二三、五二
七月	二六、七二	二六、六七	二六、五〇	二六、三八	二六、一七	二五、三〇	二八、九三	二六、三八	二八、〇七	二七、〇六	二八、〇一	二八、八一	二七、九六
八月	二九、一九	二九、一四	二八、九四	二八、八二	二八、六二	二七、八八	二八、五九	二九、二三	三一、六二	二九、七三	三〇、八三	三〇、〇九	三一、九一
九月	二四、二七	二四、一七	二四、一一	二四、〇一	二三、八八	二三、六八	二三、五八	二四、〇七	二三、六四	二四、九一	二三、四五	二六、一一	二五、二三
十月	一九、〇〇	一八、九九	一八、八五	一八、八五	一八、六五	一八、八五	一七、六五	一七、七一	一七、七四	一八、五五	一八、一三	一八、〇九	一八、五七
十一月	一三、一六	一三、一四	一三、〇三	一三、〇三	一二、九三	一三、九四	一三、六三	一二、〇九	一二、六六	一二、八四	一〇、九一	一一、八〇	九、七四
十二月	八、四四	八、四二	八、三七	八、三四	八、一八	六、九三	六、九五	六、九三	五、九六	五、四二	六、〇三	八、一九	六、五二
年	一六、八九	一六、八六	一六、七八	一六、七一	一六、四二	一六、一八	一六、一五	一六、〇七	一六、三〇	一六、二七	一六、九八	一六、四九	一六、六九

前					正	午後											夜	平	明治	仝	仝	仝	仝	仝
七時	八時	九時	十時	十一時	午	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	中	均	四十四年	四十三年	四十二年	四十一年	四十年	三十九年
六,二一	六,一八	六,一五	六,一四	六,一三	六,一一	六,〇九	六,〇八	六,〇七	六,〇七	六,〇八	六,一三	六,一五	六,一九	六,二二	六,二四	六,二六	六,二七	六,一九	五,四五	六,九二	五,三九	五,五七	五,六三	四,三三
七,四七	七,四六	七,四四	七,四三	七,四一	七,三九	七,三八	七,三八	七,四〇	七,四二	七,四三	七,四九	七,五四	七,五八	七,六四	七,六七	七,七二	七,七三	七,五一	六,五五	四,七一	四,五四	五,〇九	四,四三	四,八八
九,六七	九,六四	九,六一	九,五九	九,五五	九,五一	九,四八	九,四七	九,四七	九,四八	九,五三	九,五六	九,六一	九,六五	九,七一	九,七四	九,七六	九,七九	九,六四	九,二一	六,九七	七,九八	八,八三	八,六七	八,五六
一三,九[illegible]	一三,九〇	一三,八七	一三,八四	一三,八〇	一三,七八	一三,七六	一三,七七	一三,七九	一三,八二	一三,八八	一三,九六	一四,〇四	一四,一〇	一四,一七	一四,二二	一四,二六	一四,二九	一三,九八	一三,三二	一三,九七	一四,九三	一四,七〇	一四,八六	一四,五二
一八,八一	一八,七七	一八,七二	一八,六九	一八,六五	一八,六四	一八,六一	一八,六一	一八,六二	一八,六七	一八,七三	一八,七九	一八,八五	一八,九三	一八,九九	一九,〇三	一九,〇七	一九,〇九	一八,八二	一七,三五	一九,六五	一九,六三	一九,二二	一九,八四	一九,五六
二二,四三	二二,四〇	二二,三七	二二,三四	二二,三一	二二,二七	二二,二七	二二,二七	二二,二九	二二,三三	二二,三八	二二,四五	二二,五〇	二二,五七	二二,六二	二二,六八	二二,七一	二二,七一	二二,四七	二一,六八	二三,六七	二三,一九	二四,〇一	二三,〇六	二三,二七
二五,六四	二五,六〇	二五,五九	二五,五六	二五,五五	二五,五三	二五,五二	二五,五三	二五,五三	二五,五五	二五,六一	二五,六四	二五,六九	二五,七六	二五,八〇	二五,八二	二五,八六	二五,八八	二五,六七	二六,〇六	二八,六二	二七,七〇	二八,〇五	二七,三九	二七,八四
二八,二五	二八,二四	二八,二〇	二八,一五	二八,一三	二八,一一	二八,〇九	二八,一〇	二八,一三	二八,一五	二八,一九	二八,二三	二八,二八	二八,三二	二八,三七	二八,四〇	二八,四二	二八,四三	二八,二六	二七,一六	二八,六一	三一,三四	二九,三七	二九,六〇	三〇,六七
二四,三六	二四,三三	二四,三〇	二四,二五	二四,二四	二四,二一	二四,一八	二四,一八	二四,一七	二四,一八	二四,二〇	二四,二三	二四,二四	二四,二七	二四,二九	二四,三〇	二四,三〇	二四,三八	二四,三〇	二六,一五	二三,九六	二六,六〇	二四,四四	二五,二八	二四,八六
一九,二〇	一九,一九	一九,一五	一九,一二	一九,一〇	一九,〇八	一九,〇七	一九,〇五	一九,〇五	一九,〇五	一九,〇六	一九,〇九	一九,一二	一九,一六	一九,一九	五九,二〇	一九,二二	一九,二三	一九,一七	一九,四五	一八,二六	一八,四六	一九,一四	一九,二六	一八,七三
一三,八〇	一三,七八	一三,七六	一三,七三	一三,七二	一三,六八	一三,六六	一三,六四	一三,六三	一三,六一	一三,六二	一三,六五	一三,六六	一三,六九	一三,七二	一三,七二	一三,七三	一三,七三	一三,七五	一四,五四	一三,三九	一二,四〇	一一,八七	一三,六一	一一,八六
九,〇〇	八,九九	八,九七	八,九五	八,九四	八,九三	八,九一	八,八八	八,八八	八,八七	八,八七	八,九〇	八,九一	八,九四	八,九九	八,九八	八,九九	八,九九	八,九七	九,一一	七,七六	六,七七	七,五七	六,四二	六,九一
一六,五六	一六,五四	一六,五一	一六,四八	一六,四六	一六,四四	一六,四二	一六,四一	一六,四二	一六,四三	一六,四六	一六,五一	一六,五五	一六,六〇	一六,六四	一六,六七	一六,六九	一六,七〇	一六,五六	一六,三四	一六,四三	一六,五八	一六,三二	一六,五〇	一六,三三

全三十八年平	全三十七年平
六、二五	六、二五
五、四七	五、四七
八、九六	八、九六
九、〇二	九、〇二
一四、四二	一四、四二
一六、〇〇	一六、〇〇
一九、六〇	一九、六〇
一九、五三	一九、五三
一九、二七	一九、二七
二三、五〇	二三、五〇
二四、三四	二四、三四
二九、三五	二九、三五
三一、八〇	三一、八〇
二七、〇六	二七、〇六
二七、二八	二七、二八
二九、六九	二九、六九
二六、四四	二六、四四
二四、五五	二四、五五
二一、六四	二一、六四
一九、二三	一九、二三
一九、六四	一九、六四
一九、一九	一九、一九
一八、一八	一八、一八
一六、六四	一六、六四
一六、八一	一六、八一

水蒸氣張力

水蒸氣張力（空氣中に現存せる處の水蒸氣の張力即ち壓力なり）は一日中に一回の最高と最低とを呈せり之れを年平均に就て看るに最低は氣溫と略ぼ等しく午前六時頃に生ずれども最高は稍々遲延し午後六時頃に現る又一年中の變化は一月に於て最低を呈し爾後漸次增高し八月に至り最高に達せり、而して最高の月と最低の月との較差は一五粍四一なり即ち次表に示すが如し

時 / 月次	午前 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	午 十二時
一月	四、一八	四、一二	四、一二	四、一三	四、一四	四、一九	四、一六	四、一九	四、二三	四、二六	四、二八	四、一八
二月	五、四八	五、四二	五、四三	五、四二	五、三六	五、三二	五、四〇	五、四八	五、五六	五、六九	五、六八	五、八一
三月	五、九〇	五、八四	五、六五	五、六四	五、六三	五、六一	五、五〇	五、五〇	五、七〇	五、七五	五、七五	五、八六
四月	八、四六	八、四三	八、三一	八、三二	八、二五	八、二八	八、一五	八、二三	八、三七	八、二七	八、二七	八、三四
五月	一〇、三〇	一〇、二五	一〇、一三	一〇、〇六	一〇、〇一	一〇、〇〇	一〇、三五	一〇、四五	一〇、四五	一〇、四七	一〇、五七	一〇、五一
六月	一三、一三	一三、〇六	一二、九四	一二、九七	一三、〇六	一三、〇三	一三、〇四	一二、九八	一三、〇二	一三、〇七	一三、〇七	一三、一六四
七月	一八、七七	一八、八四	一八、八一	一八、八二	一八、七〇	一八、七二	一八、七七	一八、八一	一八、七七	一八、七七	一八、八八	一八、九六
八月	一九、九二	一九、九六	一九、七七	一九、八三	一九、六〇	一九、五五	一九、七一	一九、八二	一九、九三	一九、〇三	一九、一八	一九、一八
九月	一五、五七	一五、四六	一五、四九	一五、四〇	一五、三〇	一五、二〇	一五、一二	一五、一〇	一五、一〇	一五、一〇	一五、一三	一五、二二
十月	一〇、六四	一〇、七三	一〇、八〇	一〇、七七	一〇、五〇	一〇、五一	一〇、五〇	一〇、五五	一〇、五八	一〇、八五	一〇、八五	一〇、九三
十一月	七、七二	六、九七	六、九四	六、八八	六、八二	六、八五	六、八五	六、八五	七、〇三	七、〇三	七、一七	七、一九
十二月	八、二七	八、二九	八、二一	八、二〇	八、一二	八、一二	八、一一	八、一一	八、一一	八、一〇	八、一二	八、一四九
年	一〇、四九	一〇、四二	一〇、三五	一〇、三五	一〇、二二	一〇、二〇	一〇、二一	一〇、二一	一〇、二四	一〇、二五	一〇、二九	一〇、三四

| 年 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 明治 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全

濕度

濕度（空氣中に水蒸氣を飽和したるものと空氣中に現存せる水蒸氣との比にして百分率を以て示す）は一日中に一回の最大と最小とを呈せり其時刻は氣温と全く反比例にして氣温の最低に達する午前五時頃に最大を現はし氣温の最高に達せんとする午後二時頃に最小を呈せり之れを年平均に就て看るに最大は午前五時にありて八十四、四最小は午後二時にありて六十、一を示し其較差は二十四、三なり而して一年中の變化は冬春二季は少くして夏秋の二季は多し而して最大の月は七月にありて七十九、八最小の月は一月にありて六十七、三を示し其較差は十二、五なり卽ち次表に示すが如し

月次	午前 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午 一時
一月	七三、九	七三、九	七四、六	七六、二	七六、七	七六、五	七七、六	七六、七	七二、〇	六八、六	五五、八	
二月	七八、九	七九、七	八〇、六	八〇、四	八〇、七	八一、一	八二、九	七九、八	七三、六	六七、八	六四、六	六二、三
三月	八一、二	八二、二	八〇、〇	八一、〇	八一、六	八三、二	八四、四	八二、三	七七、二	六九、四	六三、五	六一、七
四月	八〇、九	八三、九	八二、一	八三、九	八四、〇	八三、八	八五、七	八四、七	八〇、七	七二、三	六六、八	六七、七
五月	八二、一	八三、七	八三、二	八三、八	八四、四	八三、〇	八七、三	八七、三	八二、七	七六、〇	七〇、五	七七、九
六月	八四、一	八五、〇	八五、五	八五、八	八六、五	八四、五	八七、三	八四、二	八二、七	七九、七	七一、〇	七〇、四
七月	八六、三	八七、九	八七、九	八八、八	八八、九	八七、九	八八、九	八九、七	八四、〇	七九、七	七四、〇	六九、九
八月	八五、五	八七、二	八七、八	八八、二	八九、一	八八、三	八七、九	八八、二	八二、七	七七、二	七一、二	六八、六
九月	八五、五	八六、一	八六、九	八七、九	八七、九	八七、三	八三、九	八六、六	八一、四	七四、五	六七、九	六四、八
十月	八四、七	八六、八	八六、〇	八七、六	八七、九	八八、五	八六、六	八四、七	八〇、三	七四、四	六七、二	六五、七
十一月	八一、三	八二、二	八二、九	八三、七	八三、六	八四、一	八四、七	八三、六	八〇、九	七四、一	六六、〇	六五、九
十二月	七九、八	八〇、四	八〇、〇	八一、七	八一、九	八一、九	八一、六	八一、六	七九、八	七七、四	六八、七	六三、三
年	八二、〇	八二、九	八三、三	八四、一	八四、四	八四、二	八三、三	八一、六	七八、八	七一、三	六六、三	六四、一

年	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日	干支	月	日
中	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
平	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
安	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
東	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
全	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
慶	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
忠	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
清	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
黄	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
咸	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
平	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
江	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
原	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
京	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
畿	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
黄	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
平	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
咸	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
慶	己巳	一	一	庚午	一	一	辛未	一	一	壬申	一	一	癸酉	一	一	甲戌	一	一	乙亥	一	一	丙子	一	一
全

飽差（空氣中に水蒸氣を飽和したるものと空氣中に現存せる分量との差にして一米立方に對する瓦數を以て示す）は濕度と反對にして濕度の最大の時は少くして濕度の最小の時に多し今之れを詳記するに年平均は三瓦、八一にして平年に比すれば零瓦〇四少く其最多は八月十九日の二十二瓦一にして絶對最多（明治四十一年八月四日の二十九瓦八）に比すれば七瓦七少し而して年平均に就て最多は午後二時にありて六瓦八〇最少は午前五時にありて一瓦六九を示し其較差は五瓦一一なり又一年中の變化は二月に於て最少を呈し爾後增加し八月に至り最多に達し爾後減少せり而して最多の月と最小の月との較差は五瓦〇九なり

月次	時	午前										正午	午後										
		一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
一月		一、六二	一、五九	一、五二	一、五九	一、三九	一、三八	一、三〇	一、三八	一、四四	一、四五	一、三〇九	三、三八	三、四五	三、四八	三、五二	三、四三	三、四三	三、四二	三、三九	三、三五	三、三四	三、三〇九
二月		一、五一	一、四三	一、三三	一、三一	一、二八	一、二四	一、一四	一、一九	一、一九	一、一九	一、一一二	三、一二	三、一六	三、一四	三、一二	三、一二	三、一二	三、一二	三、一二	三、一二	三、一二	三、一二
三月		一、三五	一、三五	一、四二	一、三三	一、三七	一、三六	一、三二	一、三九	一、三四	一、三四	一、三四	三、四八	三、四八	三、四六	三、四八	三、四七	三、四六	三、四五	三、四四	三、四三	三、四二	三、四一
四月		一、八五	一、六三	一、七二	一、四八	一、四四	一、四六	一、三五	一、四八	一、四六	一、四六	一、四六	五、一〇	五、〇九	五、〇八	五、〇八	五、〇七	五、〇六	五、〇六	五、〇五	五、〇四	五、〇三	五、〇二
五月		二、二〇	二、二三	二、二〇	一、九四	一、八七	二、〇二	二、〇七	二、一九	四、二〇	二、八七	二、八六	七、四七	七、四二	七、三九	七、三二	七、二九	七、二五	七、二二	七、一九	七、一六	七、一三	七、一〇
六月		二、一五四	二、一三七	二、二五	二、一一九	二、一〇五	二、一四四	二、一五七	三、一八六	五、三八	六、六〇	七、六二	九、一七	九、一六	八、九九	八、八〇	八、七九	八、七七	八、七五	八、七三	八、七一	八、六九	八、六七
七月		二、一九一	二、一八八	二、一六八	二、一五九	二、一三一	二、一五九	二、一四九	三、四一	四、六九	五、五〇	六、五二	八、〇一	八、〇一	七、九九	七、九六	七、九四	七、九二	七、九〇	七、八八	七、八六	七、八四	七、八二
八月		二、三三〇	二、二八一	二、二三三	二、二一四	二、一九二	二、一五三	二、一五四	三、四〇九	四、六一	五、五〇	六、五七	八、〇七	八、〇六	八、〇四	八、〇二	八、〇〇	七、九八	七、九六	七、九四	七、九二	七、九〇	七、八八
九月		二、一五〇	二、一四九	二、一三三	二、一一四	二、〇九二	二、〇五四	二、〇五四	三、〇〇	四、〇三	五、四四	六、六〇	八、一四	八、一二	八、一〇	八、〇八	八、〇六	八、〇四	八、〇二	八、〇〇	七、九八	七、九六	七、九四
十月		一、九八	一、九八	一、九二	一、八六	一、八二	一、八四	一、八〇	一、八〇	二、〇四〇	三、七八	五、五〇	七、一八	七、一七	七、一五	七、一三	七、一一	七、〇九	七、〇七	七、〇五	七、〇三	七、〇一	六、九九
十一月		一、六二	一、五二	一、四六	一、三八	一、三三	一、三七	一、三三	一、三三	一、八五	二、八五	三、七六	五、一五	五、一七	五、一九	五、二一	五、二三	五、二五	五、二七	五、二九	五、三一	五、三三	五、三五
十二月		一、四一	一、三五	一、三六	一、二九	一、二二	一、一九	一、一九	一、一三	一、一九	一、一四〇	二、三〇	三、〇一	三、〇二	三、〇三	三、〇四	三、〇五	三、〇六	三、〇七	三、〇八	三、〇九	三、一〇	三、一一
年		二、〇七	一、九一	一、八四	一、七四	一、六九	一、七八	一、七五	一、七九	三、一八	四、二一	五、二一	六、八〇	六、七五	六、六三	六、五一	六、三六	六、二二	六、〇九	五、九六	五、八三	五、七〇	五、五六

降水日數

降水日數は雨雪、霰、雹等の水量二粍の半ゝの二以上ありたるものにして二ヶ年の總日數は百三十四日に達せり之れは總體に比すれば四日少く絶對最多（明治三十八年の百七十六日）に比すれば四十三日少く絶對最少（川相二十年の百〇六日）に比すれば三十八日多く明治三十年間に於て參考より第十八位に居れり而して二年中の變化を看るに降雨雪と晴れ少く參差最も少く晴天より曇天に變ずるもの最も多く曇天より晴天に變ずるもの亦多し

月次	明治二十二年	明治二十三年	明治二十四年	明治二十五年	明治二十六年	明治二十七年	明治二十八年	明治二十九年	明治三十年	明治三十一年	明治三十二年	明治三十三年	明治三十四年	平均	十ヶ年間
一月	二日	四日	二日	二日	三日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
二月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
三月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
四月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
五月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
六月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
七月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
八月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
九月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
十月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
十一月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
十二月	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日
一年	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二日	二十日

降水時數

降水ありたる一ヶ年の總時數（一時間の降水量十分の粍以上ありたる時數）は八百八十時にして平年に比すれは六十九時少く毎時觀測創始以來二十四年間の最多（明治三十八年の千二百十時）に比すれは三百十時多し而して本年は多き方より第十七位に居れり又一年中の變化を看るに四月七月九月は最も多く百時間以上に達し八月は最も少く僅に十七時間に過ぎす即ち次表に示すか如し

年	明治四十四年	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	平年
本年	一四	二〇	一三	一〇	九	九	一二	八	一〇	五	九
一四	一六	一四	一三	一六	一五	一二	一八	一五	一三	一三	一三
一六	一三	一一	一二	一六	一三	一〇	一九	一六	一八	一三	一四
一一	九	一三	一一	一〇	一一	一四	一五	一六	一二	一五	一三
一二	一四	一七	一九	一四	一二	一八	二三	一三	一六	一四	一四
一四	一二	一四	一二	一四	一六	一三	一六	一二	一七	一四	一二
一四	一〇	一五	七	一四	一二	七	二二	六	一七	一四	一〇
一八	一五	一九	一九	一七	一六	一二	一一	一〇	一九	一三	一四
一〇	一〇	一二	七	一三	一〇	一三	一〇	一四	一四	一〇	一〇
九	一〇	一一	七	一〇	一一	一〇	一三	一一	八	一四	九
九	六	一三	九	一〇	一二	一三	一七	一三	九	一〇	九
一三八	一三七	一三六	一三九	一四七	一三五	一三二	一四六	一三四	一四七	一四六	一三四

時次	午一時	午二時	午三時
一月	一	二	二
二月	二	二	三
三月	四	三	三
四月	五	五	四
五月	一	三	二
六月	四	三	四
七月	七	六	五
八月	〇	一	一
九月	五	六	六
十月	二	五	四
十一月	四	四	三
十二月	三	二	三
年	三八	四二	四〇

降水量

降水量とは雨、雪、霰、雹等の何たるに拘らず其水量を示したるものにして一年の總量は千三百二十二粍九に達せり而して一年中の變化は冬季に最も少く春季より漸次其量を増し、盛夏の候は稍々少きも九月に至り最多に達し爾

	夜半	後十一時	後十時	後九時	後八時	後七時	後六時	後五時
平均	一、九〇	一、八一	一、九二	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
明治四十四年	一、七八	一、七一	一、八二	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全四十三年	一、八〇	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全四十二年	一、七九	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全四十一年	一、八六	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全四十年	一、九六	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全三十九年	一、八〇	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全三十八年	一、七六	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全三十七年	二、〇九	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全三十六年	一、八九	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
全三十五年	一、九四	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七
平年	二、〇〇	一、七〇	一、八〇	二、一八	二、〇九	二、一三	二、一六	二、一七

萬年曆

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
一													一
二													二
三													三
四													四
五													五
六													六
七													七
八													八
九													九
十													十
十一													十一
十二													十二
年													年

年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	年
一													一
二													二
三													三
四													四
五													五
六													六
七													七
八													八
九													九
十													十
十一													十一
十二													十二
年													年

（禁ず大清萬年曆之改刻）

全四十二年	全四十三年	明治四十四年	合計	夜半	後 十一時	後 十時	後 九時	後 八時	後 七時	後 六時	後 五時	後 四時	後 三時	後 二時	後 一時	正午	前 十一時	前 十時	前 九時	前 八時	前 七時	前 六時	前 五時	前 四時
八二	一四	三	九〇	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二	四
五四	四四	二〇	九六	三	三	四	五	六	五	六	六	五	五	五	七	四	四	三	二	三	二	三	四	四
一〇九	九四	一一九	八一	四	四	四	四	五	四	三	四	三	三	三	三	三	四	三	二	二	三	四	三	一
七三	九七	九九	一〇一	五	七	六	五	四	四	四	四	二	二	二	二	三	五	四	四	五	三	六	五	五
六五	九九	七〇	四九	三	四	二	一	二	四	二	一	二	二	〇	一	一	一	三	四	二	二	二	二	三
一九〇	一四七	一一九	六〇	三	二	二	一	三	四	四	二	一	二	二	一	一	一	一	一	三	三	四	三	三
六三	九四	一一四	一〇二	五	四	三	四	三	四	二	九	四	五	四	四	四	四	四	四	四	七	六	六	三
一七	七〇	六四	一七	〇	〇	〇	一	二	一	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	一	一	一	二	一	一	一
一三七	一二五	九四	一二七	五	六	六	六	六	四	四	三	四	四	四	四	三	五	六	七	六	六	九	九	六
六七	一三二	七一	七一	一	二	二	二	三	二	二	一	三	四	五	四	四	二	三	三	四	四	三	三	三
四六	五九	四九	四三	二	三	三	四	三	三	二	二	二	二	一	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	二
三四	一一	二七	七八	四	二	二	二	二	三	二	二	三	三	三	五	五	五	五	五	四	三	三	三	四
九三四	一〇四七	九一九	八八〇	三八	三九	三五	三六	四〇	四〇	三三	三二	三一	三六	三二	三四	三〇	三四	三四	三九	三六	三八	四三	四一	三九

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
全四十一年	五三	三四	九一	一盛七	七六	一〇九	六三	七二	九二	七一	四二	六一	九二一
全四十年	六〇	四二	九八	九六	七六	一〇九	八九	一〇六	一一〇	六八	五七	八	九一九
全三十九年	四二	九七	六六	六五	一一六	一三〇	九〇	一九	一六三	一三一	五二	三五	一〇〇六
全三十八年	五三	二三	四一三	一一五	一一〇	二四〇	九三	一四四	九七	九四	四一	八七	二一一〇
全三十七年	一八	四九	一二七	一三八	一〇六	一一六	八四	四二	七七	七七	三四	五二	九四〇
全三十六年	八二	七九	一二六	一四二	一二三	八五	一九四	九	六八	一一一	五九	四九	一一二七
全三十五年	二七	二〇	一〇〇	一二八	一三七	九九	一二	一六	一三〇	七九	八一	六二	一〇六七
平年	五四	五五	九五	一〇四	九四	一〇九	八九	五二	一〇六	一〇八	五六	四九	九四八

蒸發量

一ヶ年中に蒸發したる水量は千四百四十四粍五にして平年に比すれは百七十九粍四多く而して日量の最多は八月三十一日の九粍七にして既往三十年間に於ける最多(明治四十一年七月二十九日の十三粍二)に比すれは三粍五少し又一年中の變化を看るに冬季は少く春季より增加し夏季最も多く秋季に至り漸次減少せり即ち次表に示すか如し

蒸發總量

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
本年	六四、〇	六五、四	七二、六	一二八、六	一七五、四	一七九、〇	一七四、一	二二九、九	一二〇、〇	一〇三、五	七二、〇	六〇、〇	一四四四、五
明治四十四年	六〇、七	六五、九	九四、三	一二三、六	一四九、五	一三三、〇	二〇〇、二	二一一、一	一五七、七	一二五、三	七七、六	五九、二	一四四八、一
全四十三年	四七、六	五四、八	九九、八	九四、八	一二〇、六	九五、三	一八九、五	一六八、九	一二六、七	九六、九	九一、〇	八七、八	一二四三、七
全四十二年	三七、八	四八、九	六五、七	一一、三	一四三、三	九九、一	一六九、七	二二六、九	一二四、〇	七八、〇	六七、三	五九、六	一一九三、六
全四十一年	四四、八	五〇、八	六九、四	九六、七	一四四、九	一四八、五	一七〇、六	一七一、三	一一四、五	七六、三	五八、三	四七、六	一一九三、六
全四十年	四五、六	四九、一	六四、三	一一五、一	一五二、三	一二一、三	一七一、八	二〇三、二	一二九、六	八一、九	五九、六	五二、三	一二八八、九

一日中の平均蒸發量

月次 / 時令	本年	明治四十四年	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	平年
一月	二二	二〇	一二	一三	一四	一五	一三	一二	一二	一三	一二	一六
二月	二三	二三	二〇	一七	一七	一三	一七	一九	一六	一五	一九	一六
三月	二三	三〇	二二	二二	二三	二一	一九	二〇	二四	二四	二〇	二五
四月	四三	四二	三二	三七	三二	三六	三六	三二	三一	二九	三五	三四
五月	五七	四八	三九	四六	四七	四八	三九	四〇	三九	四二	四〇	四四
六月	六〇	四四	三三	三三	四九	四〇	四一	三二	三四	四八	四六	四六
七月	九六	六五	六一	五七	五五	五五	六一	六四	六二	五二	五七	五七
八月	七四	六八	五四	五七	五五	六五	七一	四八	四二	八〇	五八	六七
九月	四〇	五三	四二	三八	三八	四二	三二	四五	四六	五四	五二	四五
十月	三三	三七	三一	二五	二五	二六	二四	二七	二四	二七	二九	二九
十一月	二四	二六	三〇	二〇	一九	一八	一六	一九	一八	一七	二七	三〇
十二月	一九	一九	二八	一九	一五	一七	一六	一三	一二	一六	一五	一七
年	三九	三九	三四	三四	三三	三四	三二	三〇	三四	三四	三三	三四

雲量

雲量は天際雲なきを零とし滿天雲に蔽はるゝを十とし其割合を示すものにして即ち一ヶ年の平均は五六にして平年に比すれば〇、三少く一日中の變化は晝間に多くして夜間は少く其最多は午後三時頃にありて最少は午前一時頃にあり又一年中の變化は冬季は少くして春季は稍々多く夏秋の二季は中間にあり即ち次表に示すか如し

月次	午前											正午	午後						
	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時		一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時
一月	三、二	二、九	五、〇	四、九	四、〇	四、三	五、三	五、九	五、八	五、〇	四、九	五、四	五、八	六、一	六、四	六、六	六、八	六、八	五、八
二月	四、九	五、三	五、七	五、八	五、七	五、三	六、〇	六、二	六、二	六、二	六、一	五、八	六、三	六、一	六、三	六、三	六、三	六、三	六、一
三月	四、七	四、九	五、二	五、〇	四、七	四、〇	六、〇	六、六	六、九	六、七	六、六	六、四	七、四	七、三	七、八	七、七	七、七	七、四	七、〇
四月	六、〇	五、二	五、六	六、〇	五、八	五、九	六、三	六、六	五、六	六、七	六、二	五、九	六、九	七、一	七、三	七、二	七、四	七、二	六、九
五月	五、五	四、七	四、五	五、二	五、一	五、五	六、一	六、一	六、〇	六、一	六、一	五、九	六、二	六、三	六、三	六、七	六、二	六、一	六、二
六月	五、〇	五、六	五、七	六、一	六、一	六、〇	六、〇	六、一	五、九	五、八	五、七	五、九	六、一	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五
七月	六、五	七、六	七、三	六、七	六、五	七、〇	七、五	七、四	七、四	七、四	七、四	七、六	七、五	七、五	七、三	七、七	七、七	七、三	七、三
八月	二、九	三、七	三、九	三、六	三、一	四、八	四、六	三、九	三、七	三、九	三、七	三、五	三、六	三、三	三、三	三、七	三、六	三、五	四、二
九月	六、九	六、七	六、九	六、九	七、三	七、五	七、〇	七、一	七、二	七、一	七、一	七、八	七、七	七、七	七、八	七、七	七、七	七、七	七、五
十月	三、九	五、〇	五、二	四、四	四、三	五、一	四、三	六、三	五、九	六、二	六、四	六、六	六、五	五、四	五、四	六、一	五、四	五、一	三、五
十一月	四、六	四、五	四、七	四、六	五、三	四、二	五、三	四、七	四、九	五、〇	五、七	六、六	六、九	六、七	六、七	六、〇	五、九	五、五	四、四
十二月	四、八	五、〇	五、一	五、三	五、九	五、六	六、一	六、三	六、〇	六、一	六、一	六、二	六、三	六、三	六、四	六、三	六、三	六、〇	五、五

年	午前八時	後九時	後十時	後十一時	後半夜平均
明治四十四年	五・五	四・六	四・三	三・六	四・九
全四十三年	六・九	四・〇	四・三	三・六	四・九
全四十二年	五・六	四・〇	四・三	三・六	四・九
全四十一年	五・六	四・〇	四・三	三・六	四・九
全四十年	四・七	四・〇	四・三	三・六	四・九
全三十九年	四・五	四・〇	四・三	三・六	四・九
全三十八年	五・一	四・〇	四・三	三・六	四・九
全三十七年	四・七	四・〇	四・三	三・六	四・九
全三十六年	五・一	四・〇	四・三	三・六	四・九
全三十五年	四・七	四・〇	四・三	三・六	四・九
平均	五・一	四・〇	四・三	三・六	四・九

日照時數

一ヶ年中の總時數は二千三百八時九五（可照時間に對する百分率は五十二なり）にして平年に比すれば百九十六時五二多く又一日中の變化は午前六、七時頃より漸次其數を增し午時乃至十一時に於て最多を現はし午前十一時乃至午後四時頃までは略ぼ等しきも五時頃より急に減少せり又一日中に於て日照時間の最も長かりしは六月二十八日の十三時三〇なり即ち次表に示すが如し

時 / 月次	午前 自四時至五時	自五時至六時	自六時至七時	自七時至八時	自八時至九時	自九時至十時	自十時至十一時	自十一時至十二時	午後 自正午至一時	自一時至二時	自二時至三時	自三時至四時	自四時至五時	自五時至六時	自六時至七時	自七時至八時	總計	明治四十四年	仝四十三年	仝四十二年	仝四十一年	仝四十年	仝三十九年	仝三十八年
一月	|	|	|	五、五五	一七、六〇	二三、二〇	二四、〇五	二五、二〇	二三、二〇	一九、六五	一八、〇〇	一五、〇〇	六、二五	|	|	|	一七七、七〇	一四一、七〇	一一二、〇五	一二五、二五	一二七、六〇	一五六、三五	一五九、七一	一二二、六〇
二月	|	|	|	六、七五	一四、二五	一六、九〇	一七、九〇	一八、三〇	一六、八〇	一五、九〇	一七、六〇	一四、六〇	八、九五	〇、三〇	|	|	一四八、二五	一五〇、六五	一四七、五五	一三三、三〇	一四四、一八	一六八、〇〇	一〇五、七七	一五七、八〇
三月	|	|	二、九〇	一一、八〇	一六、〇五	一六、六〇	一六、四五	一六、四〇	一六、五〇	一五、三〇	一二、九〇	一二、九〇	一二、六五	五、二五	|	|	一五五、七〇	一七九、一〇	一六五、四〇	一六七、七〇	一六二、四〇	一九〇、八〇	一八一、一九	一五三、六〇
四月	|	〇、三〇	九、一〇	一五、五〇	一八、七五	二一、九五	一八、七〇	二〇、五五	二一、〇五	一九、六〇	一九、二〇	一七、七五	一四、四五	一三、三〇	〇、八五	|	二一〇、〇五	二〇九、六〇	一九八、二〇	二二四、二〇	一八二、三一	二三五、九八	二三四、〇八	一八一、九〇
五月	|	一、七五	一五、一五	一九、七〇	二二、〇〇	二三、六〇	二四、八五	二四、七五	二〇、二五	二一、三五	二一、四〇	一九、二〇	一八、三〇	一六、五〇	三、三五	|	二五二、一五	二三九、五〇	一九〇、六五	二五〇、九五	二二四、九〇	二三九、三七	一九七、三五	一九七、九〇
六月	|	五、四〇	一四、八〇	一八、五〇	一九、二〇	二一、五〇	二一、九〇	二三、二五	二一、七五	二二、七五	二一、九五	二一、二〇	一九、六五	一五、四五	五、一五	|	二五二、〇五	二四五、七五	二四三、四五	二二九、三〇	一八〇、六五	一六九、〇五	一六七、〇三	一一六、八〇
七月	|	〇、九〇	七、三五	一二、六五	一七、五五	一六、五五	一七、九五	一九、一五	一九、一五	一九、三〇	一八、三五	一七、八五	一六、一〇	一三、九五	二、八〇	|	一九九、六〇	二三〇、三〇	二四九、〇〇	二三一、九〇	二〇一、二五	一九一、一五	一九八、一〇	二一三、三〇
八月	|	〇、四〇	一一、九〇	二一、八〇	二六、一〇	二一、一五	二七、〇五	二七、七〇	二七、〇五	二八、五五	二八、六〇	二七、〇五	二七、〇五	一九、四〇	一、九〇	|	三〇〇、四〇	二五六、一五	二二九、八五	二五三、八〇	二二三、八五	二二〇、〇五	二四七、四〇	一七五、八二
九月	|	|	三、〇〇	一二、八五	一四、四五	一四、四〇	一四、一五	一四、〇〇	一二、五五	一二、八〇	一〇、九〇	一二、八〇	一〇、四五	四、五五	〇、五〇	|	一三七、六〇	一八八、三五	一一〇、一五	一一三、二〇	一五四、一〇	一七〇、〇〇	一四六、〇五	一九三、〇四
十月	|	|	〇、五〇	九、〇五	一六、五〇	一九、一五	一九、一〇	一八、七五	一八、一〇	一七、五五	一八、三〇	一八、〇五	一二、九〇	一、二五	|	|	一六九、二〇	一六九、五五	一四六、四五	一一三、三五	一八六、三一	一七六、〇〇	一六二、二〇	一七六、三九
十一月	|	|	|	四、五〇	二〇、三〇	二二、八〇	二一、二五	二〇、三五	二一、九〇	一九、三五	一六、九五	一四、一〇	五、九〇	|	|	|	一六七、四〇	一五一、四五	一八七、六〇	一三五、四五	一六六、九一	一四二、九五	一四五、一〇	一七八、六一
十二月	|	|	|	一、七五	一二、六五	一七、一五	一九、八五	二〇、七五	二〇、〇〇	一九、〇〇	一六、三〇	一三、五〇	二、九〇	|	|	|	一四二、八五	一五九、一五	一八二、二五	一五四、一五	一六五、〇〇	一七一、四五	一六一、一〇	一二六、〇九
年	|	八、七五	六四、七〇	一四〇、三九	二一一、四五	二三九、九五	二四三、〇〇	二四九、一五	二三八、三〇	二三一、一〇	二二〇、四五	二〇三、〇〇	一五五、六五	八八、九五	一四、一五	|	二三〇八、九五	二二二一、二五	二〇六二、六〇	二〇二一、四五	二一一九、四一	二二三一、一五	二〇九五、三八	一九九二、八五

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
本年	九七	四七	四三	五四	五一	五八	四九	七一	三七	四八	五四	四七	五二
明治四十四年	七五	四九	四八	五四	五二	三四	五二	六二	五一	四九	六一	五二	五七
全四十三年	三二	四八	四五	五二	四四	三九	五七	五五	三〇	四三	五一	四七	四九
全四十二年	四〇	四二	四五	五七	五八	三〇	五二	六三	三〇	三二	四四	四四	四八
全四十一年	四二	四七	四四	五七	五二	四二	四六	五四	四二	五三	五四	五二	四八
全四十年	五〇	五五	五二	六〇	五六	三九	四四	五三	四六	五〇	四六	五六	五〇
全三十九年	五二	三五	五九	五七	五六	四九	四九	六〇	三九	四九	五七	五三	四七
全三十八年	七	五二	四二	四七	四六	三七	四八	四二	五二	五八	四一	四五	四五
全三十七年	五六	四七	四一	四七	四六	四二	四一	四一	五九	五六	五一	五二	五二
全三十六年	六一	四七	四三	四七	四八	四一	五一	五七	五四	五一	五八	五八	五二
全三十五年	五九	五六	四九	四九	四八	四一	四七	五九	四四	四八	五九	五四	五一
平年	四八	四七	四九	四七	四七	四八	五九	五九	四四	四八	五三	五一	四九

日照時數（百分率）

日照時數の可照時間に對する百分率を看るに年平均は五十二にして最も多きは八月の七十二最も少きは九月の三十七なり而して其他の月にありては大差なかりし即ち次表に示すが如し

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
全三十七年	一八九〇	一四八〇	一六四〇	一七〇〇	一七〇四〇	一三四〇	一八〇四〇	一三四〇	一四三六〇	一七四〇	一五四九〇	一三八七三〇	
全三十六年	一五四九〇	一四五一〇	一五八九〇	一六六九〇	一三三一〇	一三九五〇	一四三六〇	一三八六〇	一三〇六〇	一七八一〇	一七八一〇	一三八一五〇	
全三十五年	一八七三〇	一九一四〇	二〇五九〇	一九三九〇	一九七四〇	二一一六〇	二〇七一三〇	二一一六〇	二〇七一三〇	一七四三〇	一五五〇〇	二三八三〇	
平年	一四二一〇	一四五一〇	一六六一〇	一八五〇〇	一七六一〇	一七六〇九	二〇七一三	二〇五一三	一六四一三	一六六一九	一五九三九	二一二〇九七	

風速度

一日中の變化を看るに午前九時頃より漸次增勢し午後四時頃最大に達し爾後減衰して翌日午前三時頃最小を呈せり而して一年中の變化を看るに冬春二季は强くして夏秋二季弱し然れども夏秋の候は時々颱風の襲來あるを以て一年中の最大速度は此時期にあり

時 月次	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時
一月	四、八五	四、九五	五、〇六	五、一三	四、九七	四、八一	四、六七	四、七九	四、七〇	五、二三	五、二六	七、〇五	七、〇六	七、〇九	七、一〇	七、〇三	六、九三	六、八五	六、八四
二月	五、六七	五、九七	五、九四	六、〇二	五、五六	五、〇六	四、七九	四、七九	四、七〇	五、七三	六、二七	六、六四	七、四一	八、〇六	八、三三	八、〇二	七、六六	七、一九	六、八四
三月	四、三九	四、〇一	四、八六	四、一九	四、三六	四、九七	五、一五	四、八七	五、〇七	五、七五	五、三五	五、五三	六、〇八	六、一四	六、二二	六、四四	六、六〇	六、七七	六、八一
四月	四、二一	三、八八	四、〇六	四、一九	四、二六	四、八七	五、二四	四、八七	四、九四	五、七七	五、二二	五、一二	六、一七	六、二二	六、〇二	七、四三	七、二〇	七、四七	七、四七
五月	四、二二	三、九五	三、九八	三、九五	三、八六	三、六四	三、七八	四、〇九	四、九三	四、九四	四、七七	四、九二	五、七〇	五、八四	六、〇四	六、二〇	六、四八	六、四一	六、九三
六月	三、五七	三、九二	四、〇六	三、九五	三、六四	三、四四	三、五五	三、六三	四、〇七	四、一四	四、〇七	四、〇三	四、〇九	四、一六	四、一九	四、一五	四、〇九	四、一九	四、一九
七月	四、一九	三、九五	三、九〇	三、九二	三、九五	三、五五	三、四六	三、三六	三、二九	三、一〇	三、一七	三、一六	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五
八月	三、一五	三、八七	三、九六	三、九一	三、七〇	三、五三	三、三五	三、二五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五	三、一五
九月	三、一五	三、四五	三、七〇	三、七〇	三、六五	三、五三	三、四八	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五	三、四五
十月	三、四三	三、四五	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七	三、〇七
十一月	四、〇二	四、〇四	四、〇〇	四、一〇	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四
十二月	四、〇二	四、〇四	四、〇〇	四、一〇	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四
年	四、〇二	四、〇四	四、〇〇	四、一〇	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四	四、〇四

風向觀測回數

一年中に於て最も多きは北東風（千四百八十四回）にして總回數に對する百分率は十七之れに亞くは西風（千五百廿回）にして其百分率は十三なり而して最も少きは南方の風にして其百分率は僅かに一に過ぎず即ち次表に示すか如し

方向	月次	後八時	後九時	後十時	後十一時	夜半	平均
北	一月	五五八	五四二	五二七	五五三	五四二	五五九
北北東	二月	六四四	五八四	五五〇	五〇〇	五四五	六一九
北東	三月	五一七	四八二	四二二	三九九	四〇五	五一四
東北東	四月	五二二	四九三	四四七	四二二	四四四	五六七
東	五月	六〇九	五三八	四七三	四六五	四三五	五三九
東南東	六月	四八六	四七六	四五三	三七八	三七五	四九四
南東	七月	五二四	四九八	四六七	四二九	四四一	四九八
南南東	八月	五八一	五〇八	四四七	三九八	三五五	四七四
南	九月	四八五	四六六	四一三	四〇八	三五三	四二二
南南西	十月	三五二	三一一	二七五	二四九	二四〇	二八四
南西	十一月	四八七	四〇九	三九一	三四六	三〇一	三四九
西南西	十二月	六〇一	五三七	四二三	三九〇	三五〇	四九四
西	全四十三年	五三三	四九二	四二三	四〇二	三七六	四九二
西北西	全四十四年	六一四	五六〇	四九九	四三〇	四二五	五八一
北西	全四十五年	五三七	五〇七	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全四十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全四十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全四十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全四十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全五十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全五十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全五十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全五十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全五十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全五十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全五十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全五十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全五十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全五十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全六十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全六十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全六十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全六十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全六十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全六十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全六十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全六十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全六十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全六十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全七十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全七十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全七十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全七十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全七十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全七十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全七十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全七十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全七十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全七十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全八十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全八十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全八十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全八十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全八十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全八十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全八十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全八十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全八十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全八十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全九十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全九十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全九十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全九十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全九十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全九十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全九十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全九十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全九十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全九十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百二十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百二十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百二十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百二十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百二十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百二十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百二十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百二十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百二十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百二十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百三十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百三十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百三十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百三十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百三十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百三十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百三十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百三十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百三十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百三十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百四十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百四十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百四十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百四十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百四十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百四十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百四十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百四十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百四十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百四十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百五十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百五十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百五十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百五十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百五十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百五十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百五十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百五十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百五十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百五十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百六十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百六十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百六十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百六十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百六十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百六十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百六十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百六十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百六十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百六十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百七十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百七十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百七十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百七十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百七十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百七十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百七十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百七十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百七十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百七十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百八十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百八十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百八十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百八十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全百八十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全百八十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全百八十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全百八十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全百八十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全百八十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全百九十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全百九十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全百九十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全百九十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全百九十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全百九十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全百九十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全百九十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全百九十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全百九十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百二十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百二十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百二十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百二十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百二十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百二十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百二十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百二十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百二十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百二十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百三十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百三十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百三十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百三十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百三十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百三十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百三十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百三十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百三十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百三十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百四十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百四十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百四十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百四十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百四十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百四十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百四十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百四十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百四十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百四十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百五十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百五十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百五十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百五十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百五十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百五十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百五十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百五十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百五十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百五十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百六十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百六十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百六十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百六十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百六十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百六十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百六十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百六十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百六十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百六十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百七十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百七十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百七十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百七十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百七十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百七十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百七十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百七十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百七十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百七十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百八十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百八十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百八十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百八十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全二百八十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全二百八十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全二百八十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全二百八十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全二百八十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全二百八十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全二百九十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全二百九十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全二百九十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全二百九十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全二百九十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全二百九十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全二百九十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全二百九十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全二百九十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全二百九十九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全三百年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全三百一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全三百二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全三百三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北東	全三百四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北東	全三百五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東北東	全三百六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東	全三百七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
東南東	全三百八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南東	全三百九年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南東	全三百十年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南	全三百十一年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南南西	全三百十二年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
南西	全三百十三年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西南西	全三百十四年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西	全三百十五年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
西北西	全三百十六年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北西	全三百十七年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北北西	全三百十八年	五四四	五〇六	四六二	四三〇	四二三	五〇一
北	全三百十九年	五四四

| | 北々東 | 北東 | 東北東 | 東々北 | 東 | 東々南 | 東南東 | 南東 | 南々東 | 南 | 南々西 | 南西 | 西南西 | 西 | 西北西 | 北西 | 北々西 | 無風 | 平均方向 | 明治四十四年 | 大正二年 | 大正三年 | 大正四年 | 大正十二年 | 大正十三年 | 大正十四年 | 昭和元年 | 昭和二年 | 昭和三年 | 昭和四年 | 昭和五年 | 昭和六年 | 昭和七年 | 昭和八年 | 昭和九年 | 昭和十年 | 昭和十一年 | 昭和十二年 | 昭和十三年 | 昭和十四年 | 昭和十五年 | 昭和十六年 | 昭和十七年 | 昭和十八年 | 昭和十九年 | 昭和二十年 | 昭和二十一年 | 昭和二十二年 | 昭和二十三年 | 昭和二十四年 | 昭和二十五年 | 昭和二十六年 | 昭和二十七年 | 昭和二十八年 | 昭和二十九年 | 昭和三十年 | 昭和三十一年 | 昭和三十二年 | 昭和三十三年 | 昭和三十四年 | 昭和三十五年 | 昭和三十六年 | 昭和三十七年 | 昭和三十八年 | 昭和三十九年 | 昭和四十年 | 昭和四十一年 | 昭和四十二年 | 昭和四十三年 | 昭和四十四年 | 昭和四十五年 | 昭和四十六年 | 昭和四十七年 | 昭和四十八年 | 昭和四十九年 | 昭和五十年 | 昭和五十一年 | 昭和五十二年 | 昭和五十三年 | 昭和五十四年 | 昭和五十五年 | 昭和五十六年 | 昭和五十七年 | 昭和五十八年 | 昭和五十九年 | 昭和六十年 | 昭和六十一年 | 昭和六十二年 | 昭和六十三年 | 平成元年 | 平成二年 | 平成三年 | 平成四年 | 平成五年 | 平成六年 | 平成七年 | 平成八年 | 平成九年 | 平成十年 | 平成十一年 | 平成十二年 | 平成十三年 | 平成十四年 | 平成十五年 | 平成十六年 | 平成十七年 | 平成十八年 | 平成十九年 | 平成二十年 | 平成二十一年 | 平成二十二年 | 平成二十三年 | 平成二十四年 | 平成二十五年 | 平成二十六年 | 平成二十七年 | 平成二十八年 | 平成二十九年 | 平成三十年 | 平成三十一年 | 平成三十二年 | 平成三十三年 | 平成三十四年 | 平成三十五年 | 平成三十六年 | 平成三十七年 | 平成三十八年 | 平成三十九年 | 平成四十年 | 平成四十一年 | 平成四十二年 | 平成四十三年 | 平成四十四年 | 平成四十五年 | 平成四十六年 | 平成四十七年 | 平成四十八年 | 平成四十九年 | 平成五十年 | 平成五十一年 | 平成五十二年 | 平成五十三年 | 平成五十四年 | 平成五十五年 | 平成五十六年 | 平成五十七年 | 平成五十八年 | 平成五十九年 | 平成六十年 | 平成六十一年 | 平成六十二年 | 平成六十三年 | 平成六十四年 | 平成六十五年 | 平成六十六年 | 平成六十七年 | 平成六十八年 | 平成六十九年 | 平成七十年 | 平成七十一年 | 平成七十二年 | 平成七十三年 | 平成七十四年 | 平成七十五年 | 平成七十六年 | 平成七十七年 | 平成七十八年 | 平成七十九年 | 平成八十年 | 平成八十一年 | 平成八十二年 | 平成八十三年 | 平成八十四年 | 平成八十五年 | 平成八十六年 | 平成八十七年 | 平成八十八年 | 平成八十九年 | 平成九十年 | 平成九十一年 | 平成九十二年 | 平成九十三年 | 平成九十四年 | 平成九十五年 | 平成九十六年 | 平成九十七年 | 平成九十八年 | 平成九十九年 | 平成百年 | 平成百一年 | 平成百二年 | 平成百三年 | 平成百四年 | 平成百五年 | 平成百六年 | 平成百七年 | 平成百八年 | 平成百九年 | 平成百十年 | 平成百十一年 | 平成百十二年 | 平成百十三年 | 平成百十四年 | 平成百十五年 | 平成百十六年 | 平成百十七年 | 平成百十八年 | 平成百十九年 | 平成百二十年 | 平成百二十一年 | 平成百二十二年 | 平成百二十三年 | 平成百二十四年 | 平成百二十五年 | 平成百二十六年 | 平成百二十七年 | 平成百二十八年 | 平成百二十九年 | 平成百三十年 | 平成百三十一年 | 平成百三十二年 | 平成百三十三年 | 平成百三十四年 | 平成百三十五年 | 平成百三十六年 | 平成百三十七年 | 平成百三十八年 | 平成百三十九年 | 平成百四十年 | 平成百四十一年 | 平成百四十二年 | 平成百四十三年 | 平成百四十四年 | 平成百四十五年 | 平成百四十六年 | 平成百四十七年 | 平成百四十八年 | 平成百四十九年 | 平成百五十年 | 平成百五十一年 | 平成百五十二年 | 平成百五十三年 | 平成百五十四年 | 平成百五十五年 | 平成百五十六年 | 平成百五十七年 | 平成百五十八年 | 平成百五十九年 | 平成百六十年 | 平成百六十一年 | 平成百六十二年 | 平成百六十三年 | 平成百六十四年 | 平成百六十五年 | 平成百六十六年 | 平成百六十七年 | 平成百六十八年 | 平成百六十九年 | 平成百七十年 | 平成百七十一年 | 平成百七十二年 | 平成百七十三年 | 平成百七十四年 | 平成百七十五年 | 平成百七十六年 | 平成百七十七年 | 平成百七十八年 | 平成百七十九年 | 平成百八十年 | 平成百八十一年 | 平成百八十二年 | 平成百八十三年 | 平成百八十四年 | 平成百八十五年 | 平成百八十六年 | 平成百八十七年 | 平成百八十八年 | 平成百八十九年 | 平成百九十年 | 平成百九十一年 | 平成百九十二年 | 平成百九十三年 | 平成百九十四年 | 平成百九十五年 | 平成百九十六年 | 平成百九十七年 | 平成百九十八年 | 平成百九十九年 | 平成二百年 | 平成二百一年 | 平成二百二年 | 平成二百三年 | 平成二百四年 | 平成二百五年 | 平成二百六年 | 平成二百七年 | 平成二百八年 | 平成二百九年 | 平成二百十年 | 平成二百十一年 | 平成二百十二年 | 平成二百十三年 | 平成二百十四年 | 平成二百十五年 | 平成二百十六年 | 平成二百十七年 | 平成二百十八年 | 平成二百十九年 | 平成二百二十年 | 平成二百二十一年 | 平成二百二十二年 | 平成二百二十三年 | 平成二百二十四年 | 平成二百二十五年 | 平成二百二十六年 | 平成二百二十七年 | 平成二百二十八年 | 平成二百二十九年 | 平成二百三十年 | 平成二百三十一年 | 平成二百三十二年 | 平成二百三十三年 | 平成二百三十四年 | 平成二百三十五年 | 平成二百三十六年 | 平成二百三十七年 | 平成二百三十八年 | 平成二百三十九年 | 平成二百四十年 | 平成二百四十一年 | 平成二百四十二年 | 平成二百四十三年 | 平成二百四十四年 | 平成二百四十五年 | 平成二百四十六年 | 平成二百四十七年 | 平成二百四十八年 | 平成二百四十九年 | 平成二百五十年 | 平成二百五十一年 | 平成二百五十二年 | 平成二百五十三年 | 平成二百五十四年 | 平成二百五十五年 | 平成二百五十六年 | 平成二百五十七年 | 平成二百五十八年 | 平成二百五十九年 | 平成二百六十年 | 平成二百六十一年 | 平成二百六十二年 | 平成二百六十三年 | 平成二百六十四年 | 平成二百六十五年 | 平成二百六十六年 | 平成二百六十七年 | 平成二百六十八年 | 平成二百六十九年 | 平成二百七十年 | 平成二百七十一年 | 平成二百七十二年 | 平成二百七十三年 | 平成二百七十四年 | 平成二百七十五年 | 平成二百七十六年 | 平成二百七十七年 | 平成二百七十八年 | 平成二百七十九年 | 平成二百八十年 | 平成二百八十一年 | 平成二百八十二年 | 平成二百八十三年 | 平成二百八十四年 | 平成二百八十五年 | 平成二百八十六年 | 平成二百八十七年 | 平成二百八十八年 | 平成二百八十九年 | 平成二百九十年 | 平成二百九十一年 | 平成二百九十二年 | 平成二百九十三年 | 平成二百九十四年 | 平成二百九十五年 | 平成二百九十六年 | 平成二百九十七年 | 平成二百九十八年 | 平成二百九十九年 | 平成三百年 | 平成三百一年 | 平成三百二年 | 平成三百三年 | 平成三百四年 | 平成三百五年 | 平成三百六年 | 平成三百七年 | 平成三百八年 | 平成三百九年 | 平成三百十年 | 平成三百十一年 | 平成三百十二年 | 平成三百十三年 | 平成三百十四年 | 平成三百十五年 | 平成三百十六年 | 平成三百十七年 | 平成三百十八年 | 平成三百十九年 | 平成三百二十年 | 平成三百二十一年 | 平成三百二十二年 | 平成三百二十三年 | 平成三百二十四年 | 平成三百二十五年 | 平成三百二十六年 | 平成三百二十七年 | 平成三百二十八年 | 平成三百二十九年 | 平成三百三十年 | 平成三百三十一年 | 平成三百三十二年 | 平成三百三十三年 | 平成三百三十四年 | 平成三百三十五年 | 平成三百三十六年 | 平成三百三十七年 | 平成三百三十八年 | 平成三百三十九年 | 平成三百四十年 | 平成三百四十一年 | 平成三百四十二年 | 平成三百四十三年 | 平成三百四十四年 | 平成三百四十五年 | 平成三百四十六年 | 平成三百四十七年 | 平成三百四十八年 | 平成三百四十九年 | 平成三百五十年 | 平成三百五十一年 | 平成三百五十二年 | 平成三百五十三年 | 平成三百五十四年 | 平成三百五十五年 | 平成三百五十六年 | 平成三百五十七年 | 平成三百五十八年 | 平成三百五十九年 | 平成三百六十年 | 平成三百六十一年 | 平成三百六十二年 | 平成三百六十三年 | 平成三百六十四年 | 平成三百六十五年 | 平成三百六十六年 | 平成三百六十七年 | 平成三百六十八年 | 平成三百六十九年 | 平成三百七十年 | 平成三百七十一年 | 平成三百七十二年 | 平成三百七十三年 | 平成三百七十四年 | 平成三百七十五年 | 平成三百七十六年 | 平成三百七十七年 | 平成三百七十八年 | 平成三百七十九年 | 平成三百八十年 | 平成三百八十一年 | 平成三百八十二年 | 平成三百八十三年 | 平成三百八十四年 | 平成三百八十五年 | 平成三百八十六年 | 平成三百八十七年 | 平成三百八十八年 | 平成三百八十九年 | 平成三百九十年 | 平成三百九十一年 | 平成三百九十二年 | 平成三百九十三年 | 平成三百九十四年 | 平成三百九十五年 | 平成三百九十六年 | 平成三百九十七年 | 平成三百九十八年 | 平成三百九十九年 | 平成四百年 | 平成四百一年 | 平成四百二年 | 平成四百三年 | 平成四百四年 | 平成四百五年 | 平成四百六年 | 平成四百七年 | 平成四百八年 | 平成四百九年 | 平成四百十年 | 平成四百十一年 | 平成四百十二年 | 平成四百十三年 | 平成四百十四年 | 平成四百十五年 | 平成四百十六年 | 平成四百十七年 | 平成四百十八年 | 平成四百十九年 | 平成四百二十年 | 平成四百二十一年 | 平成四百二十二年 | 平成四百二十三年 | 平成四百二十四年 | 平成四百二十五年 | 平成四百二十六年 | 平成四百二十七年 | 平成四百二十八年 | 平成四百二十九年 | 平成四百三十年 | 平成四百三十一年 | 平成四百三十二年 | 平成四百三十三年 | 平成四百三十四年 | 平成四百三十五年 | 平成四百三十六年 | 平成四百三十七年 | 平成四百三十八年 | 平成四百三十九年 | 平成四百四十年 | 平成四百四十一年 | 平成四百四十二年 | 平成四百四十三年 | 平成四百四十四年 | 平成四百四十五年 | 平成四百四十六年 | 平成四百四十七年 | 平成四百四十八年 | 平成四百四十九年 | 平成四百五十年 | 平成四百五十一年 | 平成四百五十二年 | 平成四百五十三年 | 平成四百五十四年 | 平成四百五十五年 | 平成四百五十六年 | 平成四百五十七年 | 平成四百五十八年 | 平成四百五十九年 | 平成四百六十年 | 平成四百六十一年 | 平成四百六十二年 | 平成四百六十三年 | 平成四百六十四年 | 平成四百六十五年 | 平成四百六十六年 | 平成四百六十七年 | 平成四百六十八年 | 平成四百六十九年 | 平成四百七十年 | 平成四百七十一年 | 平成四百七十二年 | 平成四百七十三年 | 平成四百七十四年 | 平成四百七十五年 | 平成四百七十六年 | 平成四百七十七年 | 平成四百七十八年 | 平成四百七十九年 | 平成四百八十年 | 平成四百八十一年 | 平成四百八十二年 | 平成四百八十三年 | 平成四百八十四年 | 平成四百八十五年 | 平成四百八十六年 | 平成四百八十七年 | 平成四百八十八年 | 平成四百八十九年 | 平成四百九十年 | 平成四百九十一年 | 平成四百九十二年 | 平成四百九十三年 | 平成四百九十四年 | 平成四百九十五年 | 平成四百九十六年 | 平成四百九十七年 | 平成四百九十八年 | 平成四百九十九年 | 平成五百年 | 平成五百一年 | 平成五百二年 | 平成五百三年 | 平成五百四年 | 平成五百五年 | 平成五百六年 | 平成五百七年 | 平成五百八年 | 平成五百九年 | 平成五百十年 | 平成五百十一年 | 平成五百十二年 | 平成五百十三年 | 平成五百十四年 | 平成五百十五年 | 平成五百十六年 | 平成五百十七年 | 平成五百十八年 | 平成五百十九年 | 平成五百二十年 | 平成五百二十一年 | 平成五百二十二年 | 平成五百二十三年 | 平成五百二十四年 | 平成五百二十五年 | 平成五百二十六年 | 平成五百二十七年 | 平成五百二十八年 | 平成五百二十九年 | 平成五百三十年 | 平成五百三十一年 | 平成五百三十二年 | 平成五百三十三年 | 平成五百三十四年 | 平成五百三十五年 | 平成五百三十六年 | 平成五百三十七年 | 平成五百三十八年 | 平成五百三十九年 | 平成五百四十年 | 平成五百四十一年 | 平成五百四十二年 | 平成五百四十三年 | 平成五百四十四年 | 平成五百四十五年 | 平成五百四十六年 | 平成五百四十七年 | 平成五百四十八年 | 平成五百四十九年 | 平成五百五十年 | 平成五百五十一年 | 平成五百五十二年 | 平成五百五十三年 | 平成五百五十四年 | 平成五百五十五年 | 平成五百五十六年 | 平成五百五十七年 | 平成五百五十八年 | 平成五百五十九年 | 平成五百六十年 | 平成五百六十一年 | 平成五百六十二年 | 平成五百六十三年 | 平成五百六十四年 | 平成五百六十五年 | 平成五百六十六年 | 平成五百六十七年 | 平成五百六十八年 | 平成五百六十九年 | 平成五百七十年 | 平成五百七十一年 | 平成五百七十二年 | 平成五百七十三年 | 平成五百七十四年 | 平成五百七十五年 | 平成五百七十六年 | 平成五百七十七年 | 平成五百七十八年 | 平成五百七十九年 | 平成五百八十年 | 平成五百八十一年 | 平成五百八十二年 | 平成五百八十三年 | 平成五百八十四年 | 平成五百八十五年 | 平成五百八十六年 | 平成五百八十七年 | 平成五百八十八年 | 平成五百八十九年 | 平成五百九十年 | 平成五百九十一年 | 平成五百九十二年 | 平成五百九十三年 | 平成五百九十四年 | 平成五百九十五年 | 平成五百九十六年 | 平成五百九十七年 | 平成五百九十八年 | 平成五百九十九年 | 平成六百年 | 平成六百一年 | 平成六百二年 | 平成六百三年 | 平成六百四年 | 平成六百五年 | 平成六百六年 | 平成六百七年 | 平成六百八年 | 平成六百九年 | 平成六百十年 | 平成六百十一年 | 平成六百十二年 | 平成六百十三年 | 平成六百十四年 | 平成六百十五年 | 平成六百十六年 | 平成六百十七年 | 平成六百十八年 | 平成六百十九年 | 平成六百二十年 | 平成六百二十一年 | 平成六百二十二年 | 平成六百二十三年 | 平成六百二十四年 | 平成六百二十五年 | 平成六百二十六年 | 平成六百二十七年 | 平成六百二十八年 | 平成六百二十九年 | 平成六百三十年 | 平成六百三十一年 | 平成六百三十二年 | 平成六百三十三年 | 平成六百三十四年 | 平成六百三十五年 | 平成六百三十六年 | 平成六百三十七年 | 平成六百三十八年 | 平成六百三十九年 | 平成六百四十年 | 平成六百四十一年 | 平成六百四十二年 | 平成六百四十三年 | 平成六百四十四年 | 平成六百四十五年 | 平成六百四十六年 | 平成六百四十七年 | 平成六百四十八年 | 平成六百四十九年 | 平成六百五十年 | 平成六百五十一年 | 平成六百五十二年 | 平成六百五十三年 | 平成六百五十四年 | 平成六百五十五年 | 平成六百五十六年 | 平成六百五十七年 | 平成六百五十八年 | 平成六百五十九年 | 平成六百六十年 | 平成六百六十一年 | 平成六百六十二年 | 平成六百六十三年 | 平成六百六十四年 | 平成六百六十五年 | 平成六百六十六年 | 平成六百六十七年 | 平成六百六十八年 | 平成六百六十九年 | 平成六百七十年 | 平成六百七十一年 | 平成六百七十二年 | 平成六百七十三年 | 平成六百七十四年 | 平成六百七十五年 | 平成六百七十六年 | 平成六百七十七年 | 平成六百七十八年 | 平成六百七十九年 | 平成六百八十年 | 平成六百八十一年 | 平成六百八十二年 | 平成六百八十三年 | 平成六百八十四年 | 平成六百八十五年 | 平成六百八十六年 | 平成六百八十七年 | 平成六百八十八年 | 平成六百八十九年 | 平成六百九十年 | 平成六百九十一年 | 平成六百九十二年 | 平成六百九十三年 | 平成六百九十四年 | 平成六百九十五年 | 平成六百九十六年 | 平成六百九十七年 | 平成六百九十八年 | 平成六百九十九年 | 平成七百年 | 平成七百一年 | 平成七百二年 | 平成七百三年 | 平成七百四年 | 平成七百五年 | 平成七百六年 | 平成七百七年 | 平成七百八年 | 平成七百九年 | 平成七百十年 | 平成七百十一年 | 平成七百十二年 | 平成七百十三年 | 平成七百十四年 | 平成七百十五年 | 平成七百十六年 | 平成七百十七年 | 平成七百十八年 | 平成七百十九年 | 平成七百二十年 | 平成七百二十一年 | 平成七百二十二年 | 平成七百二十三年 | 平成七百二十四年 | 平成七百二十五年 | 平成七百二十六年 | 平成七百二十七年 | 平成七百二十八年 | 平成七百二十九年 | 平成七百三十年 | 平成七百三十一年 | 平成七百三十二年 | 平成七百三十三年 | 平成七百三十四年 | 平成七百三十五年 | 平成七百三十六年 | 平成七百三十七年 | 平成七百三十八年 | 平成七百三十九年 | 平成七百四十年 | 平成七百四十一年 | 平成七百四十二年 | 平成七百四十三年 | 平成七百四十四年 | 平成七百四十五年 | 平成七百四十六年 | 平成七百四十七年 | 平成七百四十八年 | 平成七百四十九年 | 平成七百五十年 | 平成七百五十一年 | 平成七百五十二年 | 平成七百五十三年 | 平成七百五十四年 | 平成七百五十五年 | 平成七百五十六年 | 平成七百五十七年 | 平成七百五十八年 | 平成七百五十九年 | 平成七百六十年 | 平成七百六十一年 | 平成七百六十二年 | 平成七百六十三年 | 平成七百六十四年 | 平成七百六十五年 | 平成七百六十六年 | 平成七百六十七年 | 平成七百六十八年 | 平成七百六十九年 | 平成七百七十年 | 平成七百七十一年 | 平成七百七十二年 | 平成七百七十三年 | 平成七百七十四年 | 平成七百七十五年 | 平成七百七十六年 | 平成七百七十七年 | 平成七百七十八年 | 平成七百七十九年 | 平成七百八十年 | 平成七百八十一年 | 平成七百八十二年 | 平成七百八十三年 | 平成七百八十四年 | 平成七百八十五年 | 平成七百八十六年 | 平成七百八十七年 | 平成七百八十八年 | 平成七百八十九年 | 平成七百九十年 | 平成七百九十一年 | 平成七百九十二年 | 平成七百九十三年 | 平成七百九十四年 | 平成七百九十五年 | 平成七百九十六年 | 平成七百九十七年 | 平成七百九十八年 | 平成七百九十九年 | 平成八百年 | 平成八百一年 | 平成八百二年 | 平成八百三年 | 平成八百四年 | 平成八百五年 | 平成八百六年 | 平成八百七年 | 平成八百八年 | 平成八百九年 | 平成八百十年 | 平成八百十一年 | 平成八百十二年 | 平成八百十三年 | 平成八百十四年 | 平成八百十五年 | 平成八百十六年 | 平成八百十七年 | 平成八百十八年 | 平成八百十九年 | 平成八百二十年 | 平成八百二十一年 | 平成八百二十二年 | 平成八百二十三年 | 平成八百二十四年 | 平成八百二十五年 | 平成八百二十六年 | 平成八百二十七年 | 平成八百二十八年 | 平成八百二十九年 | 平成八百三十年 | 平成八百三十一年 | 平成八百三十二年 | 平成八百三十三年 | 平成八百三十四年 | 平成八百三十五年 | 平成八百三十六年 | 平成八百三十七年 | 平成八百三十八年 | 平成八百三十九年 | 平成八百四十年 | 平成八百四十一年 | 平成八百四十二年 | 平成八百四十三年 | 平成八百四十四年 | 平成八百四十五年 | 平成八百四十六年 | 平成八百四十七年 | 平成八百四十八年 | 平成八百四十九年 | 平成八百五十年 | 平成八百五十一年 | 平成八百五十二年 | 平成八百五十三年 | 平成八百五十四年 | 平成八百五十五年 | 平成八百五十六年 | 平成八百五十七年 | 平成八百五十八年 | 平成八百五十九年 | 平成八百六十年 | 平成八百六十一年 | 平成八百六十二年 | 平成八百六十三年 | 平成八百六十四年 | 平成八百六十五年 | 平成八百六十六年 | 平成八百六十七年 | 平成八百六十八年 | 平成八百六十九年 | 平成八百七十年 | 平成八百七十一年 | 平成八百七十二年 | 平成八百七十三年 | 平成八百七十四年 | 平成八百七十五年 | 平成八百七十六年 | 平成八百七十七年 | 平成八百七十八年 | 平成八百七十九年 | 平成八百八十年 | 平成八百八十一年 | 平成八百八十二年 | 平成八百八十三年 | 平成八百八十四年 | 平成八百八十五年 | 平成八百八十六年 | 平成八百八十七年 | 平成八百八十八年 | 平成八百八十九年 | 平成八百九十年 | 平成八百九十一年 | 平成八百九十二年 | 平成八百九十三年 | 平成八百九十四年 | 平成八百九十五年 | 平成八百九十六年 | 平成八百九十七年 | 平成八百九十八年 | 平成八百九十九年 | 平成九百年 | 平成九百一年 | 平成九百二年 | 平成九百三年 | 平成九百四年 | 平成九百五年 | 平成九百六年 | 平成九百七年 | 平成九百八年 | 平成九百九年 | 平成九百十年 | 平成九百十一年 | 平成九百十二年 | 平成九百十三年 | 平成九百十四年 | 平成九百十五年 | 平成九百十六年 | 平成九百十七年 | 平成九百十八年 | 平成九百十九年 | 平成九百二十年 | 平成九百二十一年 | 平成九百二十二年 | 平成九百二十三年 | 平成九百二十四年 | 平成九百二十五年 | 平成九百二十六年 | 平成九百二十七年 | 平成九百二十八年 | 平成九百二十九年 | 平成九百三十年 | 平成九百三十一年 | 平成九百三十二年 | 平成九百三十三年 | 平成九百三十四年 | 平成九百三十五年 | 平成九百三十六年 | 平成九百三十七年 | 平成九百三十八年 | 平成九百三十九年 | 平成九百四十年 | 平成九百四十一年 | 平成九百四十二年 | 平成九百四十三年 | 平成九百四十四年 | 平成九百四十五年 | 平成九百四十六年 | 平成九百四十七年 | 平成九百四十八年 | 平成九百四十九年 | 平成九百五十年 | 平成九百五十一年 | 平成九百五十二年 | 平成九百五十三年 | 平成九百五十四年 | 平成九百五十五年 | 平成九百五十六年 | 平成九百五十七年 | 平成九百五十八年 | 平成九百五十九年 | 平成九百六十年 | 平成九百六十一年 | 平成九百六十二年 | 平成九百六十三年 | 平成九百六十四年 | 平成九百六十五年 | 平成九百六十六年 | 平成九百六十七年 | 平成九百六十八年 | 平成九百六十九年 | 平成九百七十年 | 平成九百七十一年 | 平成九百七十二年 | 平成九百七十三年 | 平成九百七十四年 | 平成九百七十五年 | 平成九百七十六年 | 平成九百七十七年 | 平成九百七十八年 | 平成九百七十九年 | 平成九百八十年 | 平成九百八十一年 | 平成九百八十二年 | 平成九百八十三年 | 平成九百八十四年 | 平成九百八十五年 | 平成九百八十六年 | 平成九百八十七年 | 平成九百八十八年 | 平成九百八十九年 | 平成九百九十年 | 平成九百九十一年 | 平成九百九十二年 | 平成九百九十三年 | 平成九百九十四年 | 平成九百九十五年 | 平成九百九十六年 | 平成九百九十七年 | 平成九百九十八年 | 平成九百九十九年 | 平成千年 | 平成千一年 | 平成千二年 | 平成千三年 | 平成千四年 | 平成千五年 | 平成千六年 | 平成千七年 | 平成千八年 | 平成千九年 | 平成千十年 | 平成千十一年 | 平成千十二年 | 平成千十三年 | 平成千十四年 | 平成千十五年 | 平成千十六年 | 平成千十七年 | 平成千十八年 | 平成千十九年 | 平成千二十年 | 平成千二十一年 | 平成千二十二年 | 平成千二十三年 | 平成千二十四年 | 平成千二十五年 | 平成千二十六年 | 平成千二十七年 | 平成千二十八年 | 平成千二十九年 | 平成千三十年 | 平成千三十一年 | 平成千三十二年 | 平成千三十三年 | 平成千三十四年 | 平成千三十五年 | 平成千三十六年 | 平成千三十七年 | 平成千三十八年 | 平成千三十九年 | 平成千四十年 | 平成千四十一年 | 平成千四十二年 | 平成千四十三年 | 平成千四十四年 | 平成千四十五年 | 平成千四十六年 | 平成千四十七年 | 平成千四十八年 | 平成千四十九年 | 平成千五十年 | 平成千五十一年 | 平成千五十二年 | 平成千五十三年 | 平成千五十四年 | 平成千五十五年 | 平成千五十六年 | 平成千五十七年 | 平成千五十八年 | 平成千五十九年 | 平成千六十年 | 平成千六十一年 | 平成千六十二年 | 平成千六十三年 | 平成千六十四年 | 平成千六十五年 | 平成千六十六年 | 平成千六十七年 | 平成千六十八年 | 平成千六十九年 | 平成千七十年 | 平成千七十一年 | 平成千七十二年 | 平成千七十三年 | 平成千七十四年 | 平成千七十五年 | 平成千七十六年 | 平成千七十七年 | 平成千七十八年 | 平成千七十九年 | 平成千八十年 | 平成千八十一年 | 平成千八十二年 | 平成千八十三年 | 平成千八十四年 | 平成千八十五年 | 平成千八十六年 | 平成千八十七年 | 平成千八十八年 | 平成千八十九年 | 平成千九十年 | 平成千九十一年 | 平成千九十二年 | 平成千九十三年 | 平成千九十四年 | 平成千九十五年 | 平成千九十六年 | 平成千九十七年 | 平成千九十八年 | 平成千九十九年 | 平成千百年 | 平成千百一年 | 平成千百二年 | 平成千百三年 | 平成千百四年 | 平成千百五年 | 平成千百六年 | 平成千百七年 | 平成千百八年 | 平成千百九年 | 平成千百十年 | 平成千百十一年 | 平成千百十二年 | 平成千百十三年 | 平成千百十四年 | 平成千百十五年 | 平成千百十六年 | 平成千百十七年 | 平成千百十八年 | 平成千百十九年 | 平成千百二十年 | 平成千百二十一年 | 平成千百二十二年 | 平成千百二十三年 | 平成千百二十四年 | 平成千百二十五年 | 平成千百二十六年 | 平成千百二十七年 | 平成千百二十八年 | 平成千百二十九年 | 平成千百三十年 | 平成千百三十一年 | 平成千百三十二年 | 平成千百三十三年 | 平成千百三十四年 | 平成千百三十五年 | 平成千百三十六年 | 平成千百三十七年 | 平成千百三十八年 | 平成千百三十九年 | 平成千百四十年 | 平成千百四十一年 | 平成千百四十二年 | 平成千百四十三年 | 平成千百四十四年 | 平成千百四十五年 | 平成千百四十六年 | 平成千百四十七年 | 平成千百四十八年 | 平成千百四十九年 | 平成千百五十年 | 平成千百五十一年 | 平成千百五十二年 | 平成千百五十三年 | 平成千百五十四年 | 平成千百五十五年 | 平成千百五十六年 | 平成千百五十七年 | 平成千百五十八年 | 平成千百五十九年 | 平成千百六十年 | 平成千百六十一年 | 平成千百六十二年 | 平成千百六十三年 | 平成千百六十四年 | 平成千百六十五年 | 平成千百六十六年 | 平成千百六十七年 | 平成千百六十八年 | 平成千百六十九年 | 平成千百七十年 | 平成千百七十一年 | 平成千百七十二年 | 平成千百七十三年 | 平成千百七十四年 | 平成千百七十五年 | 平成千百七十六年 | 平成千百七十七年 | 平成千百七十八年 | 平成千百七十九年 | 平成千百八十年 | 平成千百八十一年 | 平成千百八十二年 | 平成千百八十三年 | 平成千百八十四年 | 平成千百八十五年 | 平成千百八十六年 | 平成千百八十七年 | 平成千百八十八年 | 平成千百八十九年 | 平成千百九十年 | 平成千百九十一年 | 平成千百九十二年 | 平成千百九十三年 | 平成千百九十四年 | 平成千百九十五年 | 平成千百九十六年 | 平成千百九十七年 | 平成千百九十八年 | 平成千百九十九年 | 平成千二百年 | 平成千二百一年 | 平成千二百二年 | 平成千二百三年 | 平成千二百四年 | 平成千二百五年 | 平成千二百六年 | 平成千二百七年 | 平成千二百八年 | 平成千二百九年 | 平成千二百十年 | 平成千二百十一年 | 平成千二百十二年 | 平成千二百十三年 | 平成千二百十四年 | 平成千二百十五年 | 平成千二百十六年 | 平成千二百十七年 | 平成千二百十八年 | 平成千二百十九年 | 平成千二百二十年 | 平成千二百二十一年 | 平成千二百二十二年 | 平成千二百二十三年 | 平成千二百二十四年 | 平成千二百二十五年 | 平成千二百二十六年 | 平成千二百二十七年 | 平成千二百二十八年 | 平成千二百二十九年 | 平成千二百三十年 | 平成千二百三十一年 | 平成千二百三十二年 | 平成千二百三十三年 | 平成千二百三十四年 | 平成千二百三十五年 | 平成千二百三十六年 | 平成千二百三十七年 | 平成千二百三十八年 | 平成千二百三十九年 | 平成千二百四十年 | 平成千二百四十一年 | 平成千二百四十二年 | 平成千二百四十三年 | 平成千二百四十四年 | 平成千二百四十五年 | 平成千二百四十六年 | 平成千二百四十七年 | 平成千二百四十八年 | 平成千二百四十九年 | 平成千二百五十年 | 平成千二百五十一年 | 平成千二百五十二年 | 平成千二百五十三年 | 平成千二百五十四年 | 平成千二百五十五年 | 平成千二百五十六年 | 平成千二百五十七年 | 平成千二百五十八年 | 平成千二百五十九年 | 平成千二百六十年 | 平成千二百六十一年 | 平成千二百六十二年 | 平成千二百六十三年 | 平成千二百六十四年 | 平成千二百六十五年 | 平成千二百六十六年 | 平成千二百六十七年 | 平成千二百六十八年 | 平成千二百六十九年 | 平成千二百七十年 | 平成千二百七十一年 | 平成千二百七十二年 | 平成千二百七十三年 | 平成千二百七十四年 | 平成千二百七十五年 | 平成千二百七十六年 | 平成千二百七十七年 | 平成千二百七十八年 | 平成千二百七十九年 | 平成千二百八十年 | 平成千二百八十一年 | 平成千二百八十二年 | 平成千二百八十三年 | 平成千二百八十四年 | 平成千二百八十五年 | 平成千二百八十六年 | 平成千二百八十七年 | 平成千二百八十八年 | 平成千二百八十九年 | 平成千二百九十年 | 平成千二百九十一年 | 平成千二百九十二年 | 平成千二百九十三年 | 平成千二百九十四年 | 平成千二百九十五年 | 平成千二百九十六年 | 平成千二百九十七年 | 平成千二百九十八年 | 平成千二百九十九年 | 平成千三百年 | 平成千三百一年 | 平成千三百二年 | 平成千三百三年 | 平成千三百四年 | 平成千三百五年 | 平成千三百六年 | 平成千三百七年 | 平成千三百八年 | 平成千三百九年 | 平成千三百十年 | 平成千三百十一年 | 平成千三百十二年 | 平成千三百十三年 | 平成千三百十四年 | 平成千三百十五年 | 平成千三百十六年 | 平成千三百十七年 | 平成千三百十八年 | 平成千三百十九年 | 平成千三百二十年 | 平成千三百二十一年 | 平成千三百二十二年 | 平成千三百二十三年 | 平成千三百二十四年 | 平成千三百二十五年 | 平成千三百二十六年 | 平成千三百二十七年 | 平成千三百二十八年 | 平成千三百二十九年 | 平成千三百三十年 | 平成千三百三十一年 | 平成千三百三十二年 | 平成千三百三十三年 | 平成千三百三十四年 | 平成千三百三十五年 | 平成千三百三十六年 | 平成千三百三十七年 | 平成千三百三十八年 | 平成千三百三十九年 | 平成千三百四十年 | 平成千三百四十一年 | 平成千三百四十二年 | 平成千三百四十三年 | 平成千三百四十四年 | 平成千三百四十五年 | 平成千三百四十六年 | 平成千三百四十七年 | 平成千三百四十八年 | 平成千三百四十九年 | 平成千三百五十年 | 平成千三百五十一年 | 平成千三百五十二年 | 平成千三百五十三年 | 平成千三百五十四年 | 平成千三百五十五年 | 平成千三百五十六年 | 平成千三百五十七年 | 平成千三百五十八年 | 平成千三百五十九年 | 平成千三百六十年 | 平成千三百六十一年 | 平成千三百六十二年 | 平成千三百六十三年 | 平成千三百六十四年 | 平成千三百六十五年 | 平成千三百六十六年 | 平成千三百六十七年 | 平成千三百六十八年 | 平成千三百六十九年 | 平成千三百七十年 | 平成千三百七十一年 | 平成千三百七十二年 | 平成千三百七十三年 | 平成千三百七十四年 | 平成千三百七十五年 | 平成千三百七十六年 | 平成千三百七十七年 | 平成千三百七十八年 | 平成千三百七十九年 | 平成千三百八十年 | 平成千三百八十一年 | 平成千三百八十二年 | 平成千三百八十三年 | 平成千三百八十四年 | 平成千三百八十五年 | 平成千三百八十六年 | 平成千三百八十七年 | 平成千三百八十八年 | 平成千三百八十九年 | 平成千三百九十年 | 平成千三百九十一年 | 平成千三百九十二年 | 平成千三百九十三年 | 平成千三百九十四年 | 平成千三百九十五年 | 平成千三百九十六年 | 平成千三百九十七年 | 平成千三百九十八年 | 平成千三百九十九年 | 平成千四百年 | 平成千四百一年 | 平成千四百二年 | 平成千四百三年 | 平成千四百四年 | 平成千四百五年 | 平成千四百六年 | 平成千四百七年 | 平成千四百八年 | 平成千四百九年 | 平成千四百十年 | 平成千四百十一年 | 平成千四百十二年 | 平成千四百十三年 | 平成千四百十四年 | 平成千四百十五年 | 平成千四百十六年 | 平成千四百十七年 | 平成千四百十八年 | 平成千四百十九年 | 平成千四百二十年 | 平成千四百二十一年 | 平成千四百二十二年 | 平成千四百二十三年 | 平成千四百二十四年 | 平成千四百二十五年 | 平成千四百二十六年 | 平成千四百二十七年 | 平成千四百二十八年 | 平成千四百二十九年 | 平成千四百三十年 | 平成千四百三十一年 | 平成千四百三十二年 | 平成千四百三十三年 | 平成千四百三十四年 | 平成千四百三十五年 | 平成千四百三十六年 | 平成千四百三十七年 | 平成千四百三十八年 | 平成千四百三十九年 | 平成千四百四十年 | 平成千四百四十一年 | 平成千四百四十二年 | 平成千四百四十三年 | 平成千四百四十四年 | 平成千四百四十五年 | 平成千四百四十六年 | 平成千四百四十七年 | 平成千四百四十八年 | 平成千四百四十九年 | 平成千四百五十年 | 平成千四百五十一年 | 平成千四百五十二年

各風向に對する平均速度

前既に述へたるか如く當地方は北東風最も多く西風之れに亞きしか風速度は西方の風最も強くして北方の風之れに亞き南東方の風は最も弱し即ち次表に示すか如し

方向	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
北		五、九	五、六	五、二	五、六	六、三	四、七	三、二	五、四	五、一	四、九	五、三	五、三	五、三
北々東		三、七	三、六	五、〇	四、五	五、九	四、八	三、五	五、〇	四、三	三、八	三、九	四、四	四、〇
北東		三、六	四、三	四、四	四、八	四、三	四、七	四、一	三、九	四、七	三、〇	三、一	四、〇	四、〇
北々東		二、九	五、九	三、五	四、三	四、〇	五、〇	四、〇	四、三	三、九	三、四	三、一	三、九	三、九
東		三、〇	三、〇	二、九	二、九	二、九	二、八	三、八	三、八	二、七	二、九	二、六	二、五	三、〇
東南東		二、二	二、一	二、四	二、四	三、一	二、〇	二、四	二、三	一、九	二、九	二、〇	二、三	二、三
南東		一、九	一、九	二、六	二、六	二、六	一、七	一、六	二、四	二、三	一、八	二、五	二、一	二、二
南々東		二、一	二、一	二、一	二、一	二、〇	一、七	一、六	二、四	二、四	一、九	二、一	二、四	二、二
南東		二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、七	二、七	二、二	二、二	二、二
南々西		三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、八	三、一
南西		四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	三、九	三、三	四、一	四、一	五、七
西南西		五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	七、〇
西		七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、七
西北西		九、二	八、六	八、三	七、五	七、六	七、二	六、八	七、〇	六、二	六、二	八、七	一〇、二	七、七

各風向に對する最大速度

月次／方向	北	北々東	北東	東北東	東
一月	一六・三	一〇・二	七・八	六・七	五・五
二月	一八・〇	一二・七	一五・七	一八・〇	一六・五
三月	一七・四	一一・二	一〇・二	九・七	五・九
四月	一三・四	一五・九	一二・八	一二・九	七・九
五月	一二・三	一三・四	七・七	六・八	五・九
六月	八・八	一一・〇	一一・〇	一二・七	七・三
七月	六・三	六・三	七・一	九・四	一一・六
八月	一二・九	一一・一	一〇・〇	一二・三	八・六
九月	一一・五	八・六	二三・〇	八・一	八・六
十月	一二・二	一二・一	八・五	一四・四	八・六
十一月	一六・四	九・九	七・八	七・八	六・一
十二月	一八・〇	一二・九	六・五	六・五	五・五
年	一八・〇	一二・九	二三・〇	一八・〇	一六・五

北西	北々西	無風	明治四十四年平均方向	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	平年
五・二	五・九	〇・二	北六西度西	北四六度西	北一五度西	北三一度西	北四八度西	北六六度西	北二六度西	北七五度西	北七七度西	北一七度西	北五三度西
六・一	七・二	一	北七〇度西	北六四度西	北六七度西	北四七度西	北七〇度西	北三三度西	北六三度西	北四九度西	北七五度西	北七七度西	北四四度西
四・一	五・一	〇・三	北五六度西	北二六度西	北二一度西	北二度西	北二五度西	北四七度西	北三九度東	北三度東	北一六度西	北一度西	北一度西
四・〇	四・五	〇・三	北四一度西	北一四度東	北五七度西	北五度東	北八六度西	北一六度東	北五七度西	北八度東	北四度東	北一度西	北一九度西
二・五	三・三	〇・三	南六三度西	南六〇度西	北七二度西	北七三度西	北一四度西	北一四度東	北五度西	北九度西	北一三度東	北一度西	北三八度西
一・九	三・三	〇・三	南七一度西	南五八度西	南六六度西	北五一度東	北五四度東	南八三度西	南七八度西	北九度西	北七四度西	北七九度西	北九九度西
三・九	六・一	〇・三	北三六度西	南五五度西	北一六度東	南四三度西	北三六度東	南七八度西	北四度東	北七七度西	北三一度東	北一七度西	
三・一	四・八	〇・三	北二一度西	北一七度東	北一〇度東	北五三度東	北三八度東	北七度東	北一度西	北二一度東	北四八度東	北二九度東	
二・九	四・二	〇・三	北	北一六度東	北二八度東	北一八度東	北三〇度東	北三七度東	北二三度東	北八〇度西	北二四度東	北二一度東	
四・六	七・五	一	北一四度西	北四七度西	北六〇度西	北二三度東	北七一度西	北四度東	北二〇度東	北七〇度西	北二五度東	北一二度東	
四・八	六・一	〇・三	北六六度西	北八一度西	北二八度西	北八四度東	北六四度西	北二〇度西	北八一度西	北二度西	北八度西	北六一度西	
四・四	五・九	〇・三	北四六度西	北四四度西	北八度西	北一七度西	北二四度西	北九度西	北二七度西	北一度西	北二度西	北二度西	

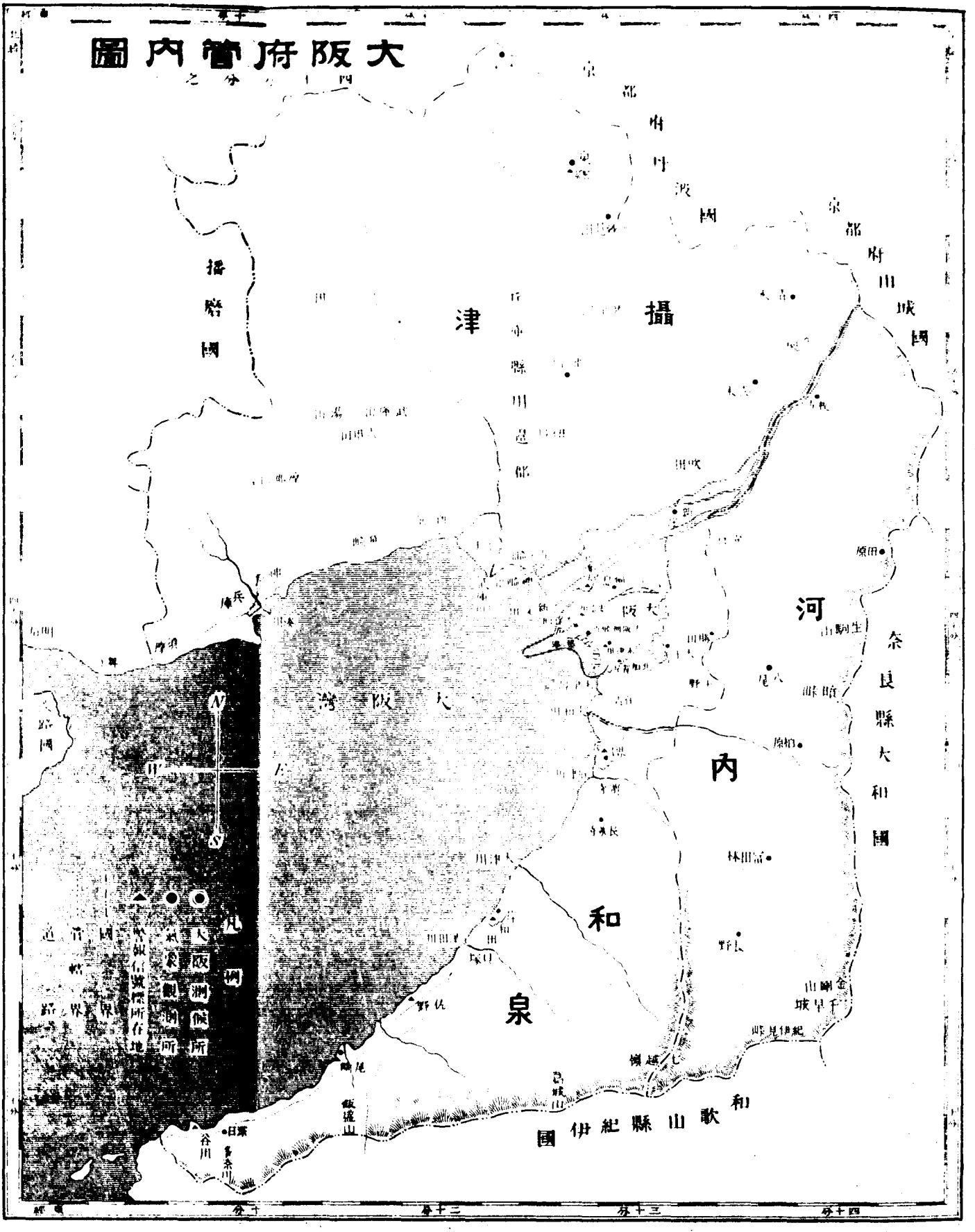
暴風日數

	東南東	南東	南々東	南々西	南西	西南西	西	西北西	北々西	北	最大風速	全上風向	明治四十四年	全四十三年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全三十九年	全三十八年	全三十七年	全三十六年	全三十五年	創立以來最大並全上風向
五六	一四	三六	三二	七一	一八〇	一九九	一八七	一四七	一一五	九九	一九九	西	二二〇	一九九	一九一	一七一	一一	一一九	一一九	一一七	一一九	一一九	二一〇
一六	四一	四三	八五	一四〇	一〇七	一三一	二二四	二一六	一二〇	一一二	一三一	南南西	一七四	一三一	一五一	一四一	一一六	一一七	一一七	一一七	一一七	一一七	一一七
一〇六	三四	二九	一三七	一四〇	一三七	一三七	二三四	一三四	一〇四	八一	一三四	南西	二二三	一五一	一五一	一四一	一九	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一
一〇二	四六	五二	五七	一二七	一二〇	一七二	二三二	一三二	一〇〇	九八	一〇二	西南西	二二〇	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二
七四	三九	二二	六六	五二	一一七	一九八	二〇二	一一七	六七	七三	一〇五	西北西	一一七	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
八二	四二	二一	三七	五二	一一七	七九	一二二	一一二	四三	五一	一三六	北西	一三〇	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六
三九	四四	二八	六〇	七九	一二五	一二五	一二五	一二五	六九	三九	一二五	北北西	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五	一二五
八一	一三三	一二〇	六二	二七九	一二一	一五五	一二〇	一二一	七七	六八	一二一	北北東	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一
三八	五二	三七	三八	一〇一	三七〇	一四七	三七〇	一一〇	四四	四四	一四七	北東	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
一〇八	四九	三〇	四四	八七	八七	一七九	一八三	一八三	一二二	一七九	一八三	東北東	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三	一八三
三四	三八	四三	二八	五二	一一六	一九一	一八九	一五一	一二七	一二七	二四七	東	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七
四八	三四	三三	三一	二一	一三〇	一六三	一九一	一五九	一一九	一一七	一九五	東南東	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
一〇八	一三三	一三七	一三七	二七九	一三七	一三四	一四七	一二六	一二七	一五五	一五五	東南東	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七

年	五十六年	五十七年	五十八年
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
歩	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
中	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
大	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
特大	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇

第二編

大阪府管内氣象觀測概況


大阪府管内圖
攝津國
播磨國
京都府
山城國
河内
和泉
大阪灣
大阪測候所
大阪驗潮所
驗潮儀信號標所在地
和歌山縣
紀伊國
奈良縣
大和國
兵庫
N
S

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市町村	緯度	經度	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡深日村	百三十五度	九分	三十四度十九分	北野孝德
尾崎	全國全郡尾崎村	百三十五度	十六分	三十四度二十二分	高尾章
岸和田	全國全郡岸和田町	百三十五度	二十三分	三十四度二十七分	谷巖
長承寺	全國泉北郡鳳村	百三十五度	二十七分	三十四度三十二分	下村彌七郎
堺	全國堺市ノ町	百三十五度	二十九分	三十四度三十五分	吉村正輔
勝山	攝津國東成郡鶴橋村	百三十五度	三十二分	三十四度四十分	大阪府立農學校
天王寺	全國大阪市南區天王寺	百三十九度	三十一分	三十四度三十九分	加藤昭純
大阪	全國大阪市西區一條通	百三十五度	二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
福島	全國大阪市北區上福島	百三十五度	三十一分	三十四度四十二分	笠谷正三郎
木津川	全國大阪市西區炭屋町	百三十五度	三十分	三十四度四十分	府立船圖場
新庄	全國西成郡新庄村	百三十五度	三十一分	三十四度四十五分	植田鑑照
池田	全國池田町池田	百三十五度	二十六分	三十四度五十分	笹部利作
妙見山	全國豐能郡東鄉村	百三十五度	二十八分	三十四度五十六分	阪部文二郎
東鄉	全國全郡東鄉村	百三十五度	二十九分	三十四度五十七分	山田四郎
天王	全國全郡根根雜村	百三十五度	二十三分	三十五度 二分	鈴木重男
茨木	全國三島郡茨木町	百三十五度	三十四分	三十四度四十九分	太田宗太郎
清水	全國全郡清水村	百三十五度	三十六分	三十四度五十三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡枚方町	百三十五度	三十九分	三十四度四十九分	酒井貞三
田原	全國全郡田原村	百三十五度	四十二分	三十四度四十三分	東尾重藏
八尾	全國河內郡八尾町	百三十五度	三十六分	三十四度三十八分	吉永勇藏
柏原	全國河內郡柏原村	百三十五度	三十七分	三十四度三十五分	幾內農事試驗支場
富田林	全國全郡富田林町	百三十五度	二十分	三十四度三十分	堤本幸太郎
長野	全國全郡長野町	百三十五度	三十五分	三十四度二十七分	松本遠水

氣象觀測器械及時刻

一 寒暖計 } 百葉箱内に懸置し地上の高さを一米一とす
一 濕球寒暖計
一 最高寒暖計
一 最低寒暖計

一 雨量計 地上に現はるゝ高さを二粁とす

一 風信器 屋上障碍物なき所に据付く

一 正午計

一 觀測時刻及回數は毎日午前十時（本邦中央標準時）一回とす
但し管内農事試驗支場は毎日午前九時なり

本府管内の氣象區を四區に分割す其區域左の如し

一 北部 攝津國の内豐能郡、三島郡の北部

一 東部 河内國の内北河内、中河内二郡の東部、南河内郡

一 西部 河内國の内北河内、中河内二郡の西部、攝津國の内大阪市、西成、東成の二郡、三島郡の南部

一 南郡 和泉國堺市、泉北郡、泉南郡

大阪府管內氣象概況

大阪府は攝津の內大阪市及西成、東成、三島、豊能の四郡並に河內和泉の二國より成り北は丹波に境し北東は山城に隣り東及南一帶は山岳連亘して紀和との境を劃し北西は攝津の川邊郡と犬牙錯綜し南西は大阪灣に面せり而して廣袤は東西二十里南北二十一里餘にして總面積約百十八方里餘に渉れり

山脈は南東に起り蛇蜒して北に馳せ西は一帶の平原相連りて數流の河川其中央を貫流し皆大阪灣に注けり而して其最も大にして且つ非常の影響を與ふるを淀川とす淀川は源を琵琶湖に發し山城を經て河內攝津の境を貫き分岐し復た合流して更に四流となり皆大阪灣に朝す而して本川に注入する水は近江、山城、丹波、伊賀、大和、河內及攝津の七ヶ國より來るを以て溝連灌漑の便頗る多きも一朝大雨に際せは沿岸の地水害を被むること亦尠しとせず

管內池沼の類尠からさるも多くは灌漑に便せんが爲め開鑿せしものにして其大なるを和泉の久米田池及河內の狹山池とす山岳中峻容壯姿の特に列擧す可きもの非されとも其最高なるは南東隅なる金剛山（約千二百米）にして之れに亞くは北隣の葛城山（約千米）七越山等なり其他稍々高峰とも見るへきは北方の妙見山（約六百五十米）なりとす而して本府管內の大部は殆んと平坦にして沃野多く各地の氣候は大阪市と大差なく只攝津北部河內東部及南東部の山間のみは數度低温にして降水量も稍々多き觀あり

今明治四十五年より大正元年に於ける大阪府管內各觀測所の氣象觀測成績を摘記すれは左の如し

一月（低溫寡雨）は亞細亞大陸方面に氣壓著しく增高し北太平洋に低氣壓あるか故に西乃至北西風卓越して吹き氣溫は爲めに下降して年中の最寒季節となれり然り而して本年一月上旬は温暖なりしか中旬より下旬に至りては寒氣增進し最低氣溫は北部天王に於て零下九度二に降り且つ山間部は降雪連日に亘れり又平均氣溫は五度六より零下零度七の間にありて之れを平年に比すれは一般に稍々低溫なりき、降水量は東部田原の五十七粍二よ

り北部天王の二十七粍三の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく就中北部の山間は平年量の二分一に過さりき

二月（高温多雨）は前月の氣候を繼承し上旬は寒冷にして最低の極は北部天王に於て零下九度七に降りたれとも中旬より下旬に亘りて著しく温暖となり最高の極は南部尾崎に於て二十二度零の高度を現せり平均氣温は八度一より三度三の間にありて之れを平年に比すれは三度内外の高温なり又降水量は北部天王の百九十九粍六より東部柏原の百二十六粍三の間にありて之れを平年に比すれは三倍強に當り二月の現象として如斯高温にして降水量多かりしは實に稀有の現象なりとす

三月（高温適雨）は氣候變遷期にして氣温の變化甚しく最低は概して零下に降り北部天王の零下五度四を低極とす最高の極は南部堺にて二十二度五を示せり而して平均氣温は九度一より四度七の間にありて之れを平年に比すれは一度内外高し又降水量は北部天王の百五十五粍四より南部長承寺の八十七粍八の間にありて平年と大差なかりき

四月（高温多雨）は前月と等しく氣候變遷期なるか故に氣温の變化急劇にして暖冷の氣交々至れり而して最低の極は北部天王に於て零下四度零に降りたれとも最高の極は東部長野に於て二十八度一に達し平均氣温は十四度五より十度一の間にありて之れを平年に比すれは概して高し又降水量は東部八尾の百九十八粍零より北部妙見山の百三十九粍三の間にありて之れを平年に比すれは一般に多量を示せり

五月（適温寡雨）は高低氣壓の來去頻繁なりしため天氣の變化頗る急劇にして氣温の昇降も亦甚しとす而して最高の極は東部八尾及富田林に於て三十度五に達し最低の極は北部天王に於て二度一を示し平均氣温は十八度一より十三度五の間にありて之れを平年に比すれは大差なかりき又降水量は北部天王の百六十一粍七より東部富田林の六十八粍二の間にありて之れを平年に比すれは一般に少し

六　月　（低温寡雨）は中旬より梅雨の季節に入るを以て小低氣壓の來去頻繁となり時に消長ありと雖も概して陰鬱なる天氣を持續せり然り而して本年は氣温稍々低きも最高の極は東部柏原に於て三十二度三に達し最低の極は北部天王に於て五度一を示せり又平均氣温は二十二度三より十七度九の間にありて之れを平年に比すれは稍々低く降水量は南部尾崎の百三十五粍五より西部茨木の八十七粍七の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく平年の約二分の一に過さりき

七　月　（適温多雨）上旬は全く梅雨の狀態を呈し降雨頻繁にして氣温の變化緩慢なりしか梅雨一度霽るゝや氣候一變し、夏季の本態を現はし氣温著しく上昇し最高の極は東部富田林の三十六度零に達し最低の極は北部妙見山に於て十度九を示せり平均氣温は二十六度一より二十一度三の間にありて平年と大差なかりき又降水量は東部田原の二百十五粍二より南部深日の百二十七粍七の間にありて之れを平年に比すれは概して多き方にあり

八　月　（高温寡雨）は暑氣最も旺盛なる時にして年中の最暑季節とす本年も亦氣温高く最高の極は西部枚方、東部柏原に於て三十六度五に達し北部の山間を除く外一般に三十五度内外に上り最低の極は北部天王に於て十三度零を示せり平均氣温は二十八度四より二十三度一の間にありて之れを平年に比すれは一度内外の高温なりき降水量は西部茨木の百二粍六より南部岸和田の四十三粍三の間にありて之れを平年に比すれは著しく少く南部の南端及北部の山間は平年量の二分の一に達せさりき

九　月　（低温多雨）上旬は前月の氣候を繼承し高温にして最高の極は西部福島に於て三十六度五に達したるも中旬より頓に冷氣となり最低の極は東部田原に於て九度六に降れり平均氣温は二十二度九より十八度四の間にありて之れを平年に比すれは二度内外の低温を示せり又降水量は南部尾崎の三百四十八粍八より東部富田林の二百十五粍一の間にありて一般に平年より多量を示せり

十　月　（低温寡雨）上旬は稍々温暖にして最高の極は南部尾崎に於て三十度零を示し中旬は稍々冷氣にして最低の

極は北部天王に於て三度一に降れり平均氣温は十七度六より十二度六の間にありて之れを平年に比すれは一般に低し又降水量は南部尾崎の百二十四粍零より西部茨木全福島の五十四粍五の間にありて之れを平年に比すれは著しく少なく就中茨木及田原は平年量の二分の一に達せざりき

十一月（低温寡雨）上旬は稍々温暖にして最高の極は西部茨木に於て二十五度五に達したれども爾後頓に寒氣増進し東、北両山間部は既に氣温零下に降り其極は北部天王に於て零下三度七を示せり平均氣温は十二度一より六度一の間にありて之れを平年に比すれは二度内外の低度なりき又降水量は南部尾崎の七十粍七より北部池田の三十九粍五の間にありて之を平年に比すれは約三分の二に相當せり

十二月（適温多雨）月の上半は冬季の狀態を呈し晴燥寡雨に經過せしが下半は降雨多く濕潤に失せり而して最高の極は南部岸和田及東部富田林に於て二十度五を示し最低の極は北部天王及妙見山に於て零下八度零に降り全東郷の零下七度五之れに亞けり又平均氣温は八度二より二度零の間にありて平年と大差なかりき降水量は西部茨木の百二十二粍九より西部勝山の七十四粍九の間にありて之れを平年に比すれは二倍乃至三倍の多量を示せり

觀測所	空氣の温度								降水			
	平均	最高	日		最低	日			總量	日數	一日中最多量	日
深日	一五、九	三四、八	八月	十八日	(一)	三、二	二月	一日	一四六、四	一〇〇	二二〇、三	九月二十一日
尾崎	一五、九	三六、〇	八月	二日 十日	(一)	二、九	二月	一日	一六〇、四	一〇八	一二六、〇	九月二十一日
岸和田	一五、三	三四、〇	八月	二十二日	(一)	三、〇	二月	一日	一三二、一	一二八	六九、九	九月二十一日
長承寺	一五、一	三四、二	八月	二十日	(一)	四、〇	一月	二十一日	一三四、一	一三一	七〇、五	九月二十一日
堺	一五、七	三五、五	八月	二十日	(一)	三、五	二月	十三日	一二七、五	一一六	一二五、〇	九月二十二日
勝山	一五、三	三五、七	八月	九日	(一)	三、一	一月	二十四日	一三四、二	一二六	六八、五	八月二十三日
天王寺	一五、四	三五、五	八月	二十三日	(一)	三、六	二月	十三日	一三九、四	一二七	八〇、〇	九月二十一日
大阪	一五、四	三四、三	八月	十九日 二十二日	(一)	二、五	一月	十七日	一三八、六	一三七	九七、二	九月二十一日

空氣の溫度

（午前十時の平均溫度）

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
福島	一五、六	三六、五	九月二日	(一)	三、五	十二月廿五日	一三、六、八	一一五	六五、〇	九月二十一日			
新庄	一五、一	三五、五	九月十九日	(一)	五、六	一月十七日	一三七、七	一四	六五、三	九月二十一日			
鹽田	一五、〇	三四、五	八月二十日 九月二十二日	(一)	五、三	十二月廿五日	一五〇五、〇	一二二	八五、〇	九月二十二日			
東鄉	一三、〇	三四、〇	八月二十六日	(一)	七、六	十二月廿五日	一四四五、〇	一二四	九九、五	九月二十二日			
妙見山	一一、〇	二九、四	七月九日	(一)	九、〇	一月十七日	一四三七、七	一二六	七五、五	九月十二日			
天王	一一、七	三一、九	八月十九日	(一)	九、七	二月一日	一六九三、五	一八九	九五、〇	九月二十一日			
木戸	一五、一	三五、五	八月十九日 二十三日	(一)	五、六	一月十七日	一五一四、五	一三三	八二、〇	九月二十一日			
清水	一四、五	三四、三	八月二十日	(一)	五、五	一月一日	一五一八、五	一六〇	九〇、三	九月二十二日			
枚方	一五、四	三六、五	八月二十二日	(一)	四、〇	一月一日	一五九六、〇	一二六	一〇六、〇	九月二十二日			
田原	一四、一	三五、〇	八月二十日	(一)	六、六	一月二十一日	一五九八、〇	一二九	一〇九、六	九月二十二日			
八尾	一五、三	三五、八	八月二十二日	(一)	四、四	二月十三日	一三〇四、七	一二〇	六二、〇	九月二十一日			
柏原	一五、二	三六、五	八月二十日	(一)	三、五	一月十七日	一三〇六、二	一二五	六三、七	九月二十二日			
富田林	一五、〇	三六、〇	七月十九日 八月二十日	(一)	四、〇	一月二十三日	一二七九、三	一一七	六七、九	九月二十二日			
長野	一四、四	三三、八	七月十九日	(一)	五、〇	一月十五日	一三三六、八	一一六	七五、三	九月二十二日			
深日	七、〇	一〇三	一四、八	一九、六	三四、〇	二七、一	二九、一	二三、八	二〇、〇	一三、八	九、九	一七、三	
尾崎	六、三	九、九	一五、四	一九、五	三二、八	二七、三	二八、八	二三、八	一八、九	一二、七	八、六	一六、九	
岸和田	六、一	九、六	一五、三	一九、〇	三二、九	二六、九	二八、一	二三、六	一八、九	一二、四	八、六	一六、八	
長承寺	六、六	一〇、一	一七、九	二〇、三	三四、六	二七、七	二九、九	二四、一	一八、九	一三、三	八、三	一七、四	
堺	五、九	一〇、四	一五、七	二〇、三	三三、五	二六、九	三〇、〇	二四、五	一九、三	一二、九	七、八	一七、一	
勝山	五、五	九、三	一五、七	二一、〇	三四、二	二六、九	二九、一	二三、二	一八、九	一二、一	七、九	一六、九	

平均最高温度

観測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
天王寺	五・三	八・五	九・四	一五・八	二〇・二	二三・九	二六・八	二九・七	二三・四	一八・四	一一・四	六・七	一六・一六
大阪	五・二	八・一	九・三	一五・〇	一九・六	二三・二	二六・三	二九・三	二三・六	一八・九	一二・四	七・四	一六・一五
福島	五・六	八・九	一〇・三	一六・四	二〇・七	二四・一	二六・九	三〇・三	二三・九	一九・六	一二・六	八・一	一七・三
新庄	四・八	七・七	九・三	一五・二	一九・九	二三・二	二六・一	二九・二	二三・一	一七・九	一二・一五	六・六	一六・二
池田	五・二	八・四	一〇・二	一五・六	一九・七	二三・九	二六・九	二九・七	二三・六	一八・六	一二・四	七・七	一六・一六
妙見山	二・一	五・一	四・四	九・四	一四・二	一八・二	二〇・八	二三・七	一七・八	一二・六	六・四	二・三	一一・四
東郷	三・九	七・七	九・三	一四・〇	一八・二	二二・二	二四・一	二七・〇	二二・二	一七・四	一〇・七	五・七	一五・三
天王	二・二	五・七	六・二	一一・九	一五・七	一九・一	二三・四	二五・六	二一・一	一五・七	九・〇	五・一	一三・四
芙木	五・五	八・六	一〇・九	一五・九	二〇・五	二四・六	二六・六	二九・九	二四・一	一九・六	一二・四	七・九	一七・二
水	五・四	八・八	九・七	一五・五	二〇・一	二三・六	二六・四	二八・八	二三・九	一九・〇	一二・四	八・六	一六・九
方	九・五	九・〇	一〇・二	一六・三	二〇・七	二四・六	二七・六	三〇・二	二四・六	一九・四	一二・一	七・三	一七・三
田原	五・四	八・六	九・七	一五・三	一九・七	二三・九	二六・〇	二八・九	二三・九	一八・六	一一・三	七・三	一六・四
尾	六・〇	八・九	一〇・四	一六・三	二〇・九	二四・〇	二七・五	三〇・一	二四・四	一九・三	一二・五	八・七	一七・四
柏原	四・五	七・七	九・五	一五・六	一九・七	二三・三	二六・九	二九・五	二三・七	一七・八	一二・〇	六・一	一六・五
富田林	四・七	七・九	九・六	一六・四	二〇・二	二三・八	二七・四	三〇・〇	二三・七	一八・七	一二・二	七・八	一六・九
長野	四・七	八・〇	九・九	一五・六	一九・六	二三・五	二六・四	二九・一	二三・二	一八・三	一二・七	七・五	一六・二
深日	九・三	一二・五	一三・四	一九・一	二二・七	二六・七	二九・七	三二・二	二六・七	二二・三	一六・〇	一二・三	二〇・三
尾崎	八・八	一二・六	一三・六	一九・四	二三・四	二七・五	三一・一	三三・三	二七・四	二二・七	一六・〇	一一・九	二〇・六
岸和田	八・三	一二・二	一三・六	一八・七	二二・七	二五・七	二九・五	三一・七	二六・〇	二一・六	一五・三	一一・八	一九・九
長承寺	八・五	一二・一	一三・八	一九・一	二三・六	二六・六	二九・三	三一・八	二六・七	二一・九	一五・五	一一・六	一九・九

平均最低温度

観測所	堺	勝山	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	深日	尾崎
																	長野		
一月	九・〇	八・六	八・六	八・二	八・八	八・五	九・〇	二・六	五・三	四・八	九・三	九・四	九・四	八・六	九・七	八・五	八・二	一・九	一・八
二月	一二・四	一二・四	一二・一	一一・一	一二・三	一一・八	一二・三	七・四	八・九	八・四	一二・三	一二・〇	一二・一	一一・七	一二・六	一二・三	一二・五	三・六	三・三
三月	一三・六	一二・九	一三・〇	一二・三	一三・四	一三・一	一二・九	九・一	一一・六	九・〇	一三・五	一二・九	一三・五	一三・七	一三・七	一三・一	一三・〇	四・七	四・三
四月	一九・五	一八・八	一九・〇	一七・九	一九・五	一九・六	一九・三	一五・五	一七・五	一五・七	二〇・一	一九・二	一九・二	一九・〇	一九・九	一九・五	二〇・〇	九・九	九・四
五月	二三・五	二二・一	二三・〇	二二・二	二三・七	二三・六	二二・九	一八・三	二〇・一	一九・一	二三・四	二三・二	二三・七	二二・九	二四・四	二四・一	二三・九	一二・七	一二・四
六月	二七・一	二六・六	二六・七	二六・〇	二七・五	二七・二	二七・六	二二・二	二四・九	二三・三	二七・六	二七・三	二七・三	二六・八	二八・二	二八・〇	二七・六	一七・一	一七・一
七月	三〇・一	二九・三	二九・二	二八・五	二九・九	二九・一	二八・八	二四・七	二六・五	二六・三	二九・二	二九・一	三〇・三	二八・九	三〇・四	三〇・〇	二九・三	二二・四	二二・九
八月	三二・一	三二・〇	三二・九	三一・九	三二・四	三二・五	三二・一	二六・四	三〇・二	九・四	三二・九	三一・六	三二・〇	三二・一	三一・六	三二・六	三〇・八	二二・七	二二・四
九月	二七・五	二六・七	二六・二	二六・〇	二六・六	二六・〇	二五・九	二二・四	二五・八	一九・三	二三・七	二二・七	二七・三	二六・一	二七・四	二七・一	二六・七	一七・六	一七・四
十月	二二・八	二二・一	二二・一	二二・〇	二二・七	二二・一	二二・一	一六・二	一九・八	一八・三	二三・四	二二・二	二三・〇	二二・二	二二・五	二二・九	二二・九	一二・九	一二・三
十一月	一六・三	一五・九	一五・二	一五・六	一五・八	一五・二	一五・七	九・五	一三・八	一二・二	一六・四	一五・八	一六・五	一五・〇	一五・三	一五・七	一四・九	八・一	七・六
十二月	一一・七	一一・七	一〇・七	一一・五	一一・六	一〇・七	一一・三	五・五	一〇・一	七・八	一二・六	一一・七	一二・六	一〇・八	一一・六	一一・五	一一・三	四・三	四・〇
全年	二〇・六	二〇・〇	一九・八	一九・四	二〇・四	一九・九	二〇・〇	一四・九	一七・九	一六・三	二〇・七	二〇・一	二〇・六	一九・七	二〇・八	二〇・六	二〇・四	一一・六	一一・三

平均温度（毎日最高最低平均）

観測所	岸和田	堺	勝山	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王寺	茨木	清水	枚方	八尾	富田林	長野
一月	一三・三	一〇・九	〇・八	一・六	一・〇	〇・五	〇・五	一・五	四・〇	一・九	三・六	一・三	一・七	〇・〇	〇・五	〇・八	〇・七
	三・三	三・三	二・九	三・三	三・四	三・三	三・四	三・四	〇・七	一・〇	〇・七	一・三	二・三	二・五	三・三	一・九	三・三
	四・四	四・二	四・二	四・三	四・七	四・二	二・九	三・三	〇・八	二・八	〇・三	二・八	二・五	四・一	三・二	二・七	二・七
	九・一	八・九	八・九	九・三	九・一	八・四	八・〇	七・五	四・八	六・〇	五・一	六・九	六・〇	七・七	七・四	七・二	七・一
	一二・七	一二・五	一二・八	一三・〇	一三・〇	一二・四	一三・五	一二・三	八・七	九・〇	八・四	一〇・七	一〇・九	一二・四	九・九	一〇・九	一〇・七
	一六・九	一六・九	一七・一	一七・三	一七・四	一七・一	一七・一	一六・三	一三・五	一四・七	一三・三	一三・三	一五・三	一五・六	一五・七	一六・一	一五・八
	二二・二	二二・九	二二・四	二二・七	二二・四	二二・一	二二・八	二二・四	一七・五	一九・二	一八・五	二二・七	二〇・六	二〇・八	二二・一	二二・六	二二・四
	二二・五	二二・五	二二・九	二三・〇	二三・四	二二・一	二二・八	二二・四	一九・八	一九・八	一八・七	二二・四	二二・〇	二二・六	二二・〇	二二・七	二二・三
	一八・〇	一八・四	一六・二	一八・八	一八・七	一八・六	一八・一	一八・四	一五・三	一四・三	一五・四	一八・六	一七・〇	一七・三	一六・七	一七・七	一七・三
	一二・五	一一・八	一一・五	一二・三	一二・六	一二・二	一一・八	一一・九	九・〇	九・九	八・四	一〇・五	一〇・三	一一・三	一〇・六	一〇・七	一〇・四
	六・八	六・四	六・三	六・一	七・一	六・五	五・八	五・三	二・七	三・五	二・八	五・〇	三・七	六・一	五・一	五・五	五・一
	三・八	三・三	一・七	一・九	二・六	三・〇	一・七	一・三	一・四	〇・七	一・三	一・三	〇・四	三・三	一・三	一・七	〇・九
	一〇・〇	一〇・九	一〇・六	一一・一	一〇・八	一〇・四	一〇・四	一〇・〇	七・二	八・一	七・一	九・五	八・八	一〇・一	八・四	九・七	九・六

（一）

平均較差

（平均最高最低の較差）

	深日	尾崎	岸和田	長承寺	堺	蹄山	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	牡見山（一）	東郷	天王	矢木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一月	五·六	五·三	四·九	四·六	五·〇	四·七	四·六	四·六	四·六	四·〇	三·七	〔·七	一·七	〇·六	三·六	三·八	四·七	三·六	四·九	四·一	三·七	三·三
	八·一	八·〇	七·七	七·五	七·八	七·六	七·七	七·三	七·七	七·一	七·四	三·三	五·〇	三·八	六·九	六·六	七·三	六·三	七·五	七·二	七·七	七·〇
	九·一	九·〇	八·五	八·三	八·九	八·七	八·七	八·五	八·八	八·〇	八·一	四·八	七·二	四·七	八·二	七·七	八·八	七·二	八·五	八·〇	七·八	七·四
	一四·四	一四·五	一三·九	一三·八	一四·二	一三·八	一四·一	一三·五	一三·九	一三·八	一三·四	一〇·一	一一·七	一一·一	一一·六	一二·六	一二·四	一二·三	一二·六	一二·三	一三·六	一三·二
	一七·六	一八·〇	一七·二	一七·五	一八·〇	一八·〇	一八·〇	一七·六	一八·〇	一八·一	一七·一	一三·五	一四·五	一三·八	一七·一	一七·一	一七·六	一六·四	一七·八	一七·三	一七·五	一六·七
	二二·〇	二二·三	二一·三	二一·六	二二·〇	二一·九	二二·一	二一·七	二二·三	二二·一	二二·〇	一七·九	一九·八	一八·二	二一·五	二一·七	二一·二	二一·七	二一·九	二二·〇	二一·八	二一·六
	二六·一	二六·九	二五·八	二五·九	二六·〇	二五·四	二五·五	二五·九	二五·七	二五·六	二五·〇	二一·一	二三·九	二二·四	二五·五	二四·八	二五·九	二四·六	二五·八	二五·八	二五·一	二五·三
	二七·五	二七·八	二七·一	二七·二	二八·三	二七·六	二八·四	二七·六	二八·三	二七·六	二七·二	二二·一	二五·〇	二三·六	二七·七	二六·三	二七·八	二六·七	二六·八	二七·七	二七·六	二六·七
	二三·六	二三·五	二二·九	二二·五	二三·九	二二·八	二三·五	二二·四	二二·七	二三·〇	二二·二	一八·四	二〇·〇	一八·九	二三·九	二二·九	二二·二	二二·〇	二二·一	二三·四	二二·七	二二·二
	一七·六	一七·四	一六·六	一七·一	一七·三	一六·八	一六·七	一七·四	一七·四	一六·六	一六·七	一二·六	一四·八	一三·四	一七·〇	一六·二	一五·六	一五·六	一六·六	一七·〇	一七·六	一六·二
	一一·八	一一·〇	一〇·七	一一·四	一一·九	一一·三	一〇·三	一一·三	一一·二	一〇·五	一〇·四	六·一	八·六	七·五	九·七	九·〇	一〇·三	一〇·二	一〇·二	一〇·四	一〇·三	一〇·一
	八·三	八·〇	七·三	六·九	六·九	六·七	六·三	七·一	六·八	六·二	六·三	二·〇	四·七	三·三	六·九	五·七	七·四	五·四	六·六	六·四	六·五	五·七
	一五·九	一五·九	一五·三	一五·三	一五·七	一五·三	一五·四	一五·四	一五·六	一五·一	一五·〇	一一·一	一三·〇	一一·七	一五·一	一四·五	一五·四	一四·一	一五·三	一五·二	一五·〇	一四·四

観測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	七・四	八・九	八・七	九・二	一〇・〇	九・六	七・四	八・〇	八・〇	九・四	七・九	八・七	八・七
尾崎	七・〇	九・三	九・三	九・九	一〇・九	一〇・五	八・五	九・八	九・八	一〇・五	八・四	七・九	九・四
岸和田	七・二	九・〇	八・二	九・五	一一・一	八・八	七・八	八・〇	八・〇	九・〇	八・四	九・〇	八・六
長承寺	七・七	九・一	九・〇	一〇・七	一一・〇	一〇・二	八・二	九・八	七・三	一〇・九	九・五	九・七	九・七
堺	八・一	九・二	九・四	一〇・七	一一・〇	一〇・一	八・二	九・八	七・三	一〇・九	九・七	九・七	九・七
勝山	七・九	九・五	八・七	九・九	一〇・四	九・五	七・九	九・四	九・九	一〇・六	九・三	一〇・〇	九・四
天王寺	八・〇	八・八	八・七	九・七	一〇・〇	九・四	七・五	八・九	七・九	九・八	八・五	八・五	八・七
阪	七・二	七・七	七・六	八・八	九・二	八・六	六・一	八・五	七・八	八・三	八・八	九・六	八・一
大島	八・二	九・〇	九・〇	九・七	一一・三	一〇・五	八・六	一〇・三	八・〇	一〇・四	九・三	九・六	九・六
福庄	九・〇	九・三	一〇・三	一一・一	一一・一	一〇・一	八・六	九・八	七・九	九・五	九・四	八・九	九・五
新田	一〇・六	九・九	九・三	一一・八	一一・六	一一・三	七・八	九・八	七・八	九・五	九・五	八・九	九・五
池見	六・六	八・一	八・三	一〇・七	九・六	八・七	六・九	六・六	七・一	七・三	六・七	六・九	七・七
林山	七・二	七・九	八・八	一一・四	一一・〇	一〇・三	七・三	一〇・四	一一・五	一〇・〇	一〇・〇	九・八	九・七
東郷	七・四	七・九	八・八	一一・四	一一・〇	一〇・三	七・三	一〇・四	一一・五	一〇・〇	一〇・三	一〇・八	九・七
天王	七・四	九・一	八・七	一〇・六	一〇・七	九・九	七・九	九・八	七・三	九・九	九・九	九・九	九・二
茨木	一一・五	一一・〇	一〇・七	一三・二	一二・七	一二・四	七・六	一〇・四	八・七	一〇・四	一一・四	一一・四	一一・一
清水	一一・一	一〇・六	一〇・四	一三・一	一二・四	一一・九	八・五	一〇・六	九・八	一〇・七	一一・九	一一・三	一一・三
枚方	九・四	九・六	九・三	一一・五	一二・三	一一・四	九・四	一〇・四	九・四	一一・七	一〇・四	一〇・三	一〇・五
田原	一〇・一	一〇・九	一一・一	一三・四	一三・〇	一二・一	八・六	一〇・九	八・六	一一・七	一三・一	一一・九	一一・九
八尾	一〇・三	一〇・三	一〇・五	一三・五	一三・二	一二・五	九・四	一一・六	一〇・八	一一・五	一二・六	一二・〇	一二・〇
柏原	八・九	一〇・二	一〇・二	一二・四	一三・三	一二・六	八・四	一一・五	一〇・〇	一二・五	一二・五	一〇・六	一〇・八
富田林	九・一	一〇・六	一〇・二	一二・八	一二・九	一一・六	九・三	一一・七	九・九	一〇・七	九・四	一〇・四	一〇・六
長野	七・八	九・五	九・五	一二・三	一二・〇	一〇・三	八・〇	九・五	八・四	一〇・七	八・八	九・六	九・七

最高温度の極

観測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	一三・五	一三・三	一三・一	二六・三	二九・六	三〇・三	三二・七	三四・八	三三・〇	二八・三	二二・九	二〇・一	三四・八
尾崎	一三・〇	一三・〇	一三・〇	二五・九	二八・〇	三一・〇	三五・〇	三六・〇	三三・〇	三〇・〇	二二・〇	二〇・〇	三六・〇
岸和田	一三・一	一三・七	二〇・六	二七・〇	二八・一	二八・八	三三・六	三四・〇	三〇・二	二九・三	二一・四	二〇・五	三四・〇
長承寺	一三・〇	一三・九	二〇・三	二七・〇	二八・四	二九・六	三三・六	三四・三	三三・六	二八・三	二二・五	二〇・三	三四・三
堺	一一・八	一三・八	二二・五	二七・〇	二七・八	三一・〇	三五・〇	三五・五	三三・六	二九・〇	二三・〇	一八・九	三五・五
鶴山	一三・三	二〇・七	一	二七・五	二八・五	三〇・八	三三・一	三四・七	三一・五	二八・六	二三・二	一八・三	三五・七
天王寺	一一・一	一七・七	一八・一	二六・〇	二八・〇	三一・〇	三三・五	三五・五	三三・五	二七・三	二二・七	一八・二	三五・五
大阪	一二・五	一七・五	一八・一	二三・九	二六・六	三〇・六	三三・一	三四・三	三一・三	二八・二	二二・九	一八・六	三四・三
福島	一一・六	一七・五	二〇・二	二五・五	二八・七	三一・六	三三・五	三六・二	三六・五	二八・二	二四・六	一八・二	三六・五
新庄	一一・五	一七・九	二〇・一	二四・九	二七・四	三〇・五	三一・五	三五・五	三五・五	二六・四	二三・四	一五・五	三五・五
池田	一二・〇	一八・二	一八・五	二五・〇	二七・七	三〇・八	三二・〇	三四・〇	三四・〇	二七・七	二四・〇	一七・〇	三四・五
妙見山	五・六	一四・六	一五・一	二二・一	二三・六	二五・六	二六・七	二九・四	二八・一	二一・五	一六・一	一三・六	二九・四
東娜	一一・〇	一四・一	一七・〇	二四・四	二八・〇	二八・〇	二九・六	三四・〇	二九・六	二四・四	二〇・六	一六・五	三四・〇
天王	九・九	一六・八	一四・九	二三・六	二五・九	二六・九	三〇・〇	三一・九	二八・九	二四・一	一九・九	一二・二	三一・九
茨木	一三・三	一八・三	二〇・三	二五・九	二八・一	三一・五	三二・四	三五・五	三二・五	二九・八	二四・五	一六・三	三五・五
清水	一二・八	一七・五	二一・〇	二五・〇	二九・〇	三〇・五	三二・八	三四・二	三二・三	二七・二	二四・五	一六・五	三四・三
枚方	一	一九・〇	二三・〇	二五・五	二八・五	三〇・〇	三二・五	三六・九	三四・〇	二六・九	二四・四	一六・五	三六・九
入尾	一三・三	一九・八	二一・四	二六・四	二九・六	三一・三	三四・一	三五・八	三一・八	二九・四	二四・六	一三・六	二九・四
田原	一二・六	一八・五	二一・三	二五・五	二七・七	三〇・八	三二・〇	三五・〇	三五・〇	二八・〇	二二・八	一七・八	三五・〇
柏原	一三・〇	二一・四	二一・四	二六・四	二九・〇	三一・〇	三四・〇	三六・〇	三一・八	二九・四	二四・四	一七・〇	三六・〇
富田林	一三・〇	二一・五	二一・五	二七・五	三〇・五	三一・五	三四・〇	三六・〇	三一・五	三〇・〇	二三・〇	一七・八	三六・〇
長野	一〇・九	二二・三	二一・三	二八・一	二九・六	三一・一	三五・八	三六・〇	三一・八	二七・四	二一・六	一九・九	三六・八

觀測所	一月	二月	三月	四月	月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
日深	(一)二四	(一)二四	(一)一一	二五	七四	一三	一七	二一	一三	八〇	二九	(一)一二	三一
尾崎	(一)二五	(一)二九	〇九	〇〇	五六	一一	一八	二〇	一二	七二	一一	一九	二九
岸和田	(一)二五	(一)三〇	〇四	一一	七一	一一	一八	二〇	一二	八二	一四	一二	三〇
承寺	(一)四〇	(一)三五	(一)一〇	〇五	五〇	一〇	一九	二一	一二	五六	〇四	二一	四〇
堺	(一)二九	(一)三五	〇三	〇二	六九	一〇	一六	二一	一二	六七	一〇	三二	三三
山諏	(一)三一	(一)二五	〇三	一	六二	一〇	一七	一九	一三	六六	一五	一九	三一
天王寺	(一)三九	(一)三六	〇〇	〇六	六八	一三	一八	二一	一三	七六	〇七	〇九	三六
陝	(一)三五	(一)二三	〇一	〇九	七六	一一	一八	二一	一三	八二	一五	一五	三三
島	(一)二五	(一)三〇		〇七	六〇	一一	一八	二〇	一三	七〇	〇七	一二	三三
庄	(一)五六	(一)三五	(一)一五	二〇	六四	一一	一七	二〇	一三	五九	〇九	一三	三四
田	(一)四三	(一)五〇	一一	〇五	六九	一〇〇	一五	一九	一〇	四四	(一)一一	一五	三〇
山	(一)九〇	(一)八〇	四四	三〇	三五	六九	一〇九	一七	一〇	四四	(一)一一	一五	三〇
鄉	(一)四九	(一)五〇	一七	〇九	三一	九一	一四三	一七九	一〇四	三九	(一)一一	一五	三四
天王	(一)九二	(一)九七	五四	四〇	三一	五一	一一四	一三〇	一〇〇	三一	(一)一七	一八	三七
木	(一)五六	(一)五一	二〇	三〇	五〇	八九	一六三	二〇六	一一八	五八	一四	二〇	四〇
水	(一)五〇	(一)四九	二〇	二五	五三	八三	一五九	一九三	一一一	四三	(一)一五	一五	三五
方	一	(一)四〇	一〇	一〇	六一	一一〇	一五五	二〇四	一〇五	七六	一一	一五	三五
田原	(一)六六	(一)六六	(一)三五	三四	二七	九三	一五六	一九三	九六	三四	(一)一七	一六	三六
尾	(一)四三	(一)四四	一八	一七	五〇	一〇一	一六五	二〇五	一〇九	五〇	一〇五	一三	四四
原	(一)三五	(一)三一	一七	一〇	五〇	一〇〇	一七一	一九〇	一一五	五四	一四	二二	三五
柏	(一)三五	(一)三五	(一)二四	一七	五〇	一〇一	一六四	一九六	一〇八	五六	一四	二二	三五
富林	(一)四〇	(一)三五	(一)二四	一七	五〇	一〇一	一六〇	二〇五	一〇八	六〇	〇九	一九	四〇
長野	(一)五〇	(一)三五	(一)二四	一七	四〇	九八	一六四	一九六	一〇八	六〇	一二	四五	五〇

濕度

（午前十時の平均濕度）

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	六一	六五	六四	六七	六八	七〇	七一	七七	七二	六四	七一	七一	六七
尾崎	六七	六八	六八	七〇	七四	七五	七五	六八	六七	七一	七八	八〇	七一
岸和田	六三	六六	六六	六三	六四	六七	七二	六七	七二	六八	六四	六五	六六
長承寺	六一	六五	六四	五九	六〇	六二	七八	六二	七二	六八	六三	六九	六五
堺山	六四	七一	六六	六〇	六四	七五	七五	六五	七〇	七三	七二	七三	六九
勝山	六七	七八	六七	六三	七三	七六	八〇	七一	七七	七九	八〇	七七	七四
天王寺	七三	七一	六七	六三	六三	六六	七七	六六	七三	七三	六八	七五	六九
大阪	六四	六八	六五	六二	六〇	六四	七四	六四	七〇	六六	六六	七一	六六
福島	六八	七二	六七	六四	六七	六五	七六	六三	七一	六九	七〇	七二	六九
新庄	七〇	七三	六八	六七	七三	七一	八二	七四	七七	七六	八〇	七九	七四
通田	六四	六七	六八	六九	六四	六七	七七	六三	七三	六九	六三	七二	六八
妙見山	八二	八八	九〇	八二	八五	八三	九三	九〇	九一	九〇	九四	九一	八八
東郷	七五	七一	七二	六七	六六	七〇	八一	六五	七八	七五	七二	七四	七二
天下	八三	八一	七六	七二	七四	七五	八四	七六	八三	七八	七四	七七	七七
茨木	六七	六八	六五	六六	六六	七五	七五	六五	七二	七二	六七	七二	六七
清水	六二	六七	六四	六一	六三	六一	七四	六九	七三	六九	六二	六八	六五
枚方	六六	七九	七八	六五	七三	八二	八一	七二	七三	七〇	七二	七七	七三
八尾	六九	六九	六七	六二	六七	六七	七三	六三	七〇	七〇	七一	七四	六八
田原	六七	六九	六九	六三	六五	六九	七八	六八	七六	七〇	六七	七〇	六九
柏原	九三	八〇	七七	六四	六四	六三	七七	六八	七四	七八	八一	八九	七九
富田林	六二	六四	六四	五八	六四	六〇	七九	六二	七〇	六八	六二	六八	六三
長尾	七一	七四	七三	七〇	六〇	八二	八〇	七〇	七〇	七四	七四	七二	七四

午前十時の最小濕度

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
潮日	四〇	四四	四〇	三六	三五	五五	五六	四六	五三	四七	四六	四五	三六
尾崎	五一	五二	四五	五四	六九	六一	五六	六一	五七	五九	六四	四九	四九
岸和田	四九	四七	四四	四六	四六	五六	五五	五七	五二	五二	四四	四五	四四
長水寺	四七	四五	四四	三七	三六	四六	五七	五〇	五八	五一	四四	四八	三六
堺	五〇	二八	三九	四〇	四四	五六	五七	四三	五一	四七	四七	三九	二八
檜山	四七	三〇	五九	五三	四五	五六	四七	五二	五三	四五	四七	四八	三〇
王寺	五〇	四八	四一	四四	四六	五三	五七	五五	五二	五〇	四三	五四	四一
大阪	四七	三九	四九	四〇	四五	四八	四七	四九	五二	五〇	四八	四九	三九
福島	三六	四三	三五	三六	四七	五一	五二	五三	五三	三六	四六	四七	三七
新庄	四〇	四六	四四	四六	四三	五六	六四	五六	五六	六三	五六	五九	四六
鳥田	四四	四四	四二	三九	四一	五〇	四九	三三	四〇	六六	五四	五四	四四
杜見山	六五	五〇	六五	四六	五九	六五	六五	七八	七五	七二	八四	六九	四六
東郷	六一	五四	五六	三六	四三	五六	五二	四〇	六六	六二	五〇	三二	三五
王子	四七	四八	四九	四六	四二	六一	七〇	六六	四六	六〇	四三	四九	四三
茨木	四九	四一	四四	四三	四六	四九	五一	四九	四四	四三	五一	四六	四一
清水	四二	三六	三九	三四	三八	四〇	五一	四九	五四	五四	五〇	四九	三四
枚方	一	六二	六五	一	一	六九	七〇	五四	六〇	六一	六〇	五七	一
田原	四八	四四	四七	四二	四九	五四	六〇	六〇	五四	五四	五六	五四	四二
八尾	五四	四八	四四	四四	四八	五二	五三	四九	四六	四四	四六	四九	四四
柏原	五八	五七	六〇	三三	四四	四三	五五	五三	五三	五三	四六	五五	三三
富田林	四六	五三	三六	三七	四一	四〇	五一	四六	四九	五三	四一	四八	三六
長野	五五	五八	五二	四九	一	五一	六二	六二	五九	五六	五八	四六	四六

雲量（午前十時の平均量）

観測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	五六	六三	六四	五六	四七	四四	六三	四四	七三	五〇	五〇	五四	五五
尾崎	五四	五七	五九	三九	三七	三七	六〇	二六	六七	五〇	五六	五六	五〇
岸和田	五六	五六	六五	五二	五一	四九	六四	三三	七一	五九	五七	五五	五五
長水寺	四八	五一	五四	五三	五〇	四七	六〇	二三	六三	四九	三一	三八	四六
堺	五三	五八	五八	四九	五三	五一	六六	三三	七三	四九	五三	五五	五四
静山	四七	六一	六七	六七	五三	五七	六七	四七	六八	五六	四七	五七	五五
天王寺	三二	四六	五七	五一	四七	四七	六六	三八	六七	四九	四三	四三	四九
大阪	五〇	六二	七四	六七	五五	五七	七八	四一	七七	五〇	五〇	六一	五七
島	五二	六二	六九	六二	五三	五八	六九	五一	七二	四五	四五	五一	五九
新庄	五五	六四	六七	七〇	六六	六二	七七	四五	七六	五七	四八	五七	六三
北田	五四	六四	五六	五三	五九	四三	七三	二九	六三	五二	四五	四四	五三
妙見山	四〇	六八	六六	五六	四三	四七	七三	二九	七四	五三	五二	五二	五二
東郷	五三	五七	六五	五八	五七	六三	七三	二九	六四	四七	五〇	四五	五五
東	六四	六五	六九	四九	五九	五九	七八	二五	七五	五七	五五	六一	五五
天王	六四	六六	六九	六四	五九	五九	六六	二五	六五	五五	五五	六一	五五
茨木	四三	七二	六三	四九	五二	五一	七八	二五	七五	五七	四七	五七	五五
木	四三	七二	六三	四九	五二	五一	七八	二五	七五	五七	四七	五七	五五
水	五三	六一	六七	六一	五三	六〇	七六	二八	七八	五七	五七	六一	六一
方	五〇	五八	五七	五一	五三	五六	七五	四一	六五	五八	六一	五四	五七
牧	五五	六四	六七	五七	六四	五六	八三	四八	七五	六一	六三	五三	五七
田原	五五	六四	六七	五七	六四	五五	八三	四八	七五	六一	五三	六二	六二
八尾	三六	四二	五六	五〇	四四	四四	六四	二四	六四	五〇	四四	五五	四八
柏原	五一	五〇	五九	五〇	四八	四六	六九	三五	六四	四九	四二	六〇	五一
富田林	四六	四三	五七	三九	四六	四六	五九	二六	六五	五〇	四〇	四八	四七
長野	五七	六三	六七	五八	五三	四七	六九	三九	七三	六〇	五一	六〇	五九

降水量（總量）

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	四三·五	一六六·八	一〇六·〇	一六二·三	九四·三	一〇一·五	一二七·七	五三·五	三三四·六	一一七·七	五六·〇	一〇三·五	一四六六·四
尾崎	四四·一	一七〇·〇	一二四·〇	一九五·六	一〇〇·八	一三五·五	一四三·九	四六·九	一三四·八	一二四·〇	七〇·七	一一四·一	一六〇八·四
岸和田	四五·〇	一三八·五	一一〇·六	一九一·九	七七·〇	一一四·九	一五四·〇	四三·三	二四一·一	七五·四	五〇·一	一〇八·八	一三四三·一
長承寺	四六·六	一四四·五	八七·八	一八〇·九	八二·三	一〇五·二	一四三·一	四六·〇	一三一·二	六八·九	五八·〇	一三四·一	一三二五·一
堺	四八·五	一三一·九	九六·七	一六五·六	七九·七	一〇〇·五	一四六·〇	四三·〇	一三一·二	五八·〇	四四·二	九五·七	一二七五·五
山	三六·六	一二九·三	一〇五·八	一五九·六	一〇〇·三	一〇四·五	一八〇·七	四三·〇	一三一·二	七〇·六	四八·九	七四·九	一三四五·三
轉	四二·三	一四七·七	一〇七·六	一六七·九	一〇〇·四	一〇一·六	一六八·九	四三·〇	一三一·二	六一·五	四六·八	一〇三·七	一三九五·四
王寺	四二·三	一四七·七	一〇七·六	一六七·九	一〇〇·四	一〇一·六	一六八·九	四三·〇	一三一·二	六一·五	四六·八	一〇三·七	一三九五·四
大阪	四八·一	一五二·八	一〇二·七	一五六·七	一〇三·三	九三·九	一七〇·九	八三·五	三〇·一	五七·一	四八·〇	一〇二·五	一三八·六
福島	四五·三	一四八·一	一〇七·一	一五七·九	九四·五	一〇八·三	一七一·三	七五·四	二一九·四	五四·五	四九·五	九九·六	一三三六·八
新庄	三五·三	一三八·〇	一一五·七	一六六·八	一〇七·三	一〇四·二	一六四·六	七四·六	二三八·四	六八·一	四三·七	一一五·〇	一三七三·七
池田	四六·〇	一六一·八	一二八·四	一五七·七	一一五·三	一二七·三	二〇六·四	七四·八	二七七·七	六二·三	三九·五	一〇五·九	一五〇五·〇
妙見山	二七·三	一四八·二	一二五·四	一三九·三	九一·八	一四·八	一七六·九	七〇·〇	三一三·八	七七·五	四八·四	一一六·〇	一四四五·〇
郷	五六·五	一四九·六	一〇八·七	一四六·七	一三二·七	一一三·〇	一七二·四	八四·三	二四〇·九	七〇·〇	四七·四	一二二·八	一四四五·〇
王	四九·八	一九九·六	一五九·四	一六七·六	一六一·七	一二四·五	二〇七·七	八七·一	二六七·八	七九·九	五七·五	一〇九·三	一六九三·五
木	四八·三	一五七·四	一三〇·四	一六一·四	一二四·二	八七·七	一九〇·六	一〇二·六	二八七·八	五四·五	四六·七	一二三·九	一四二四·五
水	四五·〇	一六四·一	一〇七·九	一六三·八	一二五·四	一〇三·一	二〇七·七	九一·六	二七〇·五	五七·六	四一·六	一二〇·二	一三九·八
方	四九·〇	一八六·八	一二五·三	一九三·〇	一〇七·四	一二三·二	二〇一·四	七八·三	三〇四·三	六一·七	五八·七	一〇七·八	一五九六·〇
原	五七·二	一七五·八	一二四·〇	一九八·〇	九五·五	一二三·一	二一五·一	八一·九	二七七·〇	六一·九	五三·八	一〇三·七	一五〇五·〇
尾	四二·〇	一三三·一	九六·九	一五四·五	八〇·四	一一五·〇	一五七·九	七二·六	三三七·〇	六九·〇	四八·三	九八·一	一三六·四
原	四四·四	一二六·三	一〇五·一	一四七·五	七五·三	九〇·七	一五八·一	九三·九	二三一·七	八二·六	五〇·一	一〇九·五	一三〇六·二
林	四五·二	一三八·〇	一〇三·〇	一七六·〇	六八·二	一〇五·〇	一三五·六	九三·二	二三五·六	七〇·五	五五·三	一〇四·九	一二七八·三
田野	四四·六	一二六·四	一〇五·〇	一八〇·二	七一·三	八八·八	一六四·九	九一·七	二二九·七	六〇·六	五七·四	一二六·三	一三三六·八

降水最大日量

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
深日	一九·四	五五·九	三四·九	四九·五	三一·四	五一·七	六二·五	四七·一	一二〇·三	五二·二	二九·九	四六·〇	一二〇·三
尾峠	一六·三	五二·三	三三·三	四三·九	二八·三	六八·三	七三·三	三七·〇	二六·〇	四四·八	三二·一	四九·〇	一二六·〇
岸和田	一六·五	五五·八	三一·二	四八·九	二八·〇	五七·五	六四·五	四二·九	九九·九	一九·六	二五·八	三五·一	六九·九
長吉寺	一八·〇	六一·二	三〇·〇	五一·〇	二九·〇	五七·三	五五·四	四八·一	七〇·五	一三·〇	二三·四	四七·二	七〇·五
堺	一七·二	四三·〇	二七·五	四五·二	二七·五	五七·〇	七〇·〇	五·〇	一二五·〇	一四·二	二〇·五	四五·五	一二五·〇
聖山	一八·三	四九·〇	二八·五	三六·二	二四·五	四八·〇	六〇·〇	六八·五	六二·五	一九·五	二二·五	四〇·五	六八·五
天王寺	二〇·三	七一·五	三〇·三	三四·三	二七·五	五一·七	六五·〇	六〇·〇	八〇·〇	二二·二	二二·二	四四·〇	八〇·〇
大阪	一八·八	五七·八	二七·八	三五·九	二四·〇	四九·六	六八·〇	五六·八	九七·二	二二·九	二〇·三	四三·八	九七·二
福島	一七·〇	五九·〇	二八·〇	三七·〇	二四·〇	四八·〇	五六·八	四五·六	六五·〇	二二·六	二一·〇	三九·〇	六五·〇
新庄	二一·四	四二·八	二九·〇	四〇·〇	二七·三	四九·二	四六·一	四九·六	六五·三	一五·三	一八·六	三五·〇	六五·三
池田	一七·二	四八·九	三二·〇	五五·〇	二八·五	五一·二	五四·〇	六五·〇	八五·〇	一五·三	一九·〇	三九·一	八五·〇
妙見山	一三·〇	四三·二	三三·〇	二九·三	二四·〇	四三·七	四四·〇	四四·〇	七五·五	一一·〇	一七·五	三二·三	七五·五
東郷	三五·五	四〇·三	三〇·五	三一·〇	二四·〇	四一·〇	四二·〇	四九·五	九九·五	一三·八	一四·五	三八·〇	九九·五
王	一三·五	五三·五	三八·〇	三二·九	二四·〇	五三·九	三〇·〇	三九·三	九五·〇	一三·五	一四·五	三四·五	九五·〇
木	一五·〇	四五·〇	二九·二	四六·九	二五·九	五九·二	四四·七	五五·九	八二·〇	一七·〇	一七·八	四三·七	八二·〇
水	一二·〇	五七·〇	三〇·〇	四〇·〇	二九·〇	五四·〇	五〇·〇	三四·〇	九〇·三	一五·五	一六·〇	三八·〇	九〇·三
方	二〇·〇	六二·〇	三七·〇	五六·四	三八·八	四七·五	四八·四	四七·四	一〇六·〇	一四·五	一七·四	三二·一	一〇六·〇
厚	三三·〇	八二·〇	三三·四	四二·一	三七·〇	四九·七	六四·四	五一·五	三八·三	一七·五	一八·五	二六·五	一〇九·六
尾	二〇·六	六五·三	二三·一	三七·〇	二四·〇	五五·五	五五·五	四三·〇	三四·〇	一九·六	一九·五	三四·〇	一〇九·六
原	一九·七	五八·〇	二七·〇	三八·八	二四·〇	三九·五	三九·五	五〇·九	五三·七	一五·七	一五·七	三五·七	一〇九·六
林	二〇·五	四九·〇	二七·七	五四·五	二六·一	三八·三	五〇·一	三六·〇	七五·三	一九·八	二三·六	四一·三	一〇九·六
野	一九·〇	四九·三	二七·六	五五·四	三〇·〇	三三·〇	七五·三	四五·〇	七五·三	一四·七	二一·三	四一·三	一〇九·六

降水日數

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
澤日	四	一〇	八	一〇	八	八	一二	四	一二	一〇	五	九	一〇〇
尾崎	五	九	一〇	一〇	九	一〇	一二	六	一二	一〇	五	九	一〇八
岸和田	八	一二	一一	一四	一一	九	一六	三	一五	一三	七	九	一二八
長承寺	八	一三	一〇	一二	八	一一	一四	九	一五	一三	七	一二	一二七
堺	七	一二	八	一二	八	一〇	一四	六	一四	一三	五	九	一一六
腰山	八	一一	一三	一五	九	一〇	一六	二	一七	一三	七	一〇	一二六
天王寺	六	一二	一二	一七	一一	一一	一四	四	一四	一二	六	九	一二七
大阪	一〇	一三	一五	一六	一一	八	一五	三	一六	一三	七	一〇	一三七
福島	七	一〇	一〇	一三	九	八	一五	三	一三	一二	六	一〇	一一五
新庄	八	一一	一三	一六	一一	九	一八	七	一六	一四	八	一一	一四九
池田	六	一三	一一	一三	一〇	九	一九	四	一三	一〇	五	一一	一三三
妙見山	七	一三	一〇	一五	一一	九	一八	五	一三	七	九	一〇	一二六
東總	七	一三	八	一四	一〇	八	一七	三	一二	九	九	九	一二四
天王	一九	一七	一七	一七	一四	一二	一六	六	一二	一四	七	一七	一八九
芙木	六	一〇	一二	一四	九	八	一六	四	一二	一三	七	九	一三三
清水	一三	一七	一二	一五	一〇	一五	三〇	六	一五	一四	一〇	一三	一六〇
牧方	六	一二	一三	一三	九	一〇	一八	五	一四	一〇	七	九	一二六
田原	八	一〇	一〇	一五	一〇	九	一八	五	一二	一〇	七	一二	一二九
八尾	六	九	一一	一〇	九	八	一五	四	一二	一〇	七	九	一一〇
柏原	六	九	一一	一二	一一	一〇	一七	六	一六	一〇	八	九	一二五
富田林	六	九	一〇	一四	一一	一〇	一四	七	一三	九	七	九	一二七
長野	七	一〇	一〇	一三	九	九	一三	六	一三	九	八	九	一二六

風向觀測回數

（枚方は一月勝山は一月三月四月欠測）

觀測所	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	最多風向 冬	春	夏	秋
深日	一四三	一〇	八二	一	三五	二	二六	一八	三九	北	北	北	北
尾崎	八九	五四	三一	八	一七	八	九	六八	〇	西	北東	北東	北東
岸和田	九〇	八四	〇	〇	一四	一四	一四〇	三〇	〇	西	西	西	北東
長承寺	三三	七九	七六	一〇	七	六	一〇六	四一	一八	西	北東	北東	北東
堺	六一	四一	三三	四	一五	三〇	一〇五	七二	五	西	西	西	西
勝山	五六	七一	二	九	一四	一四	六七	三九	七	西	北東	北東	北東
天王寺	五九	一〇二	一七	七	一四	三六	八七	三四	一〇	西	北東	北東	北東
大阪	八九	五〇	三三	三	一三	二三	一五二	三	〇	西	西	北	西
福島	三一	一六四	二三	一七	六	四四	三四	四七	一	北東	北東	北東	北東
新庄	四五	八	一〇七	三四	七八	一三	五七	一三	〇	東	南東	南	南
池田	八九	二一	一三四	一四	一四	六	四七	一〇	五一	北	北東	東	東
妙見山	六七	三三	三九	三八	四四	一四	二八	一八	八六	西	南	北	南
東郷	一二八	一五	二一	五	一一五	二七	三五	一七	三	北	南	北	南
天王	三七	二	二三	一六	一〇三	一五	一三五	三六	一	西	南	西	南
芙木	三五	三九	六三	二九	二七	三四	六七	四一	三一	西	北東	北東	北東
清水	六三	二五	二一	三五	一一九	四六	一九	一四	二四	南	南	南	南
枚方	八九	九	一七	七	一三	一五	一一三	八一	一	北	西	西	西
田原	八	九	六六	六	九	二五	一三七	四五	七一	西	西	西	東
八尾	九一	五四	二七	六	二	八	一〇三	七四	一	北	西	北	北
柏原	八三	二二	二九	二一	四八	一六	五〇	二九	六八	北	北	北	北
富田林	七三	四三	二〇	六	八	六一	九九	二三	三四	北	南西	北	北
長野	一三六	七九	五八	四	一七	六	二〇	六一	四	西	西	北	北

霜雪季節

本年初霜の最も早かりしは北部天王の十月八日にして之れに亞くは西部枚方の十月三十日及北部妙見山東郷の十一月三日なり而して其他は概ね十一月十一日なりしか深日は十二月五日尾崎は十二月十三日に初霜を看たり之れを平年に比すれは天王及枚方は早きも其他は概して遅き方あり

終霜の最も遅かりしは北、東両部の山間にして四月二十七日に終り其他は概ね四月二日なりしか南部尾崎以南は三月二十五日に其跡を斷てり之れを平年に比すれは概して早き方にあり

初雪の最も早かりしは北部の山間にして十一月十五日之れに亞くは全清水の十一月三十日にして其他は十二月二十四日乃至十二月二十八日なりしか獨り深日は翌年一月十三日に至り初雪を看たり之れを平年に比すれは北部の山間は早きも其他は稍々遅し

終雪の最も遅かりしは北部の山間及東部一帶の四月十二日にして之れに亞くは清水池田の三月十八日其他は二月十九日に終り尾崎深日は一月三十日に終れり之れを平年に比すれは概して早き方にあり

觀測所	霜				雪			
	昨年ヨリ本年ニ渉ル初日	終日	本年初日		昨年ヨリ本年ニ渉ル初日	終日	本年初日	
深日	十二月一日	三月二十五日	十二月五日		四十五年一月七日	一月三十日	大正三年一月十三日	
尾崎	十二月一日	二月二十五日	十二月十三日		全	一月三十日	十二月二十八日	
岸和田	十二月一日	四月二日	十一月十七日		全	一月七日	十二月二十四日	
長承寺	十二月一日	四月二日	十一月十一日		全	一月七日	十二月二十八日	
堺	十一月三十日	四月二日	十一月十一日		全	一月七日	十二月二十八日	
勝山	十一月三十日	四月二日	十一月十一日		全	一月三日	十二月二十八日	
天王寺	十一月三十日	四月二日	十一月十一日		全	一月三日	十二月二十八日	

| | | |

夏季最高温度の三十度以上に達したる初終日及日數

觀測所	初日	終日	五月	六月	七月	八月	九月	九月	年	最高温度の引續き卅度以上にありし最多日數
深日	六月二十六日	九月十日	○	一	一八	三〇	七	五六	自八月七日 至九月四日	二十九日間
生駒山	七月十二日	十月二日	○	○	九	二三	八	七一	自七月二十六日 至九月三日	四十日間
信貴山	七月十四日	九月九日	○	○	一五	三〇	三	四八	自八月三十一日 至九月七日	二十七日間
長谷寺	七月十三日	九月八日	○	○	一四	二九	五	四八	自八月七日 至九月三日	二十八日間
岡寺	六月二十八日	九月八日	○	三	二一	三一	七	六二	自七月二十六日 至九月三日	四十日間
飛鳥山	六月二十九日	九月十二日	○	一	一七	三〇	四	五三	自八月五日 至九月三日	三十日間
天王寺	六月三十日	九月八日	○	一	一五	三一	四	五一	自七月二十八日 至九月三日	三十八日間
大阪	六月二十九日	九月三日	○	一	一〇	三〇	三	四四	自八月五日 至九月三日	三十日間
堺	六月二十二日	九月八日	○	二	一五	三〇	四	五一	自七月三十日 至八月二十三日	二十五日間
福島	六月二十四日	九月三日	○	三	一八	三一	三	五五	自七月二十六日 至九月三日	四十日間
池田	六月十三日	九月三日	○	五	一四	二九	三	五三	自八月六日 至九月三日	二十九日間
妙見山	八月一日	八月二十六日	○	○	○	○	○	○	—	—
東郷	八月一日	八月二十六日	○	○	○	○	○	一四	自八月十六日 至八月二十六日	十一日間
天王	七月十八日	八月二十日	○	○	○	○	○	○	自七月十九日 至七月二十日	三日間
茨木	六月十二日	九月十七日	○	○	一七	三一	五	五六	自七月二十八日 至九月四日	三十九日間
清水	六月十三日	九月三日	○	○	一四	二八	三	四八	自八月十二日 至九月三日	二十三日間
牧方	六月十四日	九月十日	○	○	二〇	三一	八	六一	自七月二十七日 至九月四日	四十日間
田原	六月十五日	九月三日	○	○	二二	三一	二	四七	自八月一日 至八月三十一日	三十一日間
八尾	五月二十日	九月十四日	一	七	二〇	三一	八	六七	自七月二十六日 至九月四日	四十一日間
柏原	六月十二日	九月九日	○	八	一九	三一	六	六四	自七月三十日 至九月三日	三十五日間
富田林	五月二十日	九月九日	一	六	二二	三一	五	六五	自七月二十六日 至八月三十一日	三十七日間
長野	七月十日	九月三日	○	○	一五	二三	一	三九	自八月七日 至八月二十四日	十八日間

冬季最低溫度の零下に降りたる初終日及日數

觀測所	昨年より本年記錄ある初日	終日	本年初日	一月	二月	三月	四月	五月	十一月	十二月	年	最低溫度の引續き零度以下にありし最多日數
深川	十二月十八日	三月十日	十二月十二日	六	五	二	〇	〇	〇	〇	三	一五 自一月三十一日 至二月二日 二日間
尾崎	十二月十八日	三月十日	十二月十一日	七	七	一	〇	〇	〇	〇	二	一七 自一月三十日 至二月一日 三日間
岸和田	十二月十八日	三月十日	十二月十一日	六	五	二	一	〇	〇	〇	三	一七 自一月三十日 至二月一日 三日間
長承寺	十二月十七日	三月十日	十二月五日	一二	六	四	一	〇	〇	〇	五	二九 自一月十九日 至二月一日 三日間
堺	十二月十八日	三月十日	十二月十一日	一〇	六	二	〇	〇	〇	〇	三	二二 自一月十九日 至二月二十一日 三日間
静山	十二月七日	二月二十一日	十二月一日	?	五	〇	〇	〇	〇	〇	六	一一 自一月十九日 至二月廿一日 三日間
天王寺	十二月七日	二月十三日	十二月十一日	一三	五	〇	〇	〇	〇	〇	三	二一 自一月十六日 至一月十八日 三日間
大阪	十二月十八日	二月二十一日	十二月二十五日	七	四	〇	〇	〇	〇	〇	二	一三 自一月三十日 至二月一日 三日間
鶴島	十二月十七日	二月二十二日	十二月二十四日	一四	四	〇	〇	〇	〇	〇	三	二一 自一月三日 至一月五日 三日間
新庄	十二月七日	二月十二日	十二月九日	一九	六	五	一	〇	〇	〇	四	三九 自一月八日 至一月十四日 七日間
池田	十二月七日	二月二日	十一月十六日	二六	一〇	六	一	〇	〇	〇	三	一五 自一月十六日 至一月二十四日 九日間
妙見山	十一月十四日	二月十三日	十一月十一日	三〇	一五	一〇	二	〇	〇	〇	八	一九 自一月七日 至一月二十日 二十日間
東郷	十一月三十日	二月二日	十一月十一日	二九	一四	六	二	〇	〇	〇	六	二〇 自一月二日 至一月二十三日 二十二日間
天王	十一月四日	二月十七日	十一月十一日	二六	一八	一六	六	〇	〇	〇	七	二〇 自一月七日 至一月二十五日 十九日間
茨木	十二月七日	二月二日	十二月五日	二七	一三	七	一	〇	〇	〇	二	一〇 自一月八日 至一月二十五日 十八日間
清水	十二月一日	二月二日	十一月十一日	二六	一四	一〇	二	〇	〇	〇	六	二〇 自一月二日 至一月二十九日 十八日間
枚方	十二月一日	二月二十一日	十二月二十五日	?	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三 自一月十九日 至二月二十一日 三日間
田原	十二月一日	二月六日	十二月一日	二五	一七	一一	三	〇	〇	〇	六	一六 自一月七日 至一月二十一日 十五日間
八尾	十二月一日	二月二十六日	十二月十八日	二二	七	四	〇	〇	〇	〇	二	一〇 自一月十四日 至一月二十一日 十三日間
柏原	十二月九日	二月二十五日	十二月十九日	一七	一〇	四	〇	〇	〇	〇	一	一〇 自一月三十日 至二月四日 六日間
富田林	十二月十七日	二月十一日	十二月三十日	二〇	八	三	一	〇	〇	〇	一	一一 自一月二十七日 至二月一日 六日間
長野	十二月七日	二月二日	十二月三十日	一九	一〇	六	一	〇	〇	〇	一	一二 自一月十七日 至二月二十三日 七日間

本府管内の初氷

本冬季に於ける本府管内の初氷は北部天王の十一月十一日を最早とし之れに亞くは仝妙見山の十一月十五日仝東郷清水池田、東部柏原八尾田原、西部枚方茨木天王寺の十一月十六日仝新庄の十一月十七日東部富田林の十一月二十一日仝長野の十一月三十日等又之れに亞き其他は十二月十一日より十二月二十五日の間にあり之れを平年に比すれは大阪及福島は遅かりしも其他の地方は一般に早し

北部	天王	十一月十一日	西部	新庄	十一月十七日
仝	妙見山	十一月十五日	東部	富田林	十一月二十一日
仝	東郷	十一月十六日	仝	長野	十一月三十日
仝	清水	十一月十六日	南部	尾崎	十二月十一日
仝	池田	十一月十六日	仝	岸和田	十二月十一日
東部	柏原	十一月十六日	仝	長承寺	十二月十一日
仝	八尾	十一月十六日	仝	深日	十二月二十四日
仝	田原	十一月十六日	仝	堺	十二月二十四日
西部	枚方	十一月十六日	西部	大阪	十二月二十五日
仝	茨木	十一月十六日	仝	福島	十二月二十五日
仝	天王寺	十一月十六日			

更に當所に於ける明治三十六年より大正元年に至る十年間の初氷月日を列記すれは左の如し

明治	三十六年	十二月十二日	明治	三十九年	十一月二十六日
仝	三十七年	十一月十七日	仝	四十年	十一月二十六日
仝	三十八年	十二月十四日	仝	四十一年	十一月十六日

明治四十二年十一月十六日

仝四十三年十二月十三日

仝四十四年十二月十八日

大正元年十二月二十五日

平年十一月四日

第三編　特殊氣象調査

暴風雨概況

明治四十五年
大正元年中に暴風（強、烈、颶を含む）を觀測したる日數は百四十五日にして就中強風は百十五日烈風は二十九日颶風は一日なり之を各月に區別する時は一月最も多く二十日にして二月の十九日及十二月の十八日之れに亞き九月は最も少なく五日なり而して風速度の最も大なりしは九月二十三日の暴風雨にして毎秒二十七米〇に達し當所創立以來三十年間の記錄を破れり又之れに亞きて最も強かりしは八月二十四日の毎秒二十七米九なり

今本年中に於て烈風以上の吹きたる月日及速度等を記すれは左の如し

月日	風速度	方向	時間	月日	風速度	方向	時間
一月十一日	一九、八	北	五時間	四月十九日	二三、〇	西南西	一時間
仝十三日	一五、四	西	一時間	五月四日	二一、七	西南西	一〇時間
仝十五日	一八、〇	西南西	六時間	仝十三日	一五、四	西北西	一時間
仝十六日	一八、四	西	一二時間	八月二十四日	二七、九	南南西	五時間
仝十九日	一八、三	西北西	六時間	九月二十二日	一、五九	北東	一時間
二月三日	二二、一	西	一四時間	九月二十三日	三七、〇	北東	六時間
仝四日	一五、二	西	一時間	十月四日	一八、三	西	一時間
仝六日	二二、二	東北東	四時間	仝七日	一七、九	西北西	三時
仝十四日	一六、八	西	五時間	十一月十四日	一五、一	西北西	一時間
仝十七日	二一、六	北北西	七時間	仝十五日	一八、九	西	七時間
二月十八日	一七、七	西南西	六時間	十一月二十九日	一六、四	北	一時間
三月十八日	二二、三	北	一二時間	十二月九日	一六、二	西	二時間
仝十一日	一六、四	北	三時間	仝十五日	一五、七	西北西	一時間
四月三日	一七、二	西南西	一時間	仝二十三日	一五、〇	西北西	二時間
仝十六日	一六、四	西	三時間	仝二十四日	一五、七	西北西	二時間

又當所創設以來各月の最大風速度を記すれは左の如し

月	最大風速度	全上方向	起日	年	日
一月	三三・〇	西	明治四十四年	二	八
二月	二三・四	南	全	四十五年	三	九
三月	二四・九	西	全	二十二年	十三	十
四月	二七・四	東北東	全	四十四年	十八	十一
五月	二九・二	東北東	全	三十九年	二十	十二
六月	三〇・二	西南西	全	四十四年	十九	年
七月	三三・三	西	全	十八年	一	日

月	最大風速度	全上方向	起日	年	日
一月	三三・七	北西	明治三十九年	三十	日
二月	二七・〇	西南西	大正元年	二十三	日
三月	二一・五	北	明治廿六年	八	月
四月	二四・七	西北西	全	四十四年	二十六	日
五月	二三・九	西北西	全	二十四年	四	日
六月	三七・〇	西南西、大正元年九月二十三日				

更に暴風吹續時間を看るに最も長かりしは一月十日より十三日に至る五十九時間にして十二月二十二日より二十四日に至る四十五時間之れに亞けり而して毎時觀測創始以來二十四年間に於て暴風吹續時間の最も長かりしは明治三十三年十二月七日より十日及全四十三年十二月九日より十二日に至る七十六時間にして此二ヶ年は本年より長かりしも其他の年は本年より短し今本年中に於て暴風吹續時間の五時間以上に達したるものを記すれは左の如し

月	時刻	吹續時間
一月	自二日午後五時	八時間
	全	
	自十日午後三時	五九時間
	自十三日午前一時	
	自十六日夜半	四一時間
	自十八日午後七時	
	自十九日午前十一時	九時間
	自二十日午後五時	
	自二十二日午前八時	一〇時間
二月	全	全
三月	自二日午後四時	二九時間
	自三日午前九時	
	自六日午後七時	二二時間
	自七日午前五時	
	自七日午後二時	八時間
	自八日午前二時	
	自十日午後七時	七時間
	自十一日午前二時	
	自十四日午後二時	一八時間
	自十五日午前七時	
	自十六日午後六時	四〇時間
	自十八日午後十一時	

顯著暴風雨概況

本年中に起りたる顯著なる暴風雨に就て其概況を擧くれは左の如し

但し本項に記する氣壓は重力及高さの更正を施したるものなり

自一月十四日至仝十六日　暴風概況

一月十四日朝高氣壓は北清にありて七百七十四粍以上に昇り低氣壓は阿哥斯克海にありて七百五十八粍を示し幾内以西は天氣好晴にして風力強からさりしか午後日本海南部に淺薄なる副低氣壓現はれ東に進むに從ひ發達したるを以て西部地方は夜に入り西の強風吹き起り十五日朝佐渡附近に到り十六日朝北海道東方海上に到りて主なる低氣壓と相合して七百五十粍を示せり同時高氣壓は北清より楊子江域に擴張し七百七十二粍以上を示し氣壓の傾斜急とな

るを以て本邦一帶に西乃至北西の強烈風となり特に日本海に面する一帶の地は降雪甚たしく近來稀なる暴風雪なりき而して當大阪は十四日夜半より西の強風吹き起り十五日正午より烈風となり午後一時には毎秒十七米〇に達し爾後稍々衰へしか夜半より又風勢加はり十六日午後八時より疾風となれり其強烈風の吹續時間は四十一時間に亘れり

今回の暴風は雨雪極めて少く十四日午後九時五十一分より十時十五分まて小雨あり十五日午後一時二十五分より二時三十分まて小雪及霙降り十六日午後八時五十五分小雪降りたるのみにして其他は概して晴天なり

更に當所に於ける毎時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日時氣壓氣溫風向風速度雨量天氣

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月十四日	午後九時	七六三、三	四、五	北東	〇、八	一	快晴
全	全十時	七六三、三	四、二	北	三、八	〇、〇	雨
全	全十一時	七六二、八	五、八	北	五、六	〇、〇	雪
全	夜半	七六二、三	五、四	北北西	一一、三	一	雪
一月十五日	午前一時	七六二、二	五、一	西北西	九、一	一	雪
全	全二時	七六二、五	五、〇	西北西	八、九	一	雪
全	全三時	七六二、五	五、〇	西北西	一一、九	一	雪
全	全四時	七六二、五	四、八	西北西	一二、六	一	雪
全	全五時	七六二、三	四、四	西北西	一〇、二	一	快晴
全	全六時	七六二、四	四、三	西	一二、〇	一	快晴
全	全七時	七六二、六	三、九	西	九、九	一	快晴
全	全八時	七六三、〇	四、一	西	一二、三	一	晴
全	全九時	七六二、九	四、九	西	一三、一	一	晴
全	全十時	七六二、八	五、三	西	一四、八	一	晴
全	全十一時	七六二、七	五、八	西	一三、九	一	晴
一月十六日	正午	七六二、二	六、〇	西	一五、九	一	雪
全	午後一時	七六一、九	六、八	西	一七、〇	一	晴
全	全二時	七六一、四	五、七	西	一五、四	〇、〇	雪
全	全三時	七六一、三	五、九	西	一六、六	一	晴
全	全四時	七六一、〇	六、三	西	一四、九	一	晴
全	全五時	七六一、四	五、七	西	一三、六	一	晴
全	全六時	七六一、八	五、一	西	一三、五	一	晴
全	全七時	七六二、五	四、五	西北西	一四、二	一	晴
全	全八時	七六二、九	三、七	西	一一、七	一	晴
全	全九時	七六三、〇	三、三	西北西	一二、一	一	晴
全	全十時	七六二、八	二、九	西	一二、九	一	晴
全	全十一時	七六二、七	三、〇	西	一七、五	一	晴
全	夜半	七六二、四	二、九	西南西	一八、〇	一	晴
全	午前一時	七六二、三	二、九	西	一七、一	一	晴
全	全二時	七六一、七	二、五	西	一八、二	一	晴

一月十六日												
午前三時	七八一九	二二	西	一七〇	一	晴	一月十六日	午後一時	七六一七	五三	西	一六九	一	晴
全四時	七六二〇	二一	西	一七七	一	晴	全二時	七六二一	六一	西	一五九	一	晴
全五時	七六一八	一九	西	一六三	一	晴	全三時	七六二一	五七	西	一七五	一	晴
全六時	七六二〇	二一	西	一四九	一	晴	全四時	七六二六	四九	西	一三九	一	晴
全七時	七六二九	一九	西	一四三	一	晴	全五時	七六二八	四七	西北西	一五七	一	晴
全八時	七六三〇	二三	西	一三五	一	晴	全六時	七六三三	四三	西北西	一三七	一	晴
全九時	七六二九	二五	西	一六一	一	晴	全七時	七六四〇	三九	北西	一四七	一	晴
全十時	七六二九	三五	西	一八四	一	晴	全八時	七六四八	二五	北	四四	一	晴
全十一時	七六三〇	三九	西	一五八	一	晴	全九時	七六五二	二七	北西	五九	〇〇	雹
正午	七六二二	四六	西	一五八	一	晴							

自二月三日
至仝四日　暴風概況

二月一日沖繩島の南方海上に顯はれたる低氣壓は北東に進むに從ひ著しく發達し二日南海岸沖を通過し三日遂に銚子沖に去りたるか中心示度は七百五十粍となり一方高氣壓は北滿にありて七百七十四粍以上を示し氣壓の傾斜急となりたるか故に本邦一帶は西又は北西の強烈風吹き起り雨又は雪を降らし東北地方より北海道は降雪甚だしく暴風雪となれり大阪にては三日午前九時より西の強風吹き起り仝十一時より烈風となり仝日午後九時最も強く毎秒二十二米四に達し後ち稍々減力せしも四日午前一時迄は烈風にして爾後強風となり仝日午後四時まて吹續せり大阪に於ける氣壓の最低は三日午後四時にありて七百五十一粍六を示し強烈風二十九時間に渉り內強風は十五時間、烈風は十四時間にして降水量は六粍四なり

更に當時に於ける每時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣

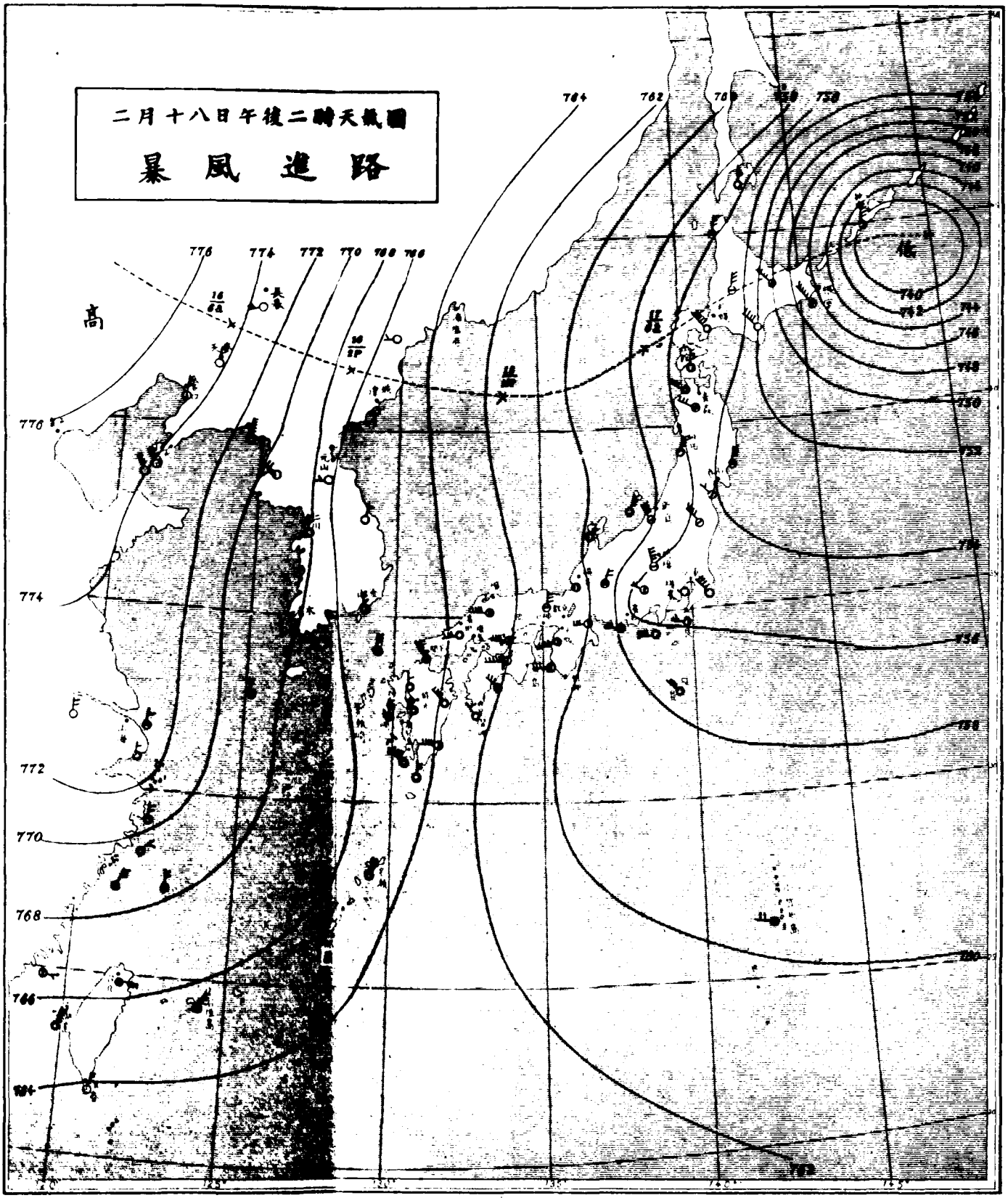
暴風概況

自二月十七日
至仝　十八日

二月十五日北清に顯はれたる低氣壓は東に進むに從ひ著しく發達し十六日滿洲及朝鮮北部を通過し仝日午後二時浦

| 二月三日 | | |

天氣圖　第一

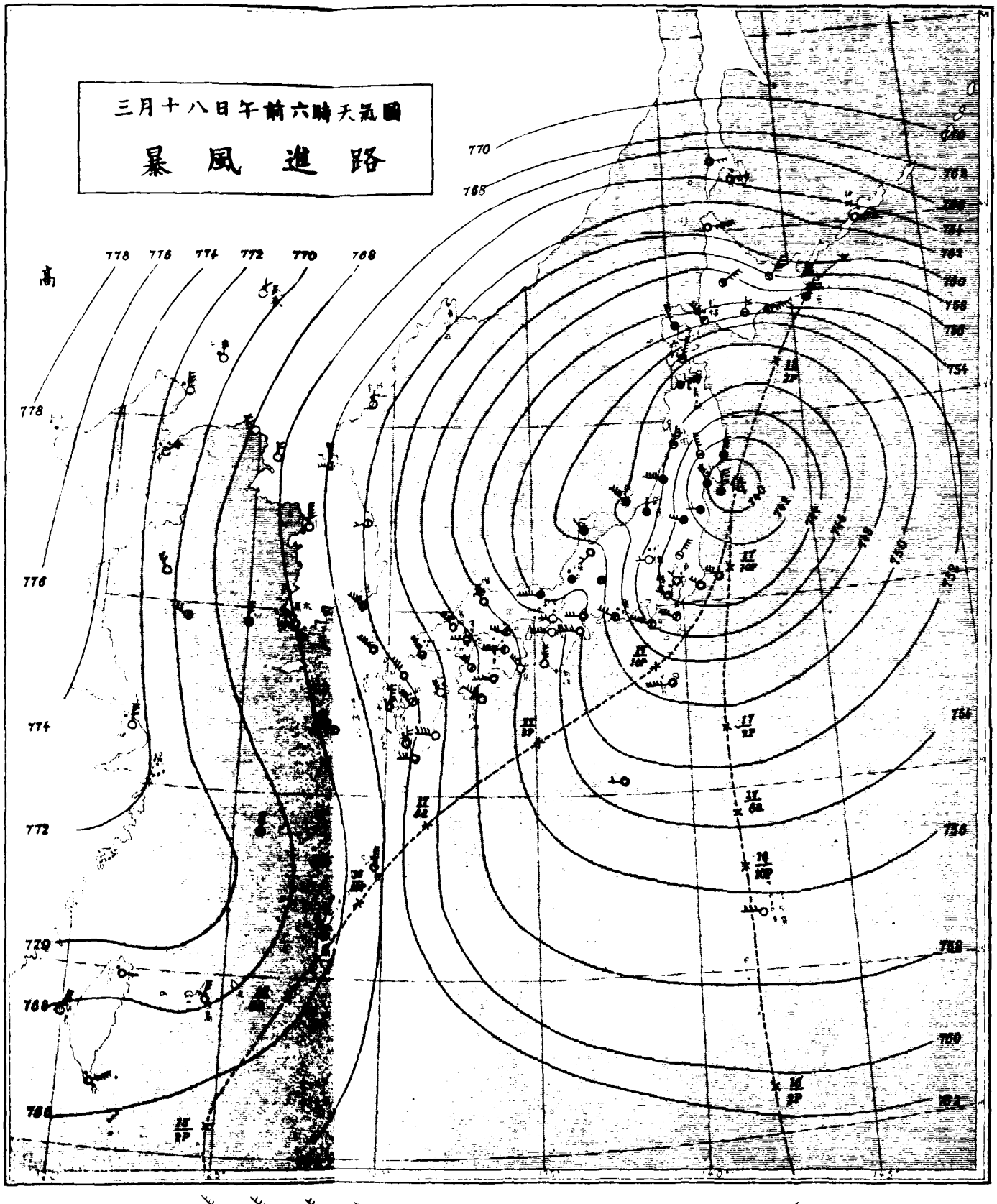

二月十八日午後二時天氣圖
暴風進路
高
低
776
774
772
770
768
766
764
762
760
758
756
754
752
750
748
746
744
742
740
738
736
734
732
730
728
726
724
722
720
718
716
714
712
710
708
706
704
702
700
698
696
694
692
690
688
686
684
682
680
678
676
674
672
670
668
666
664
662
660
658
656
654
652
650
648
646
644
642
640
638
636
634
632
630
628
626
624
622
620
618
616
614
612
610
608
606
604
602
600
598
596
594
592
590
588
586
584
582
580
578
576
574
572
570
568
566
564
562
560
558
556
554
552
550
548
546
544
542
540
538
536
534
532
530
528
526
524
522
520
518
516
514
512
510
508
506
504
502
500
498
496
494
492
490
488
486
484
482
480
478
476
474
472
470
468
466
464
462
460
458
456
454
452
450
448
446
444
442
440
438
436
434
432
430
428
426
424
422
420
418
416
414
412
410
408
406
404
402
400
398
396
394
392
390
388
386
384
382
380
378
376
374
372
370
368
366
364
362
360
358
356
354
352
350
348
346
344
342
340
338
336
334
332
330
328
326
324
322
320
318
316
314
312
310
308
306
304
302
300
298
296
294
292
290
288
286
284
282
280
278
276
274
272
270
268
266
264
262
260
258
256
254
252
250
248
246
244
242
240
238
236
234
232
230
228
226
224
222
220
218
216
214
212
210
208
206
204
202
200
198
196
194
192
190
188
186
184
182
180
178
176
174
172
170
168
166
164
162
160
158
156
154
152
150
148
146
144
142
140
138
136
134
132
130
128
126
124
122
120
118
116
114
112
110
108
106
104
102
100
98
96
94
92
90
88
86
84
82
80
78
76
74
72
70
68
66
64
62
60
58
56
54
52
50
48
46
44
42
40
38
36
34
32
30
28
26
24
22
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
-2
-4
-6
-8
-10
-12
-14
-16
-18
-20
-22
-24
-26
-28
-30
-32
-34
-36
-38
-40
-42
-44
-46
-48
-50
-52
-54
-56
-58
-60
-62
-64
-66
-68
-70
-72
-74
-76
-78
-80

釧港附近に到りたる時は中心示度七百五十粍となり仝夜日本海に入り進路を北東に轉し十七日北海道を横ぎり千島南部に到りたる時は中心示度七百四十粍以下に降れり而して一方高氣壓は北滿にありて七百七十五粍を示し氣壓の傾斜急となり本邦一帶に強烈風吹き北海道より日本海沿岸は最も甚しく暴風雪となり根室にては十八日正午に於て最大風速度毎秒三十二米九に達したり大阪にては十七日午前零時より西の強風吹き起り仝一時より烈風となり仝二時最も強く毎秒二十一米六に達し後ち稍々減力せしも十八日午後六時迄は強風吹き續けり大阪に於ける氣壓の最低は十七日午前一時及二時にありて七百五十八粍五を示し強烈風吹續時間は四十時間に渉り內強風二十七時間、烈風十三時間なり（天氣圖の一參照）

更に當所に於ける毎時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
二月十六日	午後六時	七五九・二	一〇・六	西北西	五	一	曉雪	二月十七日	午前六時	七五九・三	六・五	西北西	二・六	一	曉雪
仝	仝七時	七五九・三	一〇・六	南	八・五	一	曉雪	仝	仝七時	七五九・九	六・二	西北西	一二・六	一	曇
仝	仝八時	七五九・〇	一〇・五	南	三・七	一	曉雪	仝	仝八時	七六〇・二	六・二	西	一〇・七	一	曇
仝	仝九時	七五九・〇	一〇・〇	西北西	五・八	一	曉雪	仝	仝九時	七六一・〇	六・三	北北西	六・九	一	曇
仝	仝十時	七五九	九・四	西	三・一	一	曉雪	仝	仝十時	七六〇・八	六・七	西北西	一二・六	一	曇
仝	仝十一時	七五九・〇	九・四	西	六・四	一	曉雪	仝	仝十一時	七六一・〇	六・七	西	一二・九	一	曇
仝	仝十二時	七五九・八	九・六	西	一〇・〇	一	曉雪	仝	正午	七六〇・四	七・二	西	一二・二	一	曇
仝	午後一時	七五九・八	九・二	西	一五・六	一	曉雪	仝	午後一時	七五九・八	七・八	西	一四・六	一	曇
仝	仝二時	七五八・九	八・九	西北西	二一・六	一	曉雪	仝	仝二時	七五九・六	七・九	西	一四・八	一	曇
仝	仝三時	七五九・一	七・七	西北西	二〇・三	一	雪	仝	仝三時	七五九・四	八・八	西北西	一四・九	一	曇
仝	仝四時	七五九・九	七・二	西北西	二〇・四	一	雪	仝	仝四時	七五九・三	八・四	西	一五・四	一	曇
仝	仝五時	七五九・一	六・七	西北西	一四・六	一	曉雪	仝	仝五時	七五九・二	七・二	西	一六・〇	一	曉雪

| | | |


三月十八日午前六時天氣圖
暴風進路
高
778
776
774
772
770
768
雨
曇
晴
快晴
暴風進路

北部地方より北海道に至る一帯は尚暴風雪甚たし

斯の如く此颱風は本邦に接近するに及んで急速に發達し其中心示度は北海道東部に於て實に七百十五粍の最低に達したり根室にては十八日午後六時二十分氣壓最低七百十六粍九に降り仝日午前十時最大風速度毎秒三十六米三に達し釧路にては十八日午後四時氣壓最低七百三十八粍二に降り仝六時三十分最大風速度毎秒五十四米二に達し又宗谷にては仝日午後四時最大風速度毎秒五十米に及ひたりと云ふ（天氣圖の二參照）

當大阪地方は十六日夜半より氣壓徐々下降し十七日午前四時二十四分より降雨となり北東の和風乃至疾風なりしか漸次增力し十七日夜風向西に轉し晴天となりしか西の强風吹き起り十八日午前三時頃より烈風となり午前九時最も强く毎秒二十二米三に達し爾後稍々衰へしも午後一時頃迄は烈風吹き續き同二時頃より頓に風力減殺し疾風となれり大阪に於ける氣壓の最低は十八日午前四時に於て七百五十三粍三を示し强烈風は十六時間に渉り內强風は五時間烈風は十一時間にして降水總量は二十八粍九なり

更に當所に於ける每時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
三月十七日	午前一時	七六四・四	五・八	北北東	三・五	一	曇
仝	仝二時	七六四・一	五・六	北北東	三・一	一	曇
仝	仝三時	七六三・五	六・一	北東	四・四	一	曇
仝	仝四時	七六二・三	六・二	東北東	五・六	一	曇
仝	仝五時	七六二・〇	六・三	北東	五・五	〇・二	雨
仝	仝六時	七六二・一	六・二	北北東	五・四	〇・六	雨
仝	仝七時	七六一・三	六・一	北東	七・六	〇・二	雨
仝	仝八時	七六〇・〇	六・三	東北東	八・七	〇・二	雨
三月十七日	午前九時	七五九・三	六・五	北東	一〇・三	〇・〇	曇
仝	仝十時	七五九・五	五・六	北北東	九・二	一・〇	曇
仝	仝十一時	七五八・九	五・四	北	六・六	一・二	曇
仝	正午	七五八・二	三・九	北北東	六・六	二・五	曇
仝	午後一時	七五七・三	五・〇	北	一〇・〇	三・三	曇
仝	仝二時	七五六・二	五・六	北	四・七	三・二	曇
仝	仝三時	七五六・三	五・六	北	五・二	三・七	曇
仝	仝四時	七五六・六	六・六	北北東	三・二	三・九	曇

三月十七日	午後九時	七五六・三	五・五	阿南	二・五	晴
仝	仝六時	七五六・一	五・六	西	五・一	晴
仝	仝七時	七五五・七	三・八	東南東	二・三	晴
仝	仝八時	七五五・六	三・九	南南東	二・三	晴
仝	仝九時	七五五・四	四・八	南	二・九	晴
仝	仝十時	七五四・九	五・〇	西北西	八・二	晴
仝	仝十一時	七五四・八	四・四	西	三・二	晴
仝	仝十二時	七五四・三	四・三	西	二・一五	晴
三月十八日	午前一時	七五四・三	四・三	西	一四・四	晴
仝	仝二時	七五三・九	四・九	西	一二・〇	晴
仝	仝三時	七五三・六	五・一	西	一六・〇	晴
仝	仝四時	七五三・三	五・五	西	一八・四	晴
仝	仝五時	七五四・二	五・三	西	一八・五	晴

三月十八日	午前六時	七五四・四	五・一	阿	一七・九	晴
仝	仝七時	七五四・四	五・一	阿	二〇・九	晴
仝	仝八時	七五四・七	五・七	阿	二一・六	晴
仝	仝九時	七五五・三	五・九	阿	二二・二	晴
仝	仝十時	七五五・六	六・七	西	二〇・九	晴
仝	仝十一時	七五五・八	七・一	西	二〇・七	晴
仝	正午	七五五・八	六・七	阿	一七・三	晴
仝	午後一時	七五五・五	七・三	北	一七・四	晴
仝	仝二時	七五五・八	六・八	北北	九・四	晴
仝	仝三時	七五六・二	七・三	阿	七・〇	晴
仝	仝四時	七五六・九	七・四	北北西	八・二	晴
仝	仝五時	七五七・九	七・〇	阿北西		

					一	快晴
					一	快晴
					一	快晴
					一	快晴
					一	快晴
					〇・〇	晴
					〇・〇	晴
					〇・二	曇
					一	曇
					一	曇
					一	曇

五月四日の暴風雨概況

五月三日朝滿州南部に顯はれたる低氣壓は東に進むに從ひ發達し朝鮮北部を横さり日本海に入り四日朝浦鹽港の南方海上に達し尙北東に進み仝夜北海道北部に去れり又三日午後杭州灣に顯はれたる低氣壓は北東に進み四日朝內海東部を通過し仝夜北海道附近に到りて相合し遂に阿哥斯克海に去れり

前記兩低氣壓は最初微弱なりしか東進するに從ひ著しく發達したるを以て其圖內にては風雨烈しく九州四國は三日午後より本州一帶は四日朝より北海道は四日夜に入り暴風雨となれり然れとも九州四國及本州西部より東部に到る一帶は四日夜には既に晴天となりたり

今大阪地方に於ける觀測概況を記するに氣壓は三日正午頃より徐々下降を始め午後十時頃より下降急となり每時一

粍以上の急降を呈し四日午前八時最低七百四十六粍七を示し爾後漸次上昇せり風は三日午前は北東にして正午頃西に轉し午後五時頃より南を經て東に轉し軟乃至和風なりしか四日午前八時頃氣壓の最低に達すると殆んど仝時に風向東より西に轉し俄然烈風吹き起り仝八時三十分には毎秒十六米〇を吹送し爾後倍々增力し午後二時頃は最も烈しく毎秒二十一米七の最大に達し爾後漸次減殺せしも午後九時頃までは強烈風吹續せり天氣は三日朝來曇天なりしか午後九時十分より小雨となり四日午前一時三十分より雨勢稍々加はり仝五時二十分頃より大雨となり仝八時より九時に至る間は最も強く一時間の雨量は十八粍一に達し一時は暴風雨となりしか仝九時二十分に至り雨歇む此總降水量は四十三粍七なり

更に當所に於ける毎時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
五月三日	午後二時	七六二、三	二一、二	北	三、〇	一	曇
仝	仝三時	七六一、七	二二、五	西	三、〇	一	早
仝	仝四時	七六〇、九	二四、六	西	二、二	一	早
仝	仝五時	七六〇、八	二一、六	北	三、一	一	暴
仝	仝六時	七六〇、八	一九、九	西北西	二、七	一	暴
仝	仝七時	七六〇、七	一九、〇	南	三、三	一	暴
仝	仝八時	七六〇、〇	二〇、六	南東	三、四	一	暴
仝	仝九時	七五九、六	二〇、〇	東南東	四、〇	一	雨
仝	仝十時	七五九、三	一九、七	南東	三、二	〇、〇	雨
仝	仝十一時	七五七、八	一八、七	東	三、四	〇、二	暴雨
仝	夜半	七五五、八	一八、二	東	五、二	〇、五	暴雨
仝	午前一時	七五四、四	一八、三	東	五、三	一	雨
五月四日							
仝	午前二時	七五三、一	一八、一	東北東	五、九	〇、八	雨
仝	仝三時	七五一、八	一七、四	東	五、八	五、一	雨
仝	仝四時	七五一、〇	一八、三	東	四、七	〇、三	雨
仝	仝五時	七五〇、一	一八、二	南東	三、六	三、〇	雨
仝	仝六時	七四八、七	一七、七	東南東	四、八	四、九	雨
仝	仝七時	七四八、〇	一七、三	南東	三、四	四、〇	雨
仝	仝八時	七四六、七	一九、九	南	六、六	六、七	雨
仝	仝八時廿分	七四六、七	一九、二	南南西	一六、〇	×	雨
仝	仝九時	七四六、九	一八、一	南南西	一六、七	一八、二	雨
仝	仝十時	七四七、六	一八、一	西	一七、九	〇、〇	暴雨
仝	仝十一時	七四八、三	一九、四	西	一六、四	一	後晴
仝	正午	七四八、三	一九、六	西	一八、五	一	後晴

五月四日									
全	午後一時	七四八・〇	一八・三	西南西	一九・〇	一	晴		
全	全二時	七四九・三	一八・五	西南西	三〇・三	一	晴		
全	全三時	七四九・九	一八・〇	西	一七・九	一	晴		
全	全四時	七五〇・三	一七・九	西	二〇・六	一	晴		
全	全五時	七五一・三	一八・〇	西南西	一六・九	一	晴		
全	全六時	七五二・二	一七・三	西	一五・六	一	晴		

八月二十三日、二十四日の暴風雨概況

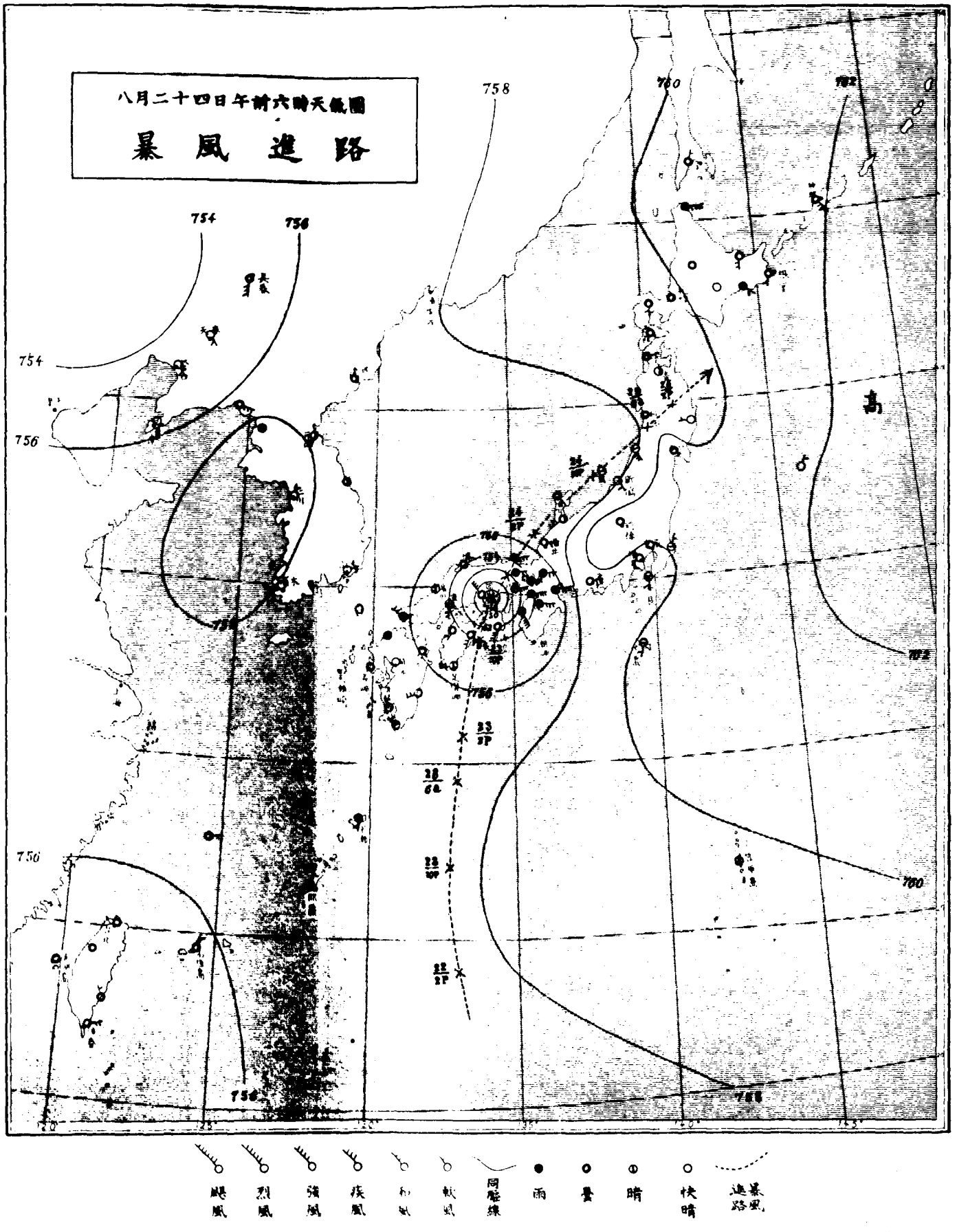
八月二十二日午後二時沖繩島の南東方海上に顯はれたる颱風は北東に進行し二十三日午前六時屋久島の東方遙かなる海上に到着し仝日午後二時四國の沖合に達し此時土佐及日向の海岸にて風雨頗る強く足摺岬にては風速度毎秒二十四米に及へり而して仝夜十時颱風中心は土佐灘に迫り室戸岬附近より四國東部を横ぎり播磨灘を經て二十四日朝岡山、姫路の間に來たり中國を斜に横ぎり仝日正午の頃鳥取、舞鶴の間を通過し若狹灣に入り仝午後二時石川縣大聖寺町の西方に達し勢力次第に衰頽し能登半島を掠め佐渡附近を經て二十五日朝羽後酒田町附近より東北地方に到り遂に消失せり其進行速度は一時間平均二十八粁なり

此颱風は最初稍々淺薄なりしも漸次四國に接近するに從ひ急速に發達し内海に入るに及んで中深度七百四十五粍に達せり之れを以て中心附近は氣層の傾斜急峻となり其經路附近には猛烈なる暴風雨起り就中京阪地方より岡山附近までは風雨頗る強く四國東部に多量の降雨ありたり乃ち二十三日午後十時より二十四日午前六時に至る八時間に德島にては百三十四粍、日の岬にては四十七粍を測れり

今颱風經路附近の各地に於て觀測したる最低氣壓及最大風速度を列記すれは左の如し

地名	氣壓（海面粍）			風		
	最低	同上起時		最大速度	方向	仝上起時
五月四日						
全	午後七時	七四八・二	一六・三	西	一四・六	晴
全	全八時	七四八・一	一六・七	西南西	一二・二	晴
全	全九時	七四八・八	一六・三	西南西	一二・一	晴
全	全十時	七四五・七	一五・三	西南西	七・三	晴
全	全十一時	七四五・一	一五・一	南西	六・四	晴
全	零時	七四五・三	一五・一	南西	七・六	晴

天氣圖　第三



官署	高知	多度津	鐵道局	岡山	和歌山	大阪	敦賀	金澤	岐阜	新潟
時	七四二・九	七四七・七	七四四・二	七四八・二	七五一・二	七五一・六	七五〇・四	七五二・九	七五三・一	七五四・四
二十三日午後六時	二十四日午前一時三十分	二十四日午前二時三十五分	二十四日午前四時	二十四日午前五時	二十四日午前六時	二十四日午前七時	二十四日正午	二十四日午後二時	二十四日午後二時	二十四日午後三時
一一・〇	一八・三	二九・三	二一・〇	一二・六	一三・七	二七・九	一六・四	九・九	一五・二	一一・三
北北東	北西	北北東	南東	北西	南	南南西	南南東	北北東	南南東	北西
二十三日午前十一時	二十三日夜半	二十四日午前三時十五分	二十四日午前七時三十分	二十四日午前六時	二十四日午後七時三十分	二十四日午前八時五十分	二十四日午後一時	二十四日午後二時	二十四日午後零時三十分	二十五日午前十時

（天氣圖の三參照）

今本府管内に於ける主なる被害を記すれは左の加し

大阪市天王寺の市營電鐵車庫五棟（建坪八千七百坪）倒壞、其他建築中の家屋倒壞、家根を吹き破られたるもの、板塀の倒伏、煙突の崩壞等甚た多く大雨の爲め浸水家屋數百軒に上り又沿海に於ける難破船は築港にて二艘、岸和田港附近にて五艘、谷川港にて一艘なり

更に當所觀測の概況を記すれは左の如し

氣壓　二十三日朝來徐々下降し二十四日午前二時より稍々急降し仝六時に至る四時間に低下すること二粍三を示し仝七時七百五十一粍六の最低に達し漸次上昇せり

風　二十三日朝來東の軟乃至和風にして時々疾風を交へしか二十四日午前六時頃より增力し強風となり風向は仝六時より八時に至る間に漸次東より南を經て南西に順轉し仝八時三十分頃より俄然烈風吹き起り益々猛烈

とり同時四十分より五十分に至る間は最も強く最大風速度は毎秒二十七米九（ダインス風壓計は午前八時四十五分に於て二十八米なり）に達し爾後稍々減力せしも午後一時頃までは烈風にして後強風となり仝六時より疾風となり靜穩に復せり

降水及天氣　二十三日早朝は天氣好晴なりしか午前九時頃より陰晴不定となり氣温著しく上昇し正午に於て三十四度三を示し蒸熱甚しく午後日暈現はれしか爾後上層雲漸次下降し午後三時頃には滿天下層雲を以て蔽はれ仝四時三十分乃至四十五分及仝七時八分乃至三十五分に驟雨來り天候倍々險惡となり二十四日午前一時八分より小雨降り始め漸く增勢し仝三時五十七分より大雨となり仝八時より九時の間最も甚たしく一時間の雨量二十三粍四又仝九時に於ける一分時間の雨量は二粍二に達したれとも爾後雨勢衰へ小雨となり仝十一時十七分歇ひ此總雨量は僅々十時間に五十八粍七なりき此日夕陽雷雨ありたり

今當所に於ける每時觀測の結果を表記するは左の如し

月日	時	氣壓	氣温	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣温	風向	風速度	雨量	天氣
八月二十四日	午前一時	七五五、五	二六、七	東北東	六、七	一	曇	八月二十四日	仝十一時	七五四、四	二六、七	南南西	一九、五	六、七	雨
仝	仝二時	七五四、八	二六、一	東北東	四、八	〇、五	雨	仝	正午	七五二、四	二七、八	南西	一五、五	〇、〇	雨
仝	仝三時	七五三、八	二五、七	東	六、〇	〇、九	雨	仝	午後一時	七五一、九	二八、九	南西	一五、三	一	雨
仝	仝四時	七五三、八	二五、三	東	九、八	二、三	雨	仝	仝二時	七五一、七	二九、五	南西	一四、三	一	雨
仝	仝五時	七五三、三	二五、〇	東	八、九	三、八	雨	仝	仝三時	七五二、七	三〇、〇	南西	一〇、四	一	雨
仝	仝六時	七五二、五	二五、一	東	一〇、三	四、〇	雨	仝	仝四時	七五二、四	二九、〇	南西	一一、六	一	雨
仝	仝七時	七五一、六	二四、八	南東	一三、二	三、三	雨	仝	仝五時	七五二、四	二八、八	南西	一〇、八	一	雨
仝	仝八時	七五二、〇	二四、六	南南東	一二、〇	一〇、八	雨	仝	仝六時	七五二、二	二七、二	北北西	六、八	五、五	雨
仝	仝九時	七五三、九	二四、〇	南南西	一九、八	二三、四	雨	仝	仝七時	七五七、五	二六、八	南西	五、四	八、七	雷雨
仝	仝十時	七五三、七	二七、一	南南西	二二、〇	三、〇	雨	仝	仝八時	七五八、〇	二六、八	南東	四、二	二、五	雨

海水位の變化　此颱風襲來の際大阪港に設置せる驗潮器の描く所を看るに八月二十三日は平日の如く昇降をなし異常なく即ち二十三日午前十一時十分に第一の最低八十六糎（基點上以下皆同し）を示し後一の最高百九十二糎を示し後稍々低下し午後十一時寄分に第二の最低百六十四糎二十四日午前一時二十分に第二の最高百九十三糎を示し爾後低下して翌日の最低に達せんとし二十四日午前五時五十分までは漸次低下し百五十糎まで降りしか偶々颱風襲來の爲め急に上昇を始め午前八時三十分に於て二百五糎なる不時の最高に達し後漸次下降し午前十一時三十分第一の最低七十四糎を示し爾後稍々平常の昇降を呈するに至れり而して小波浪は二十三日朝より起りしか二十四日午前二時頃より大なる波浪を生し同十時までは顯著にして爾後小波浪となれり

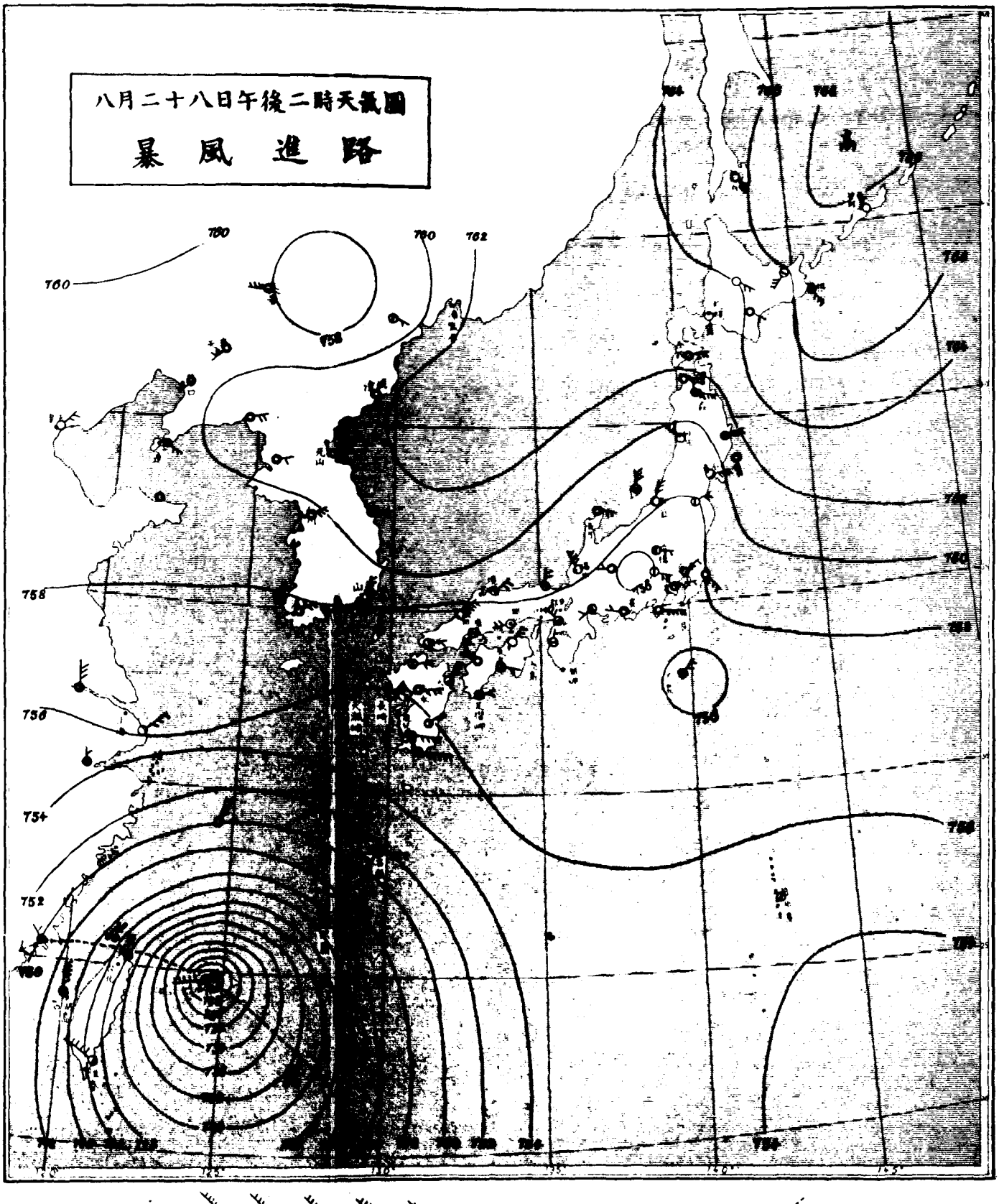
今前時の海水位を表記すれは左の如し（糎を單位とす）

時	八月二十三日 午前	後	八月二十四日 午前	後
一時	一七八	一〇四	一八五	九九
二時	一六六	一〇〇	一七四	九〇
三時	一五七	一四七	一七〇	一二五
四時	一五七	一六九	一八二	一九七
五時	一四八	一七八	一七〇	一七〇
六時	一三二	一八〇	一八八	一九三
七時	一〇八	一九二	一七九	一八八

時												
八時	九九	一八九	一八八	一八五	二一八	一七九						
九時	九七	一八三	一七四	一八四	九七	一七九						
十時	九〇	一七五	一一一	一七二	八四	一六五						
十一時	九〇	一六四	八三	一五七	七五	一五〇						
正午又八夜中	九四	一八一	九〇	一五三	六八	一五〇						

八月二十八日、二十九日臺灣の暴風雨

八月二十四日「カロリン」群島の北方海上に顯はれたる颱風は北西に徐行し二十七日沖繩島の南方海上に來り二十八日石垣島と宮古島間を通過し西北西に進み二十九日臺灣北部の沖を經て三十日福州附近より大陸に入れり其進行速度は平均一時間二十五粁なり此颱風は最初稍々淺薄なりしも北上するに從ひ著しく深厚となり二十九日朝臺灣北方海上に於て七百二十二粍の最低に達せり之れを以て颱風中心の經路附近にては猛烈なる暴風雨起り石垣島にては二十八日午後二時五十分氣壓七百二十三粍三に下降し仝時に風速度は毎秒五十米八に達し二十八日午前十一時より夜半に至るまで毎秒三十米以上の颶風吹續せり又颱風中心に接近せし基隆にては二十九日午前四時三十分氣壓七百十二粍八を示し風力亦た暴威を逞ふし最大風速度は二十九日午前一時に於て毎秒五十米七に達したり臺北にては二十九日午前四時四十五分氣壓七百二十五粍二に降り仝日午前三時三十分には毎秒三十二米三の颶風に達し仝六時には西北西の烈風となり前八時間の雨量八十二粍に及へり斯の如く此颱風は稀なる深度を有し且つ進行稍々遲緩なりしか故に臺灣全島殆んど其影響を蒙らさるなく臺灣北部地方は約一晝夜に亘り非常なる暴風雨にて鐵道を破壞し電線を切斷し道路橋梁其他一切の交通機關杜絶し殊に臺北市中にては六十年來未曾有と稱せられたる昨年の暴風雨被害よりも一層甚しく家屋の倒壞田園の浸水人畜の死傷多く非常の慘害を被れりと云ふ而して最近の調査に係る被害の實數は家屋建物の全潰四千百十八戸、半潰三千九百三戸、流失三百六十五戸、浸水四千三百七十九戸、破損四千二十二


八月二十八日午後二時天氣圖
暴風進路
高
760
758
756
754
752
750
748
746
744
742
740
738

戸、死者七十八、行方不明四十八、負傷十五八其他田園家畜等の損害一々數へ難きも其災害は北部地方に限られ最も激甚を極め全島を通しての損害は昨年に比し輕き方なりと

此颶風は大阪地方にありては殆んど影響なかりしも近年稀なる暴風雨なりしか故に他日の參考に資せんか爲め爰に記すること、せり

左に颶風中心の經路附近の各地に於ける最低氣壓及最大風速度を記すれは左の如し

地名	氣壓（海面減）最低	全上起時	風（一秒時間米）最大速度	方向	全上起時
石垣島	七三三・三	二十八日午後二時五十分	九・八	北東	二十八日午後二時五十分
恒春	七四三・三	二十九日午後三時	三九・一	北東	二十八日夜 半
基隆	七二二・七	二十九日午前四時三十分	五二・七	北西	二十九日午前一時
臺北	七三九・三	二十九日午前四時四十五分	三三・三	北東	二十九日午前三時三十分
花蓮港	七二九・三	二十九日午前五時	一四・五	南	二十九日午前八時
臺東	七三四・五	二十九日午前六時	一九・四	南微西	二十九日午後二時
臺中	七四一・八	二十九日午前六時	一三・一	北北西	二十九日午後七時
臺南	七四四・三	二十九日午前六時	一九・八	北	二十九日午後四時
澎湖島	七四三・四	二十九日午前七時	一九・三	北西	二十九日午前十一時

八月二十九日より九月二日小笠原島の暴風雨

（天氣圖の四參照）

八月二十九日の朝「マリアナ」群島附近の洋上に發生したる颶風は三十一日の午前四時頃に小笠原父島を通過し九月一日の朝八時頃八丈島に殺到し遂に進路を北北東に轉し房總海岸の沖合を通過し午後六時銚子沖を經て二日の朝金

華山の東方約百二十浬の海上に到り爾後北東に進み全夜根室沖に去れり

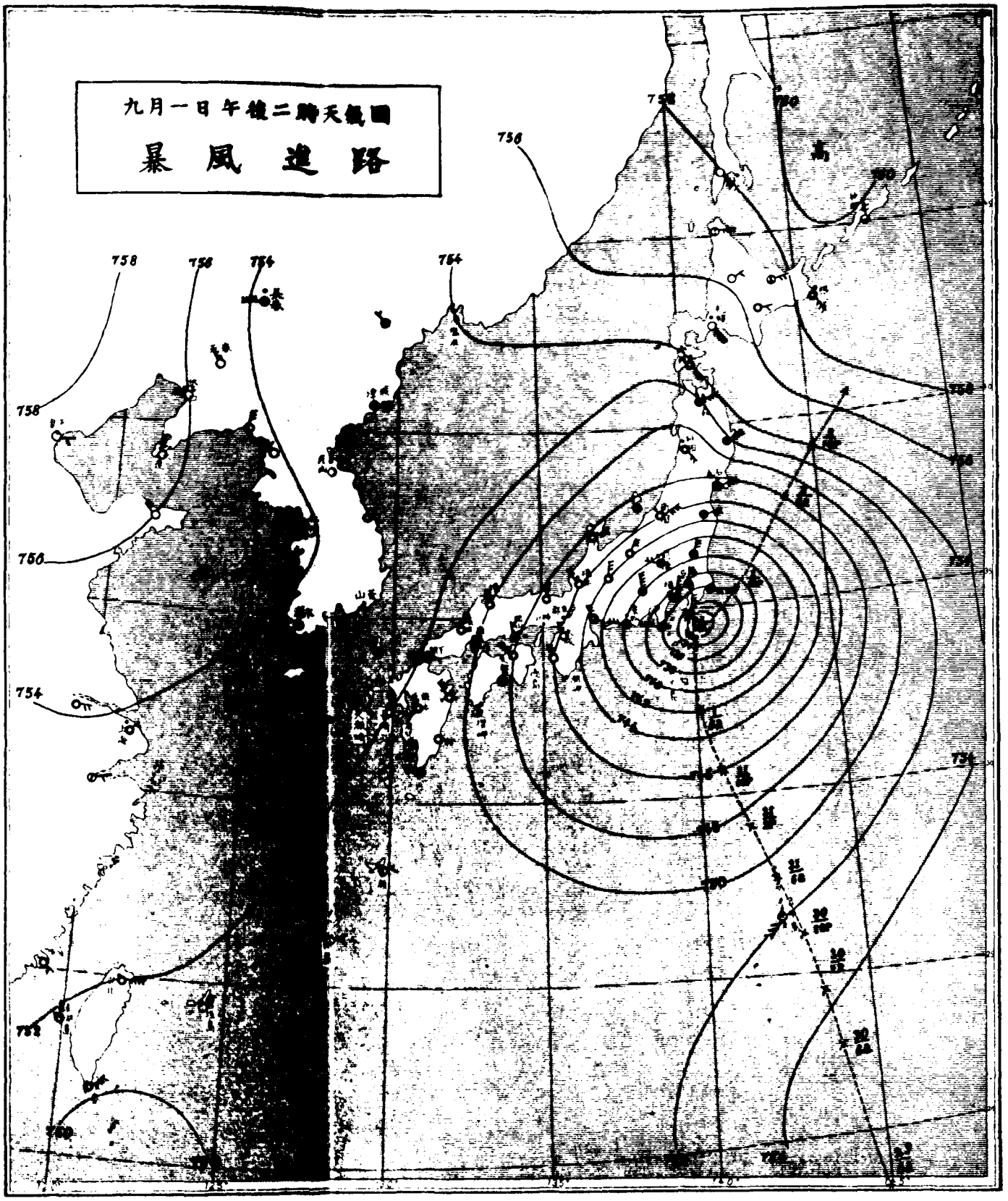
此颱風の通過に際し父島にては八月二十八日より氣壓漸次下降し風勢も時を追ふて加はり二十九日午後五時以後は時々降雨ありて天候愈々險惡となり氣壓は三十日には三十分間に約一粍内外の降下を呈しつゝ三十一日午前四時に至り最低七百二十一粍四を示せり全時に海面は平日より約一尺の増高を呈し全日午前十時最大風速度は毎秒二十七米に達せり而して雨は三十日より連降し雨勢は時々強烈なりしが三十一日午後一時半歇み其總雨量は四十八粍五なり父母島にては三十日午後四時頃暴風の極度に達したりと云ふ今父島及母島に於ける被害概況を記すれば左の如し

父島	住屋	全潰	二戸	不住屋	全潰
		半潰	五戸		半潰
		破損	二一戸		破損
	橋梁流失		一基	住屋半潰	
	畑浸水		一町歩	不住屋全潰	
	墻壁破損		二二箇所	樹木顛倒	

全潰	九戸	農作物	甘藷	二割	
半潰	九戸		バナヽ	五割	
破損	三〇戸	母島			
住屋半潰				五棟	
不住屋全潰				七棟	
甘藷				一割六分	
バナヽ				七割	

八丈島にては三十日來風雨稍々強く三十一日の早晩より暴風雨となり全日午後十時頃大雨沛然として來り全時最大風速度は毎秒三十七米八に達し九月一日午前四時氣壓最低七百二十七粍五を示せり

東海道東部沿岸にては九月一日の朝著るしき風雨起り殊に伊豆半島より房總半島に至る海陸にては風雨猛烈を極め所により著るしき被害あり特に相州小田原附近沿岸は高浪襲來し慘害甚しく家屋の浸水せるもの二百五十餘戸に及び全潰又は半潰せるもの亦た尠からず海上にては漁船の沈沒し漁夫行方不明のものあり伊豆東海岸一帶は一日午前五時頃より暴風となり家屋全潰十八戸、半潰五十六戸、破損六十四戸に及び漁船の破壊二十隻、全破損六十隻あり又


九月一日午後二時天氣圖
暴風進路
758
756
754
754
756
758
760
754
752
760
750
748
746
744
742
740
738
736
734
732
730
728
726
724
722
720
718
716
714
712
710
708
706
704
702
700
698
696
694
692
690
688
686
684
682
680
678
676
674
672
670
668
666
664
662
660
658
656
654
652
650
648
646
644
642
640
638
636
634
632
630
628
626
624
622
620
618
616
614
612
610
608
606
604
602
600
598
596
594
592
590
588
586
584
582
580
578
576
574
572
570
568
566
564
562
560
558
556
554
552
550
548
546
544
542
540
538
536
534
532
530
528
526
524
522
520
518
516
514
512
510
508
506
504
502
500
498
496
494
492
490
488
486
484
482
480
478
476
474
472
470
468
466
464
462
460
458
456
454
452
450
448
446
444
442
440
438
436
434
432
430
428
426
424
422
420
418
416
414
412
410
408
406
404
402
400
398
396
394
392
390
388
386
384
382
380
378
376
374
372
370
368
366
364
362
360
358
356
354
352
350
348
346
344
342
340
338
336
334
332
330
328
326
324
322
320
318
316
314
312
310
308
306
304
302
300
298
296
294
292
290
288
286
284
282
280
278
276
274
272
270
268
266
264
262
260
258
256
254
252
250
248
246
244
242
240
238
236
234
232
230
228
226
224
222
220
218
216
214
212
210
208
206
204
202
200
198
196
194
192
190
188
186
184
182
180
178
176
174
172
170
168
166
164
162
160
158
156
154
152
150
148
146
144
142
140
138
136
134
132
130
128
126
124
122
120
118
116
114
112
110
108
106
104
102
100
98
96
94
92
90
88
86
84
82
80
78
76
74
72
70
68
66
64
62
60
58
56
54
52
50
48
46
44
42
40
38
36
34
32
30
28
26
24
22
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
高
低
暴
暴風進路
颱風
烈風
強風
疾風
和風
軟風
同壓線
雨
曇
晴
快晴
暴風進路

千葉縣沿岸にては一日の早曉三時頃より風雨となり外房州及び九十九里濱は高浪の爲め多大なる災害を被むり家屋の倒潰、流失、破損等夥しく浸水家屋數百戸に上り在勝浦港の銚子測候所勝浦出張所は建物の全部崩潰するに至れりと言ふ

大阪地方は颱風進路より遠かりしか故に其影響極めて少く只北の強風數時間吹き氣壓の最低は九月一日午後一時に於て七百四十五粍九を示し少量の降雨ありたるのみなりき

今颱風中心の經路附近に於て觀測したる最低氣壓及最大風速度を記すれば左の如し

地名	氣壓（海面粍）		風（一秒時間米）		
	最低	全上起時	最大速度	方向	全上起時
父島	七二一・四	九月三十一日午前三時・四時	二六・四	北微東	九月三十一日午前十時
八丈島	七二七・方	九月一日午前四時	二七・八	北東	九月三十一日午後十時
長井呂	七二六・二	〃	二六・二	北	九月一日午前四時
潮岬	七二七・八	〃	一七	北東	〃
福江	七三六・方	〃	一四・二	北微東	〃
東京	七三六・六	〃	一八	北	〃
呉	七三七・二	〃	一二・四	北	〃
銚子	七三三・六	〃	二二・三	北	〃

九月十六日、十七日臺灣の暴風雨

（天氣圖の五參照）

此颱風は暴潮を伴ひたるものにして當大阪地方には殆んど影響なかりしか臺灣にては破害甚だ多く稀に見る所の暴風雨なれば爰に其概況を記せんに九月十三日八重山群島の遙か南方海上に颱風顯はれ徐々北上し十六日朝八重山群島の南方に接近し來り著しく發達し進路を西北西に採り午後三時頃石垣島の南方を通過したる時全島にては氣壓七

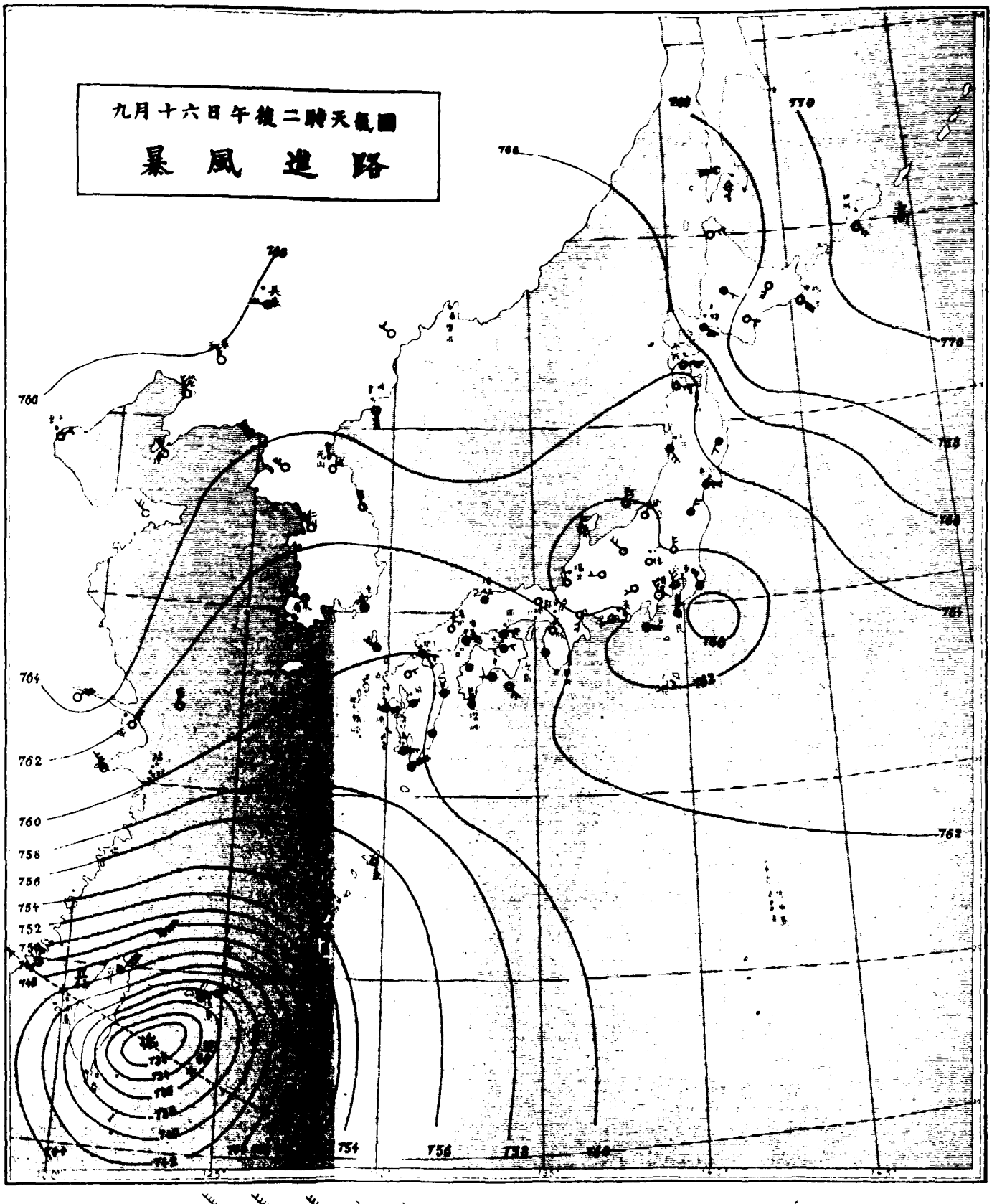
日三十五粍八を示し仝五時風力最も強く毎秒四十九米に達せり爾後颱風は尚西北西に進行し仝八時頃花蓮港の南部より臺灣島に上陸し夜半臺中の南部を經て遂に臺灣水道に出て十七日福州と廈門との中間を經て支那大陸に入りしが花蓮港にては午後八時氣壓最低に逢し七百二十二粍〇を示し風は北東にして最も強く風速度毎秒四十米八まで觀測せしか爾後風力計破損せりと云ふ（因に同所の推測に依れは最大風速度は約五十米ならんと云ふ）又臺東にては仝十時三十分氣壓最低に達し七百十二粍四を示し風力強からさりしか十七日午前三時南南西に轉し俄然強烈となり最大風速度は十七日午前三時三十分に於て毎秒二十八米九を測れり今臺灣各地の最低氣壓及最大風速度並に雨量を記すれは左の如し

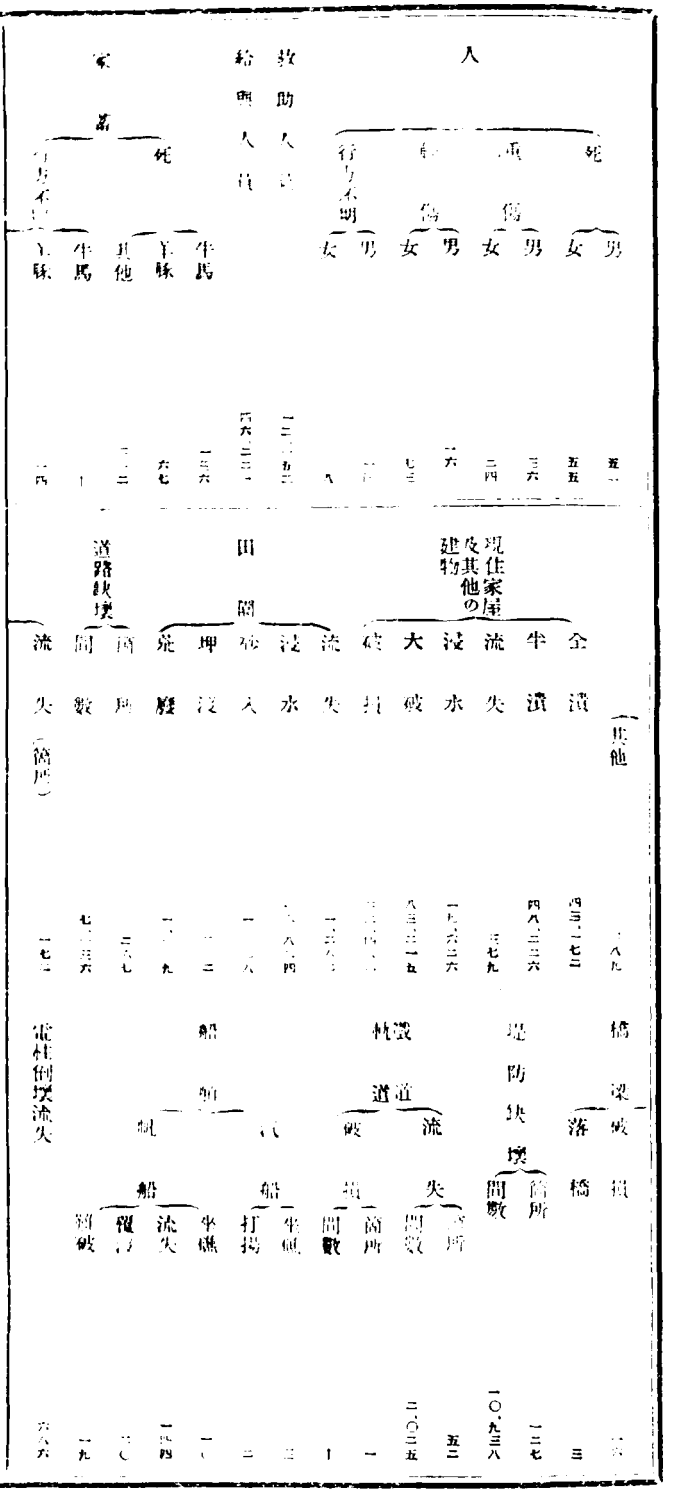
種目 / 地名	氣壓（粍） 最低	氣壓（粍） 仝上起時	風（毎秒米） 最大速度	風（毎秒米） 方向	風（毎秒米） 仝上起時	雨（粍） 總量
花蓮港	七二二・〇	十六日午後八　時	約五〇・〇	北	〃	一五三・〇
恒春	七三〇・〇	十六日午後九　時	四二・四	西北西	十六日午後十時三十分	一七四・四
臺東	七二二・四	十六日午後十　時三十分	二八・九	南南西	十七日午前三時三十分	三八・三
臺南	七二六・七	十六日午後十一時四十五分	三七・二	北北西	十六日午後八　時	八三・二
嘉中	七二三・二	十七日午前零時三十分	三八・〇	北	十六日午後十　時	一九・一
基隆	七三五・〇	十七日午前二　時	三一・四	北東	十七日午前三　時	一一七・六
臺北	七三一・六	十七日午前二時三十分	四三・七	東南東	十七日午前零時	二一六・八
澎湖島	七二八・三	十七日午前五　時	四〇・〇	北北西	十七日午前三　時	一〇三・〇

（天氣圖の六參照）

此颱風は臺灣中部を横斷したるか故に仝島は一般に風勢狂暴を逞ふし從て災害も亦た殆んと仝島に亘れり今其被害概數を擧くれは左の如し

天氣圖　第六


九月十六日午後二時天氣圖
暴風進路
770
768
766
764
762
760
758
756
754
752
750
748
746
754
756
758
760
762
颶風
烈風
強風
和風
軟風
同壓線
雨
曇
晴
快晴
暴風路



九月二十二日より二十四日に至る暴風雨概況

此颱風は沖縄島附近より來り本邦中部を貫き北海道北東方に經過したるが故に殆んど本邦全土に暴風雨を起し且つ高潮を伴ひたるを以て被害甚だ多く大阪地方は殆んど其經路に當りたるが故に氣壓は當所創立以來三十年間になき低度に達し風速も亦た三十年間に觀ざる所の最大に達したり然れども降雨は比較的少く只颱風の最も接近し來りたる二十三日午前三時より四時の間に於て大雨沛然として降り一時間内十五粍を測りしも當時は恰も颱風中心圏内にありたるを以て風力極めて弱く爾後颱風經過し風向西に轉じ俄然烈風吹き起りしが其時は既に雨歇みたるの後なれば暴風雨被害は割合に少かりし然れども此時海上に高浪襲ひ來り築港大棧橋の一部を毀ちて激浪奔騰し護岸防波

堤等を崩壊し又海水逆流して安治川木津川を始めとし其他の川に押し寄せたるか故に沿岸地方は損害多く浸水家屋二萬戸以上に及びたり

今中央氣象臺其他の報告に依り此颱風中心の經過進行、深度等を記すれは左の如し

一經過　九月十九日の朝亞比島の北西方洋上に颱風出顯し北西方に進行中なりしか仝日午後呂宋の東方海上に顯はれ今夜宮古島の南西方海上にて方向を北東に轉し二十日の朝宮古島の南方洋上に來り二十一日の朝に至り沖繩島の南方約百二十浬の洋上に來り二十二日午前六時には奄美大島の東方に迫り午後二時には屋久島の東方に來り仝夜十時高知縣足摺岬附近に殺到し京阪以西に非常なる暴風雨を釀すに至れり此颱風は更に進行して四國東部內海東部を橫きり京阪地方と姬路、岡山の間より舞鶴附近に向ふて中國を橫斷し二十三日午前六時には石川縣及福井縣の海岸に沿ふて進み能登半島を襲ひ關東及東北地方に暴風雨を起すに至れり而して颱風の中心は日本海岸に沿ふて進み午後二時奧羽地方を橫きり北海道を通過し「オホツク」海に去れり

二進行　今回の颱風は亞比島の北西洋上より北西に進行し二十日の夕刻に宮古島の南西方海上にて北東に轉向したるものにして轉向點は東經百二十六度半、北緯二十一度半許に在り而して轉向前後の進路は極めて規則正しく直線に近し又進行速度は轉向以前は之れを確知し難しと雖とも轉向後琉球列島附近までは一時間十五粁にして夫れよりも京阪附近に至るまては一時間四十八粁となり更に進んて本邦北部に到れる頃は一時間百七粁となるに至れり乃ち今回の颱風も轉向點附近は其進行極めて遲々たるを免れさりしか北上するに從つて著しく急速となれるを知るへし

三深度　颱風の洋上にあるや其深さ大なるもの多しと雖とも陸に至るに及んでは急速に埋積して深度甚たしく減するを常とす而して今回の颱風の如く陸に於て七百十粍附近の深度を持續せしものは實に稀有に屬せり故に此點より察するも此颱風か洋上にありし時は頗る深厚なりしを想像するに難しとせす然れとも不完全なる材

料により之れを打算するは誤謬に陷り易きが故に暫く之れを避け颱心が陸上に至りたる時の深度を見るに實に七百十粍以下に在りしものゝ如し

四風速　二十二日の朝此颱風の琉球北部に接近するや九州及四國南部に於ては北東の風強く沿海の地に於ては強風以上に達したる所少からず仝日午後に至りては四國、中國、九州一帶に風勢增進し殊に四國南部の岬角に於ては風力颶風に達するに至れり而して二十二日の夜に於ては風域擴大して關東方面に及び二十三日の早朝に至りては京阪以西は風勢大に衰へたりと雖とも關東方面には反つて猛烈となり大雨沛然として之れに勢を添へ狂風怒號し樹を抜き屋を倒すに至れり仝日午後に至りて風域東北地方及北海道に移り本邦北部一帶に暴風雨と化せり風速は割合に甚大ならずと雖とも多度津に於ては一秒間四十二米を測れり是れ仝地に於ては未た曾て有らざる強風なり又津に於ては三十九米に達せり而して加茂（城山）に於ては一秒間五十米を測れりと雖ともこれも亦山上の觀測なるを以て他とは直に比較し難かるへし

五雨量　今回の颱風は風雨を起し風勢猛烈なること前述の如しと雖とも雨量は之れに伴はず勿論地方によりては大雨沛然として降り恰も瓶を覆すか如くなりし所ありしと雖とも元これ小局部に限り仝体より見れは降雨は左まで劇甚ならざるか如し而して降雨の最も強かりしは二十二日より二十三日の早朝にして乃ち二十三日午前六時に至る二十四時間の總量は四國東部及紀州半島に最も多大にして九州及四國南部之れに亞く又房總半島の南端も多大にして之れと伯仲の間にあり乃ち最も多大なるは德島の三百五十二粍にして船長の三百四十粍高知の二百二十九粍、大分の二百一粍、多度津の百八十九粍、佐多岬の百七十八粍、松山の百七十三粍、舞鶴の百六十六粍、境の百六十一粍、足尾の百四十三粍、岡山の百二十六粍、宮崎の百十四粍、足摺の百十粍、帶廣の百〇一粍、飯田の百粍また少量ならすとせす

六波浪　颱風の洋上に進行するや長浪の之か先驅を爲すを常とす今回も九月十九日の夜此颱風の未た呂宋の

東方遙かなる洋上に在るや長浪支那東海に浸入し又遙か遠き本邦太平洋岸に達せり當時支那温州海岸の沖合を航行中なりし加奈多丸よりの無線電信によれば北風吹き風力僅かに疾風に達し好晴なれども長浪稍々高きを報し又八重山群島に於ては海鳴喧しく又紀州熊野沖を航行中の地洋丸も風浪を報し日向灘より土佐洋に亘りて海鳴聞ゆ而して仝二十二日の午後颱風の九州及び四國に殺到するや本邦近海風浪甚だしく支那東海に在りし信濃丸銚子港の東方洋上に在りし春洋丸は何れも怒濤の甚だ大なるを報せり

海岸に於ては高浪起りて恰も津浪の如くなりし所も少からず新聞紙の報する所に依るも伊勢灣に於て風浪高く灣内に於て演習中なりし第一艦隊の諸艦艇中坐礁擱坐せしもの四隻に及び又熱田築港にても怒濤の爲め堤防數所欠潰し浸水家屋及び船舶の沈没したるもの少からず鎌倉江の島海岸にては激浪岸を嚙み被害少からざりき

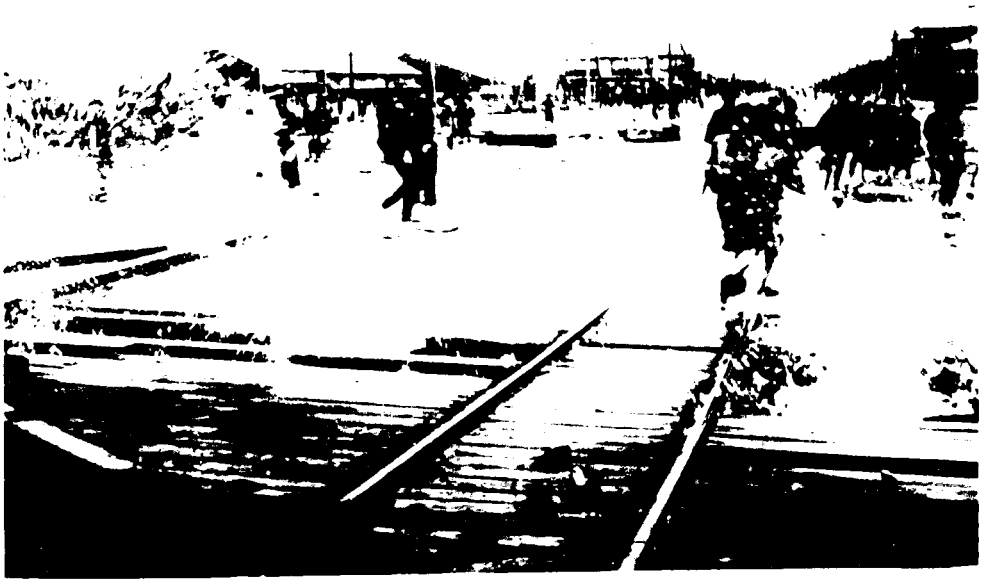
七被害　今回の颱風は琉球及び九州を掠め四國、本州及び北海道を通過したるを以て全國に亘りて著るしき災害を釀し電信にては京都、神戸、彦根、津、岐阜、大阪以西は二十三日の午前零時五分より不通となり東北地方及北海道は二十三日午前八時頃より不通となれり又電話線の故障も尠からざりき汽車の故障亦多く運轉の中止延着等は枚擧に暇あらず水戸線二十三日午前十一時羽黒福原間にて客車三輛顚覆二輛脱線せり中央線には二十三日午前八時八ッ澤附近にて貨物列車の顚覆せしもあり北陸線にては二十三日の午前十時伏木附近を進行中の列車顚覆せり其他家屋、建物の潰倒、人畜の死傷等夥しく所により甚大なる被害ありしと云ふ

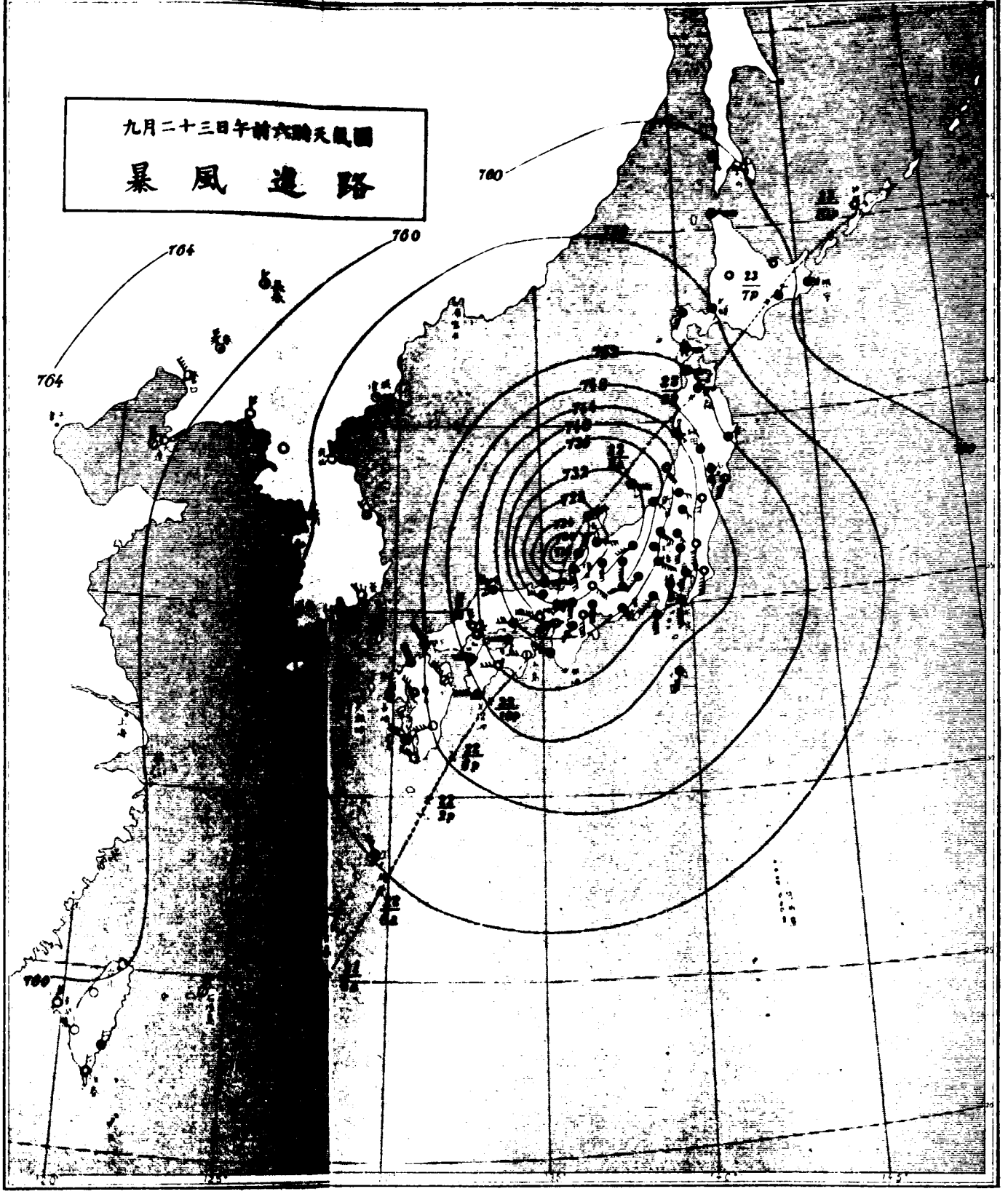
今此颱風進行中各所に於て觀測したる最低氣壓最大風速度及雨量（主として暴風雨中の量を記せり）を表記するは左の如し

種目	氣壓		風		雨量
地名	最低	仝上起時	最大速度	方向	仝上起時
石垣島	七三〇・二	二十一日午前四時卅分	二四・八	東北	二十一日午前四時

時	八	大	和	昭	平	成	令	元
				六十			二	
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
馬	羊	猿	鶏	犬	猪	鼠	牛	虎
七	八	九	十	一	二	三	四	五
月	月	月	月	月	月	月	月	月
小	大	小	大	小	大	小	大	小
暑	暑	露	露	雪	雪	寒	寒	寒
七月七日	七月廿三日	八月八日	八月廿三日	九月八日	九月廿三日	十月八日	十月廿三日	十一月七日
午前十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時
三十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
七月	八月	九月	十月	一月	二月	三月	四月	五月
小暑	大暑	白露	寒露	小雪	大雪	小寒	大寒	立春
七月七日	七月廿三日	八月八日	八月廿三日	九月八日	九月廿三日	十月八日	十月廿三日	十一月七日
午前十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時
三十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
七月	八月	九月	十月	一月	二月	三月	四月	五月
小暑	大暑	白露	寒露	小雪	大雪	小寒	大寒	立春
七月七日	七月廿三日	八月八日	八月廿三日	九月八日	九月廿三日	十月八日	十月廿三日	十一月七日
午前十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時	午後一時	午後四時	午後七時	午後十時
三十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯

| | | |




九月二十三日午前六時天氣圖
暴風進路
700
704
704
700
760
750
740
730
720
710
700
690
680
670
660
650
640
630
620
610
600
590
580
570
560
550
540
530
520
510
500
490
480
470
460
450
440
430
420
410
400
390
380
370
360
350
340
330
320
310
300
290
280
270
260
250
240
230
220
210
200
190
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
23
7P
暴風
颱風
烈風
強風
疾風
和風
軟風
同壓線
雨
曇
晴
快晴
暴風進路

	前橋	濱田	橫濱	新潟	銚子	東京	加茂	宇都宮	水戸	山形	石巻	秋田	青森	盛	龍飛	函館	古宮	都	札幌	谷	帶廣	止	室蘭	根	網走	稚内	名寄	紋別
七三五、〇	七四一、一	七三七、四	七四三、六	七四〇、七	七三八、〇	七三七、五	七三九、九	七三一、三	七三五、七	七三八、五	七三七、六	七三八、三	七三一、八	七三九、四	七三一、五	七三一、九	七三二、六	七三五、〇	七三四、四	七三四、八	七三二、六	七三八、七	七二一、九	七三九、七	七三九、七	七三九、七	七三九、七	七三九、七
二十三日【午前八時三十分午前九時二十分】	二十三日午前九時	二十三日午前九時三十分	二十三日午前九時三十分	二十三日午前九時三十分	二十三日午前十時	二十三日午前十時	二十三日午前十一時	二十三日午前十時十五分	二十三日午前十一時三十分	二十三日正午	二十三日午後一時	二十三日午後一時	二十三日午後二時	二十三日【午後二時三十分午後三時三十分】	二十三日午後二時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十三日午後七時	二十四日午前一時
三三、九	二八、五	三三、八	三五、六	二二、二	一九、七	三三、〇	二六、九	二六、六	二八、七	三三、七	二四、四	三一、四	四〇、八	二五、三	北北西	四〇、二	北北西	北西	北北西	北西	北北西	北北西	一九、〇	二七、二	北北西	北北西	北北西	北北西
南東	南南西	南南西	南南西	南南東	南	南南西	南南西	南南東	南南西	南南西	南南西	西北西	西北西	北北西	北北西	北西	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東
二十三日午前六時二十分	二十三日午前九時	二十三日午前十一時二十分	二十三日午前十時	二十三日午前六時	二十三日午後一時三十分	二十三日午前八時四十分	二十三日正午	二十三日午前十時	二十三日午後四時	二十三日午後三時	二十三日午後六時十分	二十三日午後八時	二十三日午後九時	二十三日午後七時二十分	二十三日午後六時	二十三日午後八時	二十三日午後三時	二十三日午後六時	二十三日午後四時	二十三日午後四時	二十三日午後三時	二十三日午後四時	二十三日午後三時	二十三日午後三時	二十三日午後三時	二十三日午後三時	二十三日午後三時	二十三日午後三時
四〇七	一四七、一	二八七	一〇一、九	一七	四四	一六、二	六九、八	三四、〇	七七、五	四九、六	八四、〇	三九、二																

但し徳島の雨量は二十一日、二十二日、二十三日の降雨總量なり又如茂の城山は二十三日午後二時最大風速度五十米五四に達せり

大阪の觀測　以上は今囘の暴風雨概況を記したるものなり今や大阪の氣象概況を記せんとす

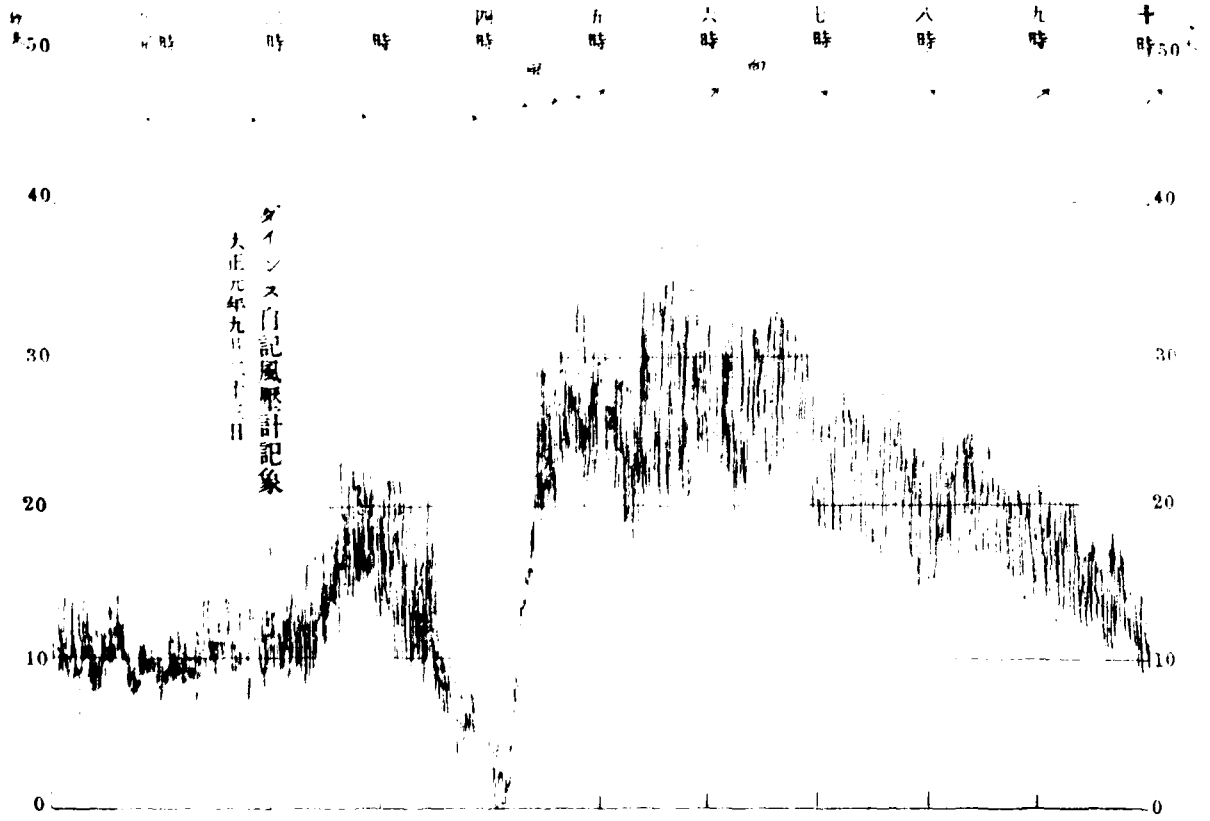
氣壓　九月二十一日朝來微降し二十二日午前六時に至る前二十四時間に低下すること四粍九を示し正午頃までは低下甚しからざりしが爾後急降し夜半に至る前十二時間に十九粍四の急降を呈し二十三日午前三時三十分最低七百十四　粍九に達せり因に記す此間の氣壓低下は最も著しく二十三日午前零時より一時に至る一時間に三粍七仝一時より二時までに五粍二仝二時より三時までに八粍九の急降にして仝三時より三時三十分最低に達する間は二粍七の低下なりき斯の如く一時間に約九粍の低下を現はしたるは甚だ稀にして且つ今回の最低氣壓七百十四粍九は實に當所創立以來三十年間に觀さる所の低度なり而して仝四時頃までは微なる昇降を呈せしが爾後急に上昇し仝四時より十時に至る六時間に三十四粍九の上昇を呈し漸次平常に復せり（自記水銀晴雨計記象紙參照）

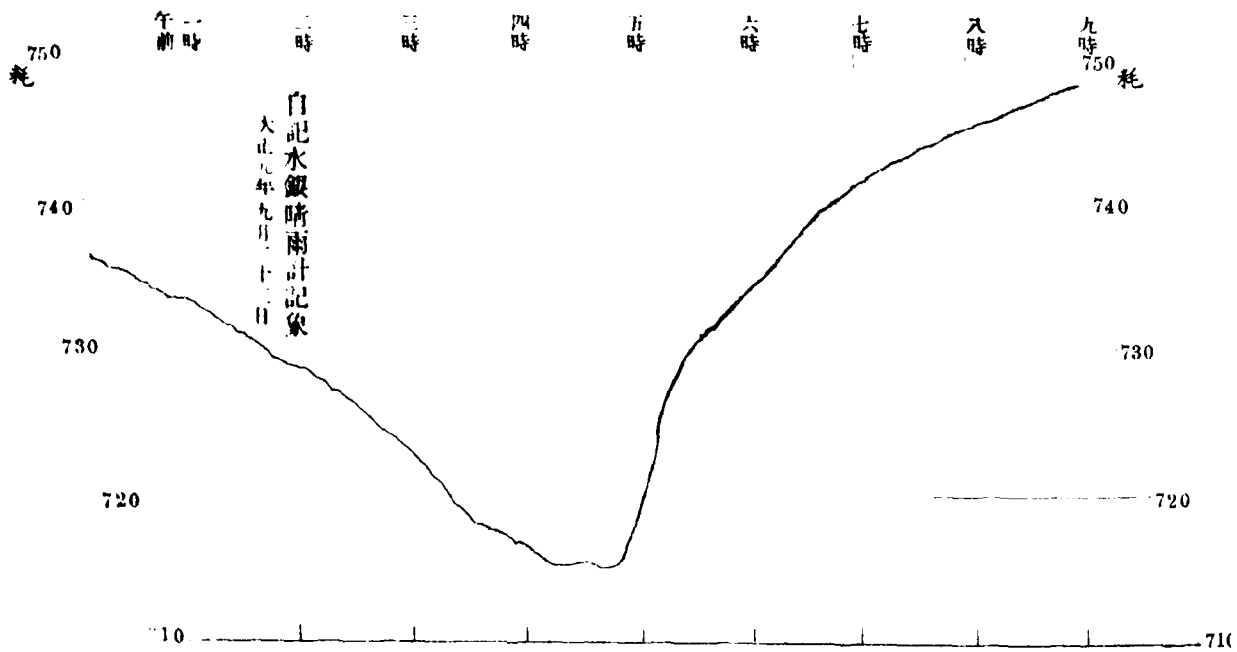
風　九月二十一日は東の和乃至疾風吹き夜に入り軟風となり二十二日正午頃風向東より北東に轉し稍々增勢し午後四時より強風となり漸次風力加はり強烈風となりしが二十三日午前三時半頃より風力頓に減衰し疾風となり仝四時十五分には僅かに毎秒六米三に過ぎさりしが仝時風向北東より西北西に逆轉し俄然烈風吹き起り狂猛を逞ふし仝四時半より七時半にいたる間は最も激しく颶風吹きつゞけりその最大速度は仝五時三十分より五時四十五分に至る十五分時間にして平均毎秒三十七米〇に達し爾後稍々減力せしも尙ほ烈風にして仝九時十五分までは毎秒二十米以上を吹送し後漸次減力し仝十一時風向西北西より北に轉し疾風となり平常に復せり（ダインス式自記風壓計記象紙參照）

降水及天氣　九月二十日未明は好晴なりしが仝午前四時頃より卷層雲現はれ漸次擴張し仝六時二十分より七時三

暴風雨圖

大正元年九月二十三日午前一時ヨリ十時ニ至ル





十六分まて日暈現はる爾後積卷雲西より流れ來り仝九時には波狀を呈し曇天となり仝六時再び波狀雲現はれ天候不穩の兆を報せしか二十一日午前零時頃に至り俄かに雲散し快晴となり仝四時に至り忽ち下層雲滿天を蔽ひ午後零時十八分より微雨を催ふし暫時にして歇み仝五時三十分より降雨となり漸次雨勢加はり仝十時五十五分より二十二日午前五時二十分に至る間は時々大雨沛然として豪注し僅々六時間に六十四粍五に達し就中仝四時より五時に至る間は最も甚たしく一時間の量十五粍三を測れり而して爾後雨勢稍々衰へ午後四時頃より北東の强風吹き起り風雨となりしか二十三日午前三時より四時に至る間に亦た大雨沛然として來り一時間に十五粍〇を豪注し後ち雨勢衰へ小雨斷續せしか仝時風向北東より西に轉し猛風吹き起り狂暴を逞ふせしも仝十一時頃より衰へ雨も亦た仝十一時三十九分歇む此總雨量は百四十七粍四なり

更に當所に於ける每時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速	度	雨量	天氣
九月二十一日	午前六時	七二一	二六・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	七時	二五・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	八時	七二一七	二五・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	九時	二五・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	十時	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	十一時	七二一八	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	正午	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	午後一時	七二一六	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	二時	七二一六	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	三時	七二一八	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	四時	七二一八	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	五時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	六時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	七時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	八時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	九時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	十時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	十一時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	正午	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	午後一時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	二時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	三時	七二一九	二四・〇	東北東	七	一	雨	曇
仝	四時	七二一九

| | | |

暴風雨

今回の暴風雨で既往二十年間の最著風速の低気圧，最大瞬速度及気圧を列記すれば左の如し

地名	最大風速	風向	出現日時	最低気圧	出現日時	備考
室戸岬	毎秒六〇米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
潮岬	毎秒五四米	南	十九日一時	九五一粍	十九日一時	
名古屋	毎秒二五米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
東京	毎秒二〇米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
銚子	毎秒二〇米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
仙台	毎秒一五米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
青森	毎秒一五米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	
函館	毎秒一五米	南	十九日一時	九五〇粍	十九日一時	

明治二十九年八月三十日
仝四十四年六月十九日
大正元年九月二十三日

| | | |

十五分時間の觀測に依りて得たる平均毎秒速度三十七米〇を今回の最大として記したり

風の息　岡田理學博士は氣象集誌第二十九年第三號に於て「風は恰も河水の流るゝ如く一樣に流走するに非すして其速さは增減著しく一時に急速となり次に極めて緩となり又一時に急となること恰も一種の波浪の寄せ來たるか如し之れを風の息と稱せん」と述へられたり而して此風の息即ち風力一強一弱は建築物の被害其他に關係する所尠からす故に之を觀測する事は最も必要なるを以て當所に於ては數年前より既に「ダインス」式自記風壓計を据付け不斷觀測をなせり偖而其記象紙を點視するに平常にても昇降線、風力增加すれは線昇り減殺すれは降る　連綿並列し風力加ふるに從ひ昇降愈々顯著となるを以て看れは風の息あること明かけし尤も風の息の周期を測るには平常使用する二十四時間一回轉の圓筒にありては昇降線相重りて判明せさるか故に最初は二時間一回轉の圓筒を別に添附し自記せしめたるに尚瞭明せさる個所あり依て更に二十四分時間一回轉の圓筒を添附し自記せしめたるに極めて能く風の息の周期を測るを得たり依つて先の昨年八月十六日の顯著暴風雨の際に最後の圓筒を添附し風の息を觀測し今回の暴風雨の時にも亦た全法によりて風の息を觀測したるに其周期は兩年其始んと等しかりき今其概況に記せんに風力の一強一弱を表はせる昇降線の長さは大小混交し甚た不規律なりしか其周期は略ほ一定し平均六秒內外となれり然れとも昇降大なるものにありては十五秒乃至三十秒（往復振動）の周期を有し其昇降の差は本年九月二十三日の暴風雨にありては十米乃至十二米なりき又此他に小なる昇降を交へつゝ一分乃至二分時間の周期を以て大なる昇降を呈するものあるか如し

颱風と高浪　此颱風は高浪を伴ひ來り沿岸地方に損害を與へたりしか大阪港に据付ある驗潮器の記象紙によつて海水位の變化を看るに九月二十一日は午前十時四十分最低八十二糎（基點上以下同し）午後七時、最高百九十六糎を示し爾後徐なる昇降を呈し二十二日午前十一時二十五分最低八十二糎午後七時五分最高二百一糎の干潮を示し異狀なかりしか爾後頗る顯著なる波動起り一高一低定らさりしか俄然高浪襲來し二十三日午前四時よ

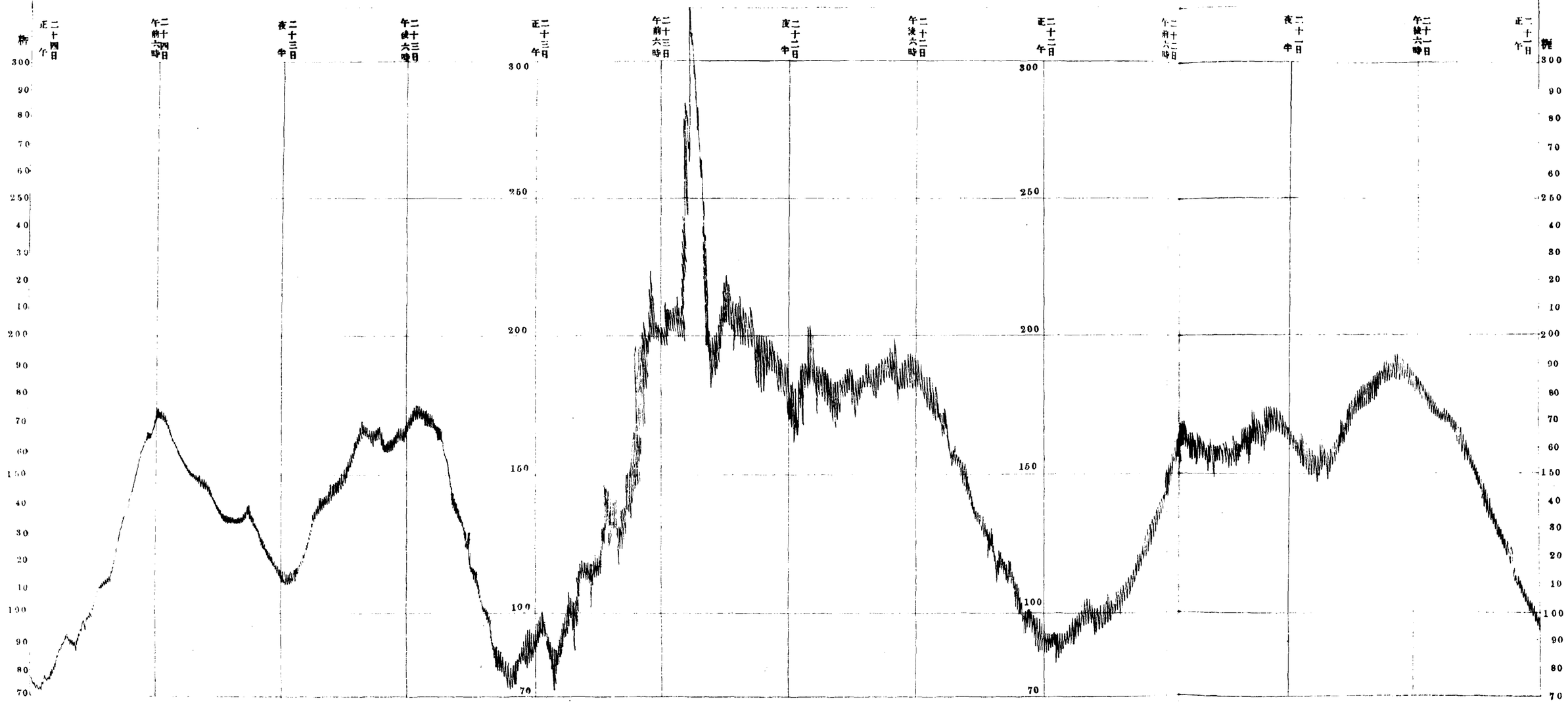
り急速に昇騰し午前四時五十五分最高三百十七糎に達せり是れ平常の海水位より高きこと實に百糎以上なりき仝五時頃より漸次下降し仝十一時五分最低七十一糎に降り平常に復せり斯の如き急速なる昇騰わりしか故に沿海地方特に海潮の所にありては山の如き怒濤陸上に奔騰し沿岸一帶に浸水し又安治川、木津川、尻無川等は西風に煽られ海水逆流すること甚たしく爲めに河水增高し市内沿岸地方は多少浸水せさる所なきに至れり仝九月二十一日より二十四日に至る四日間に於ける每時の海水位に表記すれは左の如し（九月二十一日より二十三日に至る驗潮器記象紙參照）

時	九月二十一日		九月二十二日		九月二十三日		九月二十四日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
一時	一四二	一一三	一七〇	一〇二	一九三	八〇	一二七	八〇
二時	一三五	一三三	一六五	一二二	二〇一	九〇	一三一	九〇
三時	一三九	一五三	一六〇	一三五	二一一	一一七	一三七	一一四
四時	一三八	一六八	一六〇	一五五	二〇七	一四五	一四九	一三五
五時	一二五	一七七	一五五	一七五	二〇〇	一七〇	一五九	一六一
六時	一二二	一八六	一五〇	一八八	二〇〇	一六七	一六九	一六四
七時	九七	一九六	一二九	一九〇	一九〇	一六〇	一四二	一六〇
八時	九八	一八七	一一〇	一八五	一三〇	一六六	一二三	一四七
九時	九四	一七六	一〇〇	一八〇	一一四	一四八	九七	一三一
十時	九二	一五七	一〇五	一七五	一〇五	一四一	八八	一一六
十一時	九〇	一六二	九〇	一九〇	八〇	一一五	七四	九二
正午又は夜半	九六	一七〇	九〇	一七七	八七	一一三	七四	九八

十月一日、二日暴風雨概況

低氣壓ト海水位ノ變化

大正元年九月二十一日ヨリ二十四日二日至ル大阪港內驗潮器自記紙



九月廿五日亞比島の西方洋上に顯はれたる颱風は徐々西北西に進行し二十七日呂宋の北部を經て北上し二十八日臺灣と呂宋間の「バリンタン」海峽に於て進路を北東に轉じ三十日には八重山群島の南方洋上に到着し臺灣及琉球南部に暴風雨を起し石垣島にては三十日午後四時四十分氣壓七百七十三粍に降り同午後二時最大風速度毎秒三十六米に達し仝日正午より夜半に至る雨量は實に百九十四粍なり而して仝夜宮古島を經て十月一日午前十時頃久米島を通過し夫れより沖繩島の北西方海上を北東に進行し二日午前四時頃鹿兒島附近に達し仝六時頃宮崎の北方を通過し尚北東の進路を持續し四國を横斷し勢力著しく衰頽し四日の朝内海東部に到り遂に消失せり斯る現象は甚た稀有なるものにして要するに千島方面に存在したる高氣壓の壓迫を受けたる結果なるへし

今颱風中心の經路附近に於て觀測したる最低氣壓及最大風速度を記すれは左の如し

地名	最低氣壓	仝上起時	最大速度	風向	仝上起時
石垣島	七七三・七	九月三十日午後四時四十分	三六・四	北北東	九月三十日午後二時二十分
那覇	七三八・一	十月一日午前	二七・六	南西	十月一日午前三時
名瀬	七三八・二	仝一日午後七時四十分	三〇・〇	南	仝一日午後七時四十分
鹿兒島	七三九・八	仝二日午前四時三十分	三七・八	北東	仝二日午前四時
宮崎	七三七・七	仝二日午前五時三十七分	二九・四	南東	仝二日午前九時三十分
熊本	八〇三・三	仝二日午前六時一十分	一二・七	仝	仝二日午前九時十分
福岡	七四八・二	仝二日午前七時	一六・八	北北東	仝二日午前三時三十分
長崎	七四八・七	仝二日午前八時	一〇・六	東北東	仝二日午前八時三十分
鹿原	七五二・六	仝二日午前八時	一二・八	北	仝二日午前九時
大分	七四九・二	仝二日午前九時	二六・四	北東	仝二日午前八時
山口	七四七・	仝二日午前九時	六・七	東	仝二日午前九時
高知	七四九・七	仝二日午前十時	二五・二	東南東	仝二日午前九時

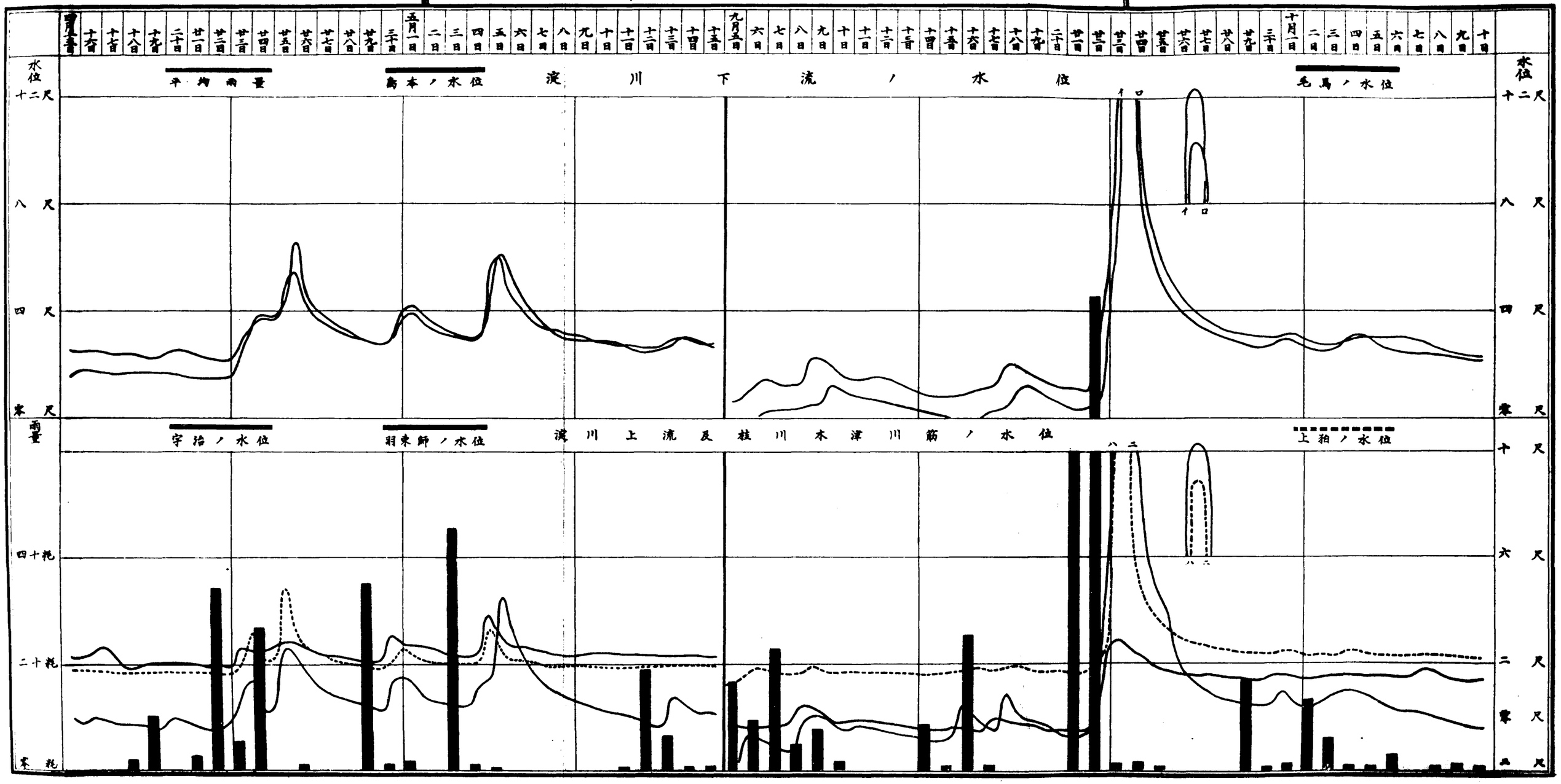
	四國島	新居濱	岡山	和歌山	大阪	神戸	廣島
	七四七、九	七四七、八	七五〇、二	七四九、八	七五〇、九	七五〇七	七四九、五
	十月二日正午	〃二日正午	〃二日午後二時	〃二日午後四時	〃二日午後四時	〃二日午後四時	〃二日午後九時
	三二、三	三〇、二	二三、七	六、二	一四、四	一四、五	一〇、三
	東北東	東北東	東北東	東北東	東北東	東北東	北北東
	一二、九	一二、六	一四、四	一二、九	一〇、八	一〇、七	七、七
	〇、〇	〇、〇	一	〇、二	〇、三	〇、七	一
	雨	雨	曇	曇	雨	雨	曇
	十月二日午前十時四十分	〃二日午前八時二十分	〃二日正午	〃二日午前十一時	〃二日午前十一時	〃二日正午	〃二日午後九時

此颱風は九州南部に上陸するや中心の示度七百三十粍以下となり全地に猛烈なる暴風雨を起し家屋の潰倒、橋梁の墜落、人蓄死傷等あり又沖繩島附近の海上にては漁舟、船舶の沈沒又は遭難せるもの尠からさりしと云ふ而して四國及山陰道の一部も風水の害を被りたれとも内海東部にて颱風埋積したるを以て頓に風雨衰へ大阪地方は强風僅に數時間にして降雨も亦た極めて少かりし即ち次表に示すか如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
十月一日	午後十時	七五九、六	一九、一	東北東	三、八	一	曇
全	全十一時	七五九、四	一八、五	東北東	三、七	一	快晴
全	夜半	七五九、〇	一八、一	東北東	四、三	一	晴
全	午前一時	七五八、八	一七、九	東北東	三、四	一	晴
全	〃二時	七五八、八	一八、三	北東	三、〇	一	曇
全	〃三時	七五八、八	一八、七	北東	四、七	一	曇
全	〃四時	七五七、〇	一九、一	東北東	五、五	一	曇
全	〃五時	七五七、〇	一九、七	東北東	八、二	一	曇
全	〃六時	七五七、一	一九、七	北東	八、五	一	曇
全	〃七時	七五六、八	一九、九	東北東	一〇、二	一	雲
十月二日	午前八時	七五六、三	二〇、二	東北東	一一、九	〇、〇	晴
全	〃九時	七五六、二	二〇、〇	東北東	一〇、七	〇、〇	雨
全	〃十時	七五五、五	二〇、〇	東北東	一二、六	〇、〇	曇
全	〃十一時	七五三、三	二〇、〇	東北東	一四、四	一	曇
十月二日	正午	七五二、二	二一、四	東北東	一二、九	〇、二	晴
全	午後一時	七五一、五	二二、六	東南東	一〇、八	〇、三	晴
全	〃二時	七五一、六	二一、五	東南東	九、二	〇、七	晴
全	〃三時	七五一、二	二二、二	東	八、六	〇、二	曇
全	〃四時	七五〇、九	二二、八	東北東	七、七	一	曇
全	〃五時	七五一、二	二二、二	東北東	七、九	〇、〇	晴

大阪出水圖

明治四十五年
大正元年



| | | |

にして孰れも島本の水位十八尺以上に達し之れに亞くは仝三十六年七月九日にして仝上十七尺二寸に達し孰れも水害甚たしかりし而して本年は右三年に比すれは遙に水位低く高き方より云へは第六に位せり今島本の最高水位十五尺以上に達したるものを順次列記すれは左の如し

種別 / 年月日	島本の水位 最高水位	増水高	毛馬の水位 最高水位	増水高
明治十八年七月二日	十八尺三寸	十二尺四寸	十五尺七寸	十一尺九寸
仝二十九年九月八日	十八尺一寸	十二尺四寸	十五尺四寸	十一尺四寸
仝三十六年七月九日	十七尺三寸	十三尺二寸	十三尺五寸	十尺四寸
仝二十二年八月二十日	十六尺八寸	十三尺八寸	十四尺六寸	十二尺六寸
仝二十九年八月三十一日	十六尺六寸	十三尺	十三尺七寸	十二尺九寸

種別 / 年月日	島本の水位 最高水位	増水高	毛馬の水位 最高水位	増水高
大正元年九月二十三日	十六尺三寸九分	十五尺三寸五分	十四尺四寸二分	十四尺一寸
明治四十年八月二十四日	十五尺八寸五分	十一尺九寸	十四尺二寸	十一尺八寸
仝二十九年七月二十二日	十四尺五寸	十尺五寸	十三尺二寸	九尺四寸
仝三十七年七月十三日	十五尺一寸	十二尺八寸	九尺七寸	九尺七寸

上表に由りて看るに出水の時期は七、八、九の三ヶ月にして孰れも颱風の畿内附近を通過したる時にあり元來淀川は流域甚た廣く丹波、近江、山城、伊賀、大和、攝津、河内に亘り此域内に降下したる雨量は淀川本流、桂川及木津川の二支流に集注し皆本府管内淀川に來るか故に一朝颱風襲來し大雨豪注する時は沿岸の地は水害を被むること屢々なりしか淀川改修工事竣成後は流道を變更し河幅を廣け水害を輕減するに務たり

今本年中の顯著出水概況を擧くれは左の如し

九月二十三日の出水

九月二十一日より二十三日に至る暴風雨概況は別項に記載せし如くなるか當地方は二十一日午後零時十八分より微雨を催ふし暫時にして歇み仝五時三十分より降雨となり漸次雨勢加はり仝十時五十五分より二十二日午前五時二十分に至る間は時々大雨沛然として豪注し僅々六時間に六十四粍五に達し就中仝四時より五時に至る間は最も甚しく

一時間の量十五粍三を測れり而して爾後雨勢稍々衰へしか二十三日午前三時より四時に至る間に亦た大雨沛然として來り二時間に十五粍〇を豪注し後ち雨勢衰へ小雨斷續せしか仝十一時三十九分歇む此總雨量は百四十七粍四なり而して淀川流域地方も一般に多量の降雨あり好中桂川筋最も甚たしく丹波國南桑田郡龜岡は百九十五粍仝國船井郡園部は百七十九粍六に達し淀川本流河內國北河內郡枚方は百九十粍五に達したるを以て本府管內各河川氾濫し淀川筋三島郡島本の量水標は二十三日午後一時最高十六尺三寸五分に達し出水前より十五尺三寸五分の增嵩又其下流なる東成郡毛馬の量水標は二十三日午後四時最高十四尺四寸に達し出水前より十四尺一寸の增嵩を呈せり而して今回の出水は極めて迅速にして最高水位の納所より毛馬に達するに三時間八幡より毛馬に達するに五時間に過ぎさりき即ち次表に示すか如し(出水圖參照)

但し雨量は午前十時に測りたるものを前日の行に記入せり

淀川本流

觀測所	雨量 日別 九月二十一日	九月二十二日	九月二十三日	合計	量水標所在地	最高水位	出水時	增水高
大津	七二	七三	一	一三〇二				
瀨田	六六	七四	一	一二一六				
伏見	六七	六六	一	一二四六	守口	一六尺三寸五分	廿三日午後一時	十五尺三寸五分
枚方	六〇	九四	一	一九〇五	向島	一四尺四寸	廿三日午後四時	十四尺一寸
枚木	七一	一〇三	一	一九二三	納所	一三尺二寸五分	廿三日午後六時	十三尺一寸五分
大阪	九七二	六〇九	一	一九八二	島本	一二尺二寸	廿三日午後八時	十二尺一寸
平均	七三七	六八一	一	一四一九	毛馬	一〇尺一寸	廿四日午前二時	十尺一寸

周山	園部	龜山	太秦	大原	京都	平均
五〇五	五二六	六三〇	六三〇	五二五	六六六	五八〇
六六〇	一二五七	一三二〇	五六三	九〇三	六三七	八九〇
〇五	一三	一	一	一一	〇三	〇五
一一七〇	一七九六	一九五〇	一一九三	一四三八	一三〇五	一四七五
		峨嵯		羽束師		
		七 尺八寸零分 二十三日午後一時		十四尺三寸五分 二十三日午後一時		
		二尺五寸五分 二十一日午後六時		零尺七寸五分 二十一日午前六時		
		三尺二寸五分		以下船		
		三時間		十五尺一寸零分		
				三時間		

上野	名張	大河原	木津	田邊	平均
二九三	二〇二	四七八	五六〇	六三五	四三四
九六八	一四四〇	九二四	六八〇	八七九	九七八
〇三	二五	二二	一	一二	一二
一二六四	一六六七	一四二四	一二四〇	一五二六	一四二四
上狛		八幡			
十二尺九寸五分 二十三日午前六時		十四尺二寸零分 廿三日午前十一時			
一尺六寸七分 二十一日午後六時		一尺三寸零分 二十一日午後六時			
十一尺二寸八分		十二尺九寸零分			
十時間		五時間			

雜

件

●大阪氣候大要

農事其他百般のことに關係あるは世人の熟知する處にして今更喋々するの要なし依て茲に最も簡易に當地の氣候大要を知らしめんか爲め本邦太陽曆に載する所の二十四節季に氣温及降水量を配當表記すへし因に記す本邦太陽曆の二十四節季は太陽の位置により定めたるものにして即ち黄經の零度を春分とし夫れより十五度毎に一季節を置き黄經九十度に達したる日を夏至とし百八十度を秋分、二百七十度を冬至とす又土用は四季に一回ありて黄經の二十七度を春、百十七度を夏、二百七度を秋二百九十七度を冬の土用とす而して黄經の八十度に達したる日を入梅とせり斯の如くにして一年中の氣候を示したるものなり依て茲に大阪に於ける氣温及降水量を各季節に配當し表記すれは左の如し

但氣温は入節當日に於ける二十九年間の平均、降水量は前節より本節までの總量なり

季節	入節月日	平均氣温	最高	最低	降水量
小寒	一月六日前後	四·二	九·三	〇·一	二〇·六
大寒	一月二十一日前後	三·四	七·五	(一)〇·三	二八·八
立春	二月四日前後	三·二	七·三	(一)〇·七	二六·三
雨水	二月十九日前後	三·八	八·四	(一)〇·四	三六·六
啓蟄	三月六日前後	五·五	一〇·六	〇·六	四一·三
春分	三月二十一日前後	七·七	一二·五	三·三	五六·一
清明	四月五日前後	一一·五	一六·三	六·五	七五·三
穀雨	四月二十一日前後	一四·六	一九·七	九·五	八八·六
立夏	五月六日前後	一六·二	二二·〇	一一·四	九〇·三
小滿	五月二十二日前後	一八·五	二四·〇	一三·四	九一·七
芒種	六月六日前後	二〇·三	二五·七	一六·〇	一〇〇·一
夏至	六月二十二日前後	二二·八	二七·一	一九·二	一二三·四

小暑	七月八日前後	二四・七	二八・九	二一・三	九一・八
大暑	七月二十三日前後	二六・七	三一・二	三二・三	四七・二
立秋	八月八日前後	二七・六	三三・五	三三・六	四六・八
處暑	八月二十四日前後	二六・九	三一・七	三三・〇	六五・四
白露	九月八日前後	二五・二	二九・八	二一・五	一〇六・五
秋分	九月二十四日前後	二〇・九	二五・三	一七・三	九〇・八
寒露	十月九日前後	一七・九	二三・〇	一三・四	六〇・七
霜降	十月二十四日前後	一二・四	二〇・八	一〇・八	三七・二
立冬	十一月八日前後	二二・五	一八・七	七・二	三八・七
小雪	十一月二十三日前後	一〇・四	一五・五	五・七	三二・四
大雪	十二月八日前後	七・一	一二・〇	二・八	一九・二
冬至	十二月二十二日前後	五・〇	一〇・二	〇・九	二二・二

附記　入梅は六月十一日前後夏の土用は七月二十日前後なり

前表に依れは一年中に於て寒冷なるは小寒より雨水に至る間にして特に立春の頃を最も甚しとす而して大阪にて最も寒冷なりし明治二十四年は一月二十五日に於て最低氣温零下七度一に降りたり然れとも各年冬季に於ける最低氣温の平均は四度内外とす爾後雨水頃より稍々温暖に向ひしも春分頃までは氣温零度に降ることあり然れとも雪は春分以後に降ること甚た稀にして晩霜は春分後清明頃に至れり清明頃より著しく温暖となりしも梅雨に入り約三十日間は陰鬱なる天氣多く雨量は夏至前後を最も多しとす而して此期間は暖冷定らすして不順なりしか梅雨明けてより急に暑氣増進つ間もなく夏の土用となり晴燥の天氣持續し暑氣烈しきは大暑より處暑に至る間にして立秋の頃を最も甚しとす大阪にて暑氣最も烈しかりし明治四十二年は八月四日に於て最高氣温三十六度六に昇りたり然れとも各年夏季に於ける最高氣温の平均は三十五度内外とす爾後處暑より冷氣に向ひしも白露までは尚は温暖にして白露よ

り寒露に至る間は急に冷氣となり雨天又は曇勝の天氣多く雨量は第二の最多期となり爾後寒氣徐々として增進し十一月上旬に至り初霜あり仝月中旬より氣温零度以下に降り十二月上旬には往々初雪を見ることあり而して初霜の最も早かりしは十月二十七日又初雪の最も早かりしは十一月十七日なりとす

●寒中の氣象概況

當所創立以來二十九年間の觀測に據るに一年中の最寒季節は一、二の兩月にありて就中最も著るしきものは二回に現はれ其第一は一月二十一日前後にして第二は二月十二日前後に來るもの、如し而して本年は一月十七日に於て氣温最低に達し零下二度五を示し仝日の平均氣温は二度七示せり又之れに亞くは二月十三日にして最低氣温は二度三平均氣温は三度一を示せり今茲に本年寒中（自一月七日至二月四日二十九日間）の氣象を調査するに平均氣温は四度五にして平年より零度六高く最高氣温の平均は八度一にして平年より零度三低く其高極は十度四にして最近十年間に觀さる所の低度なり最低氣温の平均は一度二にして平年より一度四高く其低極は零下二度五にして最近十年間に於て高き方より第三位にあり要するに本年寒中は晴天多く日照時數も亦た多かりしも西の寒風多く爲めに日中稍々寒冷なりしか故に最高氣温は稍々低く早曉は比較的温暖なりしか故に最低氣温は高くして霜又は氷の現象は少く雨雪も亦た少く概して温暖に經過せり

今本年寒中日々の氣温及日照時數を平年及昨年に比し昨今兩年の降水量を對比すれは左の如し

種目 / 月日	空氣の温度 平均	最高	最低	日照時數	降水量 本年	平年	昨年
	本年 平年より 昨年より	本年 平年より 昨年より	本年 平年より 昨年より	本年 平年より 昨年より	本年	平年より	昨年より
一月七日	二、九低 一、四高 一、二	五、六低 三、三高 一、二	一、二高 一、二	五、七多 〇、分多 三、五	〇、〇	〇、三	
仝八日	三、四低 一、四高 一、一	六、九低 二、八高 二、二	〇、六高 〇、三高 一、四	一、六多 三、三多 一、六	〇、〇	〇、〇	
仝九日	五、〇低 〇、二高 一、〇	八、六低 一、〇低 一、〇	〇、五低 一、〇高 〇、七	八、〇多 三、六多 一、一	一	一	
仝十日	六、九高 二、六高 二、四	一〇、二高 一、二高 一、五	一、七高 一、〇高 〇、九	八、八多 四、九多 八、八	一	一、九	
仝十一日	五、五高 一、四低 一、七	八、六高低ナシ 低 三、二	二、九高 三、二高 〇、八	五、三多 〇、四多 〇、八	一	〇、二	

仝 十二日	五、九低	〇、五低	二、三	七、〇低	二、〇低	二、九	一、九高	一、五低	一、五	八、三多	三、四多	八、一	―	一二、七
仝 十三日	四、〇低	〇、三高	二、五	七、一低	一、五高	二、〇	一、七高	一、三高	一、九	七、七多	三、六多	一、五	―	―
仝 十四日	四、五高	〇、二高	三、一	八、五低	〇、二高	三、〇	〇、五高	〇、一高	三、五	八、三多	四、一多	二、一	〇、〇	―
仝 十五日	四、八高	〇、九高	一、五	七、一低	一、二低	一、一	二、九高	二、九高	三、六	五、四多	一、五少	〇、五	〇、〇	―
仝 十六日	三、三低	〇、七高	〇、二	六、二低	二、五低	一、〇	一、八高	一、九高	二、〇	七、三多	二、〇多	二、一	〇、〇	〇、〇
仝 十七日	二、七低	〇、九高	〇、四	六、四低	一、九低	一、九 (一)	二、五低	〇、四低	一、八	七、九多	三、七少	〇、三	―	―
仝 十八日	五、五高	二、一高	二、二	九、二高	一、三低	一、三	三、一高	三、五高	三、三	八、四多	三、〇多	二、九	〇、〇	―
仝 十九日	四、一高	〇、六高	〇、九	八、七高	〇、九高	〇、九	〇、三高	〇、八高	〇、三	七、二多	三、二多	七、二	〇、三	〇、一
仝 二十日	四、〇高	〇、二高	〇、七	九、〇高	〇、九高	〇、九	〇、三高	〇、五低	〇、七	四、五少	〇、五多	〇、七	―	―
仝 二十一日	四、一高	〇、七高低なし		九、六高	二、一低	〇、五 (一)	二、一高	一、〇低	〇、五	六、九多	三、三	一、三	四、七	〇、一
仝 二十二日	七、六高	三、六高	〇、九	一〇、四高	一、八高	〇、三	三、九高	四、二高	〇、六	八、五多	三、六多	四、三	〇、一	〇、一
仝 二十三日	五、五高	一、九高	二、二	一〇、一高	二、三高	四、三	二、五高	三、〇高	三、〇	六、二多	〇、九多	〇、四	―	―
仝 二十四日	三、四低	〇、三高	二、三	七、五低	〇、五高	一、三	〇、五高	〇、八高	三、七	三、五少	〇、九少	四、七	―	―
仝 二十五日	四、四高	一、〇高	二、六	七、四低	〇、三低	〇、三	一、二高	一、六高	四、五	三、八少	〇、二少	四、五	〇、〇	―
仝 二十六日	五、九高	〇、一高	〇、三	六、一低	二、四低	三、三	一、八高	二、一高	三、七	―少	四、五少	六、二	一九、〇	―
仝 二十七日	四、五高	〇、一高低なし		六、七低	二、三低	〇、一	二、〇高	一、八高低なし		三、〇少	〇、七多	三、〇	〇、一	七、二
仝 二十八日	四、一高低なし	低	三、四	八、七低	〇、二低	一、七 (一)	〇、五低	〇、四低	四、四	八、九多	四、八多	八、〇	―	一〇、四
仝 二十九日	五、〇高	一、二低	四、三	七、八低	〇、六低	五、四	二、二高	二、二低	四、八	二、六少	二、一少	一、〇	〇、〇	〇、六
仝 三十日	三、三低	〇、六低	四、五	六、八低	一、四低	六、〇 (一)	〇、三低	〇、一低	二、七	六、七多	二、一少	二、二	〇、〇	―
仝 三十一日	二、六低	一、三低	八、八	八、二高低なし	低	七、五 (一)	一、九低	二、二低	九、六	七、六多	三、二多	七、六	―	二三、八
二月 一日	三、八低	〇、一低	五、〇	九、四高	一、三低	一、〇 (一)	一、四低	二、七低	八、四	二、四少	一、六多	二、四	―	―
仝 二日	五、九高	二、五低	二、五	八、四高	〇、六低	二、五	三、三高	三、七低	三、二	―少	五、四少	五、六	五、八	―
仝 三日	六、五高	三、五高	一、八	九、〇高	一、六高	二、三	三、九高	四、八高	一、〇	四、九少	〇、二少	三、四	〇、六	―
仝 四日	五、二高	二、〇高	〇、五	八、六高	一、四高	一、六	三、〇高	三、七高	〇、六	七、七多	二、五少	一、九	〇、〇	―
平均又ハ合計	四、五高	〇、六低	〇、二	八、一低	〇、三低	〇、五	一、二高	一、四高低なし		一六六、八多	一、二多	一、三	三〇、六	五六、二

更に最近十年間の氣温、日照時數及降水量等を對照表記すれは左の如し

種目 / 年次	空氣の温度 平均	最高極	最低極	最低氣温零下ノ日數	日照時數	降水量	降水日數	降雪日數	結霜日數	降雹日數
明治三十六年	五六	一六、〇	(一)〇、八	三	一四三、八	九五、二	一〇	一	一七	二
仝三十七年	五三、三	一一、五	(一)五、三	一六	一四七、九	三二、二	九	四	二二	一
仝三十八年	五六	一二、六	(一)三、五	七	一二二、五	三七、〇	一〇	一	一八	〇
仝三十九年	三、〇	一二、四	(一)三、三	二〇	一四八、五	一〇四、九	一一	九	二三	五
仝四十年	四、九	一四、八	(一)三、三	〇	一四五、〇	五一、六	八	三	一九	一
仝四十一年	四、九	一七、九	(一)三、一	一一	一一七、九	三八、〇	九	三	一八	四
仝四十二年	四、二	一二、一	(一)二、四	九	一〇三、四	七五、三	一三	四	二〇	一
仝四十三年	四、八	一六、〇	(一)二、一	一〇	一一五、〇	六九、〇	一九	四	一三	四
仝四十四年	四、七	一五、七	(一)三、三	一四	一二九、三	五六、二	一一	一	一四	一
仝四十五年	四、五	一〇、四	(一)二、五	六	一六六、八	三〇、六	七	五	一六	四
仝四十六年	三、九	一三、五	(一)三、八	一六	一〇〇、二	五〇、二	九	四	一八	二

上表を看るに最近十年間に於て氣温の最も高かりしは明治三十六年にして本年より平均は一度一最高は五度六最低は一度七就れも高く最低氣温の零下に降りたる日數は三日少く降雨多かりし又氣温最も低かりしは仝三十九年にして本年より平均は一度五最低は零度七就れも低く最低氣温の零下に降りたり日數は十四日多く寒冷なりしか只最高氣温は本年より稍々高く降水量及日數も多少本年より多かりし以て本年と最近十年間との氣象の差異如何を知るへし

●春季彼岸の氣象概況

當季節は例年陰晴定らすして時々雨さへ催ふせるか此頃は大阪にては冬の季節風なる西風衰へ来た夏季の卓越風なる南西風吹き始めさる所謂定風なき時期にして高低氣壓の來去頻繁なるか故に

天氣の變化甚だしきに依る

今本年春季彼岸中（三月十八日より二十一日に至る七日間）の氣象を調査するに平均氣温は七度九にして平年に等しく最高氣温の平均は十二度六にして平年より零度二低きも高極は二十一日の十八度一にして平年より一度六高く最低氣温の平均は三度五にして平年より零度三高く低極は二十日の零度五にして平年より零度九高し日照總時數は四十八時八にして平年より十時間多く平均一日中に約七時間日照を受けたる割合に當り降水日數は三日にして平年に等しきも其總水量は谷粍八にして平年より二十四粍五少し之れを要するに本年春季彼岸中は平年に比すれば温暖にして晴天多かりしが故に日照時數多くして降水量は少し其詳細は次表の如し

種目 / 日別	空氣の温度 平年より本年	空氣の温度 最高 平年より本年	空氣の温度 最低 平年より本年	温度 平年より本年	日照時數 平年より本年	降水量 平年より本年	雲量 平年より本年
三月 十八日	五、六低 一、八	八、〇低 四、三	三、七高 〇、九	六、九少 〇、二	五、七少 〇、八	〇、三	五、七多 〇、三
仝 十九日	五、五低 二、一	八、九低 三、五	二、四低 〇、二	六、九、七少 〇、六	四、一少 一、八	〇、〇	四、三 二、九少 二、八
仝 二十日	七、二低 〇、五	一三、八高 一、一	〇、五低 二、四	七三、八多 二、七	一〇、七多 四、七	一	〇、二 〇、〇 少 無雲
仝 二十一日	一一、六高 三、九	一八、一高 五、六	四、一高 〇、八	七七、五多 八、一	六、九多 〇、八	〇、二	五、五多 〇、四
仝 二十二日	一〇、五高 三、〇	一三、八高 一、三	五、七高 二、七	六八、二少 二、一	五、六多 〇、一	〇、三	四、二 四、二少 二、二
仝 二十三日	七、九低 〇、五	一四、〇高 〇、六	四、一高 〇、八	五四、四多 一五、四	八、八多 四、〇	一	一、九 四、四少 二、七
仝 二十四日	七、一低 一、七	一一、六低 一、九	四、〇低 〇、四	六七、二少 八、八	六、九多 三、〇	一	〇、二 六、七少 〇、四
平均又ハ合計	七、九高低ナシ	一二、六低 〇、二	三、五高 〇、三	六八、七少 二、五	四八、八多 一〇、〇	〇、八	二、四 四、二少 一、九

更に當所創立以來三十年間春季彼岸の氣象を調査するに平均氣温は七度九にして最高氣温の最も高かりしは明治三十五年の二十一度七、最低氣温の最も低かりしは明治三十四年の零下二度五なり日照時數の平均は三十八時八（平均一日中に五時五に當る）にして最も多かりし明治三十二年は五十九時〇（平均一日中に八時四に當る）、最も少か

りし明治三十一年は二十九時（平均一日中に三時〇に當る）なり又降水日數の平均は三日にして最も多かりし明治十九年は六日、最も少かりし明治二十一年は絶無なり而して降水量の平均は二十五粍三にして最も多かりし明治二十三年は九十五粍〇、最も少かりし明治二十一年は絶無なり又最大日量の平均は十五粍八にして最も多かりしは明治二十三年の六十粍五とす

今最近十年間の氣温、日照時數及降水量等を對照表記すれは左の如し

種別／年月	空氣の温度 平均	最高		最低		湿度	日照時數	降水		雲量
		示度	今上起日	示度	今上起日			總量	日數	
明治三十六年	九、〇	一四、三	二〇	三、五	二、三	七三、〇	三一、七	三五、八	四	七、四
全三十七年	五、四	一〇、三	二〇	一、一	二、三	七一、九	三三、一	四五、四	五	六、一
全三十八年	七、九	一六、七	二三 二四	〇、四	一九	七一、七	二九、四	二四、二	四	八、〇
全三十九年	一〇、八	二〇、七	二〇	一、四	二、三	七二、一	三八、八	二〇、一	四	六、〇
全四十年	六、七	一六、九	二三	一、八	二、一	七〇、二	四一、三	四六、五	四	六、二
全四十一年	九、一	一九、三	二四	〇、八	二三	七四、〇	四八、〇	一六、三	四	五、四
全四十二年	七、二	一四、四	二四	〇、二	一九	六九、七	四〇、七	四〇、八	四	六、四
全四十三年	六、八	一四、九	一九	一、六	一八	七四、八	二七、三	三七、〇	三	六、九
全四十四年	七、二	一三、八	二四	〇、四	二一	六七、九	四四、六	二、四	三	六、七
全四十五年	七、九	一八、二	二二	〇、五	二〇	六八、七	四八、八	〇、八	三	四、二
平年	七、九	一六、五	一	〇、四	一	七一、三	三八、八	二五、三	三	六、一

●明治四十五年麥作期間の氣象概況

明治四十五年牧種の麥作は農商務省農事試驗場福岡支場の調査に依れは播種は四十四年十一月廿五日にして發芽は

全年十二月二日出穂は早きは四十五年四月廿一日遲きは五月七日にして成熟は早きは五月二十六日遲きは六月十七日なり即ち其種類及一反歩の收量等は次表に示すか如し

種類		播種期	發芽期	出穂期	成熟期	一反歩收量
裸麥	豐年	十一月廿五日	十二月 二日	四月廿三日	五月廿一日	石 一、三三四
	丹波白	〃	〃	〃 廿一日	〃 廿七日	一、二八七
	オソメ	〃	〃	〃 廿二日	〃 廿九日	一、三〇一
大麥	倍取	〃	〃	〃 廿三日	〃	一、二三五
	交野	〃	〃	〃 廿二日	〃 廿六日	一、二〇九
	ゴールデンメロン	〃	〃	五月 七日	六月 八日	〇、八〇二
小麥	和歌山	〃	〃	四月廿九日	〃 十七日	一、一六五
	フルツ	〃	〃	五月 七日	〃 十七日	一、二三一
	廣島シプレー	〃	〃	四月廿五日	〃 八日	一、二〇四

今播種(十一月二十五日)より發芽の前日(十二月一日)に至る七日間の氣象を調査するに平均氣温は九度九にして前年及平年より高く日照時數は前年及平年より少く降水日數及其水量は前年及平年より少し即ち次表の如し

但し平年は明治二十四年より四十五年に至る二十二年間の平均なり

自播種至發芽の前日

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	九、九	高 〇、九	高 一、三
日照時數	三五、三	〃 二、四	〃 〇、六
降水日數	三、五	〃 二、三	〃 一〇、〇
降水量	一	〃 三	〃 一

因に記す前年は播種より發芽までに十日間を要したれども本年は稍々早く七日間なりき

又出穗は早きは四月二十一日遲きは五月七日なるか故に其中庸を採り發芽より出穗に至る期間を四十四年十二月二日より四十五年四月三十日に至る百五十日間として此期間の氣象を調査するに平均氣温は八度〇にして概して前年及平年より温暖なりしか唯三月のみは全年より稍冷氣なりし日照時數前年より稍々少く平年より多し降水日數は前年及平年に略は等しく其水量は前年及平年より多し其詳細は次表に示すか如し

自發芽至出穗

氣象		本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	自十二月二日至卅一日	六、六	高 〇、九	高 〇、五
	一月中	四、五	高 〇、三	高 〇、四
	二月中	七、二	高 二、〇	高 三、二
	三月中	八、一	低 〇、四	高 〇、七
	四月中	一三、四	高 〇、六	高 〇、二
	總平均	八、〇	高 〇、七	高 一、〇
日照時數	自十二月二日至卅一日	一五〇、九	少 二八、五	多 一、四
	一月中	一七七、七	多 三六、〇	多 三、五四
	二月中	一四八、二	多 二、四	多 一、九
	三月中	一五五、七	少 二三、四	少 一一、七
	四月中	二一〇、〇	多 〇、八	多 二九、〇
	總時數	八四二、五	多 一七、五	多 五六、〇
降水日數	自十二月二日至卅一日	六	多 四	多 二
	一月中	八	多 六	多 二
	二月中	一〇	多 三	少 一
	三月中	一四	多 二	多 一

	四月中總日數	降水量 自十二月二日至廿一日 一月中	二月中	三月中	四月中	總量
本年	一六	一六	一四九、三	一〇〇、五	一三三、七	四六九、八
前年に比し本年の方	多	多	多	多	多	多
平年に比し本年の方	三	一九、〇	一〇三、〇	八、七	二、三	九三、六
平年	多	少	多	多	多	多
	二	四、八	九七、三	四、二	一、六	六八、三

又成熟は早きは六月十七日なるか故に出穂より成熟に至る期間を五月一日より六月十七日に至る四十八日間として此期間の氣象を調査するに氣温は前年及平年より稍々低く日照時數は多くして降水量は少し其詳細は次表に示すか如し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	二〇、六	高	〇、二
日照時數	三九六、五	多	五九、六
降水日數	一八	多	二
降水量	一六九、八	少	六〇、九

之れを要するに明治四十五年麥作期間の氣候は前年及平年に比すれは稍々温暖にして日照時數多く降雨は大差なかりし

更に最近十年間に於ける麥作期間の氣象と大阪府統計書に據り大阪府管内の麥收穫高とを表記し氣象と麥作との關係を示さんとす

最近十年間麥作期間の氣象と收穫高

年	自播種至發芽 平均氣溫	自播種至發芽 日照時數	自播種至發芽 降水量	自發芽至出穗 平均氣溫	自發芽至出穗 日照時數	自發芽至出穗 降水量	自出穗至成熟 平均氣溫	自出穗至成熟 日照時數	自出穗至成熟 降水量	麥一反歩の收量 大麥	麥一反歩の收量 裸麥	麥一反歩の收量 小麥	麥一反歩の收量 平均
明治廿六年	一一、三	四三、三	二一、九	八、六	七七一、七	五五〇、四	二〇、四	三五二、三	二七、五	一、一六一	〇、八六三	〇、二〇八	〇、八四四
廿七年	七、八	三八、九	二九、七	七、一	八七九、一	四二一、七	二一、八	二八二、八	二七七、六	一、九二三	一、二二五	一、〇六七	一、三〇〇
廿八年	八、二	二五、二	〇、五	七、二	七六三、三	三九三、三	二一、五	二八一、三	三六一、六	一、七三三	一、二三一	一、一二四	一、三九五
廿九年	一〇、九	三八、五	二、五	七、三	七八九、四	三五五、六	二〇、一	三三五、六	二〇六、五	二、〇一七	一、三八七	一、一八四	一、四五九
四十年	五、九	三一、八	一〇、九	六、九	九〇三、九	三二六、二	一九、九	三九一、八	二一二、四	三、〇八七	一、四五三	一、二一七	一、五二三
四十一年	六、八	三一、四	八、九	七、〇	七七九、四	四〇六、六	二一、〇	三四五、六	二一四、五	二、〇九八	一、四一〇	一、二二六	一、四九六
四十二年	五、〇	三八、八	四、九	六、八	七九八、四	三四二、五	二〇、八	三四九、八	二八六、四	二、〇七三	一、四四二	一、二二六	一、五七七
四十三年	八、九	三七、八	五、八	六、四	七七一、五	三四一、五	二一、九	三二六、九	二三二、一	一、九二四	一、二八三	一、二四四	一、五四〇
四十四年	九、〇	三七、七	二四、八	七、三	八六〇、四	三七六、二	二〇、八	三三六、九	二一九、九	二、〇九九	一、四四五	一、二四六	一、六七〇
四十五年	九、九	三五、三	三、五	八、〇	八四二、五	四六九、八	二〇、六	三九六、五	一九八、九	二、一〇九	一、四七八	一、二三三	一、六〇五
平年	八、六	三五、九	一三、五	七、〇	七九二、二	四〇一、三	二〇、七	三三〇、五	二三〇、七	二、〇四〇	一、三二一	一、二〇八	一、四一八

●梅雨概況　別項に記せしか如く入梅は天度即ち太陽黄道經度の八十度に達したる日にして其期間は概ね六月十一日より七月十日に至る約三十日とせり而して本年梅雨の模様を看るに例年より稍々遲延し六月十六日頃より降雨となり梅雨の狀態を呈し陰鬱なる天氣持續し此の期間に雨天日數十一日を數へたれとも平年より四日昨年より三日孰れも少く其水量は百二十八粍二にして平年より九十二粍二昨年より二百三十二粍二少かりしか梅雨の霽るゝことも亦た遲延し七月十五日頃までは尚梅雨の狀態を持續し七月十三、十四の兩日に四粍一の降雨ありて後夏季の狀態に移り氣溫著しく上昇し日々三十度内外に昇れり今梅雨期間六月十一日より七月十日に至る三十日間の氣象を表記すれは左の如し

種目 / 月日	空氣の濕度 不定	空氣の濕度 平年より	空氣の濕度 最高	空氣の濕度 最低	空氣の濕度 不定	空氣の濕度 平年より	降水總量	日照 時數	日照 平年より	最多風向	最大速度	其方向
六月十一日	一九、三低	二、〇	二三、七	一三、七	七〇、八少	四、七	一	一二、五多	七、二	西南西	六、〇	西南西
十二日	二一、四低	〇、九	二六、三	一五、七	七四、一少	〇、九	一	一二、七多	七、〇	北東	九、七	西南西
十三日	二三、高	〇、七	二六、五	一八、三	七五、七少	一、八	一	一二、一多	六、一	西	八、九	西南西
十四日	二二、七高	一、三	二七、六	一八、五	七四、七少	二、九	一	一二、四多	七、九	西南西	一一、七	西南西
十五日	二三、六高	一、四	二七、一	一九、〇	七八、方多	一、〇	一	九、二多	四、一	西北西	一二、三	西北西
十六日	二三〇、高	〇、四	二五、九	一八、九	七五、三少	二、七	二八、四	〇、六少	三、七	東	八、三	東北東
十七日	二三、一高	〇、一	二六、〇	一八、七	八三、九多	七、四	一六、一	七、三多	〇、五	南西	九、四	北東
十八日	二三、八高	一、六	二七、二	二〇、四	七〇、四少	七、四	一	一一、四多	四、八	西	六、三	西南西
十九日	二三〇、高	〇、二	二七、四	一七、九	六七、一少	九、二	一	一一、四多	六、六	北北東	八、七	北北東
二十日	一九、九低	三、〇	二二、七	一八、三	七三、六少	二、二	〇、〇	一、少	六、六	北北東	八、七	北北東
二十一日	二〇、五低	二、三	二四、二	一八、〇	七二、二少	五、五	〇、三	五、八多	〇、六	南南西	七、四	南南西
二十二日	二〇、八低	二、〇	二四、九	一六、七	七六、八少	〇、六	六、七	七、〇多	二、二	東北東	六、二	東北東
二十三日	二一、九低	一、二	二五、八	一七、二	七四、二少	四、四	一	八、二多	三、五	北東	六、七	西南西
二十四日	二二、九低	〇、一	二八、三	一八、一	七六、方少	二、九	一	九、六多	四、六	東北東	一一、一	西南西
二十五日	二二、八低	〇、一	二七、二	一九、一	七一、八少	七、七	二五、方	二、少	一、一	北東	一二、七	東北東
二十六日	二二、二低	〇、七	二五、一	二〇、八	八六、方多	六、八	四、八	一、少	四、一	西北西	五、六	西南西
二十七日	二二、五低	〇、六	二六、八	一九、六	七五、七少	一三、三	一	一一、多	七、〇	北北東	九、〇	北北東
二十八日	二一、八低	一、四	二六、八	一六、六	六五、七少	一二、〇	一	一三、多	八、九	西	七、二	西南西
二十九日	二三、一低	〇、三	二七、八	一六、七	七一、八少	九、三	一	一二、三多	七、三	北東	九、六	西南西
三十日	二三、五高	〇、三	二九、八	一九、四	七〇、〇少	九、三	一	八、九多	三、三	北東	七、三	北東
七月一日	二三、二低	〇、二	二七、九	二〇、二	八六、四多	七、三	一	六、六	三、七	北東	七、五	北東
二日	二〇、六低	二、五	二三、〇	一八、七	八一、七多	二、三	一	一七、九少	四、六	東北東	一一、六	東北東
三日	二一、八低	一、五	二四、五	二〇、二	八六、四多	七、三	一〇、四	〇、六少	三、七	北東	七、五	北東

前表に依りて看るに本年梅雨中は平年より稍々冷氣にして日照時數多くして降雨は少き方にありたり

更に當所創立以來三十年間梅雨期間（六月十一より七月十日に至る三十日間とす）の氣象を調査するに雨天日數は平均十五日にして即ち本期間の半は雨天なり而して其最も多かりしは明治三十八年及仝四十二年にして雨天二十二日に達し最も少かりしは仝三十三年の九日なり降水總量は平均二百二十粍四にして最も多かりしは明治㊂十八年の五百七十四粍六に之れに亞くは仝三十八年の五百二十五粍九なり而して最も少かりしは仝二十六年の六十七粍九とす又最大日量の平均は五十七粍七にして最も多かりしは明治三十六年七月八日の百三十粍四、最も少かりしは仝二十六年六月十二日の十五粍五なり又日照時數は平均百六十時一（平均一日中に五時間三に當る）にして最も多かりしは明治三十年の二百三十一時〇（平均一日中に七時間七に當る）最も少かりしは仝二十九年の九十二時間五（平均一日中に三時間一に當る）なり平均氣温は二十三度〇にして最高氣温の最も高かりしは明治四十三年七月九日の三十四度九之れに亞くは仝三十七年七月七日の三十四度六又最低氣温の最も低かりしは明治四十年六月十六日の十一度七なり今最近十年間梅雨中の氣温、濕度、風、日照時數及降水量を對照表記すれは左の如し

年次＼種目	空氣の温度 平均	空氣の温度 最高	空氣の温度 最低	平均濕度	風 平均速度	風 最多方向	風 最大速度	風 仝上方向	降水 總量	降水 日數	日照時數
明治三十年	二三、八	二九、〇	一九、〇	七〇、七	五、八	一	一二、三	六、二	北北東	六、二	北北東
三十一年	二三、八	二九、六	一九、七	六八、二	九、九	一	一二、三	六、一	北東	六、四	北東
三十二年	二四、一	二八、七	一九、四	七二、七	四、九	一	一〇、二	四、六	西	九、二	西
三十三年	二三、九	二六、六	二一、〇	七九、四	三、〇	五、四	一、〇	三、〇	東北東	八、六	東北東
三十四年	二三、九	二五、二	二〇、八	八七、八	一〇、八	二七、七	一少	六、一	北東	六、〇	北東
三十五年	二三、九	二七、二	二二、〇	八八、〇	二、二	八、二	一、二	六、一	西	五、四	南西
三十六年	二三、八	二八、四	二二、〇	八一、〇	二、七	一	七、七	一、九	西北西	九、四	西北西
三十七年	二三、九	二五、一	二一、〇	七五、一	二、八	一二、二	二二、九	六、九	北東	一二、七	東北東
平均又は合計	二三、〇	三〇、六	一三、七	七五、一	二、八	一二、二	二二、九	六、九	北東	一二、七	東北東

明治三十六年	二一、五	三〇、一	一四、一	七五、六	四、一	北東	一一四	南南西	四四〇、六	一九	一八六、九
仝三十七年	二三、九	三四、六	一六、九	七九、一	三、九	北東	二四、四	北東	二四三、五	一七	一五六、二
仝三十八年	二三、六	三二、六	一八、二	八二、二	三、六	北東	一九、七	南西	五三五、九	二二	一三二、〇
仝三十九年	二二、四	三二、四	二二、六	七五、九	四、四	北東	二二、八	北東	一四九、四	一五	一六一、二
仝四十年	二一、六	二九、八	一一、七	七八、二	三、七	北東	一三、五	東北東	二五九、〇	一五	一三二、六
仝四十一年	二〇、三	三二、三	一五、三	七七、三	四、三	東	一三、七	西南西	一七五、三	二〇	一二三、五
仝四十二年	二一、六	二八、三	一三、九	八二、九	三、六	北東	一三、六	東	二八〇、六	二二	九七、二
仝四十三年	二三、二	三四、九	一五、三	八〇、六	二、三	南西	一三、〇	南西	一八四、二	一七	一六三、八
仝四十四年	二二、四	三〇、一	一五、九	八一、二	四、八	北	三〇、一	南	三六〇、四	一四	一五二、八
仝四十五年	二二、四	三〇、六	一三、七	七五、一	四、五	北東	一三、七	東北東	一二八、三	一二	二二九、六
平年	二三、〇	三一、六	四、七	七七、九	三、六	北東	一四、一	一	二三〇、四	一五	一六〇、一

●土用中の氣象概況

例年梅雨期間は陰濕の天氣多く爲めに氣温の上昇遲緩となり比較的冷氣なりしも梅雨期を過くれは忽ち夏の土用となり俄然氣温上昇し盛夏の狀態に遷れり此氣候推移期は頗る急激なるを以て衛生上は勿論其他の事に於ても最も注意を要すべき時なりとす

今本年土用中(七月二十日より八月七日に至る十九日間とす)の氣象を調査するに平均氣温は二十六度二にして平年に比すれは零度八低きも昨年より零度五高く最高の極は八月二日の三十二度八にして平年に比すれは一度八低きも昨年より一度一高く最低の極は七月二十四日の十八度〇にして平年に比すれは一度九昨年に比すれは一度二孰れも低し、日照時數は百二十六時三にして平年に比すれは十四時四少きも昨年より二十時〇多く、降水日數は九日にして平年より三日多きも昨年より四日少く其水量は八十五粍五にして平年に比すれは二十三粍二多きも昨年より六十八粍七少く最大日量は七月二十二日、二十三日の豪雨の際にありて二日間の合計六十六粍二なり之を要するに本年土用中は平年に比すれは稍々冷氣にして日照時數少く降雨は多かりしも昨年に比すれは暑氣烈しくして日照時數多

く降雨少く氣候は良好なりし因に昨年土用中は降雨多く冷氣なりしが土用後著しく暑氣加はり晴天引續きたるか故に稻禾の成育は佳良なりしを知るべし

今本年土用中の氣温及日照時數を平年及昨年に比し昨今兩年の降水量を對比すれは左の如し

種目	平均氣温		最高温度		最低温度		日照時數		降水量		
月日	本年	平年より昨年より	本年	平年より昨年より	本年	平年より昨年より	本年	平年より昨年より	本年	平年より昨年より	昨年
七月二十日	二七、九高	一、三高	三〇、七低	〇、三低	二六、二高	三、〇高	〇、六	三、六少	〇、三	一	一
二十一日	二七、九高	〇、八低	三〇、八低	一、〇低	二五、五高	二、二高	一、〇	一、〇多	〇、四	〇、〇	〇、〇
二十二日	二六、一低	〇、七低	三〇、七低	〇、五低	二六、一低	二、七低	二、二	五、四少	二、五	三、二	三、五
二十三日	二二、二低	五、四低	二三、一低	八、〇低	二〇、〇低	三、二低	一、九	七、三少	八、九	三五、〇	五、二
二十四日	二二、五低	四、五低	二六、五低	五、〇低	一八、八低	四、六低	三、一	三、〇少	八、五	〇、二	一
二十五日	二三、五低	三、七低	二七、四低	四、四低	二〇、九低	二、八低	三、五	一、六多	一、六	一〇、九	五、〇
二十六日	二五、九低	一、三低	二九、〇低	二、九低	二二、二低	一、五低	〇、九低	〇、五少	四、九	〇、九	一
二十七日	二六、七低	〇、二低	二九、七低	一、四低	二四、五高	一、二高	二、〇	六、四多	〇、七多	一、五	六、三
二十八日	二六、六低	〇、七高	三〇、六低	一、二高	二三、〇低	〇、二高	〇、六	五、六多	二、四多	一、七	一、六
二十九日	二七、三高	〇、二高	三二、二高	一、四高	二三、七低	〇、七低	一、二	九、七多	一、〇多	二、一	二、九
三十日	二七、二高	〇、一高	三二、一低	〇、九高	二四、四高	一、〇高	二、一	八、七多	〇、七多	八、七	三〇、〇
三十一日	二七、三高	〇、一高	三一、九低	一、七高	二五、八高	二、一高	二、三	〇、三多	六、七多	〇、三	八、九
八月一日	二八、一高	〇、八高	三一、三低	〇、八高	二五、三高	一、九高	二、〇	一一、九多	四、〇多	一一、七	〇、〇
二日	二九、三高	二、〇高	三一、八高	〇、六高	二五、五高	二、〇高	二、〇	一〇、九多	四、〇多	一〇、二	一
三日	二八、五高	一、三高	三一、四高	〇、二高	二四、三高	〇、九高	二、九	八、三多	一、三多	五、〇	一
四日	二五、八低	一、三高	三一、九低	二、〇高	二二、六低	〇、九高	二、六	七、七多	〇、四多	七、七	七、〇
五日	二五、一低	一、九低	三〇、二低	一、五高	二一、七低	〇、四低	一、九	七、七多	一、二多	三、五	〇、二
六日	二五、四低	一、九低	三〇、四低	一、九低	二一、八低	一、七低	〇、四	六、四多	〇、九多	一、六	〇、〇

八月七日													
平均又は合計	二六、八度	〇、五度高	〇、四	三〇、六度低	一、四度低	一、二	三三、八	高度等し低	〇、五	七、三	多少なし	少	一、三	〇、三
	二六、三度	〇、八高	〇、五	三〇、〇低	一、七高	〇、五	三三、一低	〇、三高	〇、四	一二六、三	少	一四、四	多	二〇、〇	八五、五	一五四、三

更に當所創立以來三十年間土用中（七月二十日より八月七日に至る十九日間）の氣象を調査するに平均氣温は二十七度一にして最高氣温平均は三十四度六なるも最も高かりし明治四十二年八月四日は三十七度六に達し之れに亞くは仝三十一年七月二十四日及八月七日の三十六度五なり最低氣温平均は二十度七なるも最も低かりしは明治三十五年七月二十二日の十六度七なり而して土用十九日間に於て最高氣温の三十度以上に昇りたるは平均十六日なるも三十年間に於て七ヶ年は土用を通じて三十度以上に昇れり又三十二度以上に昇りたるは平均九日にして明治十六年及仝四十二年は土用を通して三十二度以上に昇りたり又冷氣なりし明治三十二年及仝三十五年は土用中に於て僅かに八日間三十度以上に達したるのみ而して日照時數の平均は百四十時八（即ち一日中に平均七時間四日光を見る割合に當れり）にして最も多かりしは明治三十三年の二百五時五（平均一日中に十時間八）最も少かりしは仝二十八年の八十一時五（平均一日中に四時間三）なり一日中日照時間の最も長かりしは明治四十三年七月二十五日の十三時五とす又降水日數は平均六日にして最も多かりしは明治四十四年の十三日最も少かりしは明治十六年の絶無なり降水量の平均は六十二粍三にして最も多かりしは明治三十五年の百八十五粍七最も少かりしは仝十六年の絶無なり最大日量の最も多かりしは明治三十一年七月二十二日の七十一粍四とす

今最近十年間の氣温、濕度、日照時數、降水日數及量を表記すれは左の如し

種目	空氣の温度					平均濕度	日照時數	降水	
年次	平均	最高	最低	最高氣温三〇度以上の日數	最高氣温三二度以上の日數			總量	最大日量
明治三十六年	× 二六、九	三三、度	二一、七	一三	七	八〇、一	× 一三一、五	● 一一五、五	六〇、四
仝 三十七年	× 二六、七	三三、一	二〇、五	一七	八	七二、三	● 一五九、七	× 九〇、三	二五、三
仝 三十八年	× 二六、三	三三、〇	一九、九	一五	五	七七、四	× 一二〇、三	● 一〇三、〇	三七、六

| | | |

| | | |

| | | |

今本年秋季彼岸中（九月二十日より二十六日に至る七日間とす）の象氣を調査するに平均氣温は二十度四にして平年より零度七低く最高氣温の平均は二十四度一にして平年より一度五低く高極は二十一日に於て二十五度二を示し平年に比すれは三度一低し最低氣温の平均は十七度〇にして平年に比すれは零度三低く低極は二十日に於て十四度〇を示し平年に比すれは零度七低し日照時數は三十時五にして平年より零時八多く平均一日中約四時間四日照を受けたる割合に當れり又降水日數は四日にして平年に等しきも其の水量は實に百五十粍七にして平年に比すれは九十九粍八多く平年の約三倍に當れり而して最大日量は二十二日にありて九十九粍二に達し平年に比すれは六十八粍一多し之れを要するに本年秋季彼岸中は降雨多かりしか故に平年より冷氣に經過せり其詳細は次表の如し

日附	氣温の平均		最高温度		最低温度		日照時數		降水量			
	本年	平年より	本年	平年より	本年	平年より	本年	平年より	本年	平年より	本年一時	平年より
九月二十日	一九、六低	二、二	二三、七低	二、五	一四、〇低	四、四	七五、四多	三、二	一、二	八、〇少	〇、二
仝二十一日	二一、九高	〇、五	二五、二低	〇、七	一九、六高	一、八	七七、三少	二、二	二、一少	一、八	五八、九	九、八多	一、二
仝二十二日	二一、五高	一、四	二四、四低	一、三	一九、七高	二、三	九四、八多	一八、〇	一少	四、九	九九、二	二八、八	一〇、〇多	三、〇
仝二十三日	二一、七高	〇、六	二五、二低	一、〇	一六、七低	〇、三	七五、〇少	一、九	二、〇少	三、四	一九、五	一	六、八多	〇、二
仝二十四日	一九、四低	一、五	二四、七低	〇、六	一四、九低	二、四	七四、四少	五、三	九、六多	六、二	一	〇、二	二、七少	五、四
仝二十五日	一八、五低	二、〇	二〇、七低	三、八	一六、七低	〇、一	八三、七多	五、三	一少	三、八	三三、七	二〇、七	九、六多	二、〇
仝二十六日	二〇、六高	〇、一	二五、二低	〇、四	一七、二高	〇、九	七六、四少	二、二	一〇、二多	五、六	〇、〇	三、六	三、六少	三、一
平均又は合計	二〇、四低	〇、七	二四、二低	一、五	一七、〇低	〇、三	七九、六多	一、三	三〇、五多	〇、八	一五〇、七	一二三、五	七、一少	〇、三

更に當所創立以來三十年間秋季彼岸の氣象を調査するに平均氣温は二十一度一にして最高氣温の最も高かりし明治二十三年は三十二度四、最低氣温の最も低かりし明治二十年は十一度二なり日照時數の平均は二十九時七（平年一日中に約四時間二に當る）にして最も多かりし明治二十七年は四十六時〇（平均一日中に約六時間六に當る）最も少

かりし明治三十二年は十五時九（平均一日中に約二時間三に當る）なり降水日數の平均は四日にして最も多かりし明治三十二年は彼岸を通して七日間雨天なりし又最も少かりし明治十六年及全二十九年の兩年は七日間に僅に一日の雨天ありしのみ降水量の平均は五十粍九にして最も多かりしは本年にして百五十粍七之れに亞くは明治三十二年の百四十六粍四なり而して最大日量の平均は三十一粍一にして最も多かりしは本年にして九十九粍二之れに亞くは明治四十四年の五十八粍九なり

今最近十年間の氣温、日照時數及降水量等を對照表記すれは左の如し

種目 / 年別	空氣の平均	最高温度 日	最低温度 日	温度	日照時數	降水 總量	降水 日數	雲量
明治三十六年	二一、四	二四	一五、五	二六	七八、二	一四、一	六八、九	三	七、八
全三十七年	一九、四	二六、五	一三、四	二六	七七、一	三六、八	六〇、三	三	七、一
全三十八年	一九、五	二八、〇	一二、七	二五	七五、八	四二、六	一四、二	二	五、六
全三十九年	二二、〇	二八、四	一五、三	二四	八一、七	二五、三	五一、八	二	六、九
全四十年	二一、三	二七、八	一五、九	二五	八四、二	三二、四	六七、四	五	七、一
全四十一年	一九、三	二六、七	一三、二	二六	八二、四	二七、〇	七五、八	五	七、二
全四十二年	二一、六	二八、三	一四、三	二三	七七、九	五八、五	八四、五	三	五、五
全四十三年	二〇、九	二八、〇	一四、四	二三	七九、二	二四、七	三九、九	四	六、〇
全四十四年	二二、一	二七、一	一六、七	二四	八四、九	二七、〇	一二三、五	六	六、八
大正元年	二〇、四	二五、三	一四、〇	二〇	七九、五	三〇、五	一五〇、七	四	七、一
平年	二一、一	二八、三	一四、七	二六	七八、三	二九、七	五一、九	四	六、四

●大正元年稻作期間の氣象概況

稻の發育を完全ならしむると否とは其原因一にして足らすと雖も就中其關係の大なるものは氣象なりとす故に農を業とするものは須らく氣象に注意するを緊要なりとす依て玆に大正

元年度に於ける稻作期間の氣象を記し參考に資せんとす

農商務省農事試驗場綫內支場に於て豐凶考照試驗に使用せられたる稻種は

早稻　信州　石白　一本早稻
中稻　三把　豐前穗　滿願寺
晚稻　竹成　神方　長島撰

にして稻作期間は

種目	苗代期 播種より移植まで	生育期 移植より出穗まで	成熟期
早稻	五月九日より六月廿四日	六月廿五日より八月廿一日	八月廿一日より十月四日
中稻	仝	六月廿五日より八月廿一日	九月一日より十月廿二日
晚稻	仝	六月廿五日より九月四日	九月五日より十一月六日

なり依て是等の期間に於ける氣象を調査すれは左の如し

苗代期　本期間は播種より苗の熟して本田に移植するまての間にして生育成熟の兩期に比すれは氣象の關係は稍々少し然りと雖も氣象の影響に依り苗の軟弱又は齊一を缺き延ひて移植期を遲延せしむるの虞なしとせす今此期間の氣象を看るに氣温は前年及平年より低く日照時數は前年及平年より多く降水日數は前年より多きも平年より少く其水量は前年及平年より少し卽ち次表の如し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	一九・二	低	〇・五
日照時數	三七六・二	多	多
降水日數	一六	多	少
仝水量	一三一・三	少	四
		一四・〇	一〇・〇

生育期　本期間は移植より出穂までの間にして稻の生育上最も必要なる時期にして氣象の關係を有することも亦た著大なりとす而して本期間は稻々長きか故に梅雨、土用中、土用後の三期に分ちて記せん本年梅雨の來りしは稍々遲く（梅雨期は六月十一日より七月十日に至る三十日間とす）梅雨に入りてより數日間は晴天持續し六月十六日より梅雨の狀態を呈し陰鬱なる天氣は七月十五日頃迄持續し爾後夏季の狀態に移り氣温著しく上昇し最高氣温は日々三十度內外に昇り氣候順富となりたり而して土用中は平年に比すれは冷氣にして日照時數少く降雨多かりしか前年に比すれは高温にして日照時數多く降雨少く良好の氣候なりし又土用後は如何と云ふに立秋より白露に至る期間は氣候順富にして日照時數多く降雨少かりしか八月二十四日暴風大雨ありたるか故に多少被害ありたり

今生育全期間（早稻は六月二十五日より八月二十日、中稻は六月二十五日より八月三十一日、晩稻は六月二十五日より九月四日）の氣温、日照、降水日數及量を前年及平年に比し表記すれは左の如し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
早稻 平均氣温	二五・七	高	〇・四
早稻 日照時數	四四一・九	多	四〇・五
早稻 降水日數	一八	少	四
早稻 降水量	一六六・四	少	一〇五・二
早稻 全平均氣温	二五・六	高	〇・二
早稻 全日照時數	五五〇・九	多	七四・六
早稻 全降水日數	二〇	少	六
早稻 全降水量	二四三・六	少	六六・二
中稻 平均氣温	二五・九	高	〇・二
中稻 日照時數	五七九・二	多	七七・五
中稻 降水日數	二	少	七
中稻 降水量	二四八・〇	少	八〇・五
晩稻 平均氣温	二五・八	高	〇・二
晩稻 日照時數	三六・四	多	一・九
晩稻 降水日數	七	少	一
晩稻 降水量	一六一・九	少	一〇・五

成熟期　本期間は出穂より成熟に至る間にして此期間は專ら稻の成熟の作用を營むを以て高温且つ多照なる時は子實の充實を良好ならしむるも之れに反して低温寡照なるときは粃粒を生し其結果收穫を減少する虞あれは本期の氣象は稻作に最も關係を有するものとす

本期間の氣候は概して冷氣の方にして日照時數少く降雨多く且つ九月二十三日曉の暴風雨は當所創立以來三十年間になき未曾有の大暴風雨なりしか故に被害少からさりし

今成熟全期間（早稻は八月二十一日より九月四日、中晩は九月一日より十月二十二日晩稻は九月五日より十一月六日）の氣温、日照、降水日數及量を前年及平年に比し表記すれは左の如し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
早稻 平均氣温	二三、三	低 一、六	低 〇、五
早稻 日照時數	二五九、〇	少 五三、〇	少 二一、五
早稻 降水日數	二三	多 六	多 四
早稻 全量	三四九、九	多 二〇一、二	多 一一〇、〇
中稻 平均氣温	二〇、一	低 一、四	低 〇、八
中稻 日照時數	二四、九	少 二五、一	少 九、三
中稻 降水日數	二三	多 一	多 一
中稻 全量	二八一、三	多 一四、三	少 五、二
晩稻 平均氣温	一八、六	低 〇、八	低 〇、四
晩稻 日照時數	三〇八、六	少 三五、六	少 三〇、二
晩稻 降水日數	三〇	多 三	多 三
晩稻 全量	三一七、八	多 二、四	多 八、四

之れを要するに本年稻作中の氣候は土用に入るまては氣温高く頗る適順なりしも土用に入りてより稍々冷氣にして

降雨多かりしか土用後より白露頃までは概して氣候順當に經過し白露より秋分に至る期間は又冷氣にして日照時數少く降雨多く且つ暴風雨ありたるか故に氣候は稍々不良に經過せり

尙本期間の氣象を詳悉せんか爲め更に半旬期平均表を作り之れを前年及平年に比し閲覽に資せんとす

半旬	氣象	氣溫 本年	氣溫 前年に比し本年の方	氣溫 平年に比し本年の方	日照時數 本年	日照時數 前年に比し本年の方	日照時數 平年に比し本年の方	降水日數 本年	降水日數 前年に比し本年の方	降水日數 平年に比し本年の方	同量 本年	同量 前年に比し本年の方	同量 平年に比し本年の方
自五月一日至五月五日		一七、七	高 三、八	高 二、三	四一、六	多 九、五	多 一四、二	四	多 二	多 二	二四五、四	多 二四、〇	少 一三、六
自　六　日至　十　日		一六、〇	高 〇、四	低 〇、五	五七、三	多 一四、七	多 二七、三	一	少 三	少 三	〇、〇	少 一七、二	少 二〇、二
自　十一日至　十五日		一五、七	低 〇、八	低 一、二	三三、三	少 一、三	多 七、八	二	多 一	少 一	一六、一	少 一一、六	少 一、三
自　十六日至　二十日		一九、七	高 二、九	高 一、七	三九、八	少 七、九	多 四、六	二	多 二	少 二	五、三	多 五、三	少 一五、一
自　廿一日至　廿五日		二五、五	低 二、五	低 三、〇	四二、七	多 〇、一	多 五、〇	一	少 一	少 一	七、五	多 六、〇	少 三、九
自　廿六日至　卅　日		一九、〇	低 〇、六	高 〇、二	二六、三	少 一三、三	少 六、三	二	少 二	少 一	一、四	少 一八、九	少 一五、三
自　卅一日至六月四　日		二〇、五	低 一、四	高 〇、四	五八、三	多 二三、七	多 二一、三	二	多 一	少 一	二五、二	多 一七、〇	少 一、二
自六月五　日至　九　日		二〇、三	低 〇、三	低 〇、一	二六、四	少 六、四	少 五、三	三	多 一	多 一	二四、三	多 一五、〇	少 四、七
自　十　日至　十四日		二一、〇	高 一、〇	低 〇、五	五五、二	多 三四、二	多 三〇、一	一	少 三	少 二	〇、〇	少 一二、四	少 二七、七
自　十五日至　十九日		二二、七	低 〇、四	低 〇、七	三九、三	多 一二、〇	多 九、七	二	少 一	少 一	四四、五	少 一九、〇	多 四、二
自　廿　日至　廿四日		二一、二	高 一、〇	低 一、七	三〇、六	多 一、五	多 四、四	二	少 一	少 一	六、九	多 六、六	少 二七、九
自　廿五日至　廿九日		二二、七	高 〇、二	低 〇、四	四五、一	多 三三、一	多 三二、三	二	少 一	少 一	七、二	少 五二、七	少 三五、三
自　卅　日至七月四　日		二二、四	高 〇、六	低 〇、九	三二、九	多 二九、七	多 七、八	三	少 一	少 一	二八、三	少 一〇三、五	少 一七、五
自七月五　日至　九　日		二三、五	低 一、三	低 〇、九	二四、七	少 二二、八	少 四、五	一	多 一	多 一	四一、二	少 四一、二	少 一三、二
自　十　日至　十四日		二五、六	低 一、一	仝 仝	三〇、四	少 二六、七	少 四、七	一	仝 仝	仝 仝	四一、七	少 四一、二	少 一二、六
自　十五日至　十九日		二七、四	高 〇、二	高 一、一	五一、三	多 二二、〇	多 一九、〇	一	少 二	少 一	〇、〇	仝 仝	少 二九、〇
自　廿　日至　廿四日		二五、二	低 一、八	低 一、七	二六、五	少 二〇、七	少 一〇、〇	三	多 一	多 一	六六、三	多 四七、六	多 一四、〇
自　廿五日至　廿九日		二五、九	低 〇、三	低 一、二	二九、六	多 三、五	多 八、四	三	少 一	多 一	一八、一	多 四、〇	多 六、五

自七月卅日至八月三日	二八、一	高	三、三	高	〇、八	四〇、二	多	三六、〇	多	三、三	一	少	三	少	一	〇、〇	少	五一、〇	少	一三、一
自八月四日至仝八日	二六、一	高	〇、八	低	一、二	四一、六	多	一、一	少	〇、四	二	少	二	仝	七	〇、四	少	七〇、七	少	一二、二
自仝九日至仝十三日	二七、三	低	〇、二	低	〇、四	四六、〇	少	二、〇	多	三、九	—	少	一	少	一	〇、〇	少	四、一	少	一二、七
自仝十四日至仝十八日	二七、三	高	〇、九	高	〇、一	五一、六	多	一六、九	多	一三、四	—	少	三	少	一	〇、〇	少	五九、一	少	一七、三
自仝十九日至仝廿三日	二八、五	高	一、八	高	一、五	五二、一	多	四、一	多	一二、五	一	多	一	少	一	〇、三	多	〇、三	少	一六、二
自仝廿四日至仝廿八日	二六、八	低	〇、九	仝	七	四五、四	少	六、四	多	五、九	一	多	一	少	一	七六、九	多	七六、九	多	六二、五
自仝廿九日至九月二日	二六、七	低	〇、三	高	〇、七	四七、五	少	三、五	多	一三、六	—	仝	七	少	二	〇、〇	仝	—	少	二七、九
自九月三日至仝七日	二四、九	低	一、五	低	〇、九	一九、〇	少	三四、〇	少	一一、八	三	多	三	少	一	三一、八	多	三一、四	多	九、一
自仝八日至仝十二日	二三、二	低	一、九	低	一、六	二一、六	多	〇、四	少	九、〇	四	多	一	少	二	二三、三	多	一三、六	少	一四、四
自仝十三日至仝十七日	二二、三	低	二、五	低	一、四	二四、三	少	四、二	少	七、七	四	多	一	少	二	四〇、五	少	二三、四	多	一〇、九
自仝十八日至仝廿二日	二〇、六	低	三、三	高	一、三	一〇、五	少	八、五	少	一三、九	三	少	一	仝	七	一二八、〇	多	二八、八	多	九一、〇
自仝廿三日至仝廿七日	二〇、〇	低	二、一	低	〇、八	三二、一	多	三、〇	多	一〇、二	二	少	一	少	一	二二、八	少	一、七	少	八、五
自仝廿八日至仝十月二日	一八、七	低	四、四	低	一、三	二〇、九	少	五、〇	少	三、八	三	多	一	少	一	一三、一	多	一〇、四	少	一一、三
自十月三日至仝七日	二一、四	高	二、四	高	二、八	三三、〇	多	一一、二	多	七、六	二	仝	七	仝	七	一四、六	少	三五、三	少	一七、五
自仝八日至仝十二日	一五、一	低	一、五	低	二、七	一五、四	少	三、五	少	一一、八	二	少	二	少	一	〇、八	少	二〇、六	少	二三、三
自仝十三日至仝十七日	一五、九	低	一、三	低	一、六	三四、一	多	一六、七	多	七、〇	一	少	一	少	一	七、八	少	一七、四	少	二〇、一
自仝十八日至仝廿二日	一五、九	高	〇、六	低	〇、七	四八、九	多	五、九	多	二〇、七	—	仝	七	少	二	—	仝	—	少	一三、九
自仝廿三日至仝廿七日	一五、六	高	〇、一	高	〇、五	二〇、八	少	一一、八	少	六、九	二	多	一	仝	七	七、一	多	六、八	少	五、三
自仝廿八日至十一月一日	一五、七	高	二、一	高	一、六	一一、一	少	一四、三	少	一四、六	四	多	一	多	二	二八、九	多	二〇、〇	多	一四、八
自十一月二日至仝六日	一五、〇	高	二、六	高	一、八	三〇、五	少	〇、一	多	三、四	二	多	一	仝	七	四、九	少	五、七	少	七、四
自仝七日至仝十一日	一〇、九	低	一、三	低	一、四	二六、八	少	六、三	少	五、九	—	少	一	少	一	〇、〇	少	〇、三	少	一二、五
自仝十二日至仝十六日	九、三	低	五、四	低	二、〇	三二、五	少	八、四	多	三、一	二	多	一	仝	七	一九、二	多	一五、三	多	八、八
自仝十七日至仝廿一日	九、六	低	四、二	低	〇、八	三〇、五	多	五、四	多	四、五	二	多	三	仝	七	一三、九	多	九、七	少	〇、七
自仝廿二日至仝廿六日	一〇、九	低	四、一	低	一、〇	一九、七	少	八、六	少	五、六	二	多	一	多	一	一、二	少	一四、三	少	一一、四

又最近十年間の稻作に最も關係ある七、八、九月の氣象と大阪府管內の米收量とを對比すれは左の如し

種目 / 年次	氣溫 七月	氣溫 八月	氣溫 九月	日照時數 七月	日照時數 八月	日照時數 九月	降水量 七月	降水量 八月	降水量 九月	米收量 一反歩の收量 糯米	米收量 一反歩の收量 粳米	米收量 一反歩の收量 陸米	米收量 一反歩の收量 三種平均	米收量 全管內
明治廿六年	二四、〇	二七、九	二四、七	三一八、八	二〇〇、六	六六〇、〇	五、〇	一四三、一	一、八五九	一、八一三	一、二七八	一、八四六	九五六、六三五
仝廿七年	二六、六	二七、三	二三四、六	二〇四、一	一七五、八	一九三、〇	二二八、七	二九一、三	一、二三七	一、一八三	一、三五二	二、二四九	一、二〇二、七一
仝廿八年	二六、五	二五、一	二三三、三	二四七、四	一四六、〇	一九八、九	一一八、一	一四八、六	一、一三一	一、〇七〇	一、九五六	二、一〇五	一、〇九五、三八
仝廿九年	二五、八	二七、一	二一、九	二〇一、三	一一三、六	一四八、九	二三五、八	一四五、一	一、二三一	一、一八六	一、一〇五	一、三七二	一、一六一、七三三
仝四十年	二五、三	二七、〇	二二、六	一九一、一	一二〇、〇	一七〇、〇	二二八、七	一四五、〇	一、二三七	一、一三三	一、二四五	一、二三一	一、一三〇六、四九四
仝四十一年	二四、七	二六、六	二一、六	二〇一、三	一二三、八	一四六、〇	二一四、七	一四六、七	一、二三四	一、一四六	一、二四五	一、二三一	一、一三〇六、八二七
仝四十二年	二六、二	二七、九	二三、八	一七三、八	一一三、二	四八、六	二〇五、七	二五一、〇	一、一三七	一、〇五	一、二四五	一、二三一	一、一三〇八、八二七
仝四十三年	二六、三	二七、一	二四、四	二一九、八	一一〇、一	六二、一	二五一、五	二五八、九	一、一三七	一、一三〇	一、二四五	一、二三五	一、一三五、一三四六
仝四十四年	二五、七	二六、六	二四、五	二〇〇、三	一八八、三	一四六、四	一五一、五	一九九、〇	一、二三九	一、一三四	一、二四六	一、二三七九	一、一三〇、九八〇
仝四十五年	二五、二	二七、三	二一、一	一九五、六	一八九、六	一四六、四	一五八、七	二五五、〇	一、一三七	一、一三〇	一、二四五	一、二三五	一、一三五、一三〇
大正元年	二五、六	二七、八	二二、九	二〇七、七	一九六、一	一一六、七	一九六、一	一九八、〇	一、一九八	一、一一六	一、一三七	一、一三七	一、一六一、八九六
平均	二五、六	二七、八	二二、九	二〇七、七	一九六、一	一一六、七	一九六、一	一九八、〇	一、一九八	一、一一六	一、一三七	一、一三七	一、一六一、八九六

●短時間の最多降水量

一日中又は一時間の降水量は前項に掲載せしか短時間に降下する所の最多降水量を知ることは建築土功等に於て參考上最も必要なるものなるか故に自記雨量計の記する所に依りて本年中に於ける短時間（五分時間の量に依る）降水量二粍以上に達したるものを列記すれは左の如し

月日	時刻	最多量	月日	時刻	最多量
二月二十二日	自午後一時四十分 至午後一時四十五分	二、三	二月二十八日	自午後一時五分 至仝 一時十分	二、三
仝二十八日	自午後零時五十分 至午後零時五十五分	二、九	仝	自仝 三時十分 至午後三時十五分	二、七
仝	自仝 零時五十五分 至仝 一時	三、四	仝	自仝 三時十五分 至仝 三時二十分	二、二
仝	自仝 一時 至仝 一時五分	二、三	仝	自仝 三時二十分 至仝 三時廿五分	二、二

二月二十八日　自午後五時廿五分　至午後五時四十分　二三
四月十九日　自午前十時二十分　至午前十時三十五分　四四
全　自十時四十分　至全　十時四十五分　全
全　自十時四十五分　至全　十時五十分　三一
全　自全　一時　至全　一時零五分　二〇
全　二十三日　全　二十四日　自午後四時五十五分　至午後五時　三六
五月四日　自午前八時十分　至午前八時十五分　三九
全　自八時四十分　至全　八時四十五分　二三
全　自八時四十五分　至全　八時五十分　三一
全　自八時五十分　至全　八時五十五分　三三
全　自八時五十五分　至全　九時　三三
六月一日　自午後一時十五分　至全　一時二十分　三三
全　自一時廿分　至全　一時廿五分　二〇
全　自一時廿五分　至全　一時四十分　二〇
全　自一時四十分　至全　一時四十五分　二二
全　自一時五十五分　至全　二時　二三
全　九日　自午後十時廿分　至全　十時廿五分　二〇
全　自十時廿五分　至全　十時廿分　二〇
全　十六日　自午後十時五十分　至午後十時五十五分　四三
七月八日　自午前六時廿分　至午前六時廿五分　二〇
全　自六時廿五分　至全　六時廿分　二〇
全　二十三日　自零時廿分　至全　零時廿五分　二二
全　自零時廿五分　至全　零時廿分　二六
全　二十四日　自七時十五分　至全　七時二十分　二〇
全　自七時二十分　至全　七時二十五分　二〇

七月二十四日　自午前八時三十五分　至午前八時四十分　八〇
全　自八時四十分　至全　八時四十五分　三七
全　自六時二十分　至全　六時二十五分　四六
全　八月二十四日　自午後五時五十分　至午後五時五十五分　二二
全　自六　時　至全　六時零五分　二〇
全　自六時二十分　至全　六時二十五分　二〇
全　自六時三十分　至全　六時三十五分　二二
全　九月五日　自午前九時五十分　至午前九時五十五分　三四
全　自午後零時三十分　至午後零時四十分　二七
全　八日　自午前六　時　至午前六時零五分　七四
全　自七時三十五分　至全　七時四十分　二八
全　自七時四十分　至全　七時四十五分　二三
全　十月四日　自零時四十五分　至全　七時五十分　二〇
全　自三時四十分　至全　三時五十分　三〇
全　自四時三十五分　至全　四時四十分　二七
全　自五　時　至全　五時零五分　二〇
全　自午後三時十五分　至午後三時二十分　二〇
全　自三時四十分　至全　三時四十五分　四六
全　自三時四十五分　至全　三時五十分　二二
全　自午前六時四十分　至午前六時四十五分　二〇
全　自六時四十五分　至全　六時五十分　二七

前表に依りて看るに五分時間の降水量最も多かりしは七月二十四日午前八時三十五分より八時四十分の間にありて八、〇粍にして之れに亞くは九月五日午前六時より六時零五分の間にありて七、四粍なり而して一ヶ年中に於て五分時間に五粍以上に達したるは二回、四粍以上は四回、二粍以上は五十何回なり

更に最近十年間に於ける五分時間降水量四粍以上に達したるものを列記すれは左の如し

年月日	時刻	最多量	年月日	時刻	最多量
明治廿六年四月十一日	午後五時五十分至午後五時五十五分	四、三	明治廿八年八月十三日	午前十一時五十五分至正午	四、三
仝七月四日	自仝二時五十分至仝三時五十五分	四、七	仝八月十七日	自仝五時三十五分至午前五時四十分	七、〇
自仝七月十三日	自午前九時二十分至午前九時二十五分	四、五	仝八月廿三日	自仝五時三十五分至仝五時四十分	五、〇
仝十月廿三日	自仝一時十五分至仝一時二十分	六、三	仝八月廿五日	自午後二時十五分至午後二時二十分	五、〇
仝九月十一日	自仝九時二十五分至仝九時三十分	七、〇	仝廿九年七月十五日	自仝四時四十五分至仝四時五十分	一〇、〇
仝廿七年八月廿一日	自午後六時十分至午後六時十五分	四、五	仝九月十三日	自仝三時五十五分至仝四時	五、〇
仝廿八年五月十八日	自午前四時三十分至午前四時三十五分	四、三	仝十月十七日	自仝八時五十分至仝八時五十五分	四、三
仝六月三日	自午後五時三十五分至午後五時四十分	四、三	仝四十年三月廿三日	自午前三時五十分至午前三時五十五分	四、三
仝六月十四日	自午前二時十分至午前二時十五分	四、五	仝七月十四日	自午後一時五十二分至午後一時五十七分	七、五
仝七月一日	自午後二時二十五分至午後二時三十分	五、〇	仝八月九日	自午前三時三十分至午前三時三十五分	五、〇
仝十月六日	自仝六時二十五分至仝六時三十分	四、〇	仝九月一日	自午後八時三十分至午後八時三十五分	四、四
仝十月廿六日	自仝十一時二十三分至仝十一時二十八分	六、五	仝十一月三日	自午前六時三十分至午前六時三十五分	四、二
仝八月四日	自仝六時五十分至仝六時五十五分	五、五	仝四十一年八月十八日	自午後二時三十五分至午後二時四十分	八、四

明治四十一年九月六日	午後零時三十分	四四
仝 十一月廿二日	午後零時三十五分	四四
仝四十二年六月廿四日	午前五時二十七分	四八
仝 九月一日	午前八時二十五分	五〇
仝 九月二日	午前八時三十分	五〇
仝 九月十五日	午前九時三十分	五〇
仝 九月廿日	午後五時二十五分	五〇
仝四十三年五月十日	午後五時四十分	五〇
仝 七月三日	午後三時五十五分	五〇
仝 八月四日	午前一時二十五分	五〇
仝 八月十日	午前一時三十分	五〇
仝 八月十日	午後零時二十分	五〇
仝 八月十七日	午後零時四十分	五〇
仝四十四年四月廿五日	午後零時四十五分	五〇

明治四十四年四月二十五日	午後零時三十分	四四
仝 八月四日	午後十時三十分	五八
仝 八月四日	午後十時三十五分	五〇
仝 九月十六日	午後零時五十分	五〇
仝 九月十六日	午後三時五十五分	五〇
仝 九月廿六日	午前一時三十分	五〇
仝 十月三日	午前零時三十分	五〇
仝 十一月六日	午後零時五十分	六七
仝四十五年四月十九日	午後零時四十五分	八三
仝 六月六日	午後五時	一〇〇
仝 七月廿四日	午後五時零五分	七五
仝 十月廿四日	午後五時十分	四八
大正元年九月八日	午前零時四十二分	六〇
仝 九月廿二日	午前零時四十七分	六〇

仝	午前五時二十二分	四八
仝	零時三十分	四六
仝	三時十分	四〇
仝	三時	四〇
仝	十時	五二
仝	二時五十五分	二四
仝	三時	四三
仝	五時五十五分	四三
仝	六時	八一
仝	三時零五分	四三
仝	十時	四一
仝	十時五十分	四三
仝	八時四十五分	四六
仝	六時	七四
仝	三時四十分	四六

是れに依て看れは最近十年間に於て五分時間の降水量の最も多かりしは明治四十四年九月十六日の十一粍四にして之れに亜くは同三十九年七月十五日及同四十三年八月十日の各十粍〇なり而して其他は十粍以下とす

因に明治廿九年八月三十日の暴風雨のときは未た自記雨量計の設置なきか故に短時間の雨量を知るを得さりしも一

時間の最多量は六十一粍八なれは平均五分時間の降水量は五粍一五にして就中最多なる時刻にありては五分時間に十五粍内外と見て大差なかるへし

●暴風季節　毎年二百十日前後には暴風多く農家舟子の最も注意するの時なるが毎年七月より十月までは所謂暴風季節にして此期間には比律賓島の東方に當る海上の島嶼多き「マリアナ」群島又は「マルシヤル」群島の近傍に颶風發生し主として西又は北西に進み緯度二十度乃至三十度位の所にて進路を北又は北東に轉して本邦に襲來するものにして其進行速度は一時間に十浬乃至二十浬位なり今其進路の概略を記すれは(一)「マリアナ」群島より西北西に進み臺灣を横ぎり支那大陸に入るもの即ち明治四十四年八月二十六日及三十一日乃至大正元年八月二十九日及九月十六日の颶風是れなり是等は臺灣には甚大の被害あるも其他には影響なかりし(二)「マリアナ」群島より北西に進み沖繩島附近にて進路を北東に轉し九州南部又は四國を突き日向灘より瀨戸内海に入り大阪灣又は播磨灘附近に來りて上陸し中國又は本州中部を横ぎり日本海又は太平洋に去るもの即ち明治四十四年六月十九日八月十六日及大正元年八月二十四日九月二十三日の颶風にして大阪地方にありては此種のものを最も被害多しとす(三)「マリアナ」群島より北西に進み小笠原島と臺灣との間に來り進路を北北東に轉し紀伊半島又は遠江灘を突きて上陸し本州を横ぎり日本海又は太平洋に入るもの即ち明治四十四年七月廿五日及八月四日の颶風是れなり(四)「マリアナ」群島より北西に進み沖繩島附近に來り進路を北東に轉し九州南部を突き夫れより東北東に進み四國及紀伊の南部を掠め房總沖に去るもの即ち明治四十四年九月廿一日及明治四十五年三月十八日の颶風是れなり(五)「マリアナ」群島より北上し來り小笠原島及伊豆七島を襲ひ夫れより進路を北北東に轉し房總半島を掠め北海道の東方に去るもの即ち大正元年九月一日の颶風是れなり(六)「マリアナ」群島より北西に進み沖繩島附近に來り進路を北北東に轉し九州西部を襲ひ夫れより東北東に進み二個に分裂し一は日本海に入り北海道方面に經過し他の一は九州を横ぎり四國及紀伊南部を通過し房總沖に經過するものとす是等の颶風は其進路附近には暴風雨を起し多大の損害を釀せり

今當所創立以來三十年間の七月より十月に至る暴風雨季節に本邦近海に襲來したる顯著なる颱風（颱風中心の示度七百四十粍以下のものに依る）を調査するに都合六十八回あり就中八月は最も多く二十六回九月之れに亞き二十三回にして七月及十月は最も少く九回乃至十回に過ぎさるき換言すれは二百十日（九月一日）前一月中に二十六回後一月中に二十三回にして即ち二百十日前後には毎年平均一回顯著なる颱風の襲來する割合に當れり、今顯著なる颱風の襲來したる年月日及進路の概略並に最低氣壓を列記すれは左の如し

但し月日は颱風中心の大阪に接近したる時を記す

番號	年月日	最低地名	颱風の中心進路概略
一	明治十六年十月八日	七三四 敦賀	〔沖繩島附近より紀州半島を襲ひ和歌山附近より上陸し本州中部を横切り伏木附近より日本海に入り本邦北岸及北海道を経に横斷し同海より九州西部に襲來し九州北部中國を斜に横切り境附近より日本海に入り本邦北部を横斷し太平洋に去れり
二	〃十七年八月二十五日	七三二 鹿兒島	南洋より襲來し暗河灣を突き本邦南東部を經過し鹿島灘に入れり
三	〃十七年九月十五日	七二七 濱松	〔沖繩島附近より紀州半島を掠め伊勢灣より上陸し本州中部を横切り富山灣に入り佐渡附近を經て北海道西部を掠め同海より樺太に入れり〕
四	〃十八年七月一日	七三二 鳥羽	〔北海道西部を掠め同海より樺太に入れり〕
五	〃十九年八月二十二日	七三八 宮崎	〔小笠原島附近より來り九州南部を襲ひ九州を縱斷し關門海峽より豫灘を經て日本海を通過し本邦北部を横ぎり太平洋に入れり〕
六	〃十九年九月二十四日	七三七 平郡海峽の西方	〔沖繩列島より來り九州南部を襲ひ日向灘の南方より四國を斜に通過し大阪灣に來り奥神附近より上陸し本州中部を横切り越後國新潟附近より日本海に入り北西海岸を掠め北海道を經て阿哥斯克海に入れり〕
七	〃二十一年七月二十三日	七三四 高知	南洋より來り室戸崎を襲ひ四國及中國を横ぎり濱田附近より日本海に入り朝鮮南部に經過せり
八	〃二十一年八月三十一日	七二八 和歌山	〔沖繩島附近より來り紀伊水道を襲ひ和歌山附近より上陸し本州を斜に通過し陸奥八戸町附近より太平洋に入れり〕
九	〃二十二年八月十九日	七三四 高知	〔南洋より來り土佐灣を襲ひ高知附近より四國中國を横ぎり島根附近より日本海に入り宗谷岬の南方を掠め哥斯克海に去れり〕
一〇	〃二十二年九月十一日	七二七 津	〔沖繩島附近より來り紀州南端を襲ひ潮岬附近より上陸し本邦内陸を北東に通過し陸奥地方より太平洋に入れり〕
一一	〃二十三年九月二十四日	七二九 熊木	〔沖繩島附近より襲來し天草灘より九州中部を横ぎり豐後水道より瀨戸内海を經て姫路附近より上陸し北東に進み本州中部に到りて二個に分裂し一は伊勢灣附近より日本海に入り他の一は鳥羽灣に入れり〕
一二	〃二十四年八月十六日	七三六 高知	〔南洋より襲來し高知附近より四國内海を經て中國を横切り日本海に入り北東に進み本邦北部を横斷し太平洋に經過せり〕
一三	〃二十四年九月三十日	七二八 宇部宮	沖繩島附近より來り四國沖に接近し熊野灘を經て暗河灣を突き本邦南東部を通過し鹿島灘に去れり
一四	〃二十五年七月二十三日	七三二 高知	南洋より來りて四國中國を横ぎり濱田附近より日本海に入れり
一五	〃二十五年九月十三日	七三二 大阪	南洋より來り紀伊水道より上陸して本州中部を横ぎり伏木附近より日本海に入り奥羽地方を掠め北海道を經て千島南部に去れり

一六	明治二十六年八月 十 八日	七三五	大阪	支那東海より來り九州南部を掠め日向灘の南方及室戸崎を經て大阪灣に來り大阪附近より上陸し北東に進み本州中部を横ぎり若山灣より日本海に入れり
一七	仝 二十六年十月 十四日	七二八	宮崎	沖繩島附近より來り九州南部を襲ひ宮崎附近を掠め日向灘より土佐灘に到り房總沖に去れり
一八	仝 二十七年七月二十五日	七三七	長崎	支那東海より九州西部を襲ひ長崎附近より九州北部を横ぎり山口附近より上陸し本邦内陸を長驅し鹿島灘に去れり
一九	仝 二十七年八月 十 一日	七三〇	濱松	沖繩島附近より來り紀伊沖を經て濱松附近より上陸し陸奥地方より太平洋に入れり
二〇	仝 二十七年九月十 一日	七三三	宮崎	南洋より來り九州東部を掠め周防灘を經て中國を横ぎり日本海に入れり
二一	仝 二十八年八月二十五日	七一九	宮崎	南洋より來りて宮崎附近を襲ひ九州東部を縱斷し下關附近を掠め日本海に入れり
二二	仝 二十八年九月 八 日	七一七	鹿兒島	沖繩島附近より來り九州南部を襲ひ豐後水道の南方を經て松山附近を掠め内海及中國を横ぎり丹後の宮津附近より日本海に入れり
二三	仝 二十九年八月三十 日	七二六	大阪	南洋より來り紀州潮岬を經過し和歌山の東方大和の中央を襲ひ大阪京都間を横斷し日本海に入れり
二四	仝 二十九年九月十 一日	七三四	宮崎	沖繩島附近より四國東部を通過して神戸附近より上陸し本州を横斷し敦賀灣より日本海に入れり
二五	仝 三十二年七月二十三日	七三〇	那覇	沖繩島の南方より來り九州南部を襲ひ進路を北東に轉じ南海岸に沿ふて東進し房總沖に去れり
二六	仝 三十二年八月二十八日	七二四	多度津	沖繩島の南方より來り奄美大島の東方を經て宮崎附近を掠め日向灘を經て松山附近を通過し内海に入り尾道附近より中國を横ぎり日本海に入れり
二七	仝 三十二年九月 八 日	七三〇	奄美大島附近	沖繩島の南方より來り奄美大島の東方を經て室戸崎を掠め和歌山附近より上陸し本州を貫き仙臺附近より太平洋に去る
二八	仝 三十二年十月 七 日	七一四	長津呂	「マリアナ」群島より來り沖繩島の東方を經由し鳩河灣を突き沼津附近より本州南東部を横ぎり鹿島灘に入れり
二九	仝 三十三年八月 十 九日	七一七	宮崎	沖繩島の南方より來り九州南部に上陸し九州を縱斷して日本海に入り西北利亞東部に去れり
三〇	仝 三十三年九月二十八日	七一八	濱松	呂宋の東方より來り沖繩島附近を經て紀伊南端を掠め濱松附近に上陸し本州南東部を横ぎり鹿島灘に入れり
三一	仝 三十五年八月十 一日	七二〇	熊本	呂宋の東方海上より來り臺灣の東方を經て支那東海に入り九州西部を襲ひ熊本附近より上陸し東に進み廣島近傍より岡山地方を通過し日本海に入れり
三二	仝 三十五年九月 五日	七三〇	宮崎 大分	小笠原島附近より北西に進み來り宮崎附近に上陸して九州東部を通過し山口縣萩附近より日本海に入れり
三三	仝 三十五年九月二十八日	七二二	父島	「マリアナ」群島附近より來り小笠原島を通過し伊豆八丈島西方より相摸灘を突き上陸し進路を北北東に取り足尾附近を經過し新潟附近より日本海に入れり
三四	仝 三十五年十月 十 七日	七二五		小笠原島附近より來り本州東海岸沖を通過し根室沖を經て千嶋南部に去れり
三五	仝 三十六年八月 三日	七一九	石垣島	沖繩群嶋より北上し來り朝鮮北部を經て西北利亞北部に去れり
三六	仝 三十六年九月二十三日	七二六	濱松	沖繩嶋附近より遠江灘を襲ひ濱松附近より上陸して本州を横ぎり新潟附近より日本海に入れり
三七	仝 三十七年七月 十 日	七三五	八木	沖繩嶋の東方海上より來り紀伊半嶋を襲ひ和歌山附近より上陸し本州を横ぎり經中、越後の境界なる枕不知附近より日本海に入れり
三八	仝 三十七年八月三十一日	七三六	四阪島	沖繩嶋の南方海上より來り四國東部を掠め姫路附近より上陸し丹後國間人を通過し日本海に入れり
三九	仝 三十七年九月 十 七日	七二四	潮岬	小笠原島附近より來り紀伊半島を襲ひ和歌山附近を掠め大阪灣に來り靈神附近を貫き經ケ岬附近を經由して日本海に入れり
四〇	仝 三十七年十月 五 日	七一八	小笠原島	小笠原島附近より來り房總沖を通過し北海道の東方に去れり

四一	明治三十八年七月 十九日	七三〇	厳原	「マリアナ」群島より來りて九州西部に到り進路を北東に轉し對島海峽を經て日本海を通過し北海道を横切り阿哥斯克海に去る	
四二	全 三十八年八月 九日	七二一	厳原	呂宋の東方より來り支那東海に入り進路を少し東に偏し對島海峽を經て日本海に入り羽後本庄附近に上陸し東北地方を横ぎり陸中釜石附近より太平洋に去れり	
四三	全 三十九年七月二十六日	七三六	潮岬	呂宋の東方より紀伊沖に來り進路を少し東に偏し遠江灘を通過し房總沖に去れり	
四四	全 三十九年八月二十四日	七三七	銚子	小笠原島附近より來り四國の沖に於て進路を北東に轉し遠州灘より伊豆大島近傍を經由し房總半島沿岸を掠め金華山沖に去れり	
四五	全 三十九年十月 三日	七二六	東	呂宋の北東方より來り臺灣を横斷して福州附近を經由し奄美大島の北方を經て進路を北東に轉し伊豆八丈島附近を通過し太平洋に去れり	
四六	全 三十九年十月二十四日	七〇七	石垣島	呂宋の北東方より來り九州西部を襲ひ長崎附近より上陸し九州北部を横ぎり内海に入り廣島附近に上陸し中國を斜に横ぎり日本海に入り本州極北部を横斷し太平洋に去れり	
四七	全 四十年七月十八日	七三二		小笠原島附近より來り四國四部を横ぎり内海に入り長州を經て對馬海峽に入り朝鮮南部を通過し黄海に去れり	
四八	全 四十年八月十五日	七三四	名古屋	沖縄島の南東方海上より來り熊野灘を襲ひ志摩半島を掠め津、名古屋間を經過し福井附近より日本海に入れり	
四九	全 四十年八月二十四日	七四〇	紀伊沖	沖縄島の南方より來り奄美大島の東方を經過し潮岬の南方に來り進路を北東に取り房總沖に去れり	
五〇	全 四十年九月 八日	七三二	奄美大島	「アドムレ」島附近より來り九州南部を突き九州を縦斷し日本海に入り北東に進み樺太南部に去れり	
五一	全 四十年九月十八日	七三四	長津呂	小笠原島附近より來り紀伊遙かの沖に於て進路を北東に轉し伊豆半島を掠め東京灣より常總地方を經過し鹿島灘に入れり	
五二	全 四十一年八月 七日	七三〇	名古屋	比律賓群島附近より來り奄美大島の東方より四國沖に到り進路を北東に轉し紀伊半島に上陸して名古屋附近を經て越後國直江津附近より日本海に入れり	
五三	全 四十一年九月十二日	七三八	八丈島	呂宋の東方より來り沖縄島の東方を經て伊豆八丈島附近に通過し房總沖に去れり	
五四	全 四十二年八月 六日	七二五	熊本	小笠原島附近より來り日向洋より九州中部を横斷して長崎附近を通過し濟州島附近を經て黄海に去れり	
五五	全 四十三年八月 十三日	七三八	沼津	八重山群島の南方より來り臺灣の北方を經て九州南部に到り進路を北東に轉し駿河灣を突き沼津附近より上陸し東北地方に去れり	
五六	全 四十三年九月 七日	七四〇	那覇	呂宋の南方より來り宮古島の南方に到り進路を北東に轉し九州西部を襲ひ長崎附近より上陸し東に進み九州北部を横ぎり四國及紀伊半島を經て熊野灘に入り八丈島附近を通過し太平洋に去れり	
五七	全 四十三年十月 十五日	七三〇	那覇	比律賓島附近より來り沖縄島の西方を通過し北東に進み伊豆八丈島附近を經て房總沖に去れり	
五八	全 四十四年七月二十五日	七二六	沼津	「マリアナ」群島より來り奄美大島の東方を通過し北東に進み濱松附近より上陸し本州南東部を横切り鹿島灘に入れり	
五九	全 四十四年八月 四日	七三九	津	小笠原島附近より來り四國沖に於て進路を北東に轉し伊勢灣附近より上陸し本州中部を横ぎり越後國新潟附近より日本海に入れり	
六〇	全 四十四年八月 十六日	七三〇	大隅半島	「マリアナ」群島より來り奄美大島附近を通過し九州南部を掠め豐後水道の南方を經て四國を斜に横ぎり内海東部に入り岡山附近より中國を横斷し若狹灣に入り能登半島を掠め東北地方の北部を斜めに横ぎり樺太岬の南方に去れり	
六一	全 四十四年八月二十六日	七〇三	恒春	「アドムレ」島附近より來り臺灣南部を掠め臺灣水道を通過し大陸に進入せり	
六二	全 四十四年八月三十一日	七一七	石垣島	小笠原島の南方より來りて沖縄島の南方約六十里の所に到り進路を四方に轉し石垣島附近を通過し臺灣島花蓮港附近に上陸して全島を横斷し臺灣水道を横ぎりて大陸に入れり	
六三	全 四十四年九月二十二日	七二五	鹿兒島	小笠原島附近より來り沖縄島附近を通過し九州南部を襲ひ進路を北東に轉し四國の南部及紀伊半島を掠め八丈島の北方より來り房總沖に去れり	
六四	大正 元年 八月二十八日	七一二	基隆	「カロリン」群島附近より來り石垣島と宮古島との間を通過し臺灣北部の沖を經て清國福州附近より大陸に進入せり	
六五	全 元年 九月 一日	七二二	父島	「マリアナ」群島附近より來り小笠原島を通過し八丈島に殺到し房總海岸の沖合を經て金華山の東方海上に去れり	

六六	大正元年九月十六日	七二二	臺東	八重山群島の南方より來り石垣島を襲ひ臺灣島を横ぎり清國福州と厦門との間を經て大陸に進入せり
六七	全	年九月二十三日	七〇八	日の御崎	「マリアナ」群島より來り高知縣足摺岬附近に殺到し近畿地方を横ぎり能登半島を掠め奥羽地方及北海道を通過し阿哥斯克海に去れり
六八	全	年十月二日	七二九	鹿兒島	「マリアナ」群島より來り沖繩島附近を經て九州南部を襲ひ内海東部に到り消失せり

右に記する六十八回の颱風中氣壓の最も低かりしは明治四十四年八月二十六日臺灣南部に襲來したるものにして恒春に於ては七百〇二粍九を示し之れに亞くは仝三十九年十月二十一日石垣島の七百〇七粍三及大正元年九月二十三日日の御崎の七百〇八粍一なり又風速度の最も強かりしは明治三十五年九月二十八日筑波山に於ける毎秒百〇三米〇にして之れに亞くは仝日銚子の毎秒六十四米二仝三十二年八月十五日鹿兒島の毎秒七十米九仝日名瀬の毎秒四十三米三及宮崎の三十六米八仝三十三年九月二十八日布良の毎秒七十米一仝日横濱の毎秒四十六米二熊谷の毎秒四十五米三前橋の毎秒四十二米七等を主なるものとす

又前記颱風襲來中大阪に於て觀測したる最低氣壓、最大風速度及雨量を記すれは左の如し

番號	最低氣壓	最大風速度	全上方向	雨量 合計	雨量 日	番號	最低氣壓	最大風速度	全上方向	雨量 合計	雨量 日
一	七四二・七	二一・五	北	九七・〇	七月九日	一一	七四五・五	一三・三	南西	一八・五	二十四日
二	七四四・〇	二八・〇	西	五・四	二十六日	一二	七四四・一	二〇・五	南	三八・九	十六日
三	七四六・三	二一・九	北東	五四・五	十五日	一三	七四一・四	一四・五	北	四三・五	二十九日
四	七三六・〇	三三・三	西	二六九・二	自六月二十九日至七月二日	一四	七四五・〇	一六・七	北東	八九・九	二十二日
五	七五二・三	一六・六	東	九・〇	二十一日	一五	七三二・四	一九・〇	南西	五七・二	十三日
六	七四六・二	二二・八	南南西	四一・三	二十一日	一六	七四〇・〇	一七・七	北東	五〇・九	十七日
七	七四〇・九	二五・七	東	四五・八	二十二日	一七	七四七・二	一九・五	北東	一〇二・三	十二日
八	七二八・八	三二・三	東北東	六八・九	三十日	一八	七四三・六	二一・七	東北東	一七・二	二十五日
九	七四二・八	二二・六	東北東	一三五・五	十九日	一九	七四七・二	一〇・八	東北東	一七・二	十一日
一〇	七三〇・七	一九・八	西	七九・四	二十一日	二〇	七四六・二	一九・二	南西	五・九	二十一日

| | | |

●大阪に於ける冬の季節風

大阪地方は冬季西風卓越し且つ強烈にして數日間吹き續くことあり之れを季節風と云ふ

今明治四十四年十一月より仝四十五年三月に至る五ヶ月間に強風以上の吹きたる日數は八十日にして內強風は五十五日烈風は二十五日なり之れを此期間の日數に比れは五割三分に當れり又強風以上の吹きたる時數を看るに五百九十五時間にして內百二十六時間は烈風なりき又各月に就て看るに仝四十五年一月は最も多く強風以上の日數二十日を數へ其強風以上の時數は百五十八時間にして內烈風は三十一時間なり之れに亞くは仝年二月にして強風以上の日數は十九日其時數は百五十六時間內烈風は三十七時間なり又之れに亞くは仝四十四年十二月にして強風以上の日數は十五日其時數は百四十九時間內烈風は三十四時間なり而して強風以上の最も長く吹き續きたるは仝四十五年一月十日より十三日に至る間にありて五十九時間に達し之れに亞くは仝四十四年十二月十九日より二十一日に至る四十九時間、仝四十五年一月十四日より十六日に至る四十一時間、同年二月十六日により十八日に至る四十時間なり又風速度の最も大なりしは仝四十四年十一月二十六日、二十七日にして毎秒二十四米七に達し之れに亞くは四十五年二月三日の毎秒二十二米四、仝年三月十八日の毎秒二十二米三、仝年二月六日の毎秒二十二米二及仝年二月十七日の毎秒二十一米六なり

其詳細は次表に示すが如し

月別	時日	其日數	強風以上の日數	強風以上の時數	強風烈風合計	最大風速度	方向	日	強風以上吹續時間極長期日	
十一月	三〇	九	四	一三	五六	一三	六九	二四・七	西北西	二十六日
十二月	三一	六	九	一五	一五	三四	一四九	一九・五	北	二十日
一月	三一	一五	五	二〇	二七	三一	一五八	一九・九	北	十一日
二月	二九	一三	六	一九	一九	三七	一五六	二二・四	西	三日

月												
合計又は極	三一	一二	一	一三	五二	一二	六五	二二、三	北	十八日	一四	自十七日至十八日
	一五三	西	三五	八〇	四六九	一二六	五九強	二四、七	西北西	一月二十六日	五九	自一月十日至十二日

年月日	最大風速度	其方向全上起時	強風以上の吹續時間	強風時數	烈風時數	年月日	最大風速度	其方向全上起時	強風以上の吹續時間	強風時數	烈風時數
明治四十四年十一月一日	一〇、六	西 午後六時	一	一	一	明治四十四年十二月十九日	一七、六	南南西 午後五時	二	二	二
仝 二日	一七、四	西 午後七時	一五	一三	一	仝 二十日	一九、五	西 午後四時	四九	一四	一
仝 三日	一〇、九	北 午後四時	二	二	一	仝 二十一日	一七、二	西 午前一時	一三	八	一
仝 四日	一二、三	西北 正午	三	三	一	仝 二十二日	一二、二	北東 午後七時	三	三	一
仝 七日	一二、三	西 午後二時	三	三	一	仝 二十五日	一二、二	北東 午後七時	三	三	一
仝 十二日	一七、〇	南南西 午後二時	一一	九	一	仝 二十六日	一六、一	西 午後三時	八	二	一
仝 十三日	一一、〇	西 午前一時	一一	一	一	仝 二十七日	一四、〇	西北西 正午	三二	一一	一
仝 十七日	一〇、一	西 午後六時	一	一	一	仝 二十八日	一三、七	北西 午前一時	一	一	一
仝 十八日	一一、七	北 午後三時	四	一	一	仝 三十日	一一、三	西 午後七時	三	一	一
仝 二十四日	一〇、九	西 午後六時	三	一	一	明治四十五年一月二日	一四、八	北 午後三時	八	一	一
仝 二十五日	一〇、三	西 午前二時	一	一	一	仝 四日	一〇、五	西 午後十一時	一	一	一
仝 二十六日	二四、七	西北西 夜半	二二	五	四	仝 六日	一〇、一	北東 午後十時	一	一	一
仝 二十七日	二三、〇	西 午前一時	二二	七	六	仝 九日	一二、三	西 午後五時	三	三	一
仝 二十九日	一二、四	西 午後四時	五	五	一	仝 十日	一三、七	西南西 午後六時 全七時	四	一一	一
十二月六日	一四、五	北 午後三時	九	九	一	仝 十一日	一九、九	北 午後八時	五九	一二	一
仝 九日	一一、九	北西 夜半	六	四	一	仝 十三日	一四、九	西 午前八時	一七	一	一
仝 十日	一六、二	西北西 午前四時	六	四	一	仝 十四日	一八、〇	南南西 夜半	四一	一五	六
仝 十二日	一五、七	西北西 午前七時	一六	一五	一	仝 十五日	一一、二	西北西 夜半	一	一	一
仝 十四日	一六、二	西 夜半	一六	七	一	仝 十六日	一八、四	西 午前十時	一三	六	一
仝 十五日	一七、八	西 午前三時	六	一	一						
仝 十六日	一五、三	西 午前七時	一四	一三	一						

| | | |

今明治四十二年より大正元年に至る四ヶ年間日曝、日蔭及「リシャール」形自記の蒸發計を以て觀測したる月別蒸發量を表記し參考に供す

日曝蒸發計量（粍）

月年	四十二年		四十三年		四十四年		四十五年—大正元年		四年間平均		
	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	
一月	一・三三	三・三	一・五四	三・五	一・九六	四・二	二・〇六	三・七	一・六九		
二月	一・七五	四・〇	一・九六	二・八	二・三五	五・四	二・二六	四・〇	二・〇八		
三月	二・二二	三・七	二・二五	三・八	三・〇四	五・四	二・三四	三・九	二・四四		
四月	三・七一	五・二	三・一六	五・四	四・一二	六・四	四・二九	六・五	三・八二		
五月	四・六二	七・四	三・八九	七・四	四・八二	七・八	五・六六	七・九	四・七五		
六月	三・三〇	七・四	三・一八	五・八	四・三三	七・五	五・九七	八・六	四・一九		
七月	五・六六	一一・〇	六・一一	一一・八	六・四六	九・七	五・六三	九・四	五・九六		
八月	八・一〇	一二・二	五・四五	七・八	六・八一	九・七	七・四二	九・七	六・九四		
九月	三・八〇	七・〇	四・一二三	九・六	五・二六	八・二	八・〇三	八・五	四・三三		
十月	二・五二	五・七	三・一三	五・二	三・七二	五・八	三・一四	六・〇	三・一八		
十一月	二・〇四	三・六	二・八三	六・五	二・五九	五・八	二・四〇	四・七	二・一五		
十二月	一・四二	四・〇	二・八三	七・九	一・九一	四・八	一・九四	四・一	二・一五		
平均又は極	四・〇	一二・二	三・三九	一一・八	三・九五	九・七	三・九四	九・七	三・六七		

日蔭蒸發計量（粍）

月年	四十二年		四十三年		四十四年		四十五年—大正元年		四年間平均		
	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	
一月	〇・五五	一・三	〇・七五	二・〇	〇・八五	二・四	〇・八九	二・〇	〇・七六		

「リシャール」形自記蒸發計量（耗）

月／年	四十二年	四十三年	四十四年	四十五年 大正元年	四年間平均
	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	
一月	一・一三 二・一六	一・一一 一・三一	八・一 一・一三	五・一 七・一	一・六一
二月	一・〇七 一・七〇	一・〇九 一・七〇	一・〇七 一・七〇	四・四 六・〇	一・四八 二・一七
三月	一・八二 二・三三	一・一七 一・三九	一・一五 一・三〇	三・二 三・八	一・三〇 一・六五
四月	三・一一 四・六	二・八八 三・三三	二・六 三・三	一・九五 二・三五	一・四九 一・八五
五月	三・六〇 五・八	二・九九 四・〇九	二・七四 三・三〇	一・九五 二・三五	一・三〇 一・六五
六月	二・五八 三・九	一・九六 二・三五	一・八〇 二・二四	一・六五 二・〇五	一・二〇 一・四九
七月	四・一七 五・八	二・九六 四・〇九	二・六 三・三〇	一・四三 一・九五	一・三〇 一・六五
八月	五・二三 八・四	三・二三 五・三	二・七四 四・〇七	一・五六 二・三五	一・四四 一・八五
九月	二・六八 三・〇	一 一・三	一・三八 二・三八	一・〇七 一・四五	一・一三 一・四九
十月	一・一三 一・六	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇
十一月	〇・九四 一・九	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇
十二月	〇・八四 一・九	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇
平均又は極	一・一三 三四	一・一一 一・三六	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇

月／年	一年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年
	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大	平均 最大
一月	一・一三 二・一六	一・一一 一・三一	一・一一 一・三四	一・一六 一・三五	一・一一 一・三一	一・一一 一・三一	一・一一 一・三一	一・一一 一・三一	一・一一 一・三一
二月	一・〇七 一・七〇	一・〇九 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇	一・〇七 一・七〇
三月	一・八二 二・三三	一・一七 一・三九	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇	一・一五 一・三〇
四月	三・一一 四・六	二・八八 三・三三	二・六 三・三	一・九五 二・三五	一・九五 二・三五	一・九五 二・三五	一・九五 二・三五	一・九五 二・三五	一・九五 二・三五
五月	三・六〇 五・八	二・九九 四・〇九	二・七四 三・三〇	一・九五 二・三五	一・三〇 一・六五	一・二〇 一・四九	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五
六月	二・五八 三・九	一・九六 二・三五	一・八〇 二・二四	一・六五 二・〇五	一・二〇 一・四九	一・二〇 一・四九	一・二〇 一・四九	一・二〇 一・四九	一・二〇 一・四九
七月	四・一七 五・八	二・九六 四・〇九	二・六 三・三〇	一・四三 一・九五	一・三〇 一・六五	一・二〇 一・四九	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五
八月	五・二三 八・四	三・二三 五・三	二・七四 四・〇七	一・五六 二・三五	一・四四 一・八五	一・二〇 一・四九	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五	一・三〇 一・六五
九月	二・六八 三・〇	一 一・三	一・三八 二・三八	一・〇七 一・四五	一・一三 一・四九	一・一三 一・四九	一・一三 一・四九	一・一三 一・四九	一・一三 一・四九
十月	一・一三 一・六	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇
十一月	〇・九四 一・九	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇
十二月	〇・八四 一・九	一・一一 一・三	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇
平均又は極	一・一三 三四	一・一一 一・三六	一・一三 一・三一	一・一六 一・三五	一・一四 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇	一・一三 一・三〇

●大阪港の潮汐

明治四十五年
大正元年

月	平均又は極	平均干満差	満潮の極		干潮の極		干満最大差		干満最少差	
				其日時		其日時		其日		其日
十一月	二、〇五	一、八二	二、七二	三、六	二、九一	七、〇	二、七六		五、〇	
十二月	一、五三	一、三六	二、四八	六、六	二、四五	六、七	二、二六		四、五	
平均又は極	二、六二	二、三八	二、七六	八、四	二、八三	八、一二	二、七九		六、〇	
一月	極 九、八	極 一〇、七	極 一七、一	六日午前十時五十分	極 一〇、五	日午前三時	極 一七、一	五日	極 一、五	十四日
二月	一〇四、五	一一九、九	二〇七、五	二日午後七時四十分	一三、二	日午前二時	一九、〇	三日	六、〇	十七日
三月	一〇二、五	一一九、一	一九、〇	十八日午前六時四十五分	一四二日午前零時五十分		一六、五	四日	五、二	二十九日
四月	一〇四、〇	一一九、八	一九一、三	午前六時	一一、三	十日午後三時	一六、〇	二日	七、八	十三日
五月	一〇七、五	一一二、四	二一二、	四日午前八時五十五分	二〇	十八日午後三時二十分	一六、八	四日	五、七	十一日
六月	一一一、三	一〇二、九	一九〇、	十六日午後十時五分	二九、	十六日午後三時	一五、	十七日	五、〇	九日
七月	一一二、七	一一二、四	二〇〇、	十四日午後九時二十分	一〇	十六日午後三時五十五分	一八、一	十四日十六日	四、八	二十一日
八月	一三〇、七	一二二、四	二三〇、	十五日午前八時二十分	一九、十二日午後零時五分		一八、五	十二日	五、三	六日
九月	一三〇、四	一三二、六	三一七、	二十三日午前四時五十五分	三五、	十一日午後一時二十分	二四六	二十三日	六、一	九七
十月	一〇六、九	一二六、七	二一七、	二十六日午後六時四十分	三一、	二十九日午前二時五十分	一五六	十二日	六、三	八三
十一月	一〇六、一	一二〇、五	一九〇、	二十九日午後六時三十分	二五、	二十六日午前二時二十九日午前五時	一六一	九日	六、三	十九日
十二月	一二四、四	一二四、三	二九、	九月二十三日午前四時五十五分	二九、	二十八日午前九時三十分	一六二	二十七日	五四	二十日
年	一二一、六	一二七、三	三一七、		一〇、	一月五日午前三時	二四六	九月二十三日	一五	一月十四日

附錄

大阪と各地との氣温及降水量比較表

大阪の氣象概況は上來記述したるか如し更に進んで大阪と各地との氣温及降水量の差異を表記すれは左の如し

但し表中＊を記したるものは明治四十二年まて其他は明治四十三年までの統計なり

平均氣温各地比較表

地名	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
大阪		四、〇	三、九	七、三	一三、三	一七、四	二一、八	二五、八	二七、一	二三、三	一六、九	一一、〇	六、三	一四、八
恒春	高	一六、七	一六、一	一五、〇	一一、四	九、〇	五、八	一、七	高低なし	四、五	八、五	一二、三	一五、一	九、六
臺東	高	一五、三	一四、四	一三、四	一〇、〇	七、六	四、八	一、五	高低殆んし	三、一	七、七	一一、〇	一三、六	八、六
臺南	高	一三、四	一二、五	一二、四	一〇、〇	八、六	五、三	一、九	高低なし	三、九	八、二	一一、四	一二、一	八、三
澎湖島	高	一二、七	一一、四	一〇、九	八、五	七、三	四、九	一、九	高低なし	三、八	七、八	一一、三	一一、九	七、七
臺中	高	一二、一	一一、一	一〇、九	八、六	七、六	四、八	一、六	高低なし	三、一	七、〇	九、三	一〇、九	七、三
臺北	高	一一、六	一〇、三	九、七	七、二	六、六	四、七	二、一	高低なし	二、九	六、三	六、七	一〇、六	六、八
基隆	低	一二、三	一〇、六	九、三	六、六	五、八	四、三	一、八	低	二、五	五、五	九、〇	一〇、八	六、七
石垣島	高	一四、七	一三、五	一二、七	九、三	七、五	五、三	二、三	高低なし	三、八	七、九	一〇、九	一三、一	八、五
那覇	高	一二、四	一一、九	一〇、六	七、五	六、〇	四、二	二、〇	高低なし	三、五	七、一	九、七	一二、二	七、二
名瀬	高	一〇、九	九、九	九、二	六、〇	四、四	三、一	一、九	高低なし	二、七	五、八	八、三	九、七	六、〇
佐多岬	高	六、八	五、二	五、四	三、三	一、七	〇、二	〇、六	低	一、六	三、九	五、一	五、六	三、二
鹿兒島	高	三、四	三、三	三、六	二、四	一、三	〇、四	高低殆んし	低	一、〇	二、三	三、八	四、二	一、九
宮崎	高	三、一	三、一	三、三	二、三	一、六	〇、八	〇、三	低	〇、七	一、六	二、八	三、四	一、六
牛深	高	三、〇	三、七	三、六	二、一	一、二	〇、一	〇、五	低	〇、七	一、三	二、八	三、八	一、六
熊本	高	〇、九	一、一	一、八	一、三	一、〇	〇、六	〇、三	〇、一	〇、四	〇、四	〇、四	〇、一	〇、七

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
佐賀	高一、三	高一、一	高一、四	高〇、八	高〇、九	高〇、四	高低なし	低〇、二	高〇、一	高〇、四	高〇、七	高〇、五	高〇、六
佐世保	高二、二	高一、八	高一、九	高〇、九	高〇、六	低〇、一	低〇、五	低〇、三	高低なし	高一、〇	高一、八	高一、六	高〇、九
長崎	高一、九	高一、九	高一、八	高一、〇	高〇、五	低〇、三	低〇、三	低〇、四	高〇、三	高一、一	高一、六	高一、五	高〇、九
野母崎	高三、三	高一、七	高一、九	高〇、四	低〇、四	低一、六	低二、一	低一、四	低〇、四	高一、一	高二、〇	高二、三	高〇、六
志自岐崎	高二、四	高〇、九	高一、一	低〇、二	低〇、九	低二、一	低二、六	低一、七	低一、二	高〇、五	高一、三	高一、四	低〇、一
厳原	高〇、九	高〇、九	高〇、九	低〇、四	低〇、六	低一、四	低一、六	低一、三	低一、〇	高〇、一	高〇、七	高〇、六	高〇、二
六連島	高二、六	高〇、九	高〇、五	低〇、五	低〇、三	低一、三	低一、六	低一、三	低〇、七	高〇、八	高一、七	高一、八	高〇、二
福岡	高一、四	高一、一	高〇、八	高〇、二	低〇、三	低〇、五	低〇、六	低〇、八	低〇、八	低〇、六	高〇、五	高〇、[illegible]	高〇、一
大分	高一、九	高一、四	高一、〇	低〇、一	低〇、四	低〇、七	低〇、九	低一、一	低〇、五	高〇、四	高一、三	高一、六	高〇、三
鶴見崎	高二、九	高一、五	高一、二	高〇、三	低〇、一	低一、四	低二、一	低二、〇	低〇、八	高〇、九	高一、七	高二、一	高〇、四
下関	高一、六	高一、一	高〇、七	低〇、四	低〇、五	低一、一	低一、三	低〇、八	低〇、三	高〇、七	高一、五	高一、五	高〇、二
廣島	高低なし	高〇、二	高低なし	低〇、五	低〇、四	低〇、六	低〇、五	低〇、四	低〇、四	低〇、二	低〇、二	低〇、四	低〇、三
呉	高一、三	高〇、七	高〇、五	低〇、一	高低なし	低〇、四	低〇、七	低〇、三	低〇、三	高〇、三	高〇、九	高〇、九	高〇、三
松山	高〇、九	高〇、七	高〇、四	低〇、三	低〇、六	低〇、五	低〇、六	低一、〇	低〇、六	低〇、三	高〇、五	高〇、七	高低なし
四阪島	高二、一	高〇、八	低〇、二	低〇、七	低〇、五	低一、四	低一、四	低一、三	低〇、六	高〇、九	高一、六	高二、一	高〇、一
新居濱	高二、二	高一、三	高〇、八	低〇、二	高〇、一	低〇、三	低〇、七	低〇、三	高低なし	高〇、九	高一、五	高二、〇	高〇、六
別子	低三、九	低五、四	低四、六	低四、六	低四、七	低五、一	低五、八	低六、三	低五、九	低五、一	低四、六	低四、六	低五、〇
岡山	高〇、二	低〇、二	低〇、三	低〇、四	低〇、二	低〇、四	低〇、四	低〇、三	低〇、四	低〇、五	低〇、五	低〇、七	低〇、四
味野	高〇、八	高〇、三	低〇、一	低〇、七	低〇、三	低〇、七	低〇、九	低〇、二	低〇、二	高〇、二	高〇、六	高〇、六	高低なし
多度津	高一、四	高〇、九	高〇、三	低〇、五	低〇、三	低〇、四	低〇、四	高低なし	高低なし	高〇、五	高一、三	高一、五	高〇、四
神戸	高一、〇	高〇、四	高〇、二	低〇、一	高〇、二	低〇、五	低〇、八	低〇、四	低〇、三	高〇、三	高〇、八	高〇、七	高〇、一
和歌山	高〇、九	高〇、八	高〇、七	高〇、四	高〇、三	低〇、一	低〇、一	低〇、三	高低なし	高〇、三	高〇、七	高〇、八	高〇、四
徳島	高一、三	高〇、九	高〇、七	高〇、四	高〇、三	低〇、一	低〇、四	低〇、四	低〇、二	高〇、五	高一、一	高一、〇	高〇、四
高知	高一、七	高一、九	高二、三	高一、五	高〇、七	低〇、一	低〇、八	低一、一	高〇、一	高〇、九	高一、三	高一、〇	高〇、八
足摺	高五、三	高四、〇	高四、一	高二、九	高一、七	高〇、一	低〇、六	低〇、五	高一、二	高三、二	高四、〇	高四、一	高二、五

日の御崎	津	名古屋	濱松	沼津	吳	長崎ヶ濱	須賀	橫濱	東京	八丈島	父島	布哇	銚子	水戸	金山	石卷	金山	宮古	八木	京都	彥根	岐阜	高山	飯田
高	高	低	高	高	高	鮮	高	高	低	高	高	高	高	低	低	低	低	低	低	低	低	低	低	低
二·三	〇·三	〇·五	一·〇	四·一	一·三	〇·一	〇·八	〇·二	一·一	七·三	一三·九	二·八	一·三	一·七	三·五	四·四	三·五	一·六	〇·一	一·四	〇·六	〇·九	六·三	三·九
高	高	低	高	高	高	低	高	高	低	高	一三·一	二·四	二·四	一·五	三·五	三·九	二·七	低	〇·二	一·二	〇·九	〇·五	六·三	三·六
高	低	高低なし	高	高	高	低	高	低	低	高	一〇·八	一·六	一·〇	一·九	二·六	四·四	三·六	五·〇	〇·四	一·二	一·四	〇·四	五·三	二·九
高	高	高低なし	高	高	低	低	低	低	低	高	高	高	〇·四	低	低	低	低	低	〇·九	一·二	一·一	〇·五	四·四	二·七
〇·三	〇·六	低	〇·二	〇·二	〇·三	〇·六	〇·六	〇·三	〇·九	高	五·〇	〇·三	〇·九	低	低	四·〇	低	四·五	〇·三	〇·九	一·八	〇·四	三·九	二·八
低	〇·七	低	〇·九	〇·九	〇·九	一·五	一·四	一·三	一·四	三·九	高	一·八	二·三	一·九	二·七	四·五	三·七	五·二	〇·三	〇·九	一·六	〇·五	三·八	二·八
低	〇·九	低	〇·四	一·四	一·三	二·三	一·八	二·一	一·四	一·三	一·三	二·八	三·〇	三·六	四·七	四·九	四·七	六·二	〇·四	〇·八	一·七	〇·六	四·一	三·七
低	一·一	低	一·三	一·四	一·七	二·二	二·一	二·二	一·八	一·四	〇·五	二·三	二·四	三·一	四·一	四·一	四·三	五·二	一·〇	一·五	一·五	〇·八	四·二	三·九
低	〇·八	低	〇·四	〇·四	〇·五	〇·九	〇·二	一·五	一·四	一·九	三·五	一·九	〇·八	二·七	三·六	三·六	二·一	四·九	一·二	一·一	一·五	一·七	四·七	三·九
高	〇·五	低	〇·五	〇·五	〇·三	一·九	〇·五	〇·四	一·一	〇·五	八·六	〇·九	〇·八	二·〇	三·八	三·三	三·八	四·六	一·四	一·四	一·三	〇·七	五·〇	三·九
高	高低なし	高	一·〇	三·四	一·〇	〇·六	〇·七	〇·九	〇·九	一一·二	一·八	二·四	一·八	一·九	三·八	三·二	一·六	四·〇	〇·九	一·六	〇·九	〇·七	五·六	三·九
高	〇·二	低	〇·九	〇·九	一·三	〇·九	〇·四	一·〇	一·一	一二·七	一·四	三·一	二·一	二·一	三·二	三·六	一·七	三·九	〇·七	一·九	〇·七	一·〇	五·八	三·四
〇·四	〇·四	〇·六	〇·二	一·三	〇·四	〇·九	〇·六	〇·九	一·一	七·六	〇·一	〇·五	一·三	二·三	三·七	四·〇	三·五	四·九	〇·六	一·二	一·三	〇·六	四·九	三·四

甲府	低二.六	低一.八	低〇.八	低〇.八	低〇.七	低一.〇	低一.六	低一.九	低一.八	低一.九	低二.一	低二.七	低一.六
松本	低六.〇	低五.八	低五.一	低四.三	低三.七	低三.五	低三.九	低四.六	低五.一	低五.三	低五.三	低五.三	低四.八
長野	低五.五	低五.三	低四.五	低三.六	低二.九	低二.八	低三.〇	低三.一	低三.五	低四.一	低四.四	低五.〇	低三.九
前橋	低一.五	低一.五	低一.六	低一.九	低一.六	低二.〇	低二.七	低二.七	低二.七	低二.三	低一.九	低一.七	低二.〇
熊谷	低一.五	低一.二	低一.三	低一.五	低一.一	低一.六	低二.三	低二.三	低二.三	低一.九	低一.九	低一.八	低一.七
筑波	低四.九	低五.六	低五.九	低五.九	低六.〇	低六.六	低七.三	低七.五	低七.〇	低五.八	低四.七	低四.六	低六.〇
宇都宮	低三.九	低二.五	低二.五	低二.三	低二.〇	低二.三	低二.九	低二.九	低二.七	低二.五	低三.〇	低三.五	低二.七
足尾	低四.八	低五.二	低五.一	低四.八	低四.八	低五.五	低六.三	低六.三	低五.九	低五.二	低四.七	低四.六	低五.三
福島	低三.四	低三.二	低三.五	低三.〇	低二.四	低二.七	低三.三	低三.一	低三.三	低三.六	低三.三	低三.一	低三.一
山形	低五.六	低四.八	低五.一	低四.一	低二.八	低二.九	低三.三	低三.三	低三.九	低四.六	低四.七	低五.〇	低四.三
水澤	低七.三	低七.三	低六.九	低四.七	低四.一	低四.六	低四.七	低三.九	低五.五	低五.四	低五.九	低六.八	低九.六
濱田	高一.六	高〇.七	高〇.三	低一.一	低一.一	低一.四	低一.七	低一.三	低一.六	低〇.八	高〇.九	高一.四	低〇.三
境	高〇.一	低〇.三	低〇.四	低一.三	低一.三	低一.三	低一.三	低一.一	低一.二	低〇.六	高〇.一	高〇.三	低〇.七
經ケ岬	高〇.五	低一.〇	低一.五	低一.八	低一.九	低二.四	低二.六	低二.三	低一.五	低〇.六	低〇.一	低〇.一	低一.二
宮津	高〇.三	低一.〇	低一.〇	低一.五	低一.五	低一.七	低一.八	低一.八	低一.八	低一.二	低〇.七	低〇.三	低一.二
舞鶴	低〇.三	低一.二	低一.四	低一.六	低一.六	低一.七	低一.六	低一.八	低一.八	低一.三	低一.三	低〇.八	低一.三
敦賀	高〇.五	低〇.五	低〇.七	低一.六	低一.六	低一.八	低一.九	低二.〇	低一.七	低一.一	低〇.三	低〇.三	低一.〇
福井	低一.三	低一.八	低一.五	低一.八	低一.〇	低一.四	低一.六	低一.五	低二.一	低一.九	低一.五	低一.三	低一.五
金澤	低一.五	低一.九	低二.一	低二.三	低二.〇	低一.九	低二.〇	低一.七	低一.八	低一.六	低一.三	低一.三	低一.七
皆月	低一.〇	低二.一	低二.五	低三.〇	低三.二	低三.五	低四.〇	低三.一	低三.三	低一.二	低一.〇	低一.二	低二.三
伏木	低一.五	低二.〇	低一.九	低二.六	低二.二	低二.一	低一.九	低一.四	低一.五	低一.一	低一.〇	低一.五	低一.七
新潟	低二.五	低二.七	低二.九	低三.〇	低二.六	低二.六	低二.三	低一.七	低一.八	低一.七	低一.七	低二.一	低二.三
加茂	低一.九	低二.七	低三.二	低三.一	低三.一	低三.一	低三.〇	低二.七	低二.九	低二.一	低二.〇	低二.二	低二.六
秋田	低五.五	低五.四	低五.四	低四.八	低四.二	低四.〇	低三.九	低三.五	低四.一	低四.五	低四.三	低四.八	低四.五
青森	低六.八	低六.三	低六.八	低六.四	低五.七	低五.七	低五.四	低四.五	低五.〇	低五.一	低五.四	低六.四	低五.八

龍飛	低 四、八	低 五、五	低 五、八	低 六、一	低 六、七	低 七、四	低 七、五	低 五、七	低 四、五	低 三、八	低 四、九	低 五、六	低 五、七
函館	低 六、九	低 六、三	低 六、五	低 七、一	低 七、〇	低 七、六	低 七、〇	低 五、七	低 五、六	低 五、六	低 五、九	低 六、五	低 六、四
壽都	低 七、四	低 六、六	低 七、一	低 七、五	低 七、二	低 七、九	低 七、五	低 六、一	低 五、八	低 五、五	低 六、二	低 七、〇	低 六、八
札幌	低 一〇、二	低 九、二	低 九、〇	低 八、二	低 七、〇	低 七、一	低 六、八	低 六、三	低 一一、一	低 七、六	低 八、四	低 九、五	低 八、〇
宗谷	低 一〇、五	低 一〇、二	低 九、八	低 九、七	低 一〇、四	低 一一、四	低 一〇、九	低 八、八	低 七、五	低 七、二	低 八、一	低 九、四	低 九、五
上川	低 一四、三	低 一二、九	低 一一、七	低 九、七	低 七、四	低 六、八	低 六、九	低 七、一	低 八、九	低 一〇、〇	低 一〇、六	低 一二、二	低 九、七
十勝	低 一四、九	低 一三、五	低 一一、六	低 九、一	低 七、九	低 七、九	低 八、二	低 七、八	低 八、九	低 九、三	低 一〇、三	低 一二、八	低 一〇、二
襟裳	低 六、九	低 六、九	低 八、〇	低 九、八	低 一〇、四	低 一一、一	低 一〇、七	低 八、九	低 六、六	低 四、九	低 四、九	低 五、八	低 七、九
釧路	低 一三、五	低 一二、一	低 一〇、五	低 九、九	低 九、五	低 九、五	低 九、六	低 八、七	低 八、九	低 九、二	低 一〇、三	低 一一、八	低 一〇、三
網走	低 一一、一	低 一一、三	低 一〇、八	低 九、五	低 九、〇	低 九、七	低 九、四	低 八、〇	低 七、八	低 七、四	低 八、四	低 九、五	低 九、三
根室	低 九、〇	低 九、四	低 九、八	低 一〇、五	低 一一、〇	低 一一、九	低 一一、六	低 九、七	低 八、〇	低 六、五	低 六、八	低 七、六	低 九、三
紗那	低 九、九	低 一一、四	低 一一、八	低 一一、六	低 一二、〇	低 一二、七	低 一二、四	低 一一、六	低 一〇、三	低 八、四	低 八、六	低 八、八	低 一〇、八
大泊	低 一六、八	低 一四、九	低 一三、一	低 一一、六	低 一二、一	低 一二、三	低 一一、六	低 九、九	低 九、九	低 一〇、〇	低 一二、三	低 一三、七	低 一二、三
眞岡	低 一五、七	低 一三、九	低 一二、五	低 一〇、四	低 一一、三	低 一〇、八	低 一一、三	低 九、五	低 九、七	低 九、八	低 一二、〇	低 一三、〇	低 一一、六
落合	低 二三、五	低 一九、六	低 一五、七	低 一一、九	低 一二、〇	低 一一、六	低 一一、九	低 一〇、四	低 一一、四	低 一一、四	低 一三、九	低 一七、〇	低 一四、二
敷香	低 二八、六	低 二〇、八	低 一六、三	低 一三、一	低 一三、九	低 一三、八	低 一三、四	低 一一、七	低 一一、五	低 一二、〇	低 一六、六	低 二〇、八	低 一六、〇
釜山	低 〇、三	低 二、〇	低 〇、五	低 一、三	低 〇、八	低 二、三	低 二、五	低 二、〇	低 一、六	低 〇、三	低 一、〇	低 二、〇	低 一、四
大邱	低 三、二	低 四、四	低 二、〇	低 一、一	高 〇、六	低 〇、四	低 一、四	低 〇、九	低 二、四	低 一、九	低 三、八	低 六、二	低 二、二
木浦	低 一、五	低 三、二	低 二、五	低 二、六	低 一、五	低 一、八	低 一、七	低 一、五	低 一、六	低 〇、五	低 一、七	低 二、七	低 一、九
仁川	低 六、〇	低 七、二	低 四、五	低 四、〇	低 三、二	低 二、七	低 二、七	低 二、九	低 三、二	低 二、三	低 五、四	低 八、六	低 四、三
京城	低 六、九	低 七、五	低 四、九	低 三、〇	低 一、六	低 一、三	低 一、五	低 二、二	低 三、四	低 三、六	低 六、二	低 九、二	低 四、三
平壤	低 一〇、二	低 一〇、二	低 六、八	低 四、三	低 二、四	低 一、九	低 二、三	低 三、二	低 四、四	低 四、二	低 〇、八	低 一二、四	低 五、八
元山	低 六、八	低 七、四	低 五、〇	低 三、八	低 二、四	低 三、〇	低 四、〇	低 四、二	低 四、四	低 三、六	低 五、八	低 七、一	低 四、八
城津	低 九、四	低 九、二	低 六、五	低 六、三	低 六、三	低 六、四	低 六、五	低 五、六	低 五、六	低 五、一	低 八、一	低 一〇、三	低 七、一
龍岩浦	低 一一、四	低 一一、三	低 七、五	低 五、六	低 三、五	低 二、八	低 三、二	低 三、七	低 四、九	低 四、八	低 九、六	低 一二、六	低 六、七

降水量各地比較表

地名	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
大連		低 八·三	低 一〇·二	低 一〇·二	低 五·七	低 一四·三	低 二四·二	低 一六·四	低 三〇·二	低 二·五	低 二·五	低 六·一	低 七·四	低 四三·五
旅順		低 八·〇	低 七·八	低 一〇·五	低 六·一	低 一五·五	低 二·五	低 一·六	低 二·七	低 三·四	低 五·四	低 一〇·三	低 六·七	低 四·八
營口		低 一三·三	低 一二·五	低 七·八	低 四·八	低 一·七	低 一·六	低 一·五	低 一·六	低 一·五	低 一·五	低 一二·三	低 六·四	低 五三·五
奉天		低 一七·三	低 一五·五	低 九·一	低 四·七	低 一·九	低 一·三	低 一·三	低 三·九	低 一·三	低 一·三	低 一三·三	低 八·一	低 一〇·九
長春		低 二一·一	低 一七·五	低 一四·〇	低 八·〇	低 二·九	低 一·六	低 一·六	低 三·一	低 一·六	低 一·六	低 一八·八	低 一〇·九	低 一〇·九
天津		低 七·八	低 六·七	低 三·四	低 〇·八	高 二·二	高 二·二	高 三·四	低 一·四	低 一·四	低 一·四	低 二·六	低 二·六	低 一·九
芝罘		低 四·八	低 五·七	低 四·一	低 二·七	高 二·五	低 〇·四	低 一·八	低 二·二	低 二·一	低 〇·九	低 三·五	低 四·八	低 二·八
杭州		高 〇·九	低 〇·三	高 一·二	高 一·二	高 二·五	高 〇·三	高 二·五	高 〇·六	高 一·四	高 〇·五	高 〇·四	高 〇·二	高 一·一
南京		低 〇·七	低 一·〇	高 〇·四	高 〇·五	高 二·五	高 一·四	高 一·四	高 〇·五	高 〇·六	高 〇·二	低 〇·七	高 一·二	高 〇·三
漢口		高 〇·一	高 〇·三	高 一·九	高 三·一	高 三·九	高 三·七	高 三·五	高 一·五	高 一·五	高 一·四	高 〇·八	高 一·六	高 一·六
沙市		高 〇·三	高 〇·六	高 一·六	高 二·二	高 三·六	高 二·九	高 一·五	高 一·五	高 〇·四	高 〇·七	高 〇·八	高 〇·二	高 一·二

地名	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
大阪		多 五〇·六	多 五〇·三	多 一〇·三	多 一五〇·八	多 一二五·四	多 二〇二·三	多 一六四·二	多 九八·四	多 一八〇·六	多 一三三·八	多 七三·〇	多 四三·八	多 一三七·五
恒春		多 二八·二	多 一八·二	多 七四·八	多 一〇〇·一	多 六〇·三	多 二四七·四	多 一二四·四	多 四五八·四	多 二八·七	多 三四·五	多 二〇·一	多 二八·六	多 七七〇·七
東京		多 五·六	多 一·二	多 一·二	多 七八·一	多 八四·八	多 八九·四	多 二九·八	多 三〇·六	多 三九·二	多 六三·九	多 一七·一	多 一一·四	多 三七〇·一
東南		多 二〇·二	多 一三·五	多 六四·九	多 九四·九	多 二一四·九	多 一七一·九	多 一九八·五	多 三三七·六	多 七六·〇	多 九七·六	多 五〇·〇	多 三五·〇	多 二七六·四
臺南		多 二·五	多 一·七	多 四一·一	多 七一·六	多 六·〇	多 二四·四	多 四·二	多 一〇〇·三	多 九〇·九	多 一〇一·六	多 四七·四	多 二五·一	多 三四七·四
臺中		多 二五·一	多 一六·一	多 一一·一	多 三三·六	多 九二·〇	多 一五四·〇	多 一〇六·八	多 三三三·一	多 二一·九	多 一八·五	多 五六·六	多 三三·三	多 三三〇·〇
臺北		多 四〇·三	多 八八·一	多 六三·九	多 八·六	多 七八·七	多 五七·五	多 四三·三	多 三〇七·九	多 八四·三	多 二八·六	多 三八·七	多 六·八	多 六七二·三
基隆		多 二八三·三	多 二四七·七	多 二三九·〇	多 六七·八	多 一四一·六	多 五九·七	多 三七·三	多 一一九·六	多 一二〇·六	多 一九一·四	多 三五四·八	多 三三二·九	多 三〇六·三

	石垣島	那覇	名瀬	佐多岬	鹿兒島	宮崎	牛深	熊本	佐賀	佐世保	長崎	野母崎	志自岐	厳原	六連島	福岡	大分	鶴見埼	下關	廣島	吳	松山	阪島	四新居濱	則子
雨量	九三・九	五八・八	一七三・三	一三・七	八五・四	二九・二	四四・一	一八・二	九・一	二六・一	三〇・六	一七・四	二・〇	四・〇	四一・三	一九・二	一・六	一八・六	二三・六	〇・六	九・二	三・九	六・五	三・九	六二・六
平均	二三・二	八〇・五	一七九・五	七・七	三七・八	四五・〇	四五・九	一七・二	二・五	三〇・二	三三・三	〇・三	〇・三	三一・〇	二〇・二	二九・三	九・五	一四・九	二二・六	一一・二	三・一	一二・六	一一・〇	一二・〇	四三・六
最大	八・〇	四六・七	一二六・四	三・七	四八・六	七二・四	三五・〇	一三・九	二四・〇	三〇・二	四八・〇	二・八	一・五	四・二	三〇・二	八・〇	一九・七	五四・九	七・五	二六・六	九・八	一三・〇	一四・五	六・五	七〇・〇
最小	二・八	一・九	二五・三	五・二	八・三	一〇・〇	六・一	五・〇	三・二	四・七	七・五	一・七	〇・八	六・七	三・一	八・六	四・一	一・六	三・九	四・九	一・九	一・八	一・六	五・七	一二・三
雨量	三七・六	一二・二	一八五・六	三・三	一九・三	一〇・一	一四・一	一四・一	一一・六	一〇・七	七五・七	二・四	〇・七	一四・三	六五・九	一四・三	五九・七	一〇・六	三・〇	四三・九	四・〇	九・四	五・二	一・七	三九・六
平均	四七・九	三・三	九三・三	一六五・四	二四・〇	九三・九	一四・一	二四・一	一六四・〇	一五三・七	九四・六	三六・七	七・四	一〇八・三	三九・五	四八・八	五九・七	二二・六	二二・七	四・〇	六・四	二二・〇	二二・〇	六五・九	三〇七・二
最大	九九・五	三三・〇	一六五・四	一七九・二	一九〇・四	二四・〇	二四・〇	三四・〇	三四・〇	二七・五	二七・五	二六・一	二七・三	二四三・七	二二・九	三六・六	二二・三	二四・七	二四・七	一三・八	一〇・二	一三・四	四九・五	一九・五	六二・六
最小	一三〇・一	七・一	一七九・三	一二・〇	一五・六	三七・七	三五・〇	七・七	三・七	四七・九	五五・七	九・九	一・九	八九・七	一一・九	一二・九	三・四	二三・四	二三・五	八・八	一・三	七・五	四・八	一・九	五三・七
雨量	七七・〇	八・六・九	一二四・〇	五・六・六	七・六・六	二七・五	三四・四	三四・四	三四・四	四七・九	五・六	三・七	一・六	二七・三	二七・三	六〇・八	六〇・八	四六・八	五二・二	一・六	一・六	一・六	一・六	一・六	二四・二
平均	一三〇・一	八・六・九	一二四・〇	五・六・六	七・六・六	二七・五	三四・四	三四・四	三四・四	四七・九	五・六	三・七	一・六	二七・三	二七・三	六〇・八	六〇・八	四六・八	五二・二	一・六	一・六	一・六	一・六	一・六	二四・二
最大	七七・〇	八・六・九	一二四・〇	五・六・六	七・六・六	二七・五	三四・四	三四・四	三四・四	四七・九	五・六	三・七	一・六	二七・三	二七・三	六〇・八	六〇・八	四六・八	五二・二	一・六	一・六	一・六	一・六	一・六	二四・二
最小	一三〇・一	七・一	一七九・三	一二・〇	一五・六	三七・七	三五・〇	七・七	三・七	四七・九	五五・七	九・九	一・九	八九・七	一一・九	一二・九	三・四	二三・四	二三・五	八・八	一・三	七・五	四・八	一・九	五三・七

| | | |

	金澤	山口	宮古	木本	八戸	京都	彦根	岐阜	高山	飯田	甲府	松本	長野	熊谷	前橋	筑波	宇都宮	足尾	福島	山形	水澤	濱田	境	鳥取	岡山	松江	宮津	舞鶴	敦賀
多	三二六	八一	一七五	一六七	一一	一一	六七	二四四	四七	三六〇	一六	三三	三八	一一	一七〇	九九	一一七	三四	〇	三七	二四七	四三	一五〇	九三	一三八	一四八	一四	一四七	一五二
少	一一	一九九	一八四	一七	一〇	一〇	五〇	一六	二〇〇	四七	四三	一三	一一	一〇	二二	九九	一八	九三	二四	一七	一〇四	四五	七四	三九	一三〇	五四	一四	一三	一二
多	一九九	五八四	一五二	〇三	一五	一七〇	二六三	四三七	二五八〇	二六	二四九	五四〇	四九五	二二	二四	七〇	二八四	一七	三三七	三八二	二八四	一七	四五	一三	二二四	一四	五五	一四	一三
少	五三	五六	三九	一六	一七	一七	六〇	二一	三九	一七	五八九	一九	四〇五	一〇	一四四	一三	二八四	一四九	一五	一九	四一	一五	一五	一四	一四	一四	一四	一三	一三
多	六九七	七六四	三一	八七	三四	三四	一〇	六八四	二一九	五三七	八〇五	四四二	九五一	六七八	四六一	四一二	七一二	五四	一九七	六七二	九七二	五五	九二	七一	六七	五五六	二九七	四四	一五六
少	一五八	二六四	六三〇	三一八	四一〇	四三八	五一八	七一四	九八三	一〇四	〇八	二三	一八	一五	二二	二八二	一三〇	一六九	七八	一九	六七	一九	九二	一四	一三	一四	一四	一三	一五
少	二七五	六六三	四二三	三三九	二三〇	四四〇	九二四	一〇〇	五七	九八一	九〇〇	九〇二	〇九	九八七	二二〇	三三〇	一三六	二九六	一一七	一一九	一一七	五五	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
少	二一六	四二三	四八	九九	二四	四一	一五〇	一五四	二〇〇	一五八	六〇	三八	五三	四七	五四	一四	一三六	二〇二	一三九	一四	一三	一四	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
少	一一四	二五一	四八	五九	二一	六三	五四	三九八	七〇五	二九八	一一八	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
多	三二七	二四九	二一七	九五四	二四九	六三八	三九八〇	七〇五四	二九八	四九二六	三三三	四七三	五三	五四	五三	四〇六	一三五	五五三	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
多	六八四	一四二	二一七	五九	二四	六三	三九八〇	七〇五四	二九八	四九二六	三三三	四七三	五三	五四	五三	四〇六	一三五	五五三	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四

福井	金澤	岩月	伏木	新潟	加茂	秋田	青森	盛岡	詩都	札幌	宗谷	上川	十勝	釧路	襟裳	室蘭	網走	根室	紗那	大泊	眞岡	落合	香山	敷香
一九八、九	一五二、〇	四八、〇	一、六	一五、一	七、八	六九、〇	一四、一	一四四、一	二八五、九	一〇四三、二	一三、九	一四四、一	二八、九	一〇四三、二	一三、九	一四四、一	二八五、九	一〇四三、二	一三、九	一四四、一	二八五、九	一〇四三、二	一三、九	一四四、一
二一四、九	一二七、四	六四、二	二三、六	二七、二	一四、八	四五、八	一九、一	一〇七、一	三一三、六	一一九、一二	一九、一	一〇七、一	三一三、六	一一九、一二	一九、一	一〇七、一	三一三、六	一一九、一二	一九、一	一〇七、一	三一三、六	一一九、一二	一九、一	一〇七、一
一二五、四	六二、二	二、〇	三八、四	七、五	六、一	四九、二	九、一	四、七	一四、一	四五、八	七、五	六四、一	一三、七	四九、二	一三、七	四九、二	一三、七	四九、二	一三、七	四九、二	一三、七	四九、二	一三、七	四九、二
一九〇、七	一〇七、四	二九、八	二〇、四	九、五	四九、二	一五、〇	五九、九	一四、〇	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二
一三八、二	七二、六	三四、八	二、四	三四、五	七二、四	三一、六	一四、八	五〇、二	二三、一	一一四、〇	三三、七	一五、〇	三一、六	一四、八	三四、五	一五、〇	三〇、三	一四、八	三四、五	一五、〇	三〇、三	一四、八	三四、五	一五、〇
一三四、四	六四、二	二、〇	一〇、八	一、八	四〇、五	〇、七	五九、九	一二、九	三六、〇	九〇、六	一一、九	四九、三	一三、九	五〇、八	一〇、八	四九、〇	一五、〇	五〇、八	三九、四	一五、〇	五〇、八	三九、四	一五、〇	五〇、八
一九、三	一二、四	六、一	四、九	一、〇	四九、二	九、三	五〇、二	一四、〇	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二	五六、六	一三七、二
七、八	一四、八	一三、七	三〇、三	三一、六	四九、二	三五、九	五九、九	一三、九	三三、七	一五、九	三三、七	一五、〇	三五、八	一六、三	四〇、五	一八、四	五六、七	二〇、四	九一、三	三六、八	一一〇、五	三八、九	一二、六	五一、八
六八、三	四七、一	四九、三	三四、七	二四、一	一五、〇	一三、八	一四、八	一五、九	一三、七	七九、五	一三、七	四八、四	一四、九	六〇、三	一四、九	六〇、三	一四、九	六〇、三	一四、九	六〇、三	一四、九	六〇、三	一四、九	六〇、三
五九、〇	五二、七	九、〇	一四、七	一四、九	八、〇	一五、〇	一六、三	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三	八、四	一六、三
一四四、一	一九、一	一〇七、一	三八、一	一二、一	三九、四	一〇七、一	二一、四	一〇七、一	三一、六	一一九、一二	二八、三	一〇七、一	三一、六	一一九、一二	二八、三	一〇七、一	三一、六	一一九、一二	二八、三	一〇七、一	三一、六	一一九、一二	二八、三	一〇七、一
二八五、九	一三、七	四九、三	一四、七	一八九、三	一八九、三	一一六、八	二三、四	一八九、三	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六
一四四、一	一九、一	一〇七、一	三一、六	一八七、一	一八九、三	六一、八	二三、四	一八九、三	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六
一三、九	六五、一	九、〇	一四、七	一八七、一	一八九、三	六一、八	二三、四	一八九、三	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六
一四四、一	一九、一	一〇七、一	三一、六	一八七、一	一八九、三	六一、八	二三、四	一八九、三	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六	七三、〇	二一五、六
二八五、九	一三、七	四九、三	一四、七	一八九、三	一八九、三	一一六

地方天氣豫報暴風警報臨時豫報適否調査

（明治四十五年 大正元年）

種類　發布數　正　偏　中　不　中　正中百分比例

地名	種類	發布數	正	偏	中	不	中	正中百分比例
大邱	少	一九〇	四〇七	七五四	四六二	八四九	九四	三六六
木浦	多	一一二	三〇九	五五七	五八二	七一九	九二〇	三七四四
仁川	少	三八〇	四一九	八八六	九七九	九二〇	三七五	二〇九
平壤	少	四二六	四三五	八四六	一〇八二	七一六	一四	四八七九
京城	少	三四八	四七六	七九三	九七三	一〇八	三四二	四〇五二
元山	多	二八〇	一七一	六〇〇	七九七	一〇八	三四二	四〇五二
龍岩浦	少	四六一	四三二	八九〇	一一八七	一〇八	三四二	四〇五二
大連	少	四〇〇	四二七	九五二	一三四二	一〇八	三四二	四〇五二
旅順	少	四四六	四二九	九七七	一三九九	一〇八	三四二	四〇五二
營口	少	四七三	四七六	九四三	一二六三	一〇八	三四二	四〇五二
奉天	少	四五四	四六五	八八六	一二四七	一〇八	三四二	四〇五二
長春	少	四六一	四五三	七四九	一三五六	一〇八	三四二	四〇五二
天津	少	四六三	四七五	九二七	一三九五	一〇八	三四二	四〇五二
梁芝	少	三四八	四五〇	八七九	一二八二	一〇八	三四二	四〇五二
抗洲	多	五〇九	八八三	三三二	三一	一〇八	三四二	四〇五二
南京	少	二〇三	一六五	八二	七二八	一〇八	三四二	四〇五二
漢口	多	二八七	一〇	四九	四七〇	一〇八	三四二	四〇五二
沙市	少	一九	一〇八	三三七	三六四	一〇八	三四二	四〇五二

風向	天氣豫報 天氣	溫度	暴風警報	不時の結霜	臨時豫報 出水	大雨
九二	曇六六	〇	二八	〇	一	一
九	三六六	〇	二	〇	一	一
八八	二八八	一	三五	一	一	一
八九	六九	一	四	一	〇	一
九	九	一	一	一	〇	一
一〇	五〇〇	一	八九	一	一〇〇	一

攝氏及華氏寒暖計度目對照表

（零度以上）

攝氏	華氏	攝氏	華氏	攝氏	華氏	攝氏	華氏
一	三三・八	一二	五三・六	二三	七三・四	二四	七五・二
二	三五・六	一三	五五・四	二四	七五・二	二五	七七・〇
三	三七・四	一四	五七・二	二五	七七・〇	二六	七八・八
四	三九・二	一五	五九・〇	二六	七八・八	二七	八〇・六
五	四一・〇	一六	六〇・八	二七	八〇・六	二八	八二・四
六	四二・八	一七	六二・六	二八	八二・四	二九	八四・二
七	四四・六	一八	六四・四	二九	八四・二	三〇	八六・〇
八	四六・四	一九	六六・二	三〇	八六・〇	三一	八七・八
九	四八・二	二〇	六八・〇	三一	八七・八	三二	八九・六
一〇	五〇・〇	二一	六九・八	三二	八九・六	三三	九一・四
一一	五一・八	二二	七一・六	三三	九一・四	三四	九三・二
一二	五三・六	二三	七三・四	三四	九三・二	三五	九五・〇
一三	五五・四	二四	七五・二	三五	九五・〇	三六	九六・八
一四	五七・二	二五	七七・〇	三六	九六・八	三七	九八・六
一五	五九・〇	二六	七八・八	三七	九八・六	三八	一〇〇・四
一六	六〇・八	二七	八〇・六	三八	一〇〇・四	三九	一〇二・二
一七	六二・六	二八	八二・四	三九	一〇二・二	四〇	一〇四・〇
一八	六四・四	二九	八四・二	四〇	一〇四・〇		
一九	六六・二	三〇	八六・〇				

攝氏及華氏寒暖計度目對照表

（零度以下）

攝氏	華氏	攝氏	華氏	攝氏	華氏	攝氏	華氏
〇	三二・〇	(一) 五	二三・〇	(一) 一〇	一四・〇	(一) 一五	五・〇
(一) 一	三〇・二	(一) 六	二一・二	(一) 一一	一二・二	(一) 一六	三・二
(一) 二	二八・四	(一) 七	一九・四	(一) 一二	一〇・四	(一) 一七	一・四
(一) 三	二六・六	(一) 八	一七・六	(一) 一三	八・六	(一) 一八	〇・六
(一) 四	二四・八	(一) 九	一五・八	(一) 一四	六・八	(一) 一九	二・八

第一講

大乘佛教與般若

明治四十五年
大正元年　地方天氣豫報暴風警報臨時豫報適否調査……一六八
攝氏及華氏寒暖計度目對照表……一六九
降水量の深さ及水量對照表……一七〇

雜件

大阪氣候大要……一一六
蹇中の氣象概況……一一八
春季彼岸の氣象概況……一二〇
明治四十五年麥作期間の氣象概況……一二二
梅雨概況……一二六
土用中の氣象概況……一二九
土用後の氣象概況……一三二
秋季彼岸の氣象概況……一三四
大正元年稻作期間の氣象概況……一三六
短時間の最多降水量……一四二
暴風季節……一四六
大阪に於ける冬の季節風……一五二
日曝と日陰との蒸發量……一五四
大阪港の潮汐……一五七

附錄

大阪と各地との氣温及降水量比較表……一五八

一本府管内の初氷……七四

第三編

一暴風雨概況……七六

顯著暴風雨概況……七八

自一月十四日至仝十六日暴風概況……七八

自二月三日至仝四日暴風概況……八〇

自二月十七日至十八日暴風概況……八一

三月十八日の暴風雨概況……八三

五月四日の暴風雨概況……八五

八月二十三日、二十四日の暴風雨概況……八七

八月二十八日、二十九日臺灣の暴風雨……九一

八月二十九日より九月二日小笠原島の暴風雨……九二

九月十六日十七日臺灣の暴風雨……九四

九月二十一日より二十四日に至る暴風雨概況……九六

十月一日二日暴風雨概況……一〇九

一出水概況……一一二

九月二十三日の出水……一一三

平均較差……五九
最高溫度の極……六一
最低溫度の極……六二
一濕　度
午前十時の平均濕度……六三
午前十時の最小濕度……六四
一雲　量
午前十時の平均量……六五
一降水量
降水總量……六六
降水最大日量……六七
降水日數……六八
一風
風向觀測回數……六九
一霜雪季節……七〇
一夏季最高溫度の三十度以上に達したる初終日及日數……七二
一冬季最低溫度の零下に降りたる初終日及日數……七三

降水時數……三二
蒸發量……三四
雲量……三五
日照時數……三七
風速度……三九
風向觀測回數……四一
各風向に對する平均速度……四三
各風向に對する最大速度……四四
暴風日數……四五
暴風時數……四六

第二編

一大阪府管内氣象概況……五一
一空氣の温度
午前十時の平均温度……五五
平均最高温度……五六
平均最低温度……五七
平均温度……五八

大阪測候所年報　氣象之部

目次

第一編

一大阪氣象概況　附氣象圖……二頁
一大阪毎時氣象觀測成績……一〇
　空氣の壓力……一〇
　空氣の溫度……一二
　地中溫度……一四
　地皮溫度……一七
　地中十糎の溫度……一九
　仝二十糎の溫度……二一
　仝三十糎の溫度……二二
　水蒸氣の張力……二四
　濕　度……二六
　飽　差……二七
　降水量……二九
　降水日數……三一

本報は明治四十五年大正元年中大阪府管内に於て氣象觀測をなしたる成績を蒐集編纂したるものにして卽ち第一編には府立大阪一等測候所の毎時觀測成績と既往十年間の氣象統計とを掲け第二編には管内二十三箇所の氣象觀測を列記し對照閲覽に便し第三編には暴風並に出水等の概況其他特殊の調査を掲載せり

大正二年六月

府立大阪一等測候所

LIBRARY
WEATHER BUREAU
No. 340

明治四拾五年
大正元年

大阪測候所年報

氣象之部